設　計　書

工事名称　松戸市立寒風台小学校ほか８校体育館空調設備設置建築工事

工事場所　松戸市松戸新田３１６番地の２５ほか８か所

期　　間　自　令和　７年　　月　　日
　　至　令和　８年　３月１９日

設計年月日　　令和　７年　７月　　日

（工事価格　　）

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参　考

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
寒風台小学校	1	式		
牧野原小学校	1	式		
貝の花小学校	1	式		
金ケ作小学校	1	式		
八ケ崎第二小学校	1	式		
六実第二小学校	1	式		
幸谷小学校	1	式		
新松戸西小学校	1	式		
東松戸小学校	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	▲1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	▲1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	▲1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	▲1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
発生材処分	▲1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
計				

建築工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0001
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0003
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,000xH2,500	1	式			別紙 00-0004
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0005
計						

建築工事		鋼製戸改修			撤去	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	33.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	16.7	m			
ｶｰﾃﾝ撤去	集積共	19.2	㎡			
既存ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去 （集積共） （手間）	シングル（再使用可能）	16.7	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W2,100xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	31.3	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	49	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.1	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	16.1	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	16.1	m			
外壁 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t=8	15.3	㎡			
SD-1上部 照明器具	取り外し・再取付	4	か所			
SD-1上部 設備ﾎﾞｯｸｽ	取り外し・再取付	4	か所			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	38	㎡			
内壁 ｼﾅ合板	t=9　下張:構造用合板t=12	17.8	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	8.4	m			
巾木 木製	H=60	7.7	m			
幕板 木製	25x180	16.1	m			
壁 見切縁	ｱﾙﾐ製	16.8	m			
小計						
【塗装改修】						
ＥＰ－Ｇ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(一般) 素地B種	13.8	㎡			
ＳＯＰ塗り	木部　工程A種 塗料1種 素地B種	14.5	㎡			

建築工事　鋼製戸改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ＳＯＰ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　工程B種（屋内） 素地A種	23.8	m			
小計						
計						

建築工事	窓フィルム改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
窓ﾌｨﾙﾑ撤去	集積共	1.1	㎡			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	8.6	㎡			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	86.4	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	3.8	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	1.9	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ撤去	集積共	3.3	㎥			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0006
発生材運搬		1	式			別紙 00-0007
計						

建築工事		発生材処分		処分		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0008
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0009
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0010
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0011
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0012
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,000xH2,500	1	式			別紙 00-0013
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0014
計						

建築工事　鋼製戸改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	33.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	16.7	m			
ｶｰﾃﾝ撤去	集積共	15.8	㎡			
既存ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去 （集積共） （手間）	シングル（再使用可能）	16.7	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W2,100xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	16.1	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	47.4	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.1	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	16.1	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	16.7	m			
外壁 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t=8	15.3	㎡			
SD-1上部 照明器具	取り外し・再取付	4	か所			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	19.1	㎡			
壁下地木製胴縁	45x45　@300　縦横	38.1	㎡			
内壁 ｼﾅ合板	t=9　下張:構造用合板t=12	15.6	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	8.4	m			
巾木 木製	H=60	8.3	m			
幕板 木製	25x180	16.7	m			
壁 見切縁	ｱﾙﾐ製	16.8	m			
小計						
【塗装改修】						
ＥＰ－Ｇ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(一般) 素地B種	13.8	㎡			
ＳＯＰ塗り	木部　工程A種 塗料1種 素地B種	15.6	㎡			

建築工事		鋼製戸改修			新設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＯＰ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　　工程B種（屋内） 素地A種	25	m			
小計						
計						

建築工事　窓フィルム改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
窓ﾌｨﾙﾑ撤去	集積共	93.1	㎡			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	15.5	㎡			
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	91.7	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	3.8	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	2.2	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ （ｶﾞﾗｽ清掃共） （材工共）	特寸1.8㎡以下 厚さ4（学校、住宅向け）　ｼｰﾘﾝｸﾞ	6.9	㎡			
計						

建築工事　環境配慮改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ撤去	集積共	3.3	㎥			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0015
発生材運搬		1	式			別紙 00-0016
計						

建築工事		発生材処分		処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0017
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0018
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0019
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0020
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0021
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0022
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0023
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0024
計						

建築工事		鋼製戸改修			撤去	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	33.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	16.7	m			
壁　羽目板張り 撤去	t=15　集積共	3	㎡			
壁　木胴縁 撤去	45x40　縦横@300　集積共	20.5	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W2,100xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	16.1	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	47.4	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.1	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	16.1	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	16.7	m			
外壁 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t=8	15.3	㎡			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.9	㎡			
壁下地木製胴縁	45x45　@300　縦横	18.2	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	8.4	m			
幕板 木製	25x180	16.1	m			
小計						
【塗装改修】						
ＥＰ－Ｇ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(一般) 素地B種	13.8	㎡			
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　工程B種(屋内) 素地A種	16.1	m			
小計						
計						

建築工事　窓フィルム改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
窓ﾌｨﾙﾑ撤去	集積共	1.4	㎡			
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	2.2	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70SX同等	11.4	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	39.1	㎡			
計						

建築工事　環境配慮改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ撤去	集積共	17.5	㎥			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0025
発生材運搬		1	式			別紙 00-0026
計						

建築工事		発生材処分		処分		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0027
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0028
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0029
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0030
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0031
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	1	式			別紙 00-0032
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0033
計						

建築工事		鋼製戸改修			撤去	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	30.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	15.2	m			
壁　羽目板張り 撤去	t=15　集積共	2.7	㎡			
壁　木胴縁 撤去	45x40　縦横@300　集積共	20.2	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	15.2	m			
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　　-	16.5	㎡			
外装薄塗材 E	ｹｲｶﾙ板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	㎡			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	㎡			
壁下地木製胴縁	45x45　@300　縦横	19.2	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	16.7	m			
小計						
【塗装改修】						
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　　工程B種(屋内) 素地A種	15.2	m			
小計						
計						

建築工事　窓フィルム改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
窓ﾌｨﾙﾑ撤去	集積共	4.8	㎡			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	3.2	㎡			
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	146	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	9	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	5.1	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ （ｶﾞﾗｽ清掃共） （材工共）	特寸1.8㎡以下 厚さ4（学校、住宅向け）　ｼｰﾘﾝｸﾞ	3.4	㎡			
計						

建築工事　環境配慮改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾘｼﾝ吹付 ﾗﾙﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	17.5	㎥			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0034
発生材運搬		1	式			別紙 00-0035
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0036
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0037
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0038
養生		1	式			別紙 00-0039
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0040
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0041
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0042
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	1	式			別紙 00-0043
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0044
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0045
計						

建築工事	鋼製戸改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	30.4	㎡			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30㎜	5.3	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	10.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	無筋　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.1	m3			
地業取り壊し	集積・積込み共	0.1	m3			
床ﾓﾙﾀﾙ･床人研ぎ撤去	集積共	0.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	15.2	m			
壁　羽目板張り撤去	t=15　集積共	2.7	㎡			
壁　木胴縁撤去	45x40　縦横@300　集積共	20.2	㎡			
屋根材とりこわし（集積共）（手間）	折板　H=85	25.6	㎡			
屋根 下地鉄骨撤去	集積共	0.3	t			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	15.2	m			
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 8 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　　-	16.5	㎡			
外装薄塗材 E	ｹｲｶﾙ板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	㎡			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	㎡			
壁下地木製胴縁	45x45　@300　縦横	19.2	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	15	m			
小計						
【外階段】						
根切り	人力土工 - -	0.1	m3			
残土処分	場内敷き均し	1	式			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.1	m3			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区　　18N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ15cm	0.1	m3			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区　　24N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18cm	0.3	m3			

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 -　S15～S18 -　-	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.3	m3			
型枠（複合合板）	小型構造物用型枠 － －　－	3.2	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	1	式			別紙 00-0046
柱穴 ﾎﾞｲﾄﾞ型枠	内径100φ　L=300	8	か所			
柱穴埋め ﾓﾙﾀﾙ充填	100φxH300　柱:□-75x75 0.0009m3/か所	8	か所			
床 防水ﾓﾙﾀﾙ塗り	ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　t=30	0.4	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.4	㎡			
小計						
【出入口屋根】						
厚板鋼板 （材料）	ＳＳ４００　6≦t≦100mm	0.04	t			
等辺山形鋼 (SS400) （材料）	JIS G 3101 6*75*75	0.01	t			
軽量形鋼(SSC400) （材料）	JIS G 3350 C-75*45*15*2.3	0.18	t			
構造用角型鋼管 STKR400　正方形 （材料）	正方形(3.2×60×60)	0.13	t			
丸鋼	SR235　φ9	0.01	t			
ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ	(両ﾌｯｸ型) φ9用	4	個			
中ﾎﾞﾙﾄ	SS400 M12 L=35	40	本			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り	軽量 60㎡/t程度 鉄鋼面　工程B種 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰさび止め 素地C種	0.35	t			
鉄骨運搬	6t車	1	式			別紙 00-0047
軽量鉄骨加工 ・組立	母屋.胴縁の類 一 般 普通ﾎﾞﾙﾄ締共	0.35	t			

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨現場錆止め 塗料塗り	軽量 60㎡/t程度 鉄鋼面 工程B種 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰさび止め 1回目別途	0.35	t			
屋根 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	重ね式　t=0.6　H=85	28.8	㎡			
折板役物 （材工共）	山高 85用 ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ	32	m			
あおり止め	亜鉛　L-35X35X3　L=650	16	本			
小計						
【塗装改修】						
ＳＯＰ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　工程B種(屋内) 素地A種	15	m			
ＤＰ塗り	鉄鋼　1級 素地ごしらえ及び下塗り共	26.2	㎡			
計						

建築工事	窓フィルム改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	5	㎥			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70SX同等	4.9	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	157	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	6.9	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	2.9	㎡			
強化型板ｶﾞﾗｽ （ｶﾞﾗｽ清掃共） （材工共）	特寸1.8㎡以下 厚さ4（学校、住宅向け）　ｼｰﾘﾝｸﾞ	5	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾘｼﾝ吹付 ﾗﾙﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	17.5	㎥			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0048
発生材運搬		1	式			別紙 00-0049
計						

建築工事	発生材処分	処分				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0050
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0051
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0052
養生		1	式			別紙 00-0053
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0054
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0055
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0056
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0057
計						

建築工事　鋼製戸改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	30.4	㎡			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	15.8	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	無筋　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.2	m3			
地業取り壊し	集積・積込み共	0.1	m3			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	15.2	m			
壁　羽目板張り 撤去	t=15　集積共	2.7	㎡			
壁　木胴縁 撤去	45x40　縦横@300　集積共	20.2	㎡			
屋根材とりこわし （集積共） （手間）	折板　H=85	68.8	㎡			
屋根 下地鉄骨撤去	集積共	0.6	t			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	15	m			
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 8 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　　-	16.5	㎡			
外装薄塗材 E	ｹｲｶﾙ板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	㎡			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	㎡			
壁下地木製胴縁	45x45　@300　縦横	19.2	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	15	m			
小計						
【外階段】						
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.2	m3			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区　　18N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ15cm	0.2	m3			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区　　24N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18cm	0.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　　人力打設 -　　S15～S18 -　　-	0.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　　人力打設 工作物の基礎等　　S15～S18 -　　-	0.4	m3			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠（複合合板）	小型構造物用型枠 － －　－	4.8	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	1	式			別紙 00-0058
柱穴 ﾎﾞｲﾄﾞ型枠	内径100φ　L=300	12	か所			
柱穴埋め ﾓﾙﾀﾙ充填	100φxH300　柱:□-75x75 0.0009m3/か所	12	か所			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	1.4	㎡			
小計						
【出入口屋根】						
厚板鋼板 （材料）	ＳＳ４００　6≦t≦100mm	0.1	t			
等辺山形鋼 (SS400) （材料）	JIS G 3101 6*75*75	0.02	t			
軽量形鋼(SSC400) （材料）	JIS G 3350 C-75*45*15*2.3	0.36	t			
構造用角型鋼管 STKR400　正方形 （材料）	正方形(3.2×75×75)	0.24	t			
丸鋼	SR235　φ9	0.02	t			
ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ	(両ﾌｯｸ型) φ9用	12	個			
中ﾎﾞﾙﾄ	SS400 M12 L=35	34	本			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り	軽量 60㎡/t程度 鉄鋼面　工程B種 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰさび止め 素地C種	0.74	t			
鉄骨運搬	6t車	1	式			別紙 00-0059
軽量鉄骨加工 ・組立	母屋.胴縁の類 一 般 普通ﾎﾞﾙﾄ締共	0.74	t			
鉄骨現場錆止め 塗料塗り	軽量 60㎡/t程度 鉄鋼面 工程B種 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰさび止め 1回目別途	0.74	t			
屋根 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	重ね式　t=0.6　H=85	68.8	㎡			
折板役物 （材工共）	山高 85用 ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ	64.6	m			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
あおり止め	亜鉛　L-35X35X3　L=650	20	本			
小計						
【塗装改修】						
ＳＯＰ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　工程B種(屋内) 素地A種	15	m			
ＤＰ塗り	鉄鋼　1級 素地ごしらえ及び下塗り共	51	㎡			
計						

建築工事　窓フィルム改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	8.4	㎡			
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70SX同等	8.4	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	143	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	7.7	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	0.5	㎡			
強化型板ｶﾞﾗｽ （ｶﾞﾗｽ清掃共） （材工共）	特寸1.8㎡以下 厚さ4（学校、住宅向け）　ｼｰﾘﾝｸﾞ	8.4	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾘｼﾝ吹付 ﾗﾙﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	17.5	㎡			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0060
発生材運搬		1	式			別紙 00-0061
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0062
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0063
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0064
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0065
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0066
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0067
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0068
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0069
計						

建築工事　鋼製戸改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	30.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	15.2	m			
壁　羽目板張り 撤去	t=15　集積共	2.7	㎡			
壁　木胴縁 撤去	45x40　縦横@300　集積共	20.2	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	15	m			
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　　-	16.5	㎡			
外装薄塗材 E	ｹｲｶﾙ板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	㎡			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	㎡			
壁下地木製胴縁	45x45　@300　縦横	19.2	㎡			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	15	m			
小計						
【塗装改修】						
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　　工程B種(屋内) 素地A種	15	m			
小計						
計						

建築工事	窓フィルム改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	2.4	㎥			
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70SX同等	150	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	1.6	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	5.1	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	8.4	㎡			
強化型板ｶﾞﾗｽ （ｶﾞﾗｽ清掃共） （材工共）	特寸1.8㎡以下 厚さ4（学校、住宅向け）　ｼｰﾘﾝｸﾞ	2.4	㎡			
計						

建築工事　環境配慮改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 ﾘｼﾝ吹付 ﾗﾙﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	17.5	㎡			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0070
発生材運搬		1	式			別紙 00-0071
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0072
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0073
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0074
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0075
内部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0076
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0077
計						

建築工事		鋼製戸改修			撤去	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共	30.4	㎡			
立上り ﾓﾙﾀﾙ撤去	H=125 集積共	15.2	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けﾊﾝｶﾞｰ戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	22.4	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	65.9	m			
建具周囲(内部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	H=125	15	m			
沓摺 ｽﾃﾝﾚｽ曲加工	t=1.2　W200xH20	7.2	m			
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	96.3	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	0.3	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0078
発生材運搬		1	式			別紙 00-0079
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0080
計						

建築工事　発生材処分　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0081
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0082
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0083
内部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0084
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0085
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	1	式			別紙 00-0086
計						

建築工事　窓フィルム改修　新設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	61.1	㎡			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生(外壁改修)		36	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	62.1	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	36	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	134	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (外壁改修)		36	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	62.1	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	36	㎡			
計						
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0003
内部足場	脚立足場　直列	54	m			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,000xH2,500	1	式			別紙 00-0004
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,000xH2,500	12	か所			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0005
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	35	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0006
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.1	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0007
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0008
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0009
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1.1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除（非鉄くず）	ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)	5	kg			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0010
養生(外壁改修)		36	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	62.1	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	36	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	134	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0011
整理清掃後片付け (外壁改修)		36	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	62.1	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	36	㎡			
計						
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0012
内部足場	脚立足場　直列	54	m			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,000xH2,500	1	式			別紙 00-0013
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,000xH2,500	12	か所			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0014
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	35	㎡			
計						

建築工事	発生材処分			積込・運搬		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0015
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.1	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0016
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0017
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.1	m3			
計						

建築工事	発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0018
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1.1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除（非鉄くず）	ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)	5	kg			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0019
養生(外壁改修)		61.2	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	36	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	72	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0020
整理清掃後片付け (外壁改修)		61.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	36	㎡			
計						
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0021
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 12m未満	217	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	28.8	m			
計						
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0022
養生ｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅱ類	172	㎡			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0023
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	35	㎡			
計						
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0024
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	30	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0025
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ･木材類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ･木材類 人力	0.4	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ･木材類 人力	0.1	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0026
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.4	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0027
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.4	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0028
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1.1	t			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0029
養生(外壁改修)		48	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	92.2	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	48	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	188	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0030
整理清掃後片付け (外壁改修)		48	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	92.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	㎡			
計						
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0031
内部足場	脚立足場　直列	60.5	m			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	1	式			別紙 00-0032
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	74.8	m			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0033
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	31.9	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0034
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0035
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0036
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.3	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.5	m3			
計						

建築工事	発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0037
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1	t			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0038
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	0.9	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0039
養生(外壁改修)		116	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	91.2	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	48	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	187	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0040
整理清掃後片付け (外壁改修)		116	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	91.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0041
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 12m未満	848	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	68.4	m			
計						
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0042
養生ｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅱ類	424	㎡			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ､ﾈｯﾄ張り H3,000	1	式			別紙 00-0043
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ､ﾈｯﾄ張り H3,000	74	m			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0044
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	31.9	㎡			
計						
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0045
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	30	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	1	式			別紙 00-0046
型枠機械運転 (ﾄﾗｯｸ)	普通用 4t積	1	運転日			
計						
鉄骨運搬	6t車	1	式			別紙 00-0047
鉄骨機械運転 (ﾄﾗｯｸ)	普通用 6t積	1	運転日			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0048
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.2	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0049
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.5	m3			
計						

建築工事	発生材処分			処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0050
建設廃材処分費	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.5	t			
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.1	t			
建設廃材処分費	路盤廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.3	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.5	m3			
計						

建築工事	発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0051
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1.5	t			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0052
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	0.7	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0053
養生(外壁改修)		139	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	91.2	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	48	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	187	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0054
整理清掃後片付け (外壁改修)		139	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	91.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	㎡			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0055
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 12m未満	848	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	68.4	m			
計						
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0056
養生ｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅱ類	424	㎡			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0057
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	31.9	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修	新設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	1	式			別紙 00-0058
型枠機械運転 (ﾄﾗｯｸ)	普通用 4t積	2	運転日			
計						
鉄骨運搬	6t車	1	式			別紙 00-0059
鉄骨機械運転 (ﾄﾗｯｸ)	普通用 6t積	2	運転日			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0060
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.2	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.2	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0061
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0062
建設廃材処分費	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.5	t			
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.1	t			
建設廃材処分費	路盤廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.3	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0063
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	3.2	t			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0064
養生(外壁改修)		102	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	91.2	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	48	㎡			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	187	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0065
整理清掃後片付け (外壁改修)		102	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	91.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	㎡			
計						
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0066
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 12m未満	796	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	68.4	m			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
災害防止	養生ｼｰﾄ張り	1	式			別紙 00-0067
養生ｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅱ類	398	㎡			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0068
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	31.9	㎡			
計						
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0069
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	30	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0070
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0071
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 10.5km以下	0.5	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0072
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.3	m3			
建設廃材処分費	石綿含有産業廃棄物　ﾚﾍﾞﾙⅢ 処分地区：東葛	0.5	m3			
計						

建築工事	発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0073
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1	t			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0074
養生(外壁改修)		30	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	50	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	80	㎡			
枠組足場下 床養生	構造用合板t=12	17.3	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0075
整理清掃後片付け (外壁改修)		30	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	50	㎡			
計						
内部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0076
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 12m未満	201	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	30	m			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0077
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	23.9	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0078
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.1	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0079
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0080
建設廃材処分費	がれき廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
計						

建築工事	発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0081
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ２）	1	t			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0082
養生(内部改修)	個別改修	29.7	㎡			
床面養生 （敷込・撤去共） （材工共）	ブルーシート敷き	29.7	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0083
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	29.7	㎡			
計						
内部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0084
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 12m未満	68	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	12.6	m			
計						
内部足場	脚立足場　直列	1	式			別紙 00-0085
内部足場	脚立足場　直列	3.5	m			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	1	式			別紙 00-0086
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り H3,000	21.4	m			
計						

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料､掛け払い・運搬共	49.6	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	33	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	32	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
小計	寒風台小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料､掛け払い・運搬共	49.6	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	15	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	13	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
小計	牧野原小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料､掛け払い・運搬共	49.6	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	8	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	7	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
枝払い		2	人			
小計	貝の花小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料､掛け払い・運搬共	57.6	m			

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	43	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	40	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
小計	金ケ作小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	57.6	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	23	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	22	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
枝払い		5	人			
小計	八ケ崎第二小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共	57.6	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	62	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	61	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
枝払い		5	人			
小計	六実第二小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	57.6	m			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	15	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	13	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
小計	幸谷小学校					
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	37.8	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	6	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	5	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
小計	新松戸西小学校					
ｶﾗｰｺｰﾝ	H=700	23	個			
ｺｰﾝﾊﾞｰ	L=2,000	20	本			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
小計	東松戸小学校					
計						

現場説明書

1. 工事名称　　松戸市立寒風台小学校ほか８校体育館空調設備設置建築工事
2. 工事場所　　松戸市松戸新田３１６番地の２５ほか８か所
3. 説明事項

・工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
・契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
・騒音、振動が発生する作業を行う場合は、事前に学校関係者と十分協議し作業を行うこと。
・関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
・同時期に電気設備工事・機械設備工事の体育館空調設備設置工事も行われるため、工程及び資材置き場等、工事間の調整を密に行うこと。

＜工程について＞
・工事の日程等は、施設管理者及び関係者に事前に周知を図ること。

＜共通仮設について＞
・材料搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。
・児童、職員及び施設利用者の安全や動線に配慮した仮設計画とし、安全管理を十分に行うこと。

＜週休２日制適用工事について＞
・本工事は、週休２日工事（発注者指定方式）である。
・受注者は、現場閉所（休息）による週休２日工事として取り組むこと。
なお、予定価格には４週８休達成相当の経費を補正している。
・週休２日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休２日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

＜注意事項＞
提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

松戸市立寒風台小学校ほか８校体育館空調設備設置建築工事

	松戸市立寒風台小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立牧野原小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・400

	松戸市立貝の花小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立金ケ作小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立八ケ崎第二小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/25
A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立六実第二小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/40
A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立幸谷小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（1）	1/50
A-09	【改修】建具表（2）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立新松戸西小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（1）	1/50
A-09	【改修】建具表（2）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立東松戸小学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2000
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表	1/50
A-09	仮設計画図（参考図）	1/200・300

松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立寒風台小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市松戸新田316番地25

2. 敷地面積　11,140　㎡

3. 改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：S造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：497㎡
- 最高高さ：10.00m（軒高：8.00m）

4. 工事内容

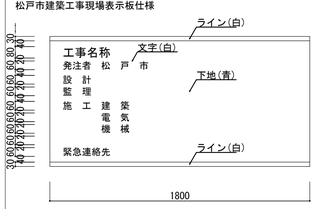
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	仮囲い・資材置場
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	-
5　建具改修工事	外部建具の新設(内外壁含む)、フィルム新設
6　内装改修工事	一部壁張替え
7　塗装改修工事	EP-G・SOP
8　耐震改修工事	-
9　環境配慮改修工事	-
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1)項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①運用基準等	⊙松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ⊙松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所 着工後の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所
	⑫ 完成図等	※作成図　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　部
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部(　)　内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

章	項　目	特　記　事　項
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

章	項　目	特　記　事　項
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
	⑨仮囲い	⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
③ 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

章	項　目	特　記　事　項
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

章	項　目	特　記　事　項
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

章	項　目	特　記　事　項
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・鋼	・(　)㎡当たり1箇所

章	項　目	特　記　事　項
	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ⊙シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

章	項　目	特　記　事　項
	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃　除　口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3] ・図示
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

章	項　目	特　記　事　項
	9 折板葺	板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3] (13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

章	項　目	特　記　事　項
4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]

撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法
改修箇所　※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材G-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種別	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]

・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
屋内建具
表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

4 網戸
防虫網 [5.2.3]
網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
形　式　・外部可動式　※固定式

⑤ 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
⊙建具表による

6 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
・建具表による

7 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
防火戸　・適用する [5.1.4]

8 自動ドア開閉装置
※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

9 自閉式上吊り引戸装置
品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
・製造所標準仕様による。

10 木製建具
※建具表による。
かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤

⑪ 建具用金物
マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
吊金物
・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
・ピボットヒンジ
⊙建具表による

12 ガラス
※建具表による [5.13.2]
・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

13 ガラス留め材及び溝
ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

⑭ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

15 重量シャッター [5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

16 軽量シャッター [5.11.2][表5.10.1]
開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (2)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]
ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2][4.4.9]
間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2) [6.5.2][表6.5.2～3]
木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤 [6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]
行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り フローリング及び縁甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 [6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地 スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]
ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 [6.8.2]
高さ (mm)　・60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床 [6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

19 ポリスチレンフォーム床下地材

20 カーペット敷き
・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

㉑ 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
⊙フレキシブル板	厚さ　・5.0　⊙8.0
⊙(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　⊙9.0
⊙構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　⊙12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラ一製品同等品とする。

24 モルタル塗り
吸水調整材 [6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り
タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り
セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材
市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース
表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止) (20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め
材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ビルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による(機械設備)

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示
衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド
・既存再使用する(養生方法：　　) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン
防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)
・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール
・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス [5.1.6]
※既存再使用する。
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口
材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口
材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板
材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)
材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等
・突出し型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質:ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質:ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)
部材規格　大引き、根太鋼:※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台:※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材:※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段
・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋
・垂直式　○階用

53 シャワー
・図示

54 キッチン
・図示

55 乾式二重床
・図示

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書(3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
⑦ 塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	②下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

⑤つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

章	項目	特記事項
9 環境配慮(グリーン)改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示 分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階: 点、2階: 点、3階: 点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/?(目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

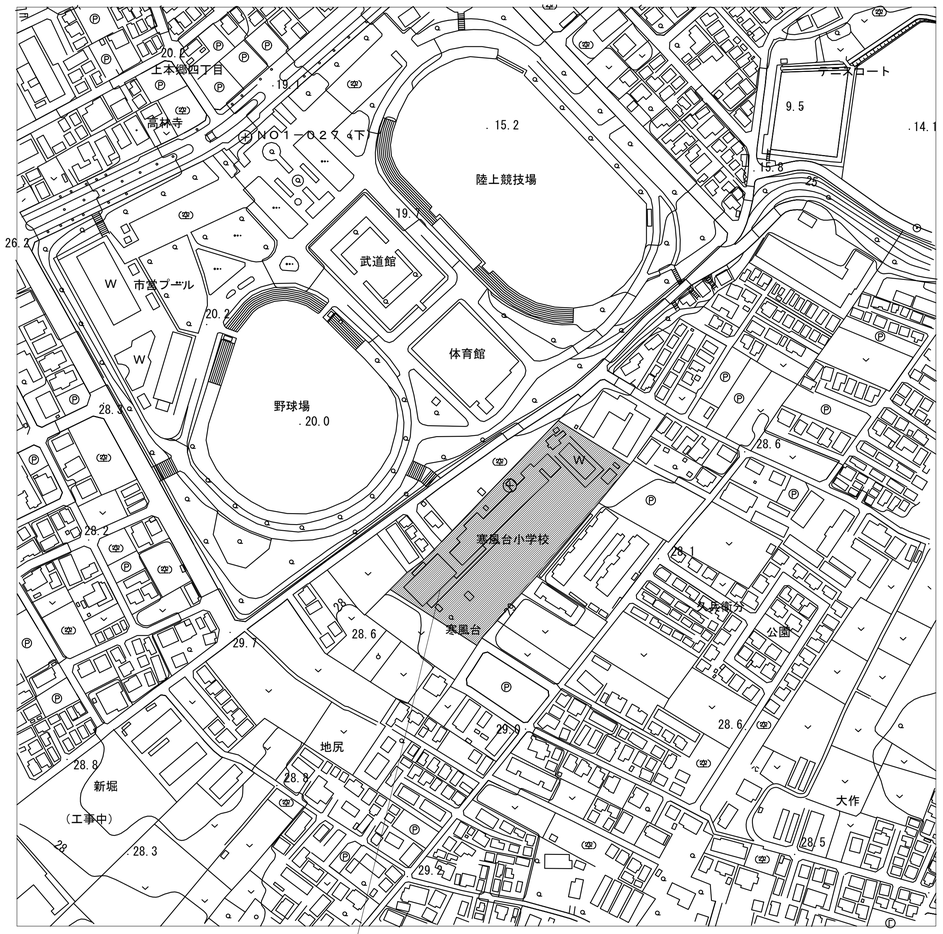
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

2 植栽工事
植樹 ・図示 (22.3.2)

樹種	寸法	数量	備考

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ(雑壁部分)			
		埋戻し、穴埋め(補強筋無し)			
		埋戻し、穴埋め(補強筋有り)			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み (開口補強有り)	○	○	○
		切込み (開口補強無し)	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器(水栓含む)				
	掃除用流し(水栓含む)				
	廊下流し台(排水トラップ含む)				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース(手摺・紙巻器用下地補強含む)				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

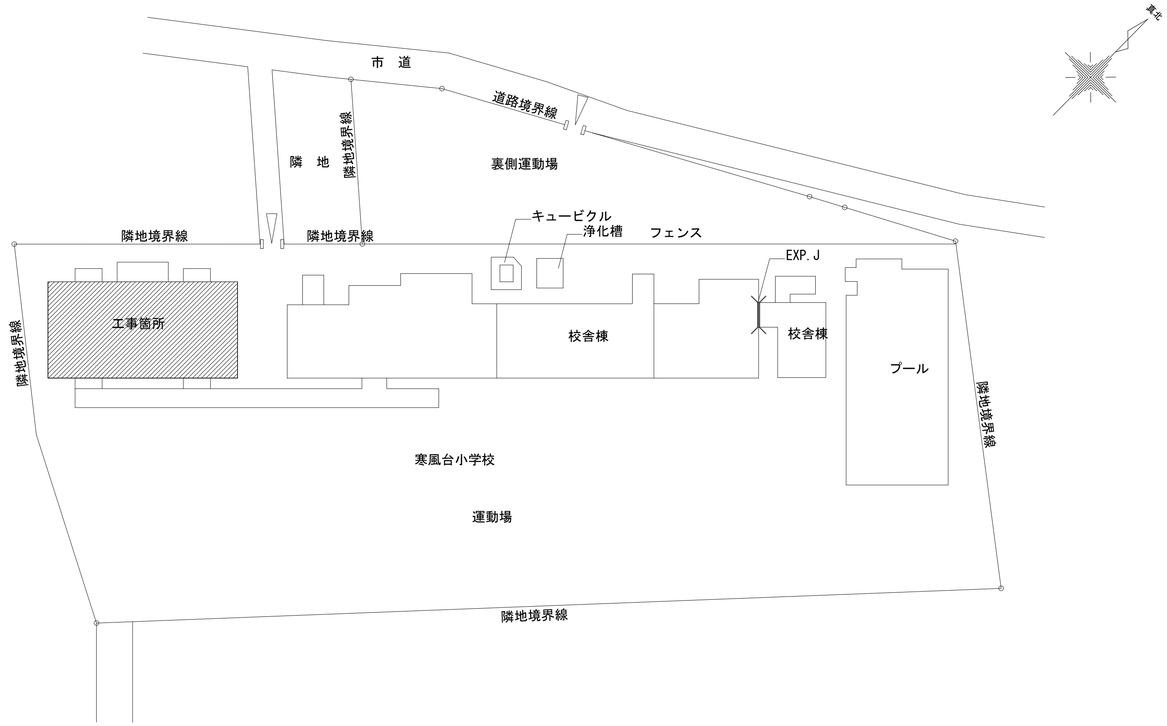
工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (4)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工事場所：松戸市立寒風台小学校
地名地番：松戸市松戸新田316番地の25

案内図　1/2500

工事場所を示す

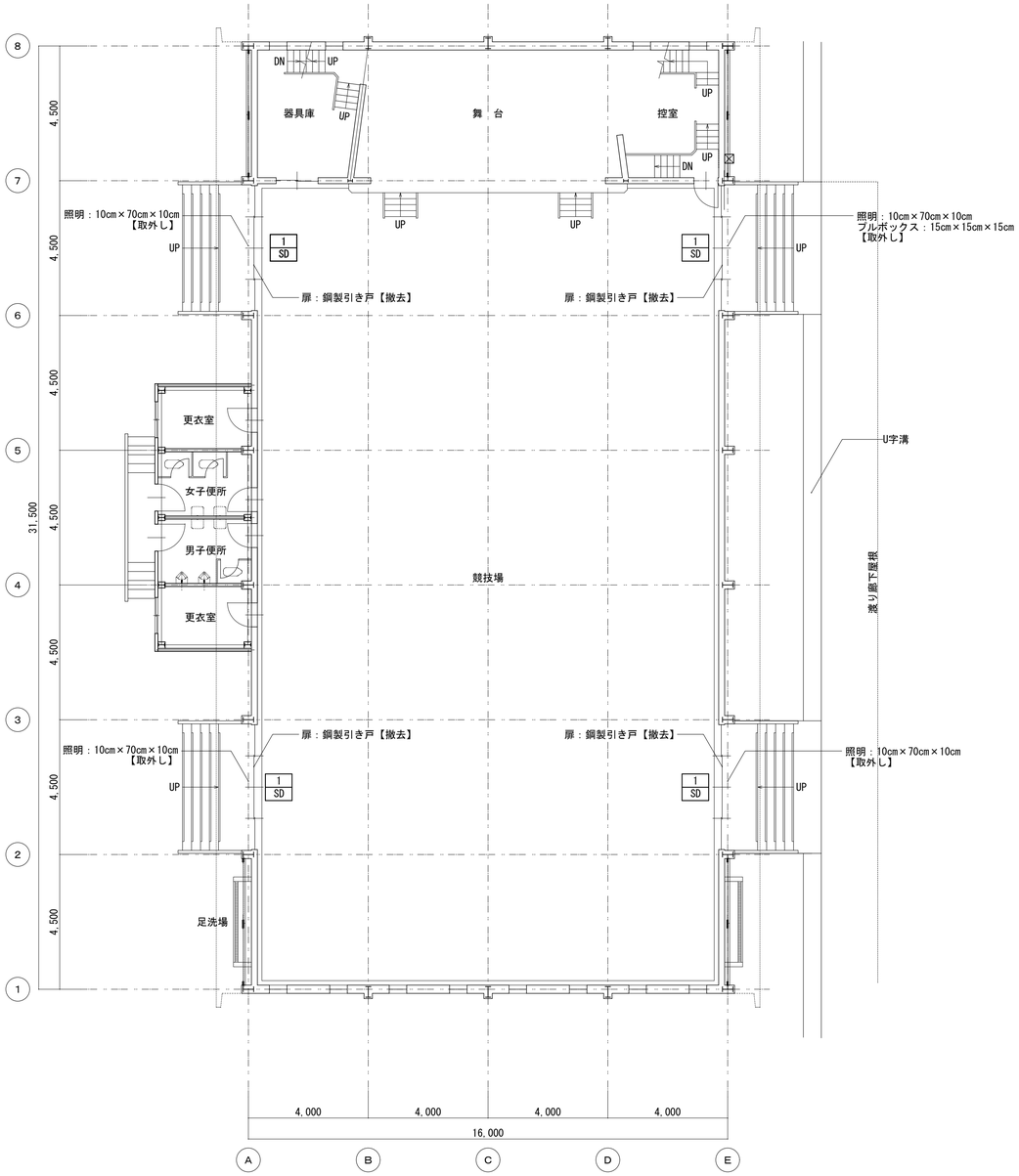


配置図　1/500

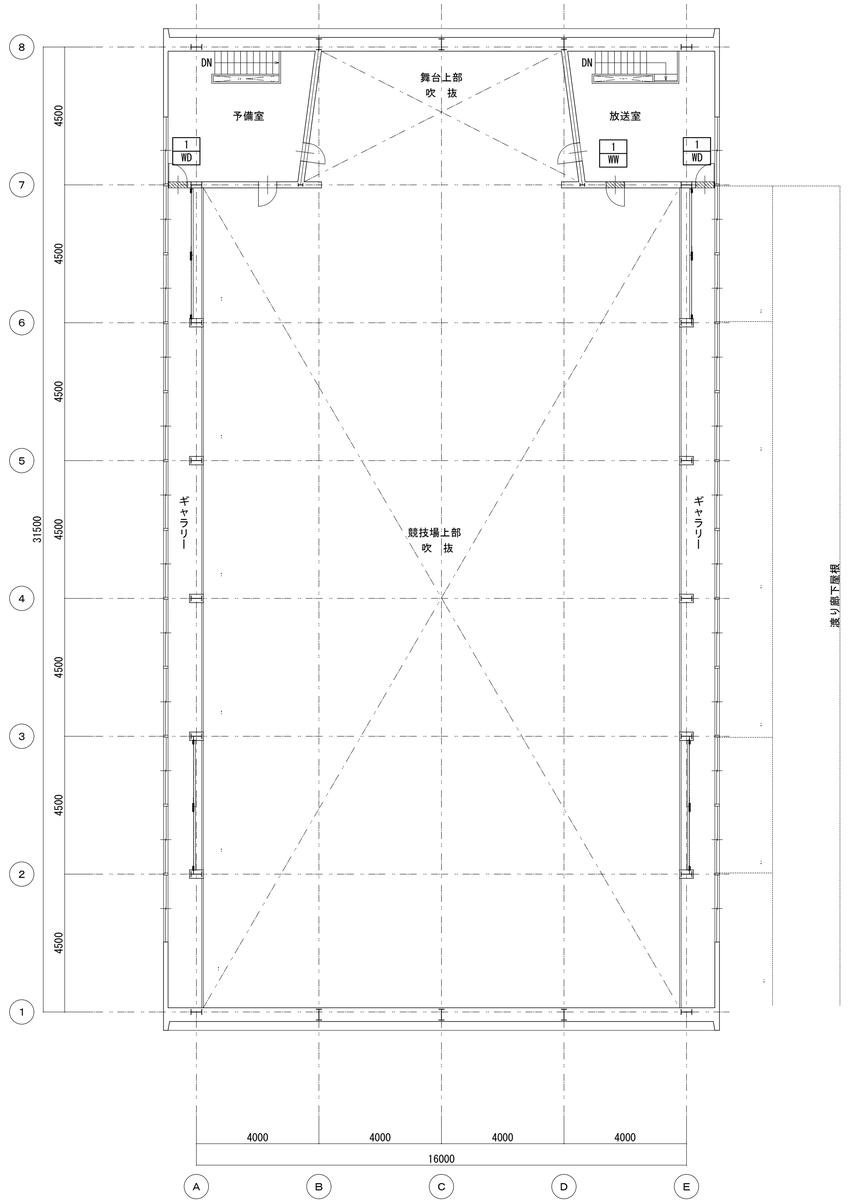
工事箇所を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



1階平面図　1/100



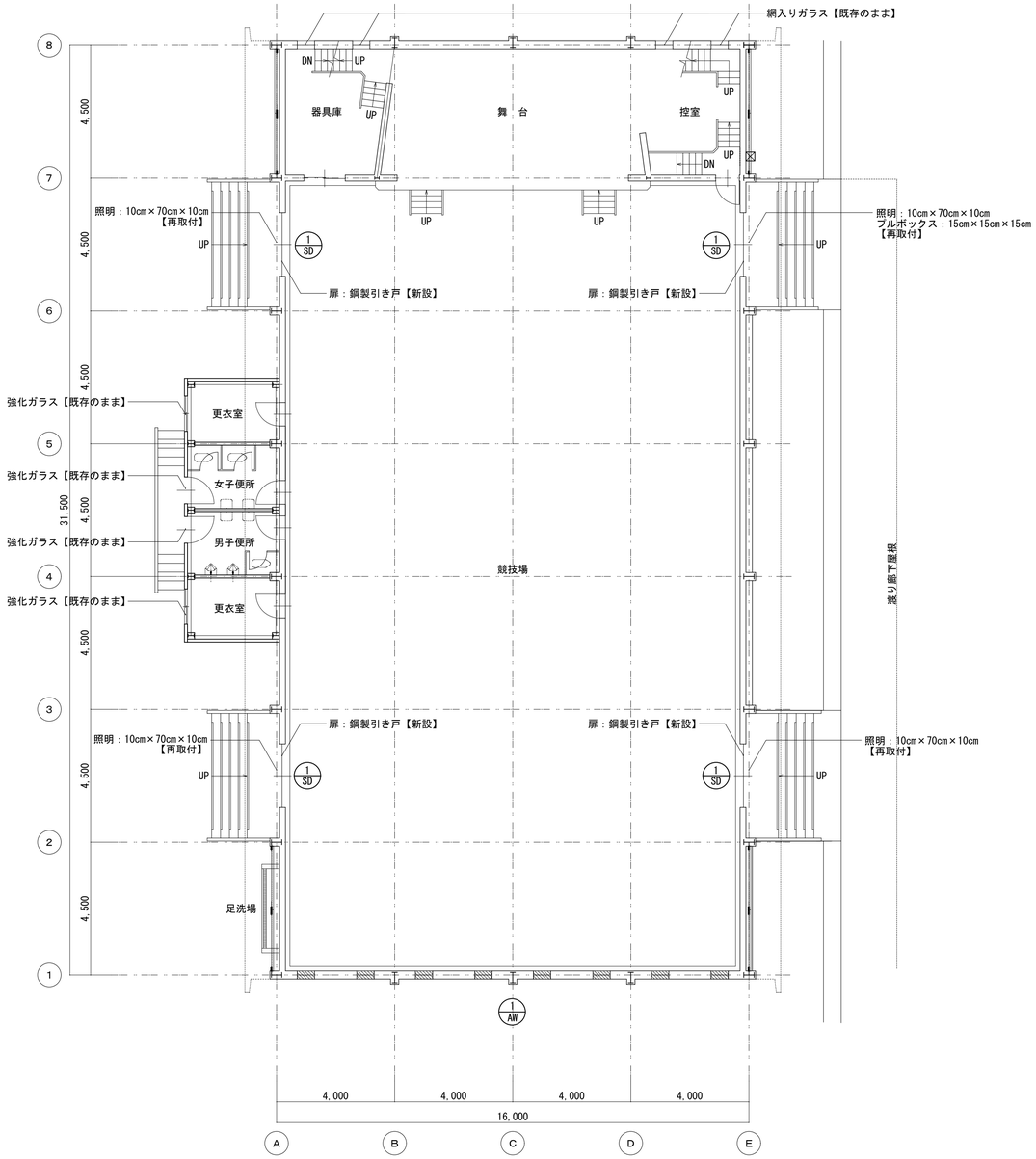
2階平面図　1/100

建具名	既存フィルム撤去面積　計1.14㎡
1 WW	0.6m×0.6m×1枚＝0.36㎡
1 WD	0.645m×0.6m×2枚＝0.774㎡

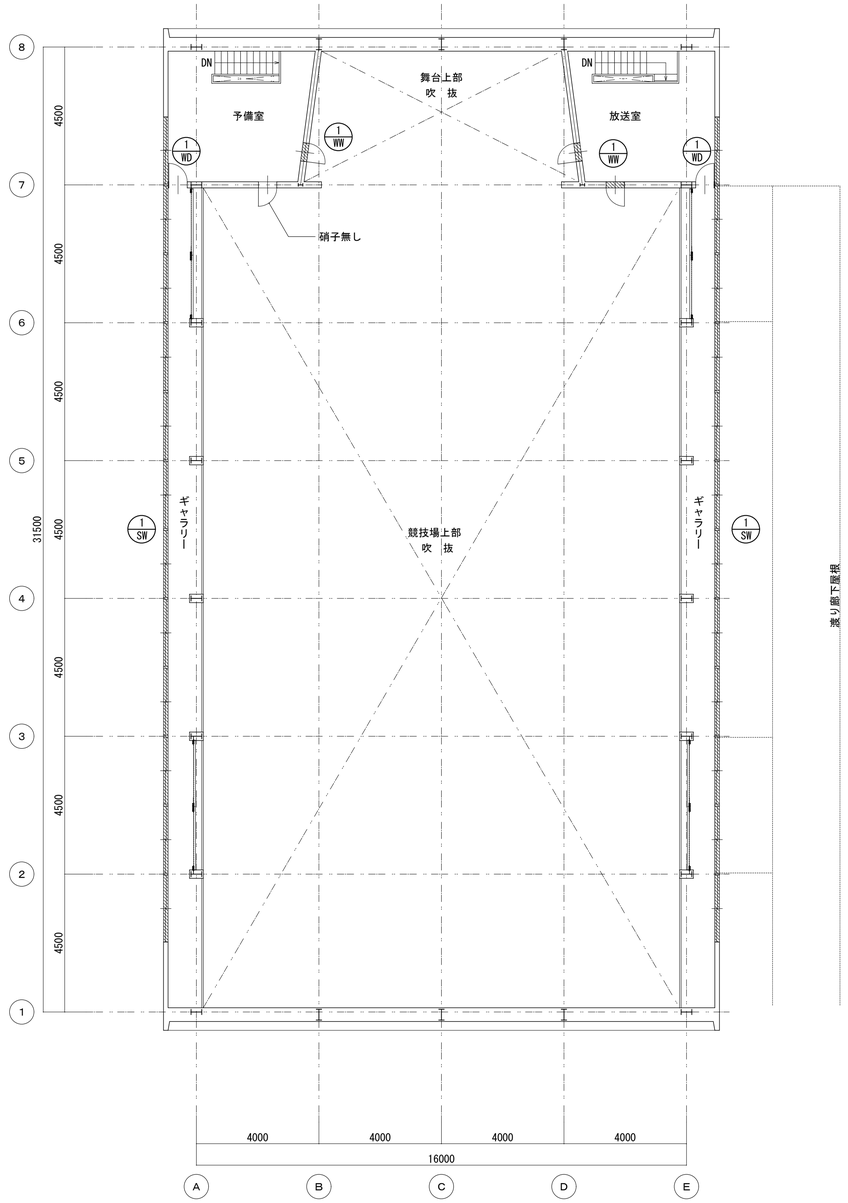
フィルム撤去範囲を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修前］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計1.86㎡
1/WW	0.6m×0.6m×3枚＝1.08㎡
1/WD	0.645m×0.6m×2枚＝0.774㎡

建具名	遮熱フィルム新設面積　内貼　計86.33㎡
1/SW	(1.10+0.55) m×2.18m×24枚＝86.33㎡

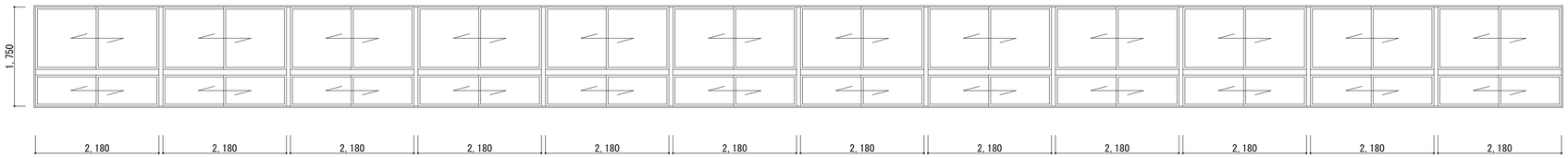
建具名	遮熱フィルム新設面積　外貼　計3.81㎡
1/AW	0.6m×0.795m×8枚＝3.81㎡

フィルム新設範囲を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修後］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	1/SW 北西面	引き違い窓	1ヶ所

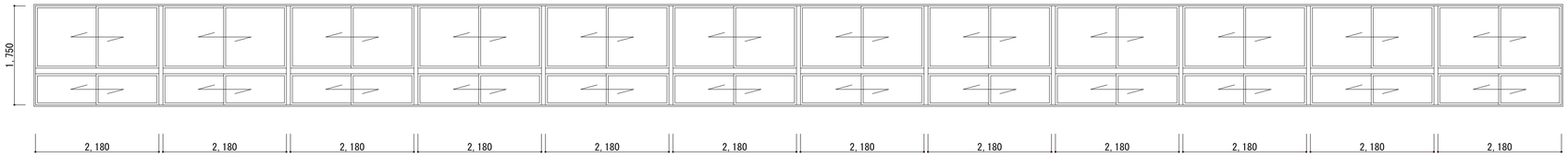
姿　図



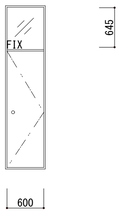
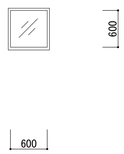
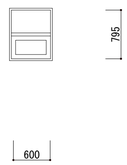
場所	競技場
硝子種類	強化透明硝子ｔ＝4.0
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｃ

記号・名称・個数	1/SW 南東面	引き違い窓	1ヶ所

姿　図



場所	競技場
硝子種類	強化透明硝子ｔ＝4.0
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｃ

記号・名称・個数	1/WD 1/WD 片開きドア(フラッシュ) FIX	２ヶ所	1/WW・1/WW 片開き窓	1ヶ所・3ヶ所	1/AW 上げ下げ窓	８ヶ所				
姿　図										
場所	放送室・予備室		放送室・予備室		競技場					
硝子種類	透明硝子ｔ＝3.0		透明硝子ｔ＝3.0		網入り型硝子ｔ＝6.8					
硝子サイズ	姿図参照		姿図参照		姿図参照					
備　考	フィルムタイプ・Ｇ		フィルムタイプ・Ｇ		フィルムタイプ・Ｆ					

記号・名称・個数	
場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備　考	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子 ＼ 方角			東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

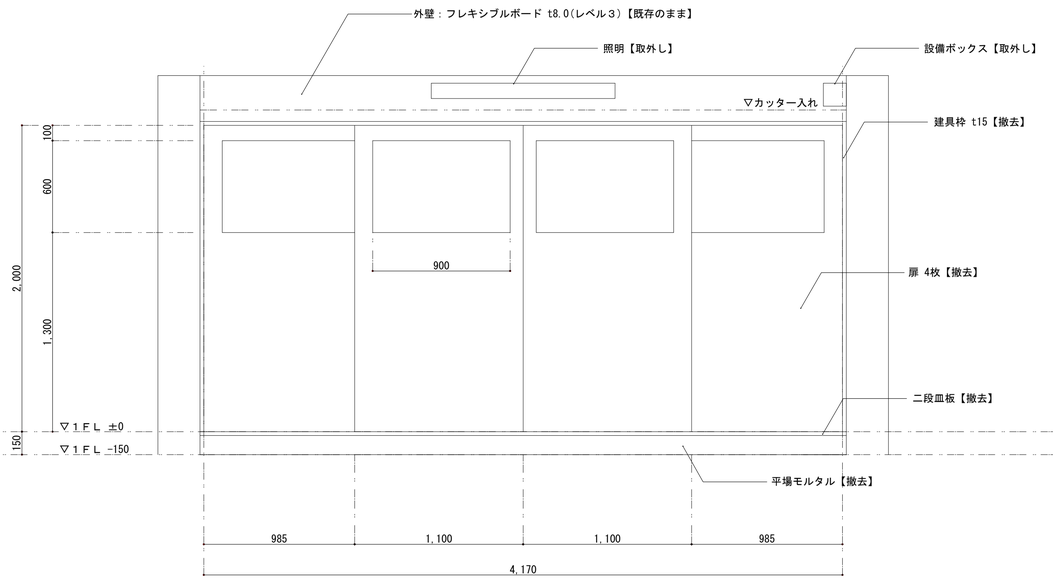
既存硝子 ＼ 方角			全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

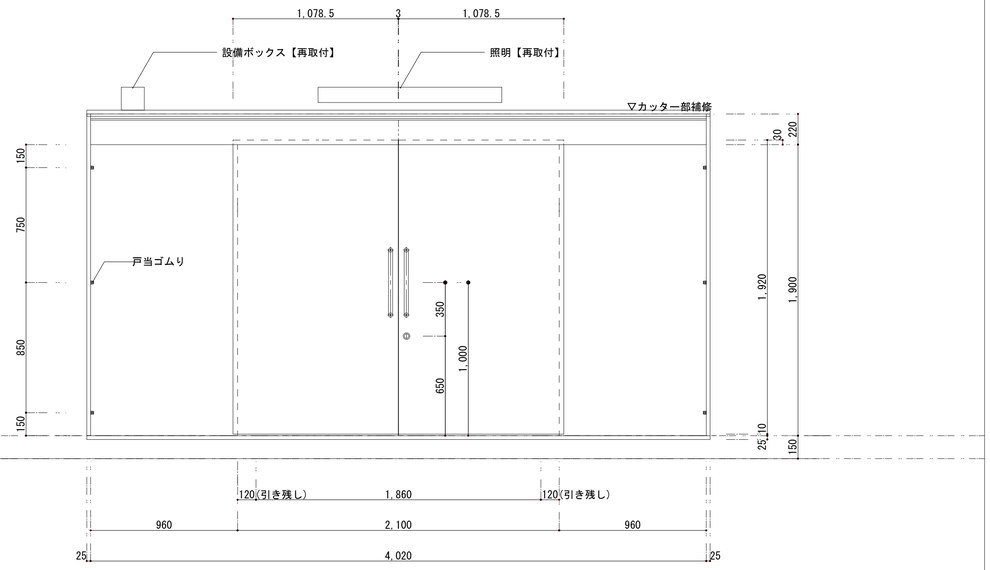
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1/SD × 4箇所【撤去】	1/SD × 4箇所【新設】

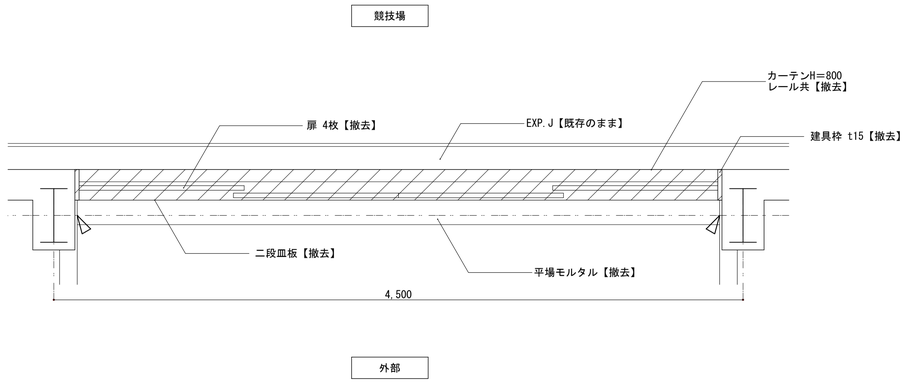
姿図・寸法



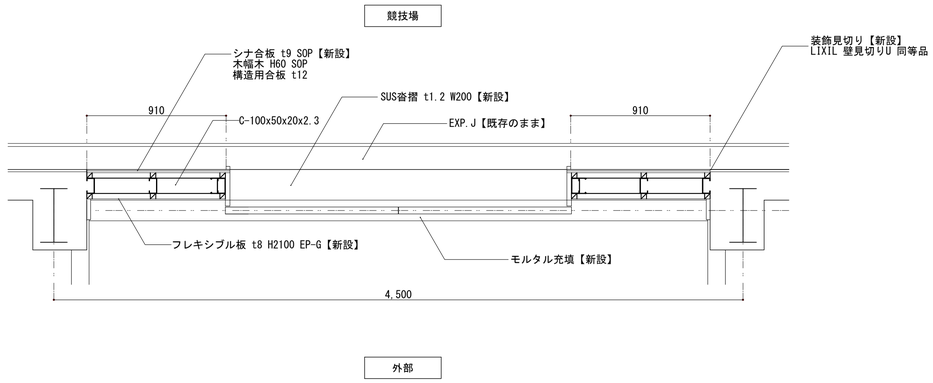


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	4枚引き違い戸	2枚引き分けハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	網入りガラス 6.8mm	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図 1/20



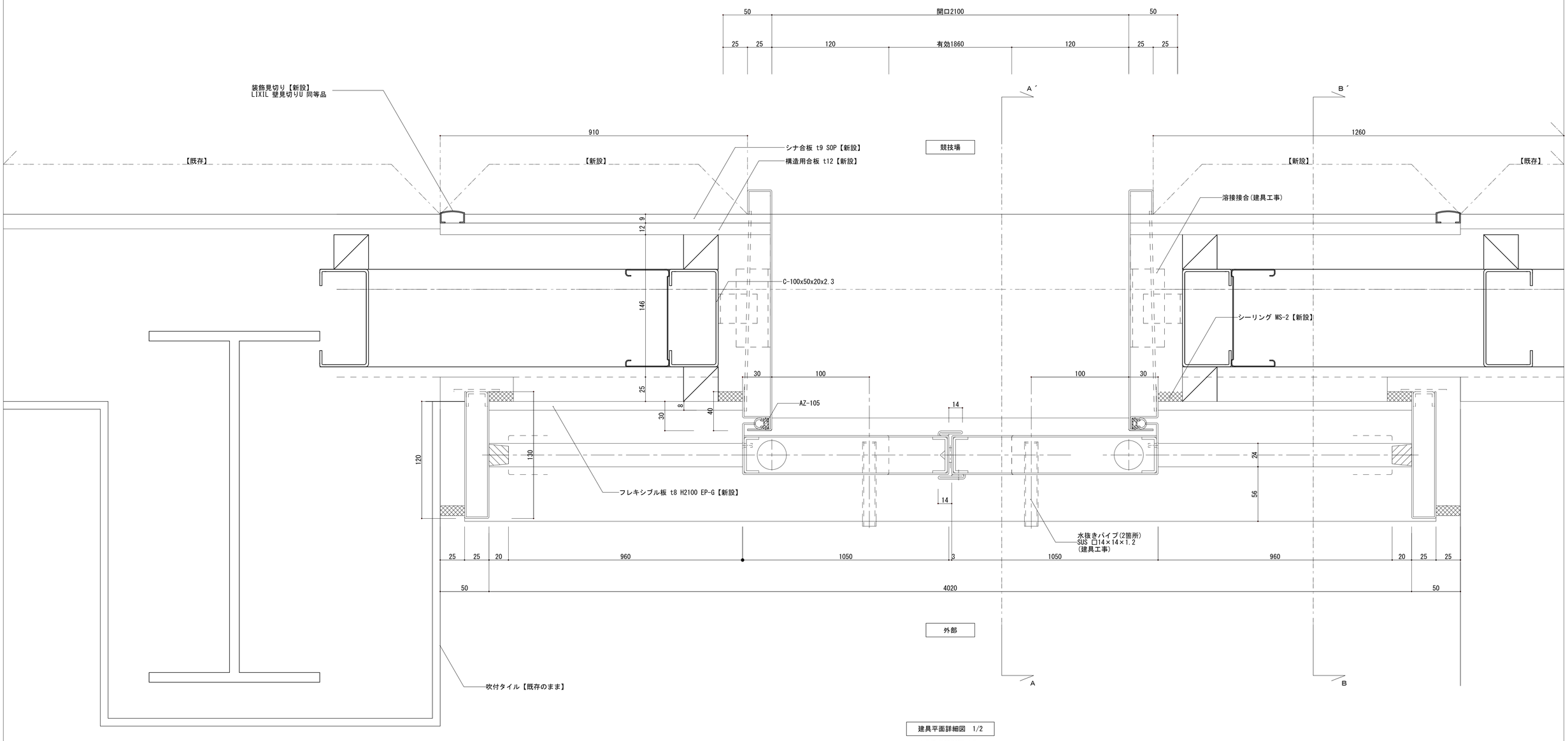
【改修後】平面図 1/20

凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

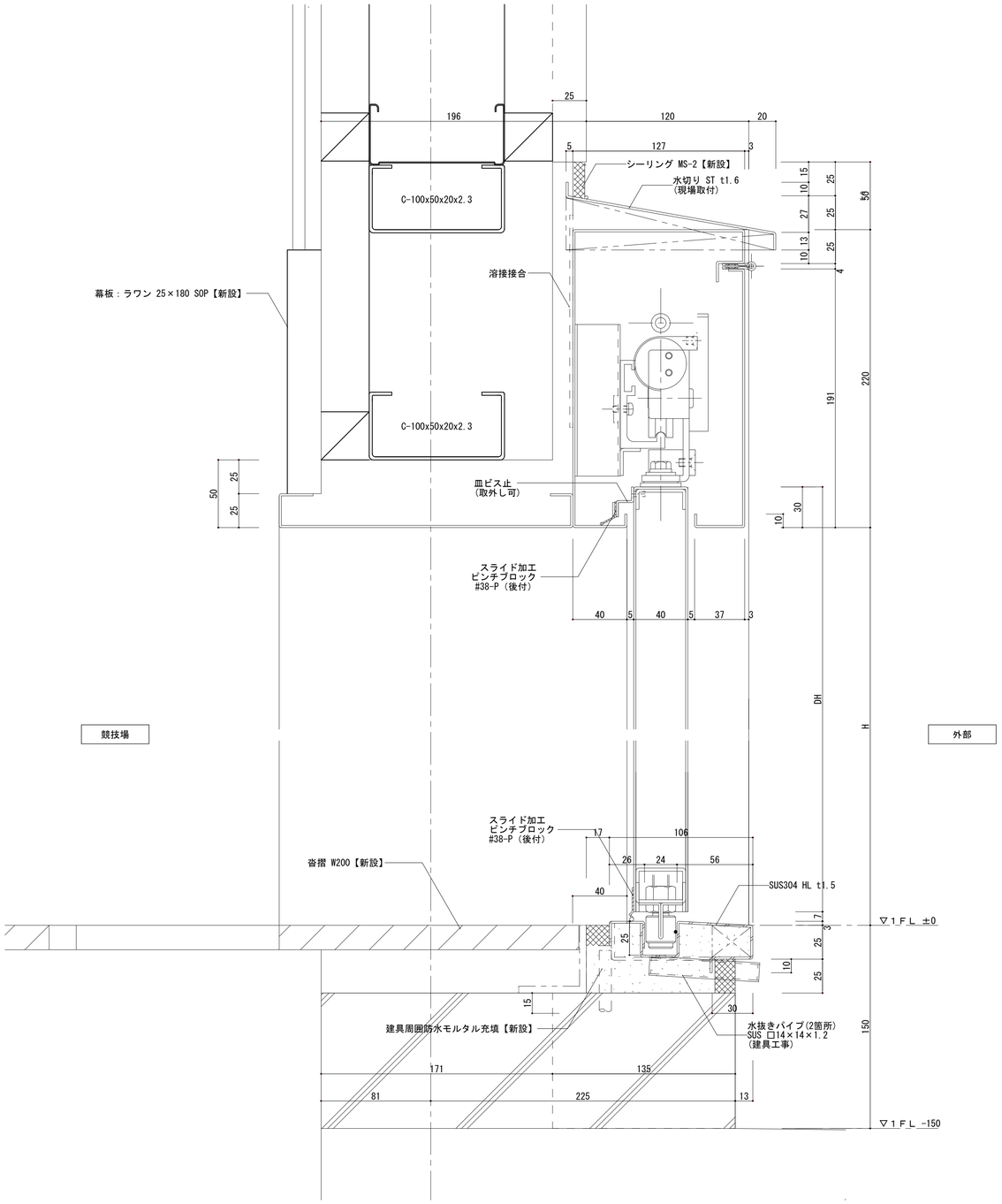
工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

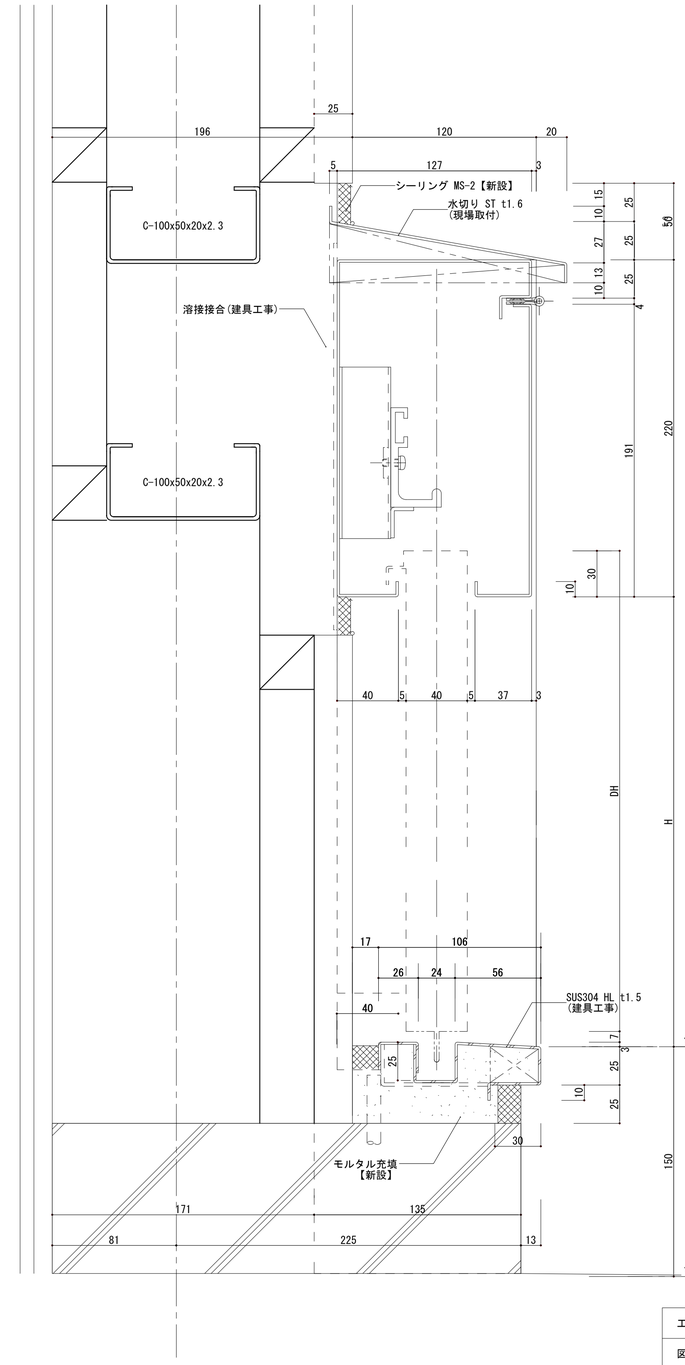
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



A－A´建具断面詳細図　1/2

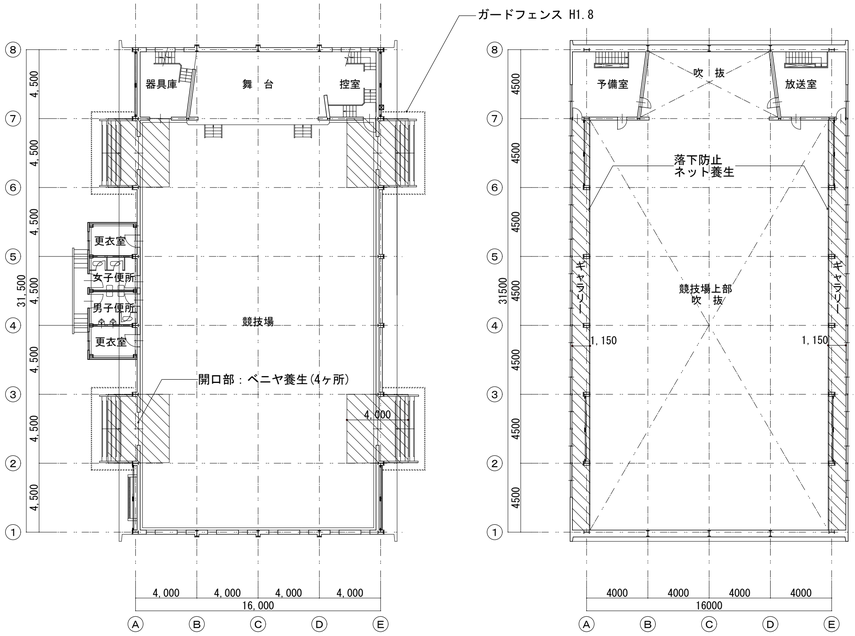
※現場測定確認する事



B－B´建具断面詳細図　1/2

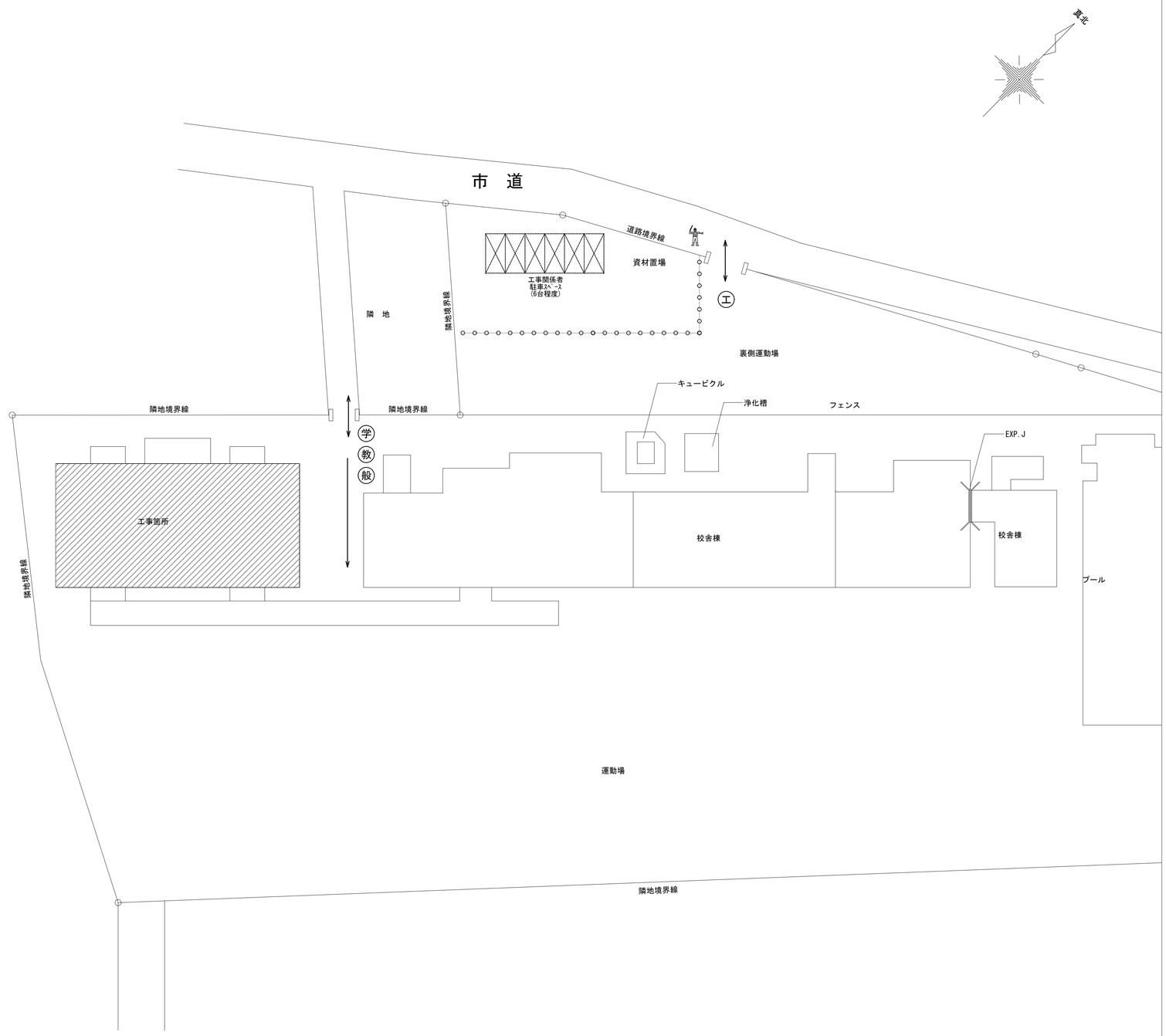
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

~~敷鉄板 t=22　1.5m×6.0~~

~~枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610~~

~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~

ガードフェンス　H1.8　総延長距離　44m

仮囲い：カラーコーン、コーンバー　総延長距離　65m

~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0　(2箇所)~~

交通誘導員を示す　　工事車両搬出入時に適宜配置とする

動線を示す　　(学) 生徒・学校関係者を示す

(教) 教員車両を示す

(般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事

図　面　リ　ス　ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・400

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立牧野原小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

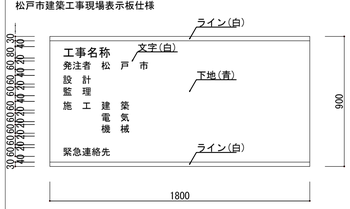
1. 工事場所　松戸市牧の原４３５番地の１
2. 敷地面積　15,700　㎡
3. 改修建物概要
   - 用　　途：小学校(体育館)
   - 構　　造：S造
   - 階　　数：地上２階
   - 建築面積：
   - 延べ面積：497㎡
   - 最高高さ：10.00m（軒高：8.00m）
4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	仮囲い・資材置場
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	-
5　建具改修工事	外部建具の新設(内外壁含む)、フィルム新設
6　内装改修工事	一部壁張替え
7　塗装改修工事	EP-G・SOP
8　耐震改修工事	-
9　環境配慮改修工事	-
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
   (1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。
2. 特記仕様
   (1)項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
   (2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
   　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
   　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
   (3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
   (4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
   (5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①運用基準等	⊙松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙工事写真の撮り方 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ⊙松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所 着工後の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所
	⑫ 完成図等	※作成図　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　部
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部(　)　内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

章	項　目	特　記　事　項
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

章	項　目	特　記　事　項
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる ※有償　・無償)　※子メータを設置する。　[2.4.1]
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
	⑨仮囲い	⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
③ 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護	※P1B		・B-1　※B-2
	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防水	・P2AI		・AI-1　※AI-2
	※P2A		・A-1　※A-2
露出防水	・M4C		・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

章	項　目	特　記　事　項
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

章	項　目	特　記　事　項
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

章	項　目	特　記　事　項
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・鋼	・(　)㎡当たり1箇所

章	項　目	特　記　事　項
	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ⊙シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

章	項　目	特　記　事　項
	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃　除　口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3] ・図示
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

章	項　目	特　記　事　項
	9 折板葺	板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3] (13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

章	項　目	特　記　事　項
4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
		撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・火損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗いエ法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材C-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
		・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
		屋内建具
		表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
		・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
		網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
		形　式　・外部可動式　※固定式
	⑤ 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
		⊙建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	・建具表による	
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
		曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
		防火戸　・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

章	項目	特記事項
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
		・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。
		かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
		ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
		・鳥の子
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
		※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪ 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
		建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
		錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
		吊金物
		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
		・ピボットヒンジ
		⊙建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2]
		・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

章	項目	特記事項
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

章	項目	特記事項
	⑭ ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

章	項目	特記事項
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

章	項目	特記事項
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2]
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2][4.4.9]
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

木材の品質　図示　[6.5.2][表6.5.2～3]
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

行う箇所(　　)　[6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ　(mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

19 ポリスチレンフォーム床下地材

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

㉑ 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
⊙フレキシブル板	厚さ　・5.0　⊙8.0
⊙(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　⊙9.0
⊙構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　⊙12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	・準不燃品	※200 ・100	廻縁は縁付きとし製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ビルダイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐検製樹脂 二層成形φ40mm	図示による(機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						片ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質:ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質:ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼:※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台:※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材:※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書(3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
⑦塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	②下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

⑤つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC) フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

章	項目	特記事項
9 環境配慮(グリーン)改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｱﾃﾞｨﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｫﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾞﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階: 点、2階: 点、3階: 点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/?(目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

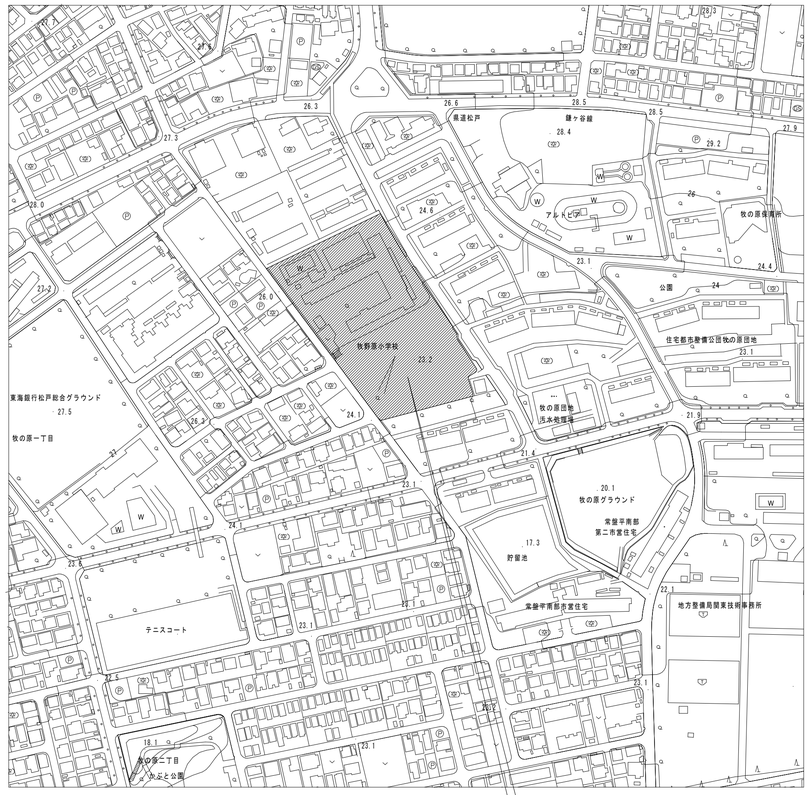
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

2 植栽工事
植樹 ・図示 (22.3.2)

樹種	寸法	数量	備考

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ(雑壁部分)			
		埋戻し、穴埋め(補強筋無し)			
		埋戻し、穴埋め(補強筋有り)			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み (開口補強有り)	○	○	○
		切込み (開口補強無し)	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器(水栓含む)				
	掃除用流し(水栓含む)				
	廊下流し台(排水トラップ含む)				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース(手摺・紙巻器用下地補強含む)				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

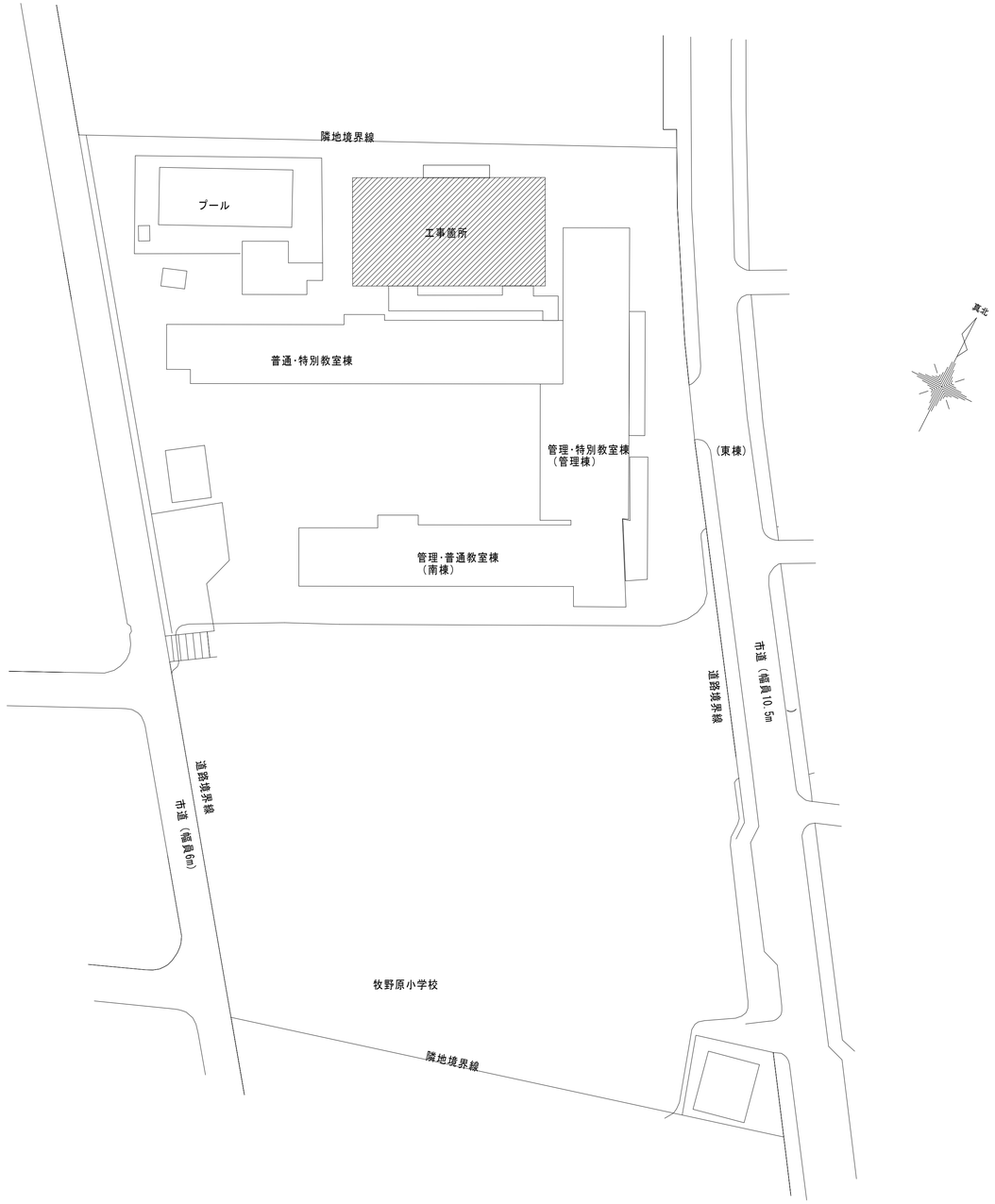
工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書(4)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工事場所：松戸市立牧野原小学校
地名地番：松戸市牧の原４３５番地の１

案内図　1/2500

工事場所を示す

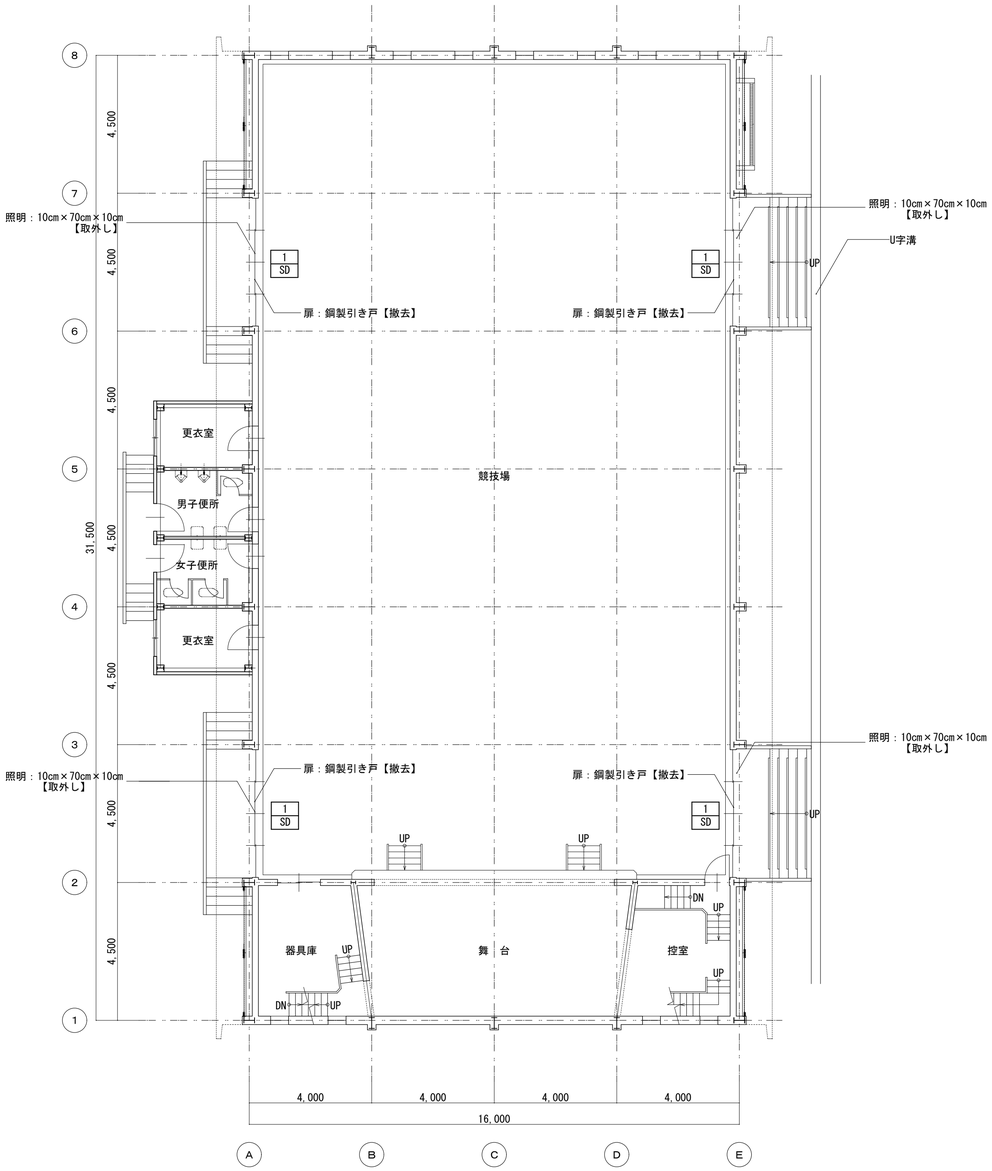


配置図　1/500

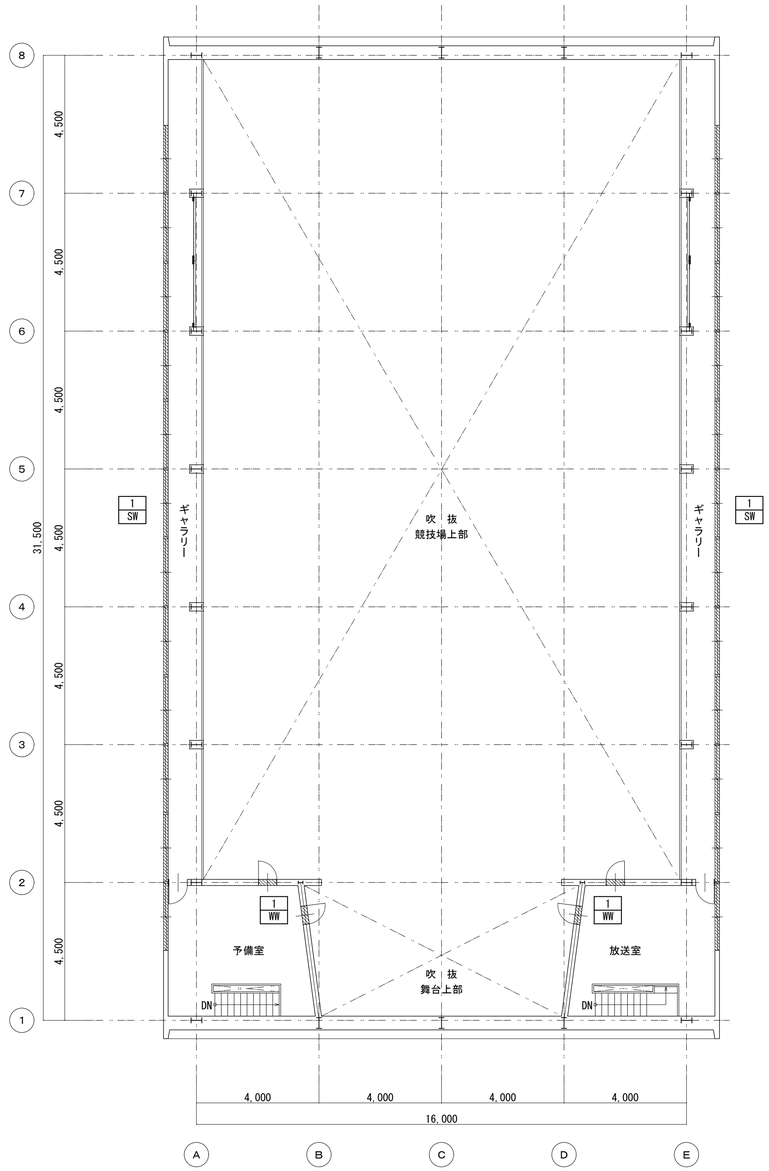
工事箇所を示す

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

建具名	既存フィルム撤去面積　　計93.00㎡
1 SW	1.75m×2.18m×24枚＝91.56㎡
1 WW	0.6m×0.6m×4枚＝1.44㎡

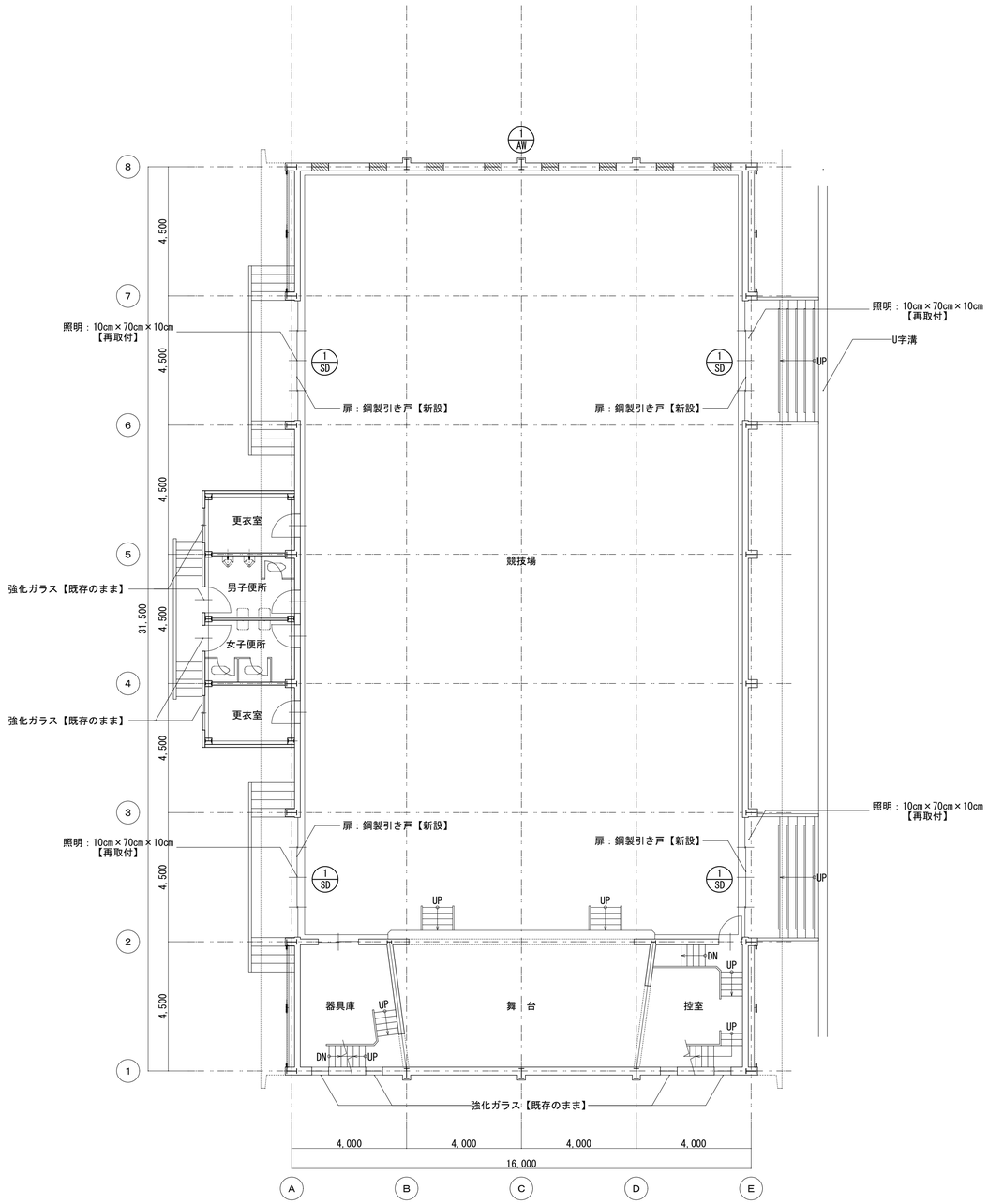
フィルム撤去範囲を示す

建具名	割れガラス撤去面積　計6.91㎡
1 SW	0.83m×1.04m×8枚＝6.9056㎡

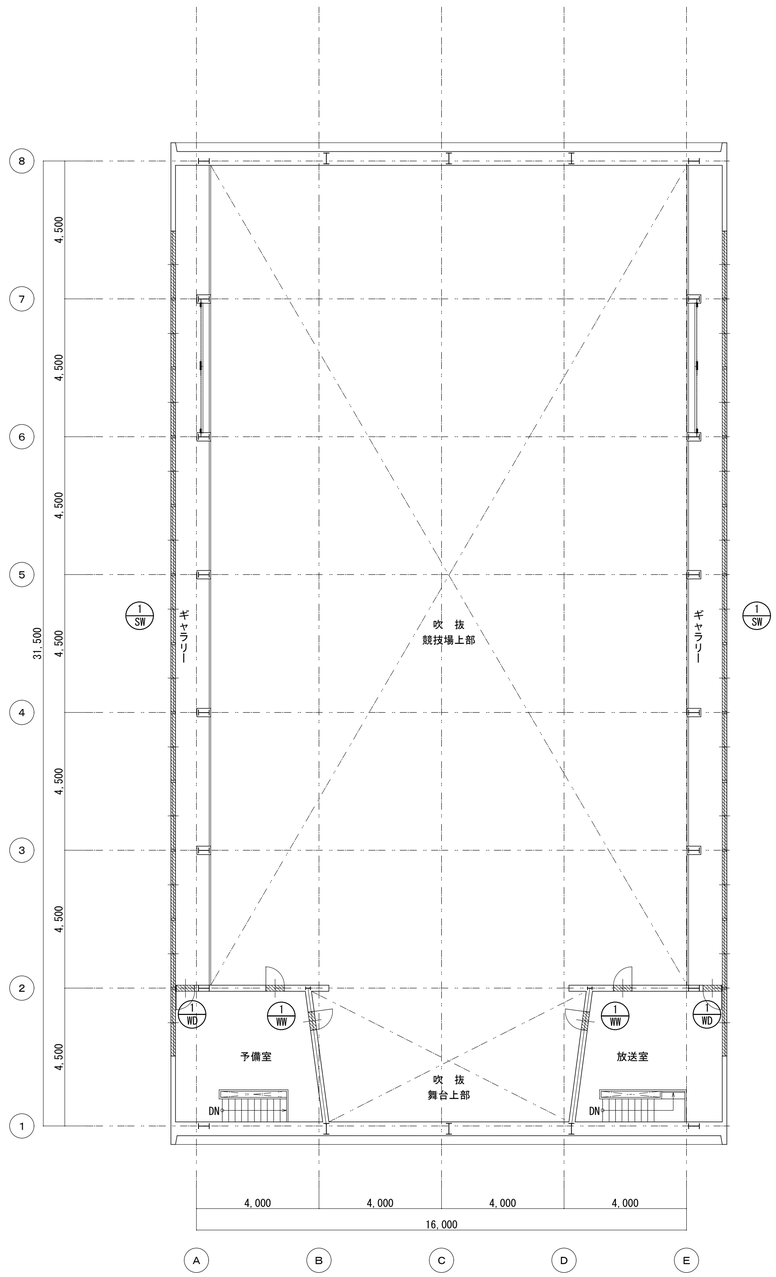
※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修前］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



１階平面図　1/100



２階平面図　1/100

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計2.22㎡
1/WW	0.6m×0.6m×4枚＝1.44㎡
1/WD	0.65m×0.6m×2枚＝0.774㎡

建具名	遮熱フィルム新設面積　内貼　計91.56㎡
1/SW	1.75m×2.18m×24枚＝91.56㎡

建具名	遮熱フィルム新設面積　外貼　計3.81㎡
1/AW	0.6m×0.795m×8枚＝3.81㎡

フィルム新設範囲を示す

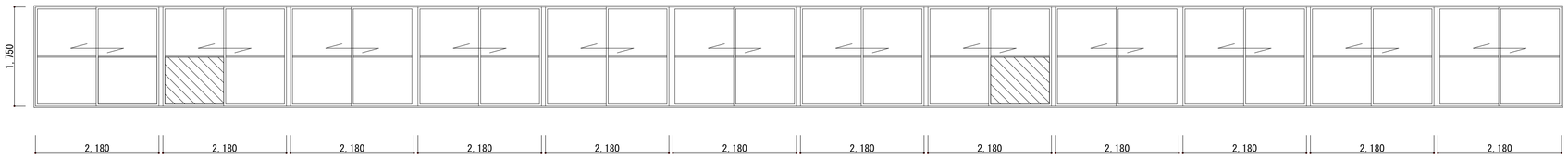
建具名	割れガラス新設面積　計6.91㎡
1/SW	0.83m×1.04m×8枚＝6.9056㎡

※新設箇所について建具表参照

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修後］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	1/SW 1/SW 北面 引き違い窓	1ヶ所

姿図

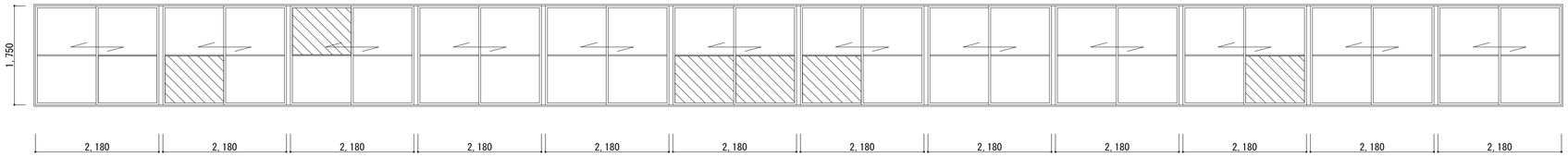


硝子の撤去・新設を示す

場所	競技場
硝子種類	透明硝子ｔ＝3.0、一部強化透明硝子ｔ＝4.0
硝子サイズ	姿図参照
備考	フィルムタイプＡ・Ｃ 硝子撤去後、強化透明硝子新設（フィルムタイプ・Ｃ）

記号・名称・個数	1/SW 1/SW 南面 引き違い窓	1ヶ所

姿図

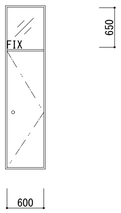


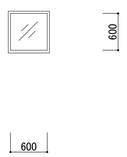
硝子の撤去・新設を示す

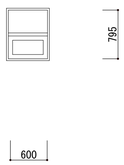
場所	競技場
硝子種類	透明硝子ｔ＝3.0、一部強化透明硝子ｔ＝4.0
硝子サイズ	姿図参照
備考	フィルムタイプＡ・Ｃ 硝子撤去後、強化透明硝子新設（フィルムタイプ・Ｃ）

記号・名称・個数	1/WD 片開きドア（フラッシュ）FIX	２ヶ所	1/WW 1/WW 片開き窓	4ヶ所	1/AW 上げ下げ窓	８ヶ所

姿図







場所	放送室・予備室	放送室・予備室	競技場
硝子種類	透明硝子ｔ＝3.0	透明硝子ｔ＝3.0	網入り型硝子ｔ＝6.8
硝子サイズ	姿図参照	姿図参照	姿図参照
備考	フィルムタイプ・Ｇ	フィルムタイプ・Ｇ	フィルムタイプ・Ｆ

記号・名称・個数	
場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備考	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子		方角	東・西・南	北	
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

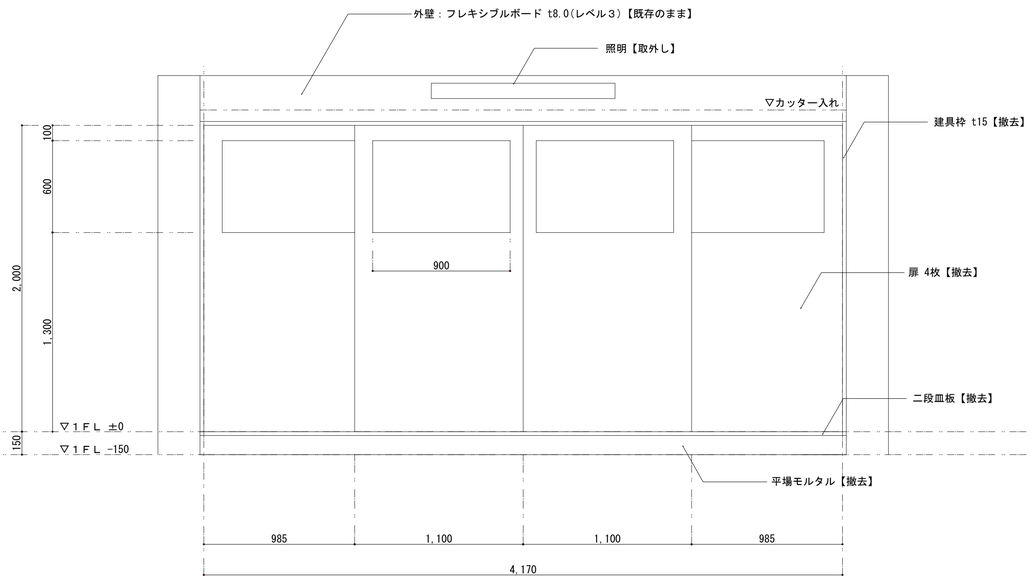
既存硝子		方角	全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

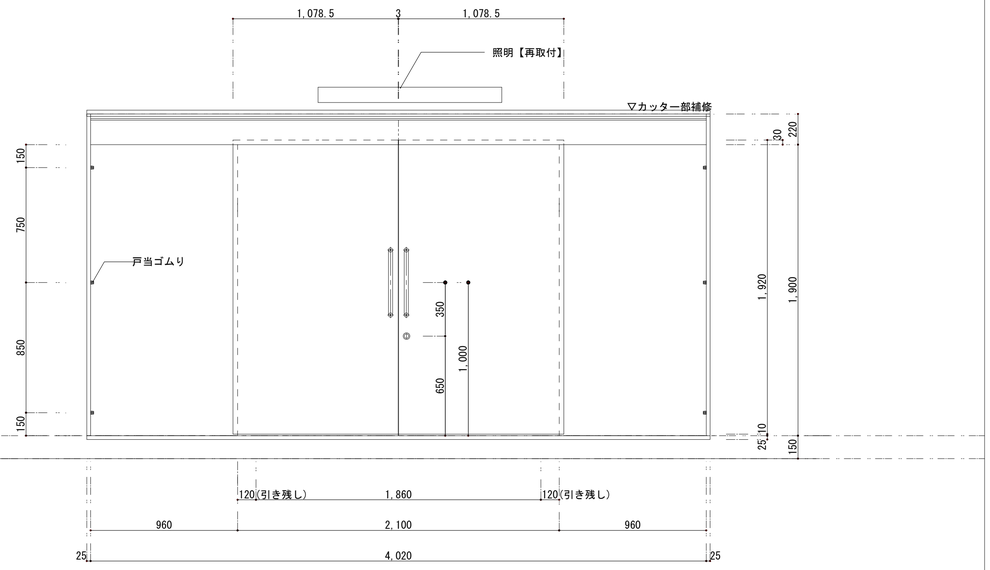
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1/SD × 4箇所【撤去】	1/SD × 4箇所【新設】

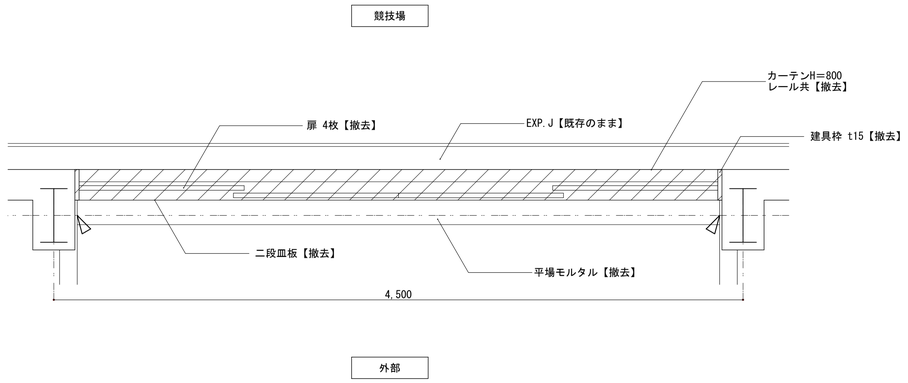
姿図・寸法



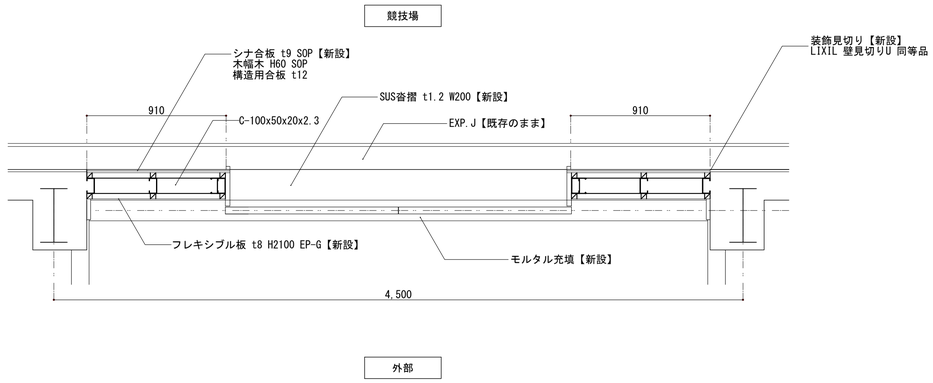


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	4枚引き違い戸	2枚引き分けハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	網入りガラス 6.8mm	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図 1/20



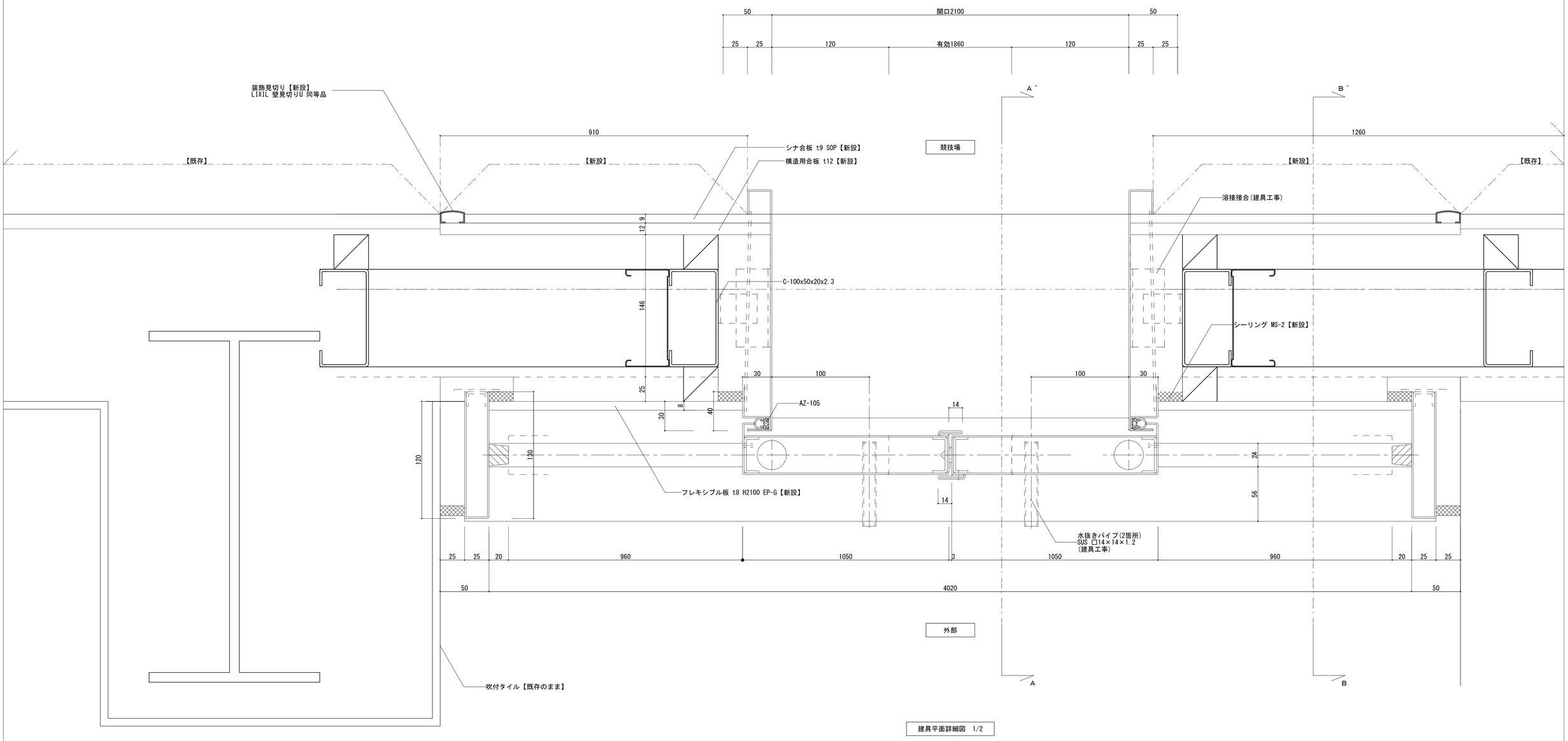
【改修後】平面図 1/20

凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

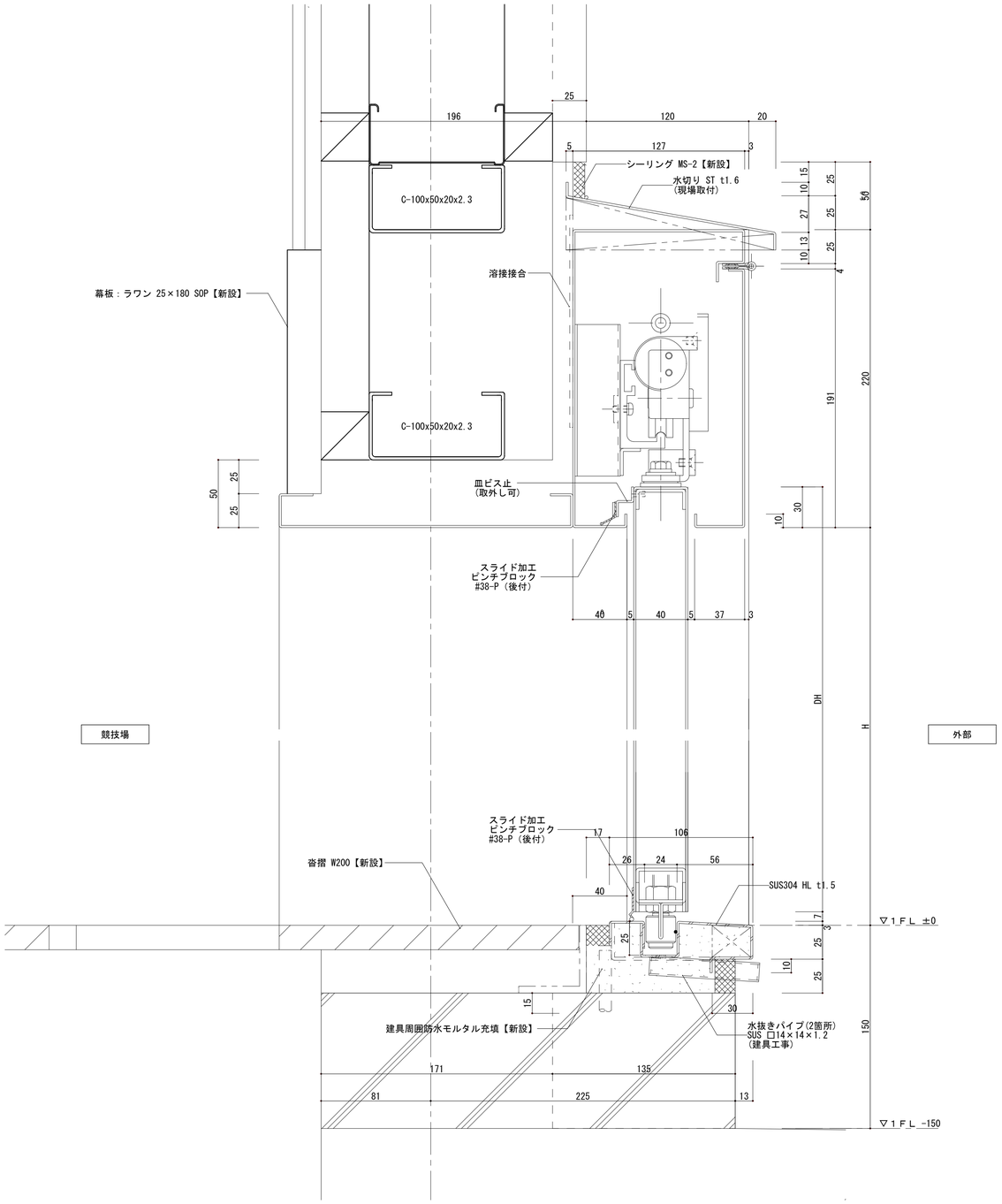
工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

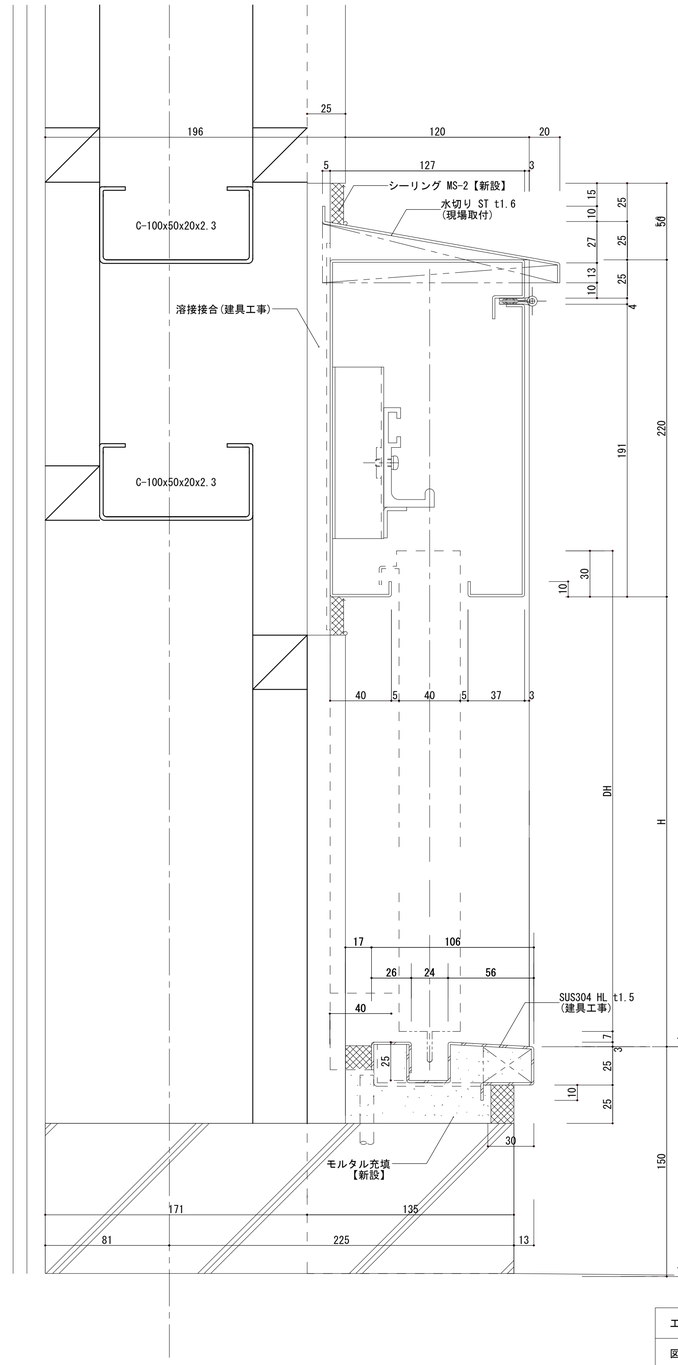
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



Ａ－Ａ´建具断面詳細図　1/2

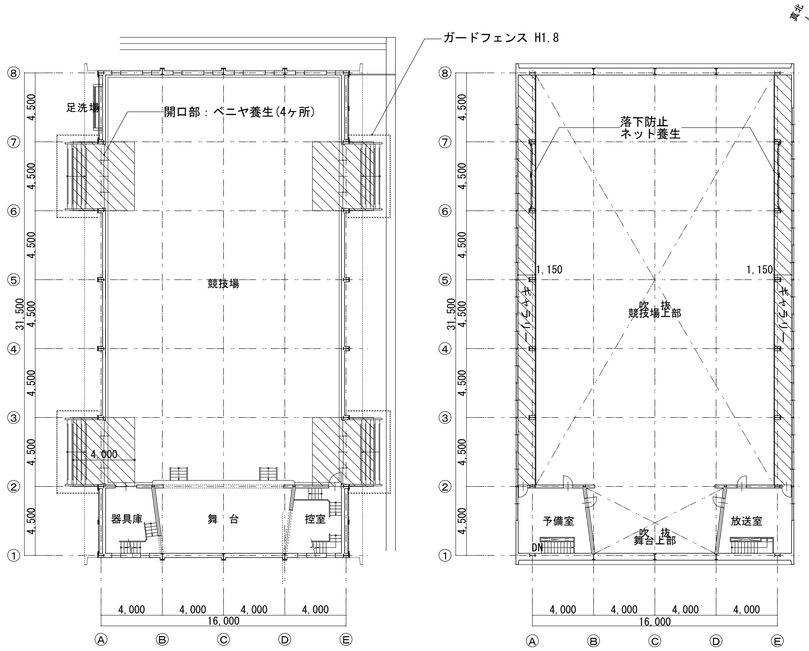
※現場測定確認する事



Ｂ－Ｂ´建具断面詳細図　1/2

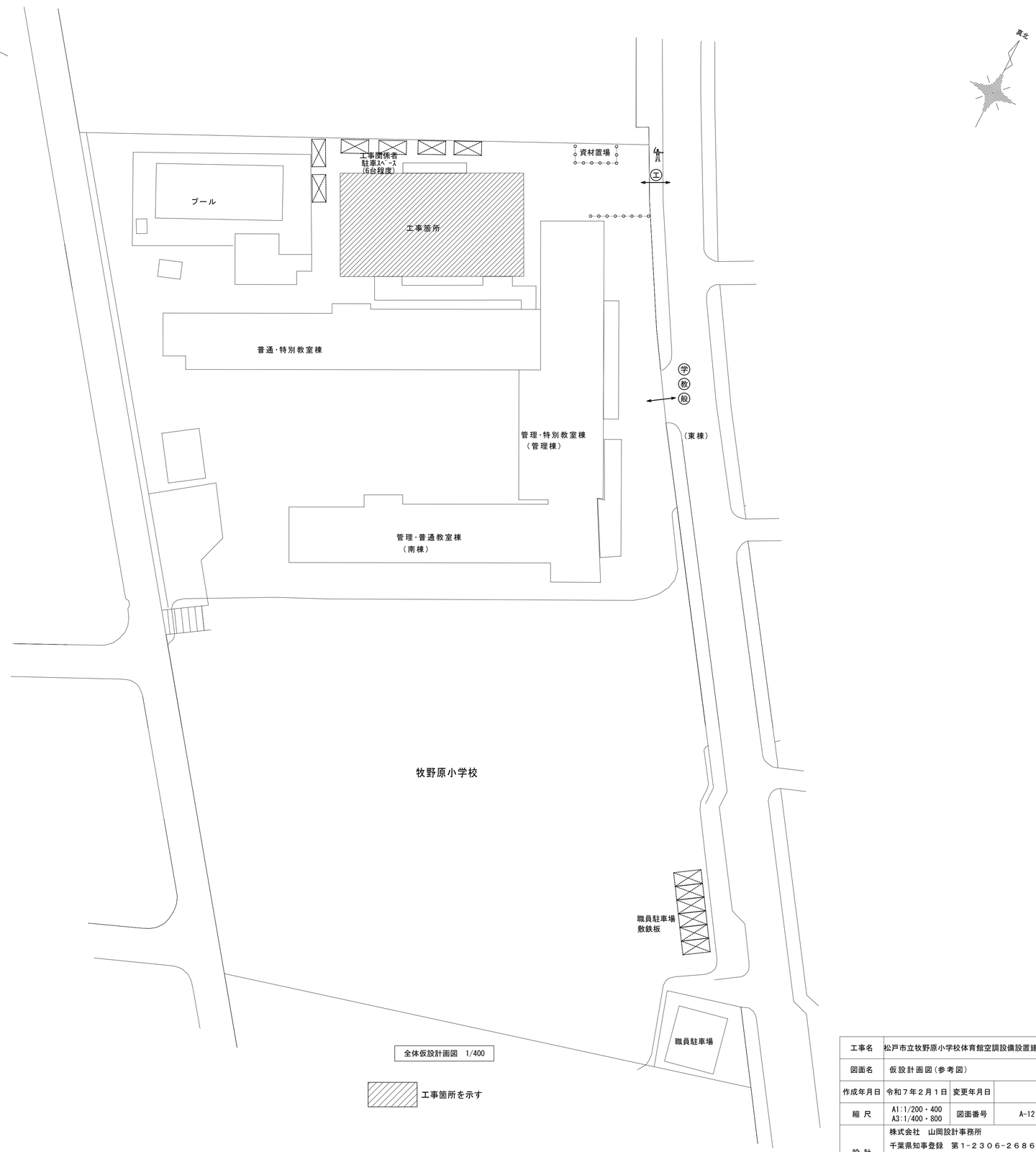
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



内部仮設計画図 1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図 1/400

工事箇所を示す

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

敷鉄板 t=22

~~枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610~~

~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~

ガードフェンス H1.8 総延長距離 44m

仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 30m

~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0~~

交通誘導員を示す　工事車両搬出入時に適宜配置とする

動線を示す　(学) 生徒・学校関係者を示す

(教) 教員車両を示す

(般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・400 A3:1/400・800	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事

図　面　リ　ス　ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立貝の花小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市小金原八丁目１０番地

2. 敷地面積　23,140　㎡

3. 改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：S造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：497㎡
- 最高高さ：10.00m（軒高：8.00m）

4. 工事内容

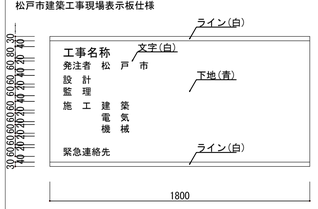
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	仮囲い・資材置場
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	-
5　建具改修工事	建具の新設(外壁含む)、フィルム新設
6　内装改修工事	-
7　塗装改修工事	EP-G
8　耐震改修工事	-
9　環境配慮改修工事	-
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1) 材料
1) 耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2) 注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①運用基準等	⊙ 松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙ 工事写真の撮り方 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ⊙ 松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

11 化学物質の濃度測定　[1.6.9]
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　・行う
測定対象室　・体育館
測定箇所数　・1箇所

着工後の測定　・行う
測定対象室　・体育館
測定箇所数　・1箇所

⑫ 完成図等　[1.8.1～3][表1.8.1]
※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R))
・黒　金文字製本図　1部
・施工図　提出部数　※　　部

章	項　目	特　記　事　項
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部(　)　内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事 ①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない

3 仮設間仕切り　仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]
7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
8 仮門	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
⑨仮囲い	⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水　[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2 改質アスファルトシート防水　[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

4 塗膜防水　[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

5 脱気装置　[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　)㎡当たり1箇所

⑥シーリング　シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2]
⊙シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1]
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

7 とい　といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1]
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G
鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3]
・次の箇所は行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃　除　口　※有り　・無し　・
たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
・　図示

8 アルミニウム製笠木　[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

9 折板葺　(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

④ 外壁改修工事 共通事項

1 施工数量調査　調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項

4 外壁改修工事　共通事項

2 改修材料

・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1 外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)

・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗

・樹脂モルタル　T3

4-2 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う(※監督職員の指示による)

2 ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法

・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗

・樹脂モルタル　T3

4-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り

タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

1 既存塗装等の撤去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材

※下地調整材C-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ

・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

⑤ 建具改修工事

1 改修工法の適用

[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等

・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具

外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

屋内建具
表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

4 網戸

防虫網 [5.2.3]
網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
形　式　・外部可動式　※固定式

⑤ 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
⊙建具表による

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
・建具表による

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
防火戸　・適用する [5.1.4]

8 自動ドア開閉装置

※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

9 自閉式上吊り引戸装置

品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
・製造所標準仕様による。

10 木製建具

※建具表による。
かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤

⑪ 建具用金物

マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
吊金物
・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
・ピボットヒンジ
⊙建具表による

12 ガラス

※建具表による [5.13.2]
・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

13 ガラス留め材及び溝

ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

⑭ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

15 重量シャッター

[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

16 軽量シャッター

[5.11.2][表5.10.1]
開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2]
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2][4.4.9]
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

木材の品質　図示　[6.5.2][表6.5.2～3]
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

行う箇所(　　)　[6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ (mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

19 ポリスチレンフォーム床下地材

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

㉑ 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
⊙フレキシブル板	厚さ　・5.0　⊙8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	・準不燃品	※200 ・100	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ (ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による (機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ比	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質:ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質:ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼:※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台:※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材:※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
⑦塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。

②下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

⑤つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC) フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

章	項目	特記事項
8耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

章	項目	特記事項
9環境配慮(グリーン)改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｱﾃﾞｨﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾞﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階: 点、2階: 点、3階: 点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/?(目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う
	10 1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

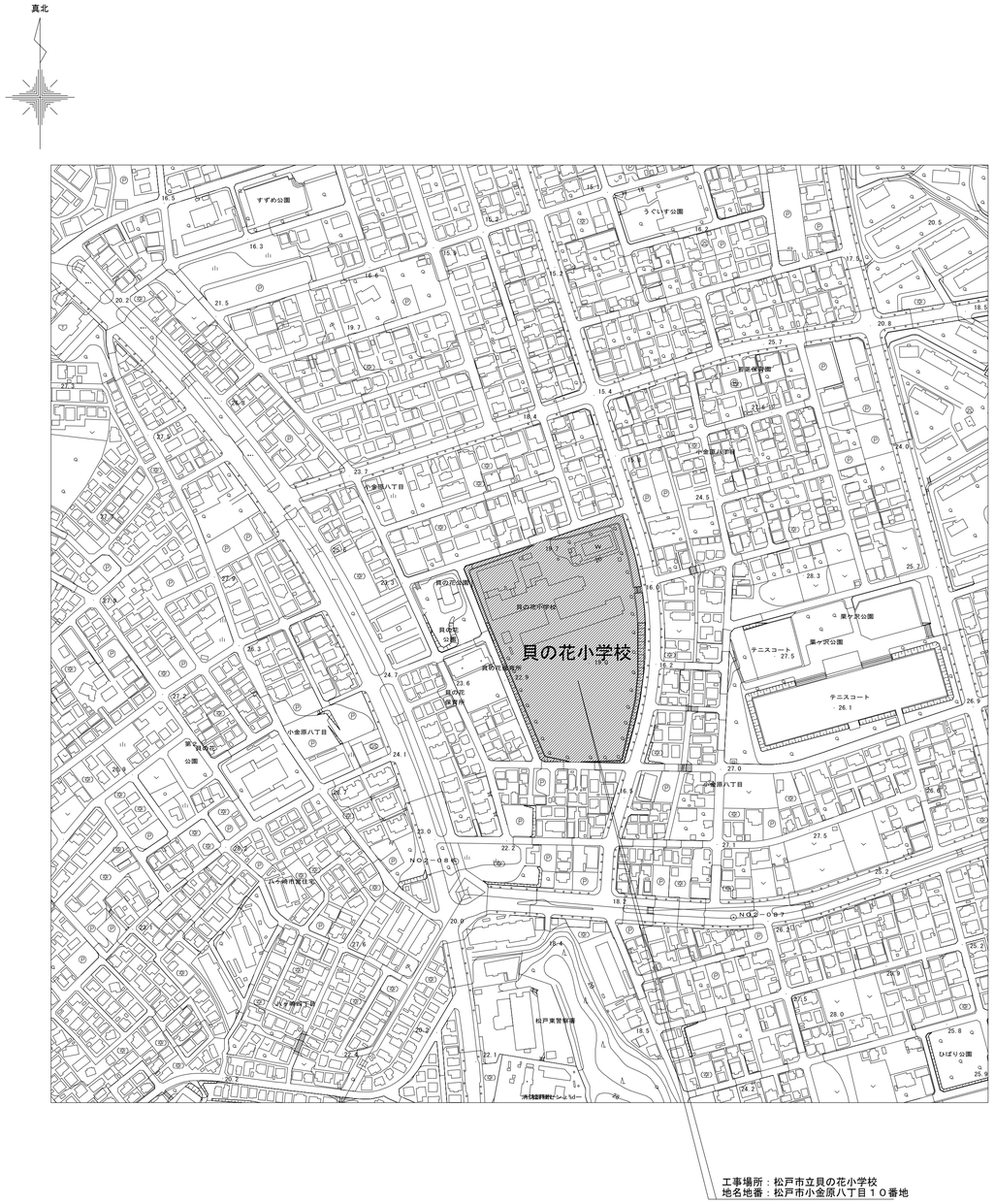
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

2 植栽工事 植樹 ・図示 (22.3.2)

樹種	寸法	数量	備考

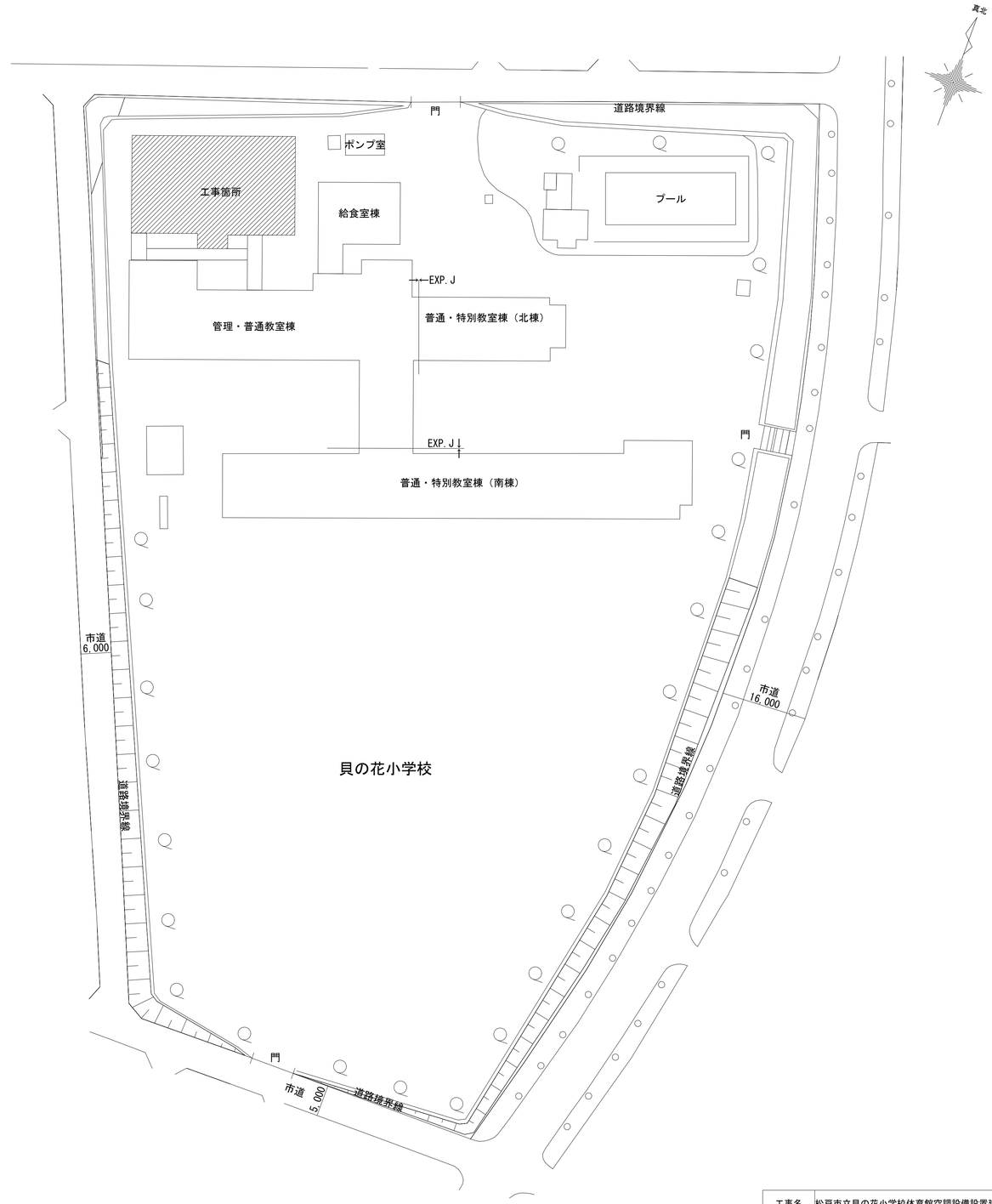
工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ(雑壁部分)			
		埋戻し、穴埋め(補強筋無し)			
		埋戻し、穴埋め(補強筋有り)			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み (開口補強有り)	○	○	○
		切込み (開口補強無し)	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器(水栓含む)				
	掃除用流し(水栓含む)				
	廊下流し台(排水トラップ含む)				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース(手摺・紙巻器用下地補強含む)				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書(4)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



案内図　1/2500

工事場所を示す

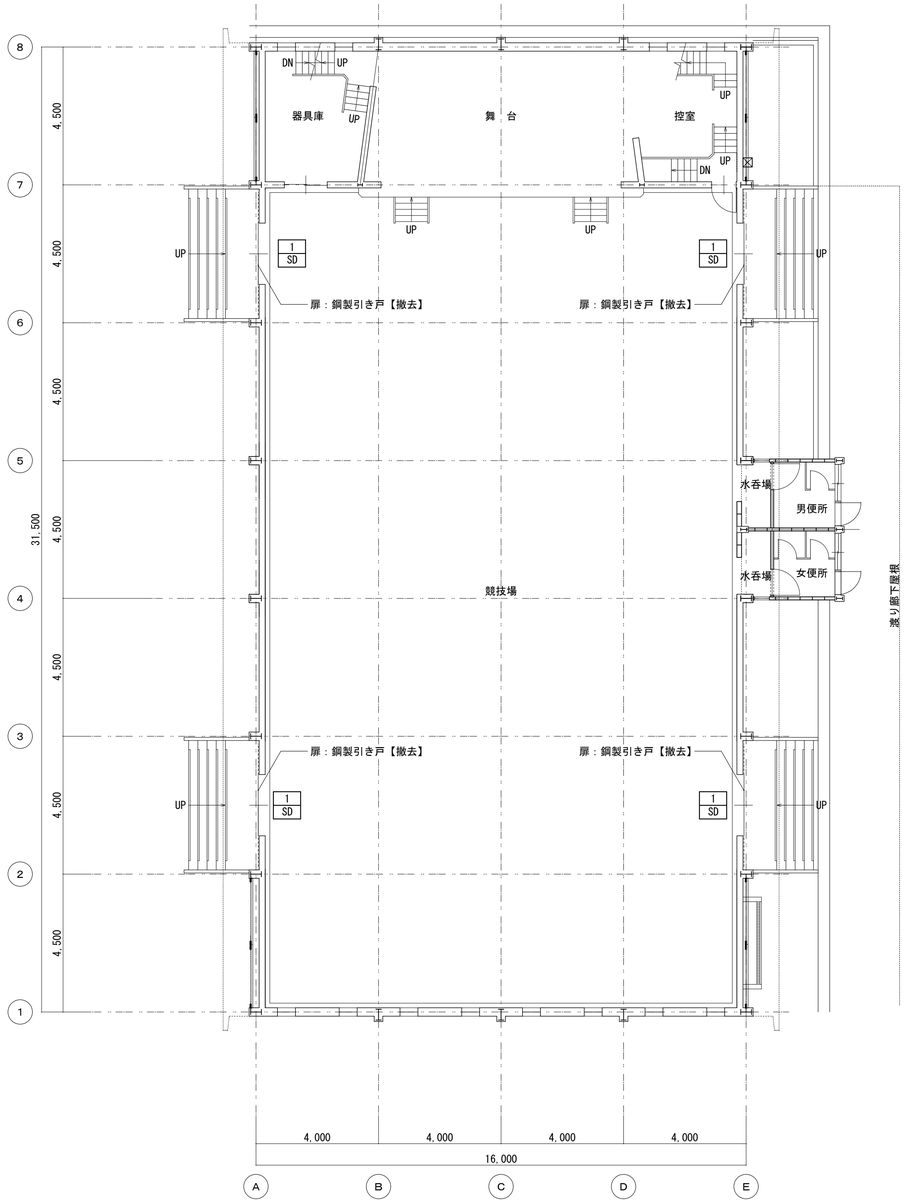


配置図　1/500

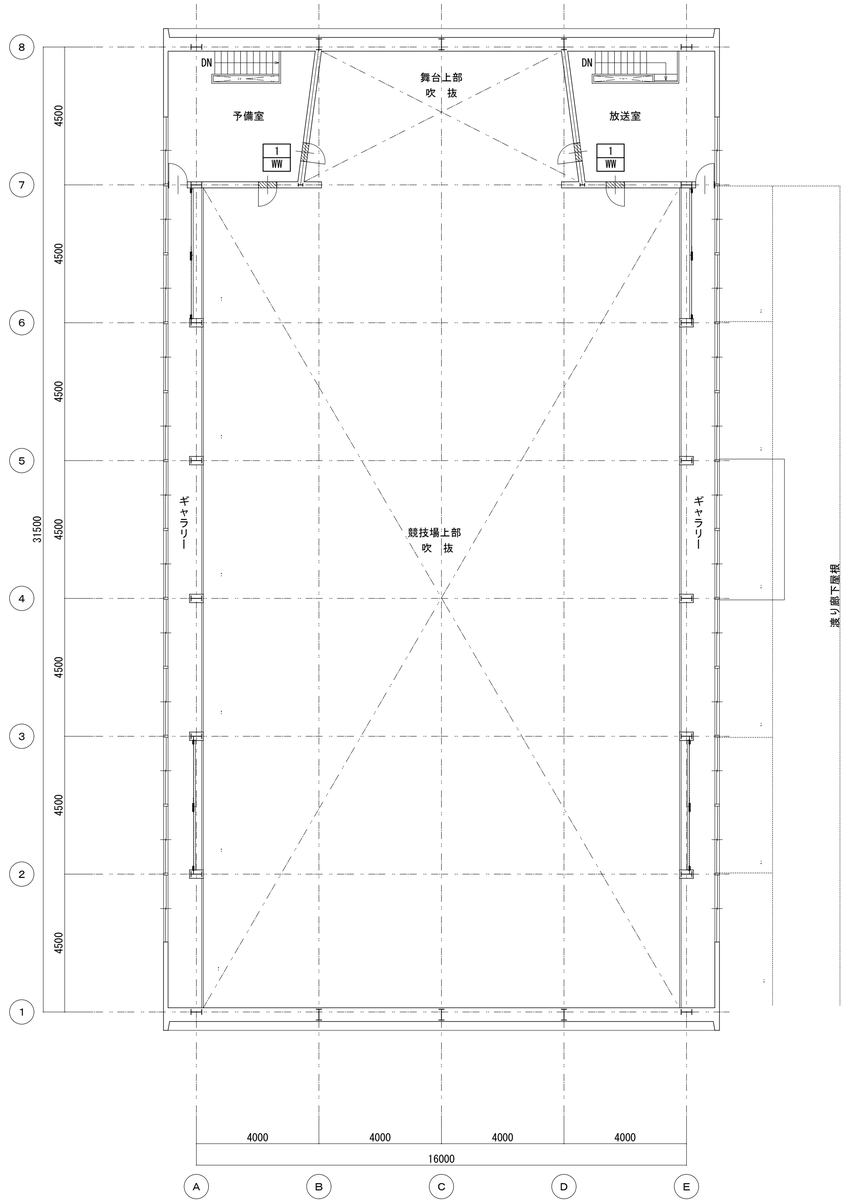
工事箇所を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１−２３０６−２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



１階平面図　1/100



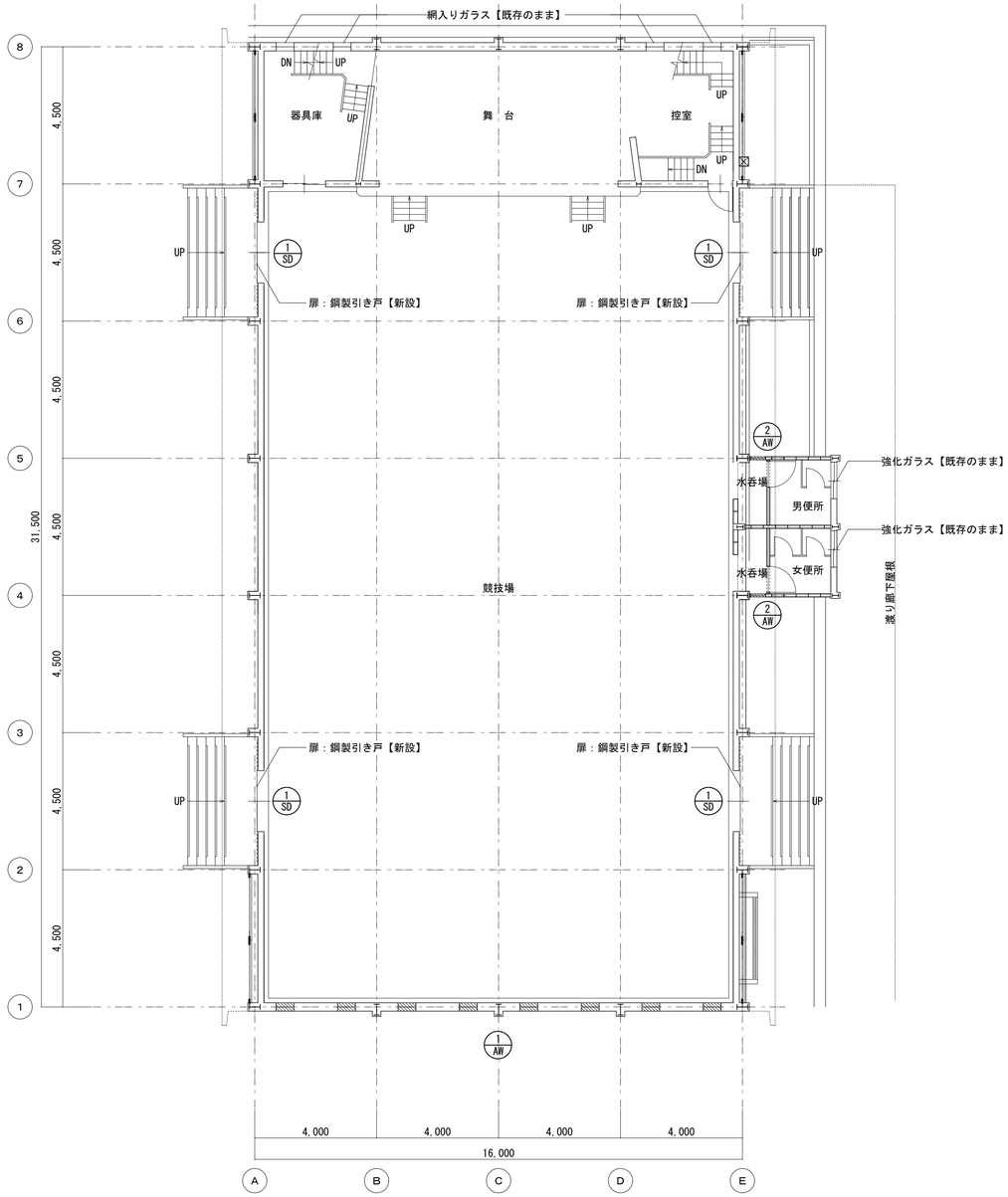
２階平面図　1/100

建具名	フィルム撤去面積　　計1.44㎡
1 WW	0.6m×0.6m×4枚＝1.44㎡

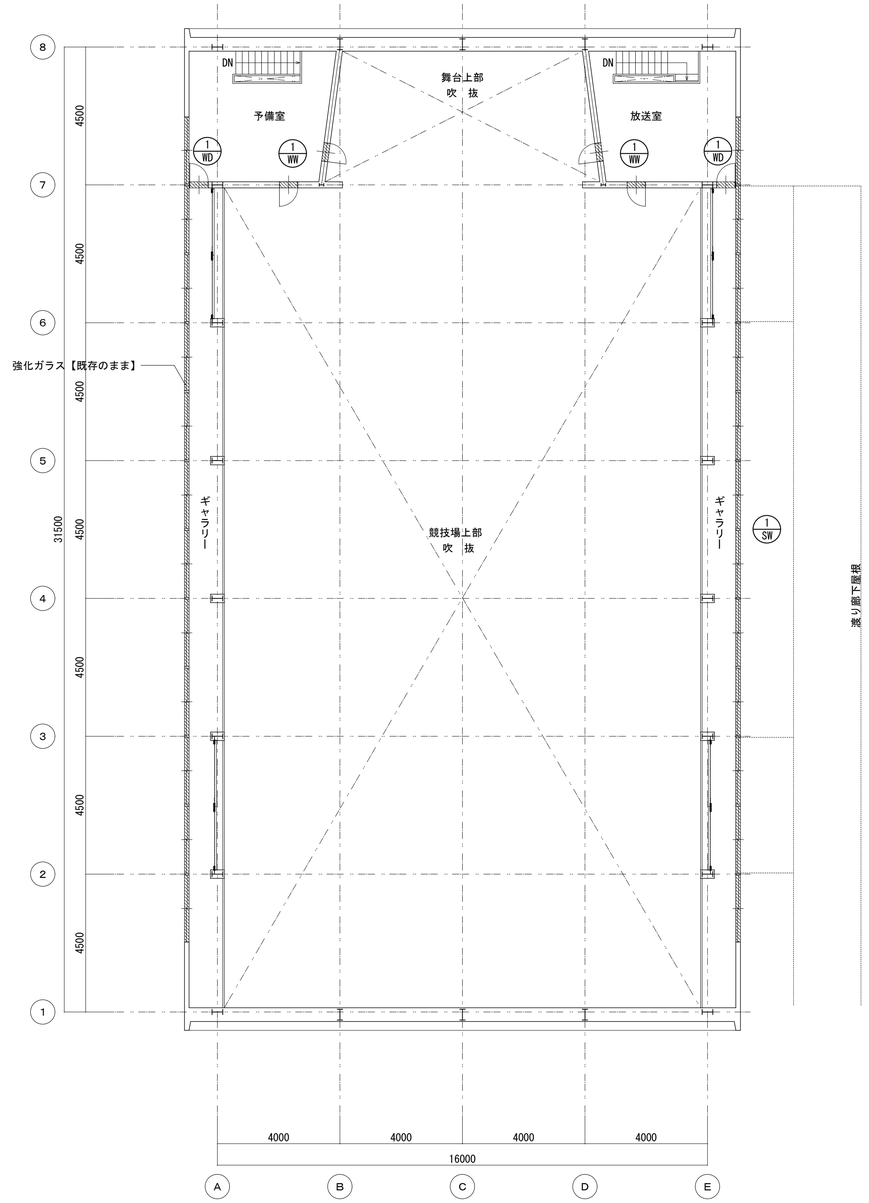
フィルム撤去範囲を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修前］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計2.16㎡
1/WW	0.6m×0.6m×4枚＝1.44㎡
1/WD	0.6m×0.6m×2枚＝0.72㎡

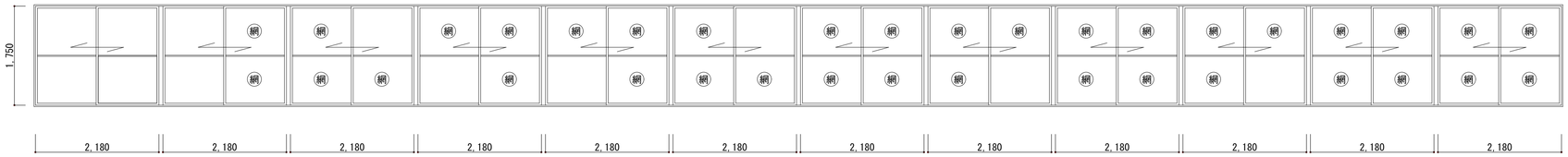
建具名	遮熱フィルム新設面積　外貼　計50.39㎡
1/AW	0.6m×0.795m×8枚＝3.81㎡
2/AW	0.5m×0.795m×2枚＝0.795㎡
1/SW	1.75m×2.18m×12枚＝45.78㎡

フィルム新設範囲を示す

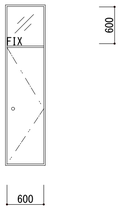
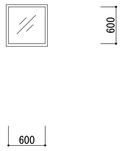
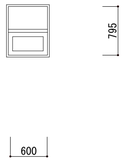
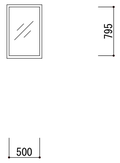
工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修後］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	1/SW 南面	引き違い窓	1ヶ所

姿　図



場所	競技場
硝子種類	型硝子・網入り型硝子ｔ＝4.0
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｂ、Ｆ

記号・名称・個数	1/WD 片開きドア(フラッシュ) FIX	２ヶ所	1/WW 1/WW 片開き窓	4ヶ所	1/AW 上げ下げ窓	８ヶ所	2/AW 上げ下げ窓	2ヶ所
姿　図								
場所	放送室・予備室		放送室・予備室		競技場		水飲み場	
硝子種類	透明硝子ｔ＝3.0		透明硝子ｔ＝3.0		網入り型硝子ｔ＝6.8		網入り型硝子ｔ＝6.8	
硝子サイズ	姿図参照		姿図参照		姿図参照		姿図参照	
備　考	フィルムタイプ・Ｇ		フィルムタイプ・Ｇ		フィルムタイプ・Ｆ		フィルムタイプ・Ｆ	

記号・名称・個数	
姿　図	
場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備　考	

記号・名称・個数	
場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備　考	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子		方角	東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

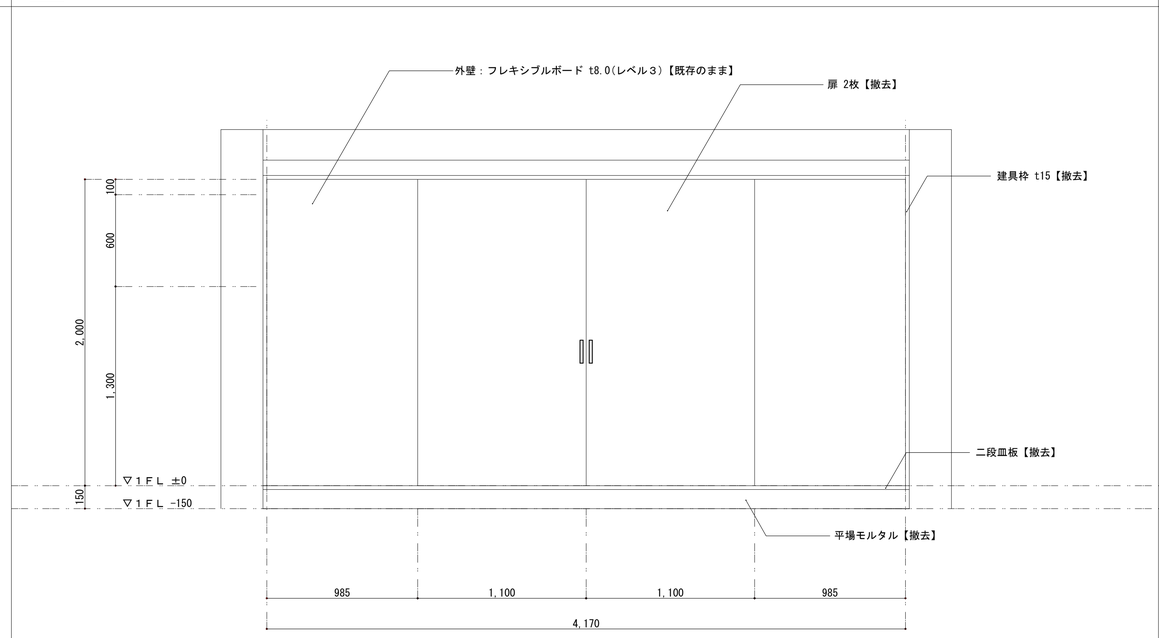
既存硝子		方角	全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

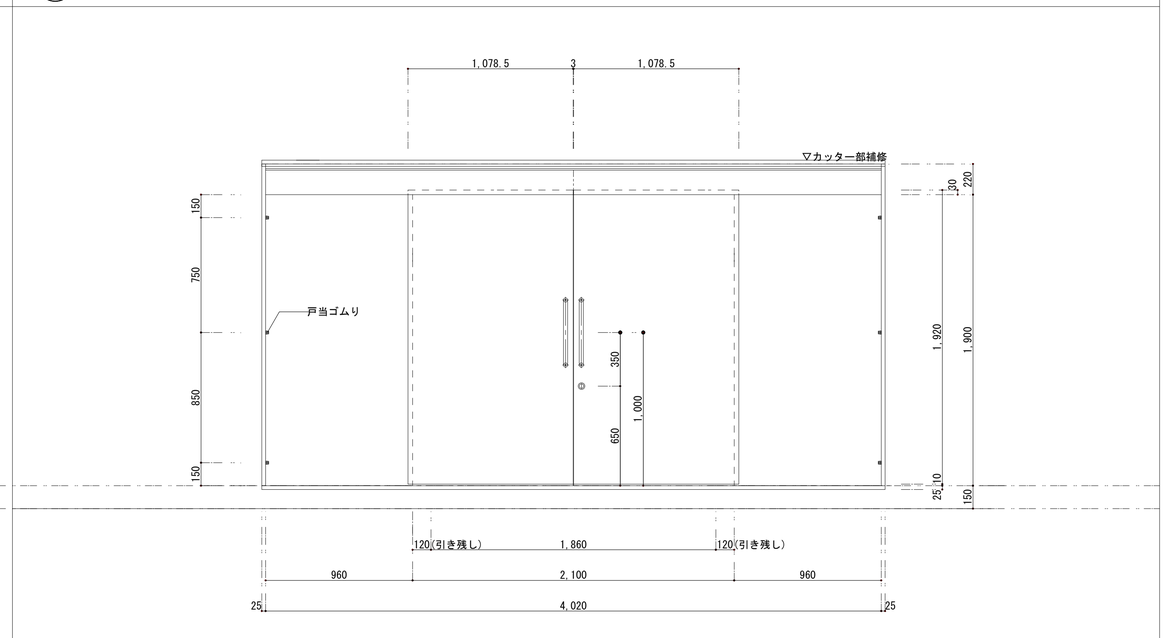
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1/SD × 4箇所【撤去】	1/SD × 4箇所【新設】

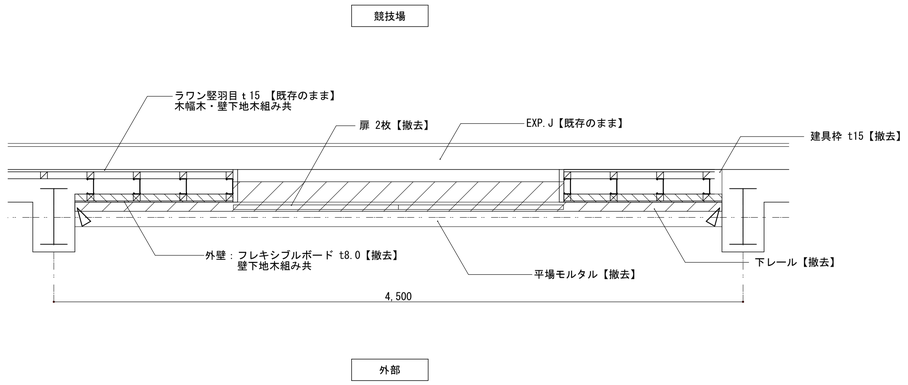
姿図・寸法



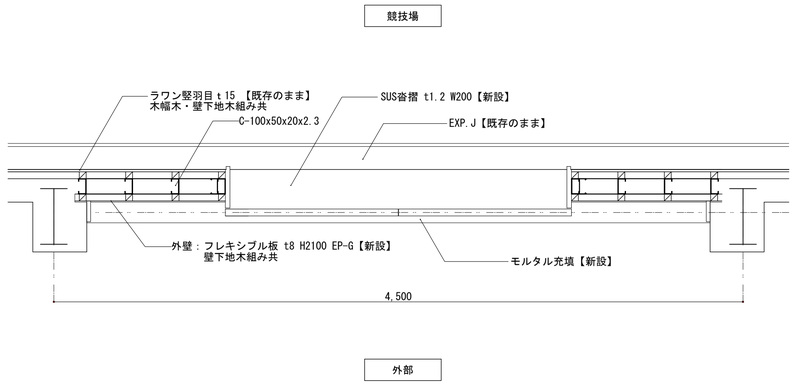


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き違い戸	2枚引き分けハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	－	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図 1/20



【改修後】平面図 1/20

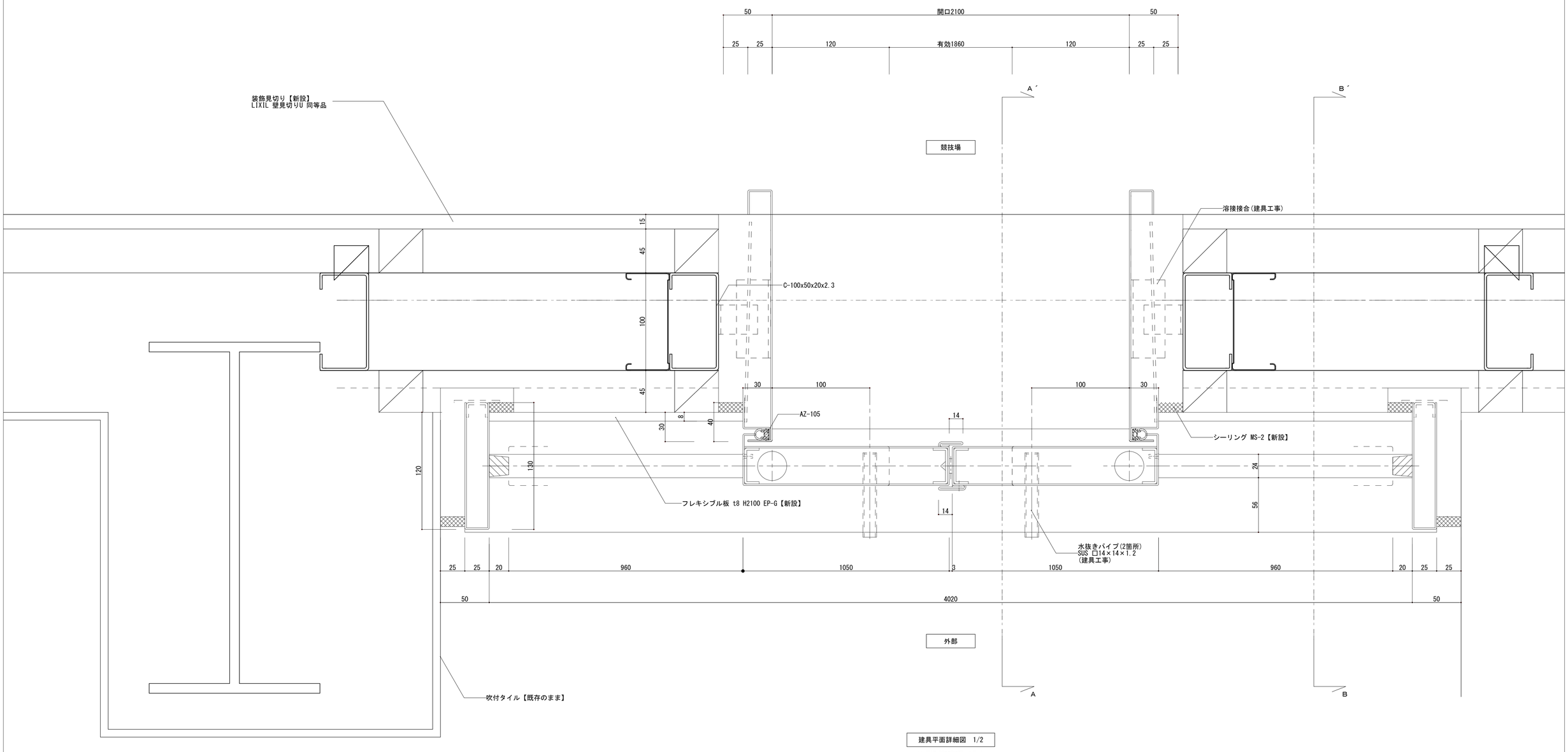
凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

壁撤去範囲を示す

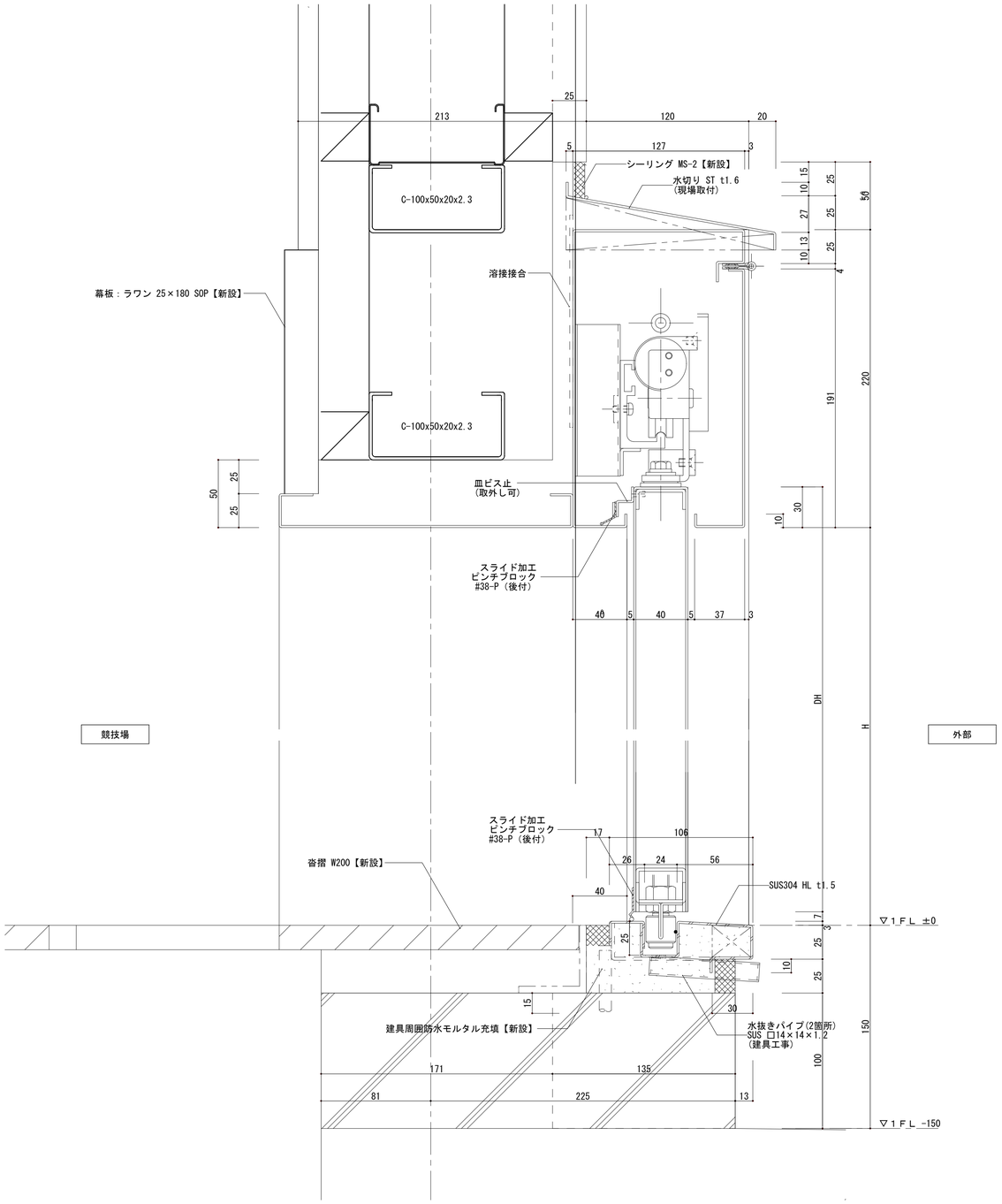
工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

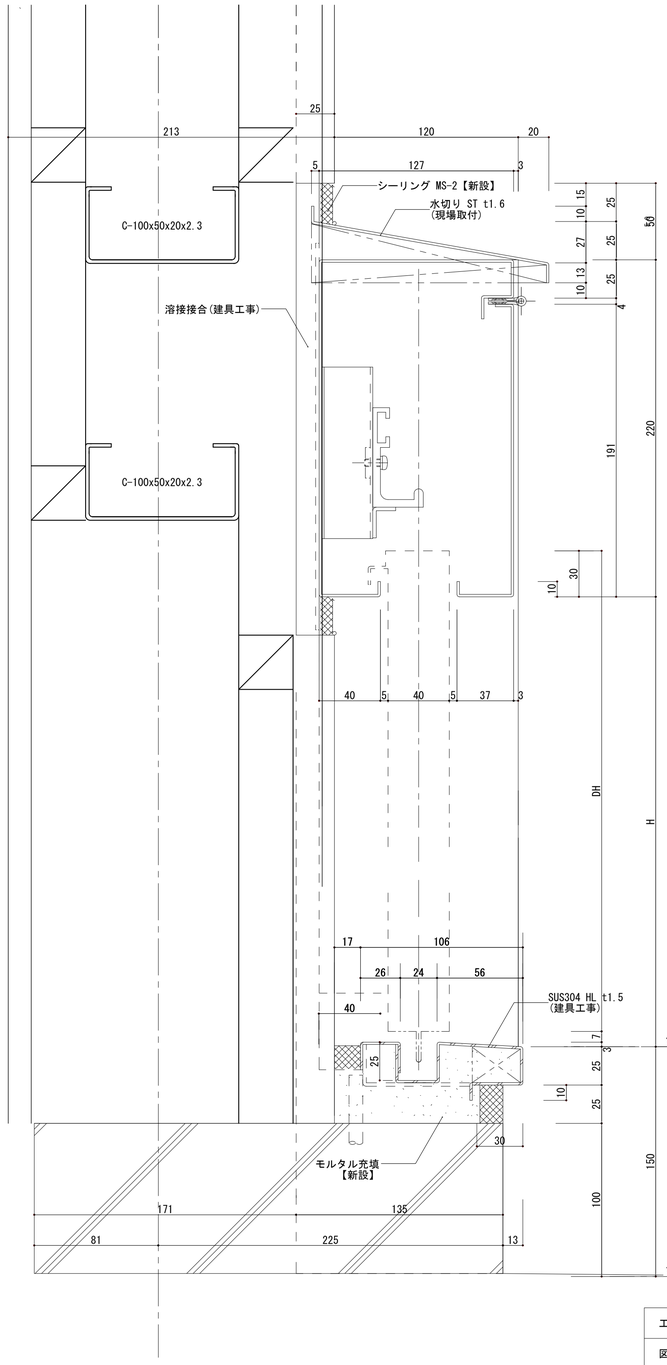
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



A－A´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事



B－B´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

仮設凡例

- ~~敷鉄板 t=22 1.5m×6.0~~
- 枠組足場：ネット養生シート(防炎2類)、金網敷養生枠 W=914・610
- ~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 44m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離
- ~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0 (2箇所)~~
- 交通誘導員を示す　工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す　(学) 生徒・学校関係者を示す
  (教) 教員車両を示す
  (般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

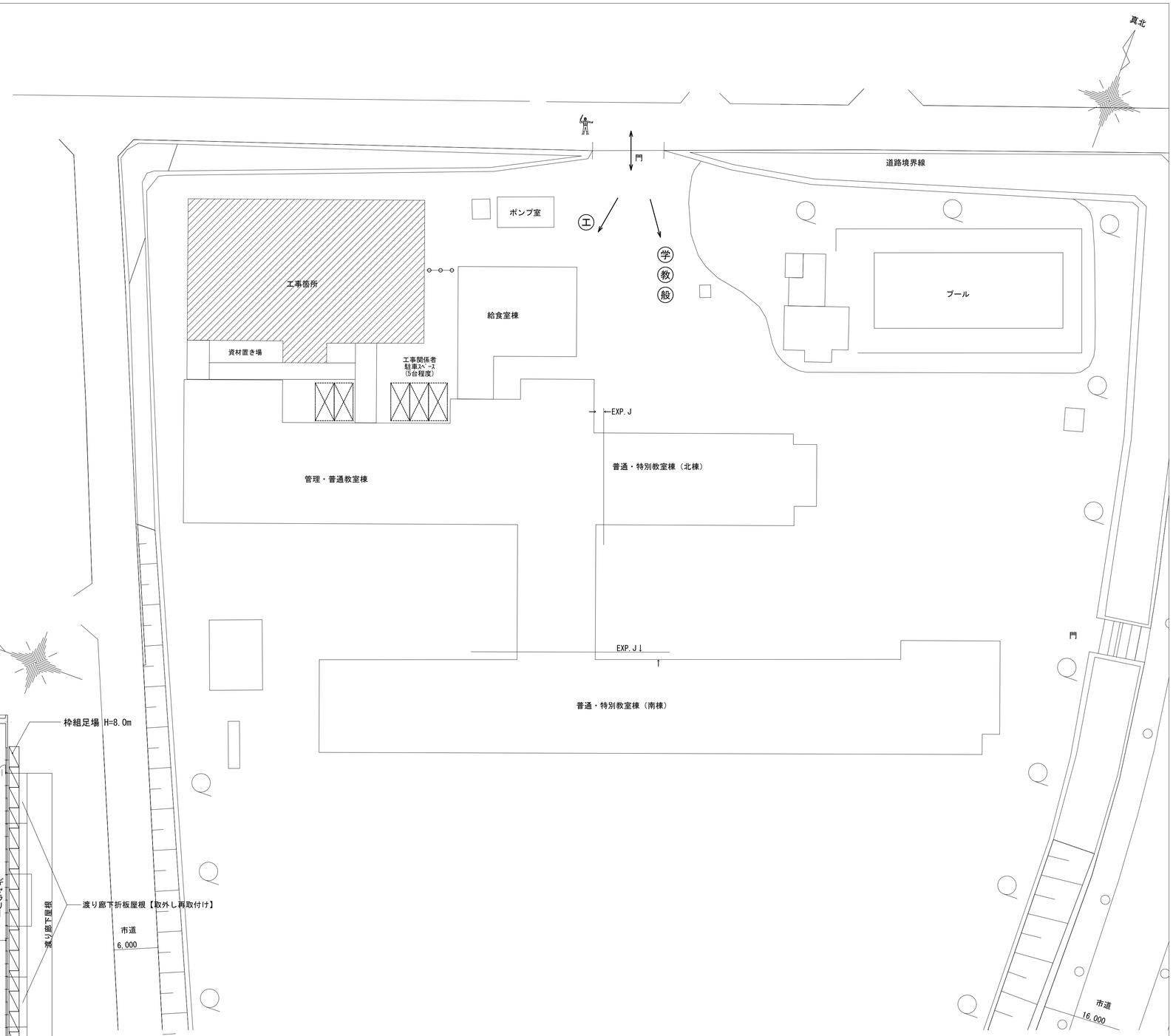
＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

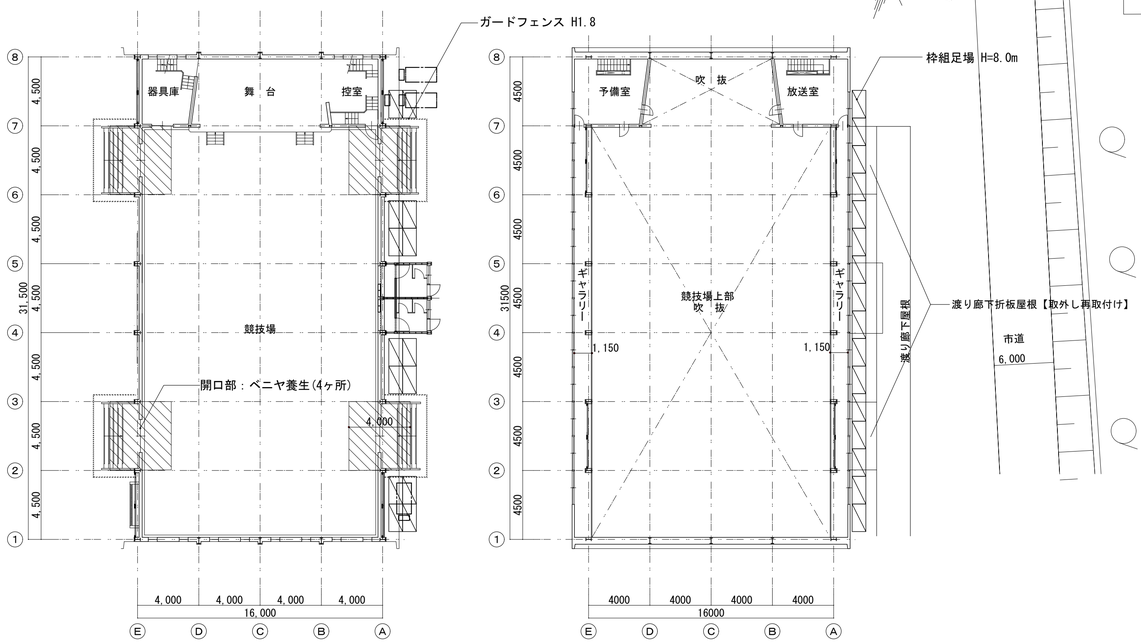
・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（参考図）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事

図　面　リ　ス　ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立金ケ作小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1.工事場所　松戸市金ケ作３１７番地

2.敷地面積　17,485　㎡

3.改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：S造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：638㎡
- 最高高さ：9.30m（軒高：7.50m）

4.工事内容

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	仮囲い・資材置場
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	－
5　建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)、フィルム新設
6　内装改修工事	－
7　塗装改修工事	－
8　耐震改修工事	－
9　環境配慮改修工事	－
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

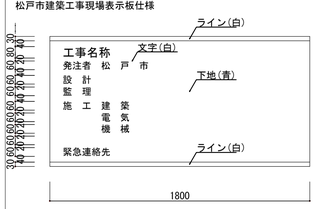
1.共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2.特記仕様

(1)項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①運用基準等	⊙松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ⊙松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所 着工後の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所
	⑫ 完成図等	※作成図　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　部
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャピ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャピ版)提出)	外部(　)　内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

章	項　目	特　記　事　項
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

章	項　目	特　記　事　項
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
	⑨仮囲い	⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
③ 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

章	項　目	特　記　事　項
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

章	項　目	特　記　事　項
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

章	項　目	特　記　事　項
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・鋼	・(　)㎡当たり1箇所

章	項　目	特　記　事　項
	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ⊙シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

章	項　目	特　記　事　項
	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃　除　口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3] ・図示
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

章	項　目	特　記　事　項
	9 折板葺	板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3] (13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

章	項　目	特　記　事　項
4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
		撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・火損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材C-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミックートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種別	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
		・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
		屋内建具
		表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
		・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
		網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
		形　式　・外部可動式　※固定式
	⑤ 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
		⊙建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	・建具表による	
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
		曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
		防火戸　・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

章	項目	特記事項
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
		・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。
		かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
		ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
		・鳥の子
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
		※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪ 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
		建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
		錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
		吊金物
		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
		・ピボットヒンジ
		⊙建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2]
		・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

章	項目	特記事項
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

章	項目	特記事項
	⑭ ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

章	項目	特記事項
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

章	項目	特記事項
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (2)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

[6.5.2][表6.5.2～3]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

[6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ (mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12 ・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0　・8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
	・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ (ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ピルエタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による (機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ比	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	2 下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種 / ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。
9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｻｲﾄﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室毎）	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合） 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
（集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること）
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
（大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署）
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ　建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・ 厚さは図示 ・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種　※B種　・C種　・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(　　)　・消石灰(　　) 添加量　kg/?(目標CBR ※5以上　・ 路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土) 路床締固め度の試験　※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部　※改質アスファルトⅠ型 歩道部　※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

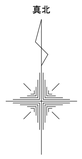
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

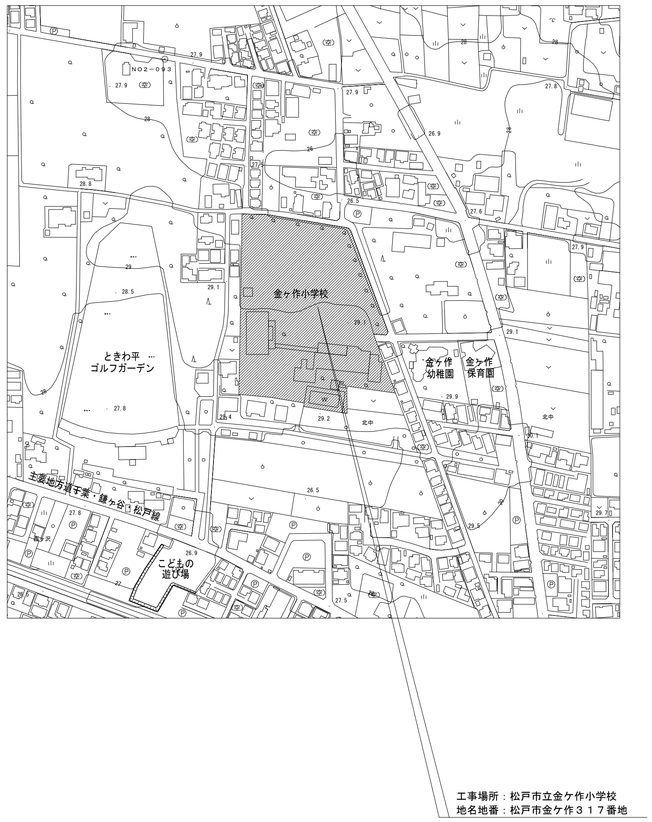
2 植栽工事
植樹　・図示 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ（雑壁部分）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み　（開口補強有り）	○	○	○
		切込み　（開口補強無し）	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器（水栓含む）				
	掃除用流し（水栓含む）				
	廊下流し台（排水トラップ含む）				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

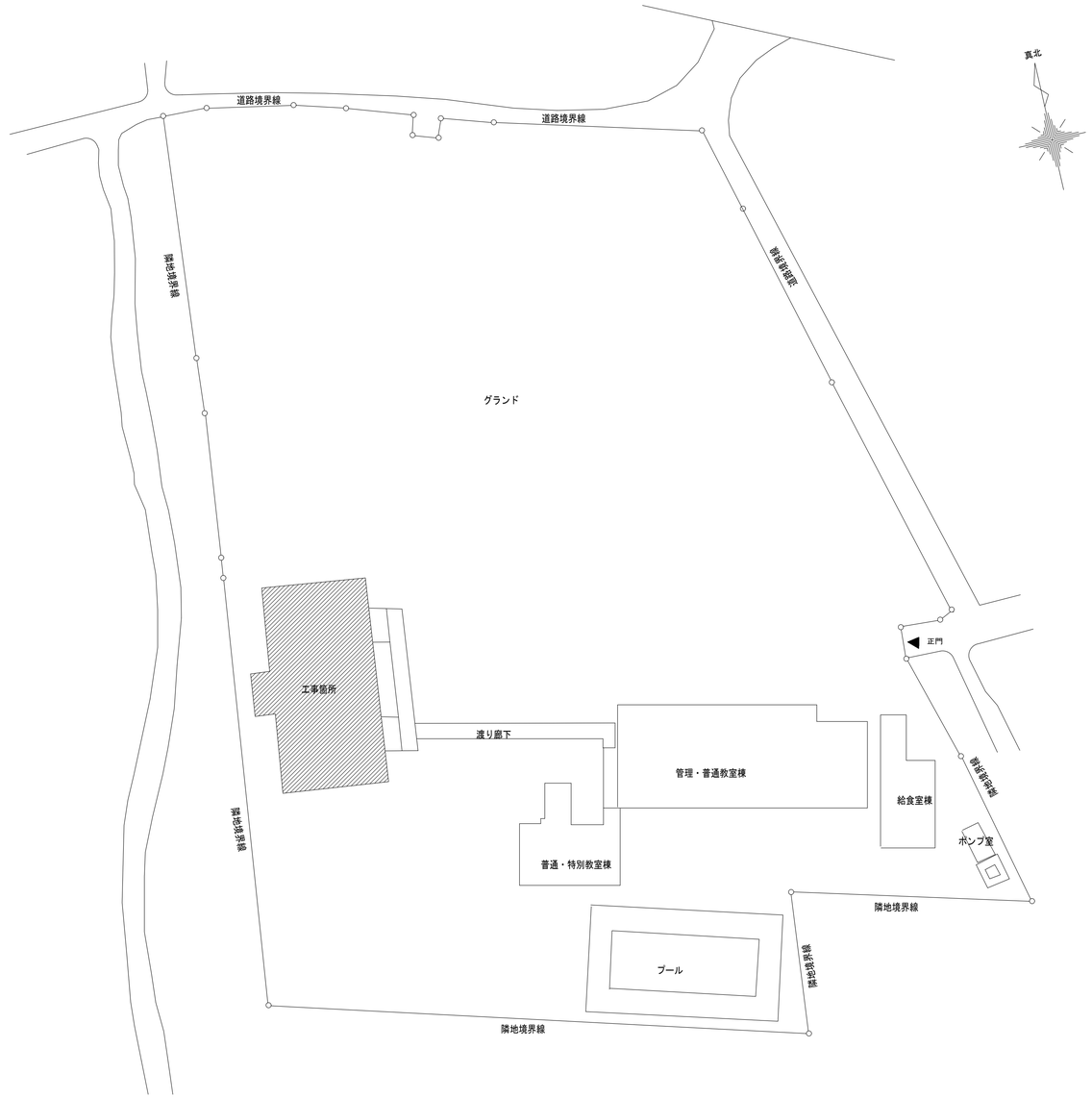
工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





案内図　1/2500

工事場所を示す

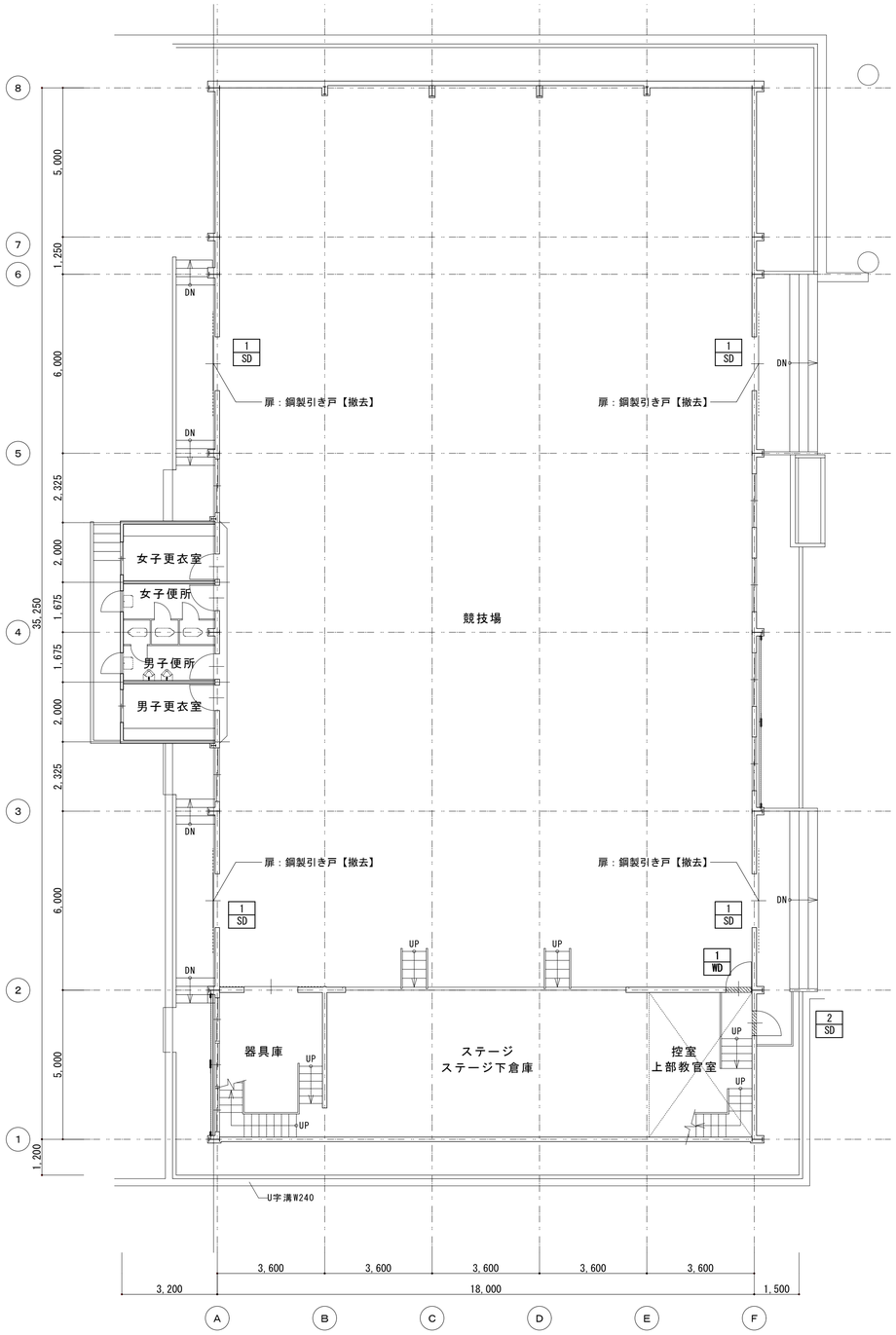


配置図　1/500

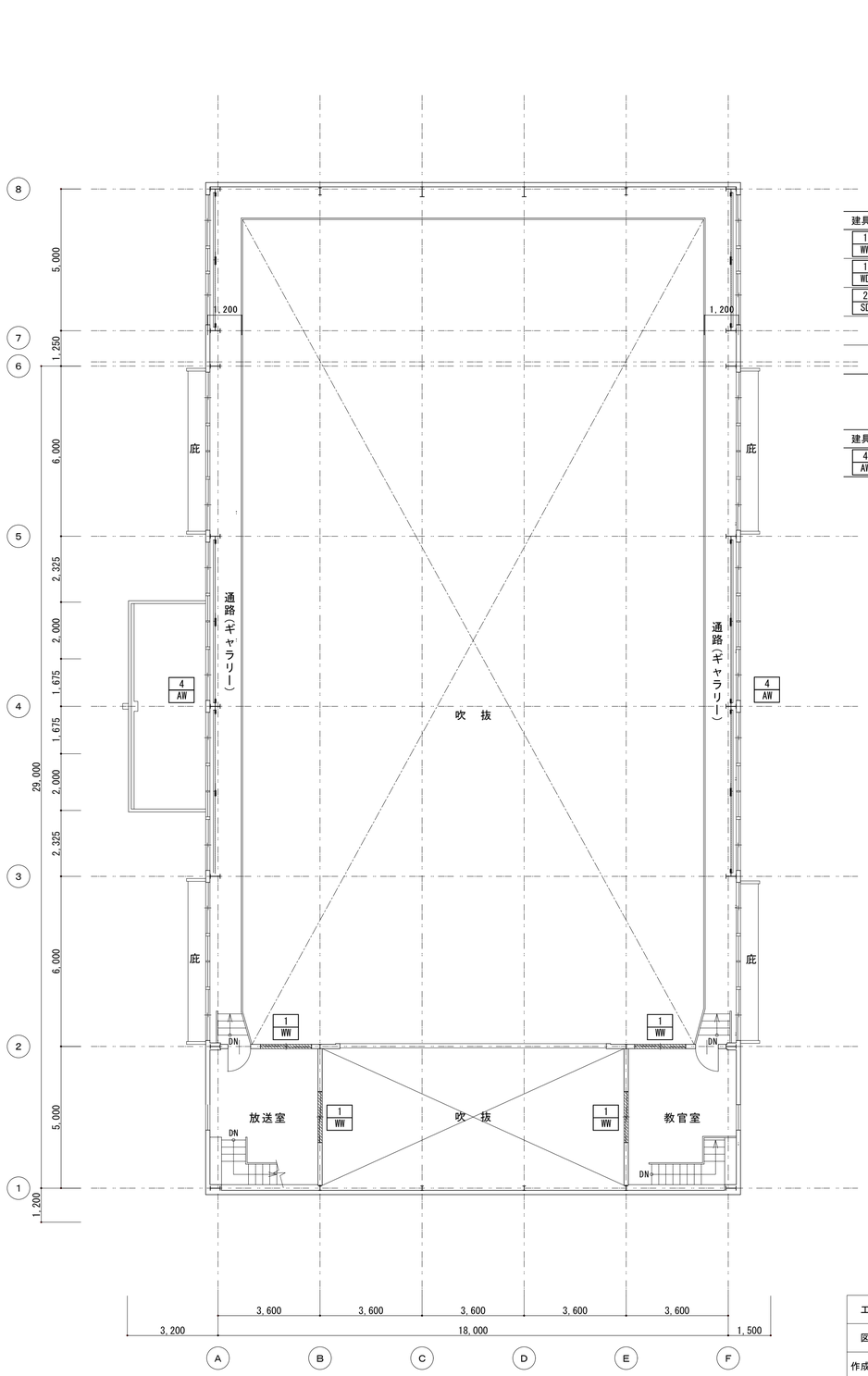
工事箇所を示す

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

建具名	フィルム撤去面積　　計4.78㎡
1 WW	0.6m×1.8m×4枚＝4.32㎡
1 WD	0.8m×0.15m＝0.12㎡
2 SD	0.4m×0.85m×1枚＝0.34㎡

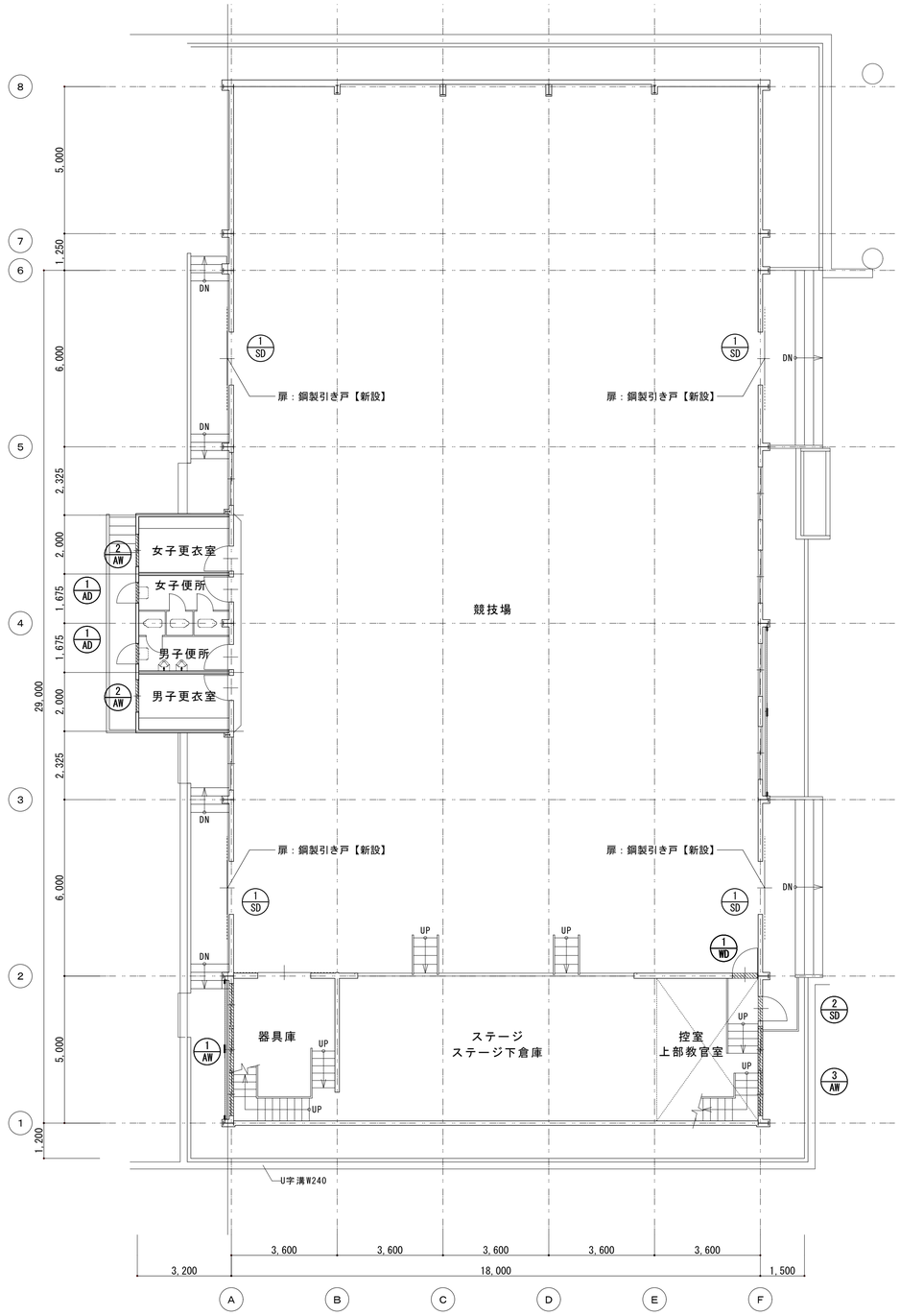
フィルム撤去範囲を示す

建具名	割れガラス撤去面積　計3.33㎡
4 AW	1.0m×0.9m×1枚+0.9m×0.9m×3枚＝3.33㎡

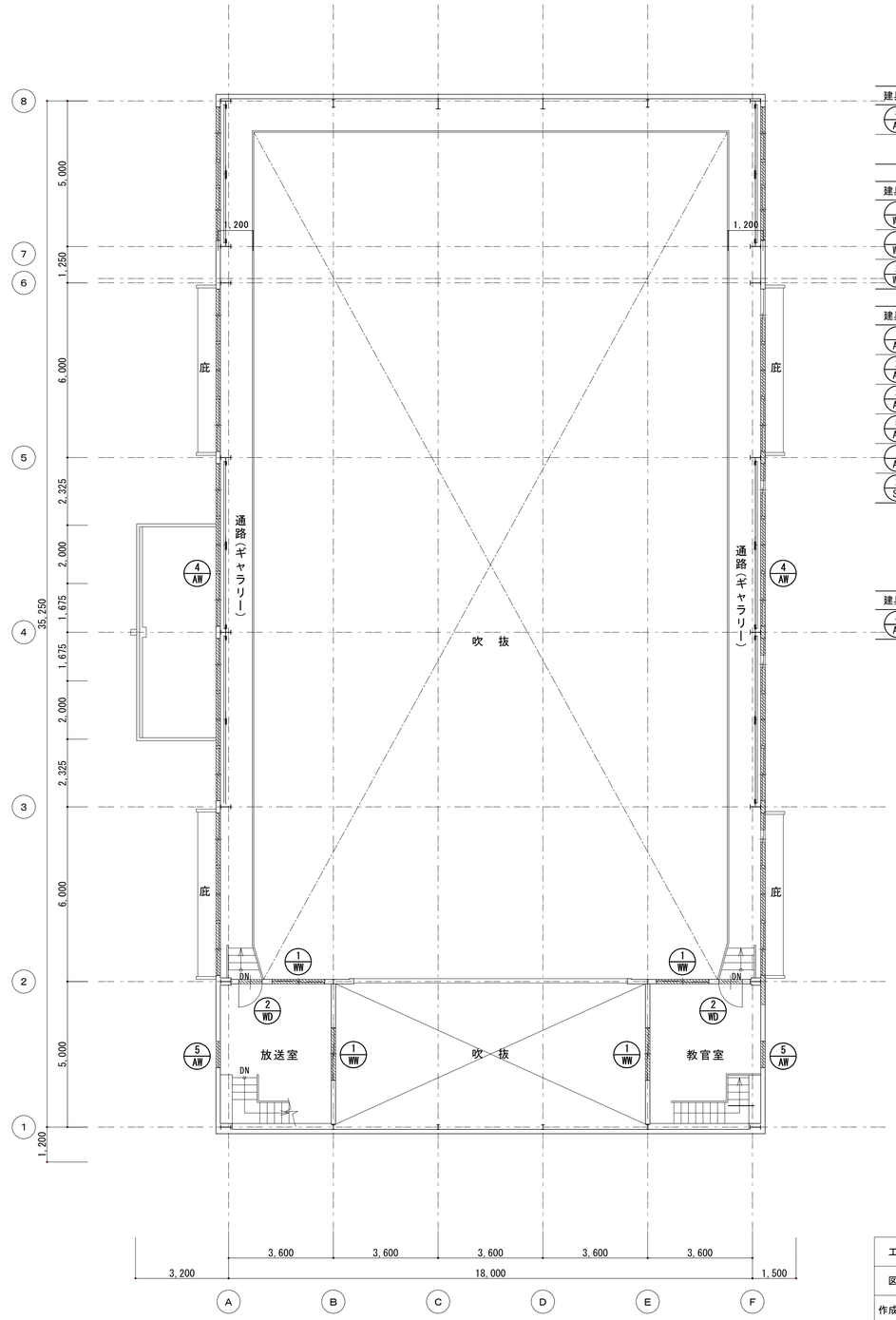
※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修前］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

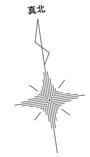
改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100



建具名	遮熱フィルム新設面積　内貼　計146.16㎡
4/AW	2.8m×1.8m×28枚+2.8m×0.9×2枚＝146.16㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計4.65㎡
1/WW	0.6m×1.8m×4枚＝4.32㎡
1/WD	0.8m×0.15m＝0.12㎡
2/WD	0.63m×0.17m×2枚＝0.21㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　外貼　計10.09㎡
1/AW	1.45m×0.4m×3枚＝1.74㎡
2/AW	1.07m×0.49m×2枚＝1.04㎡
3/AW	1.45m×0.4m×2枚＝1.16㎡
5/AW	2.2m×0.9m×2枚＝3.96㎡
1/AD	0.77m×0.77m×2枚＝1.85㎡
2/SD	0.4m×0.85m×1枚＝0.34㎡

フィルム新設範囲を示す

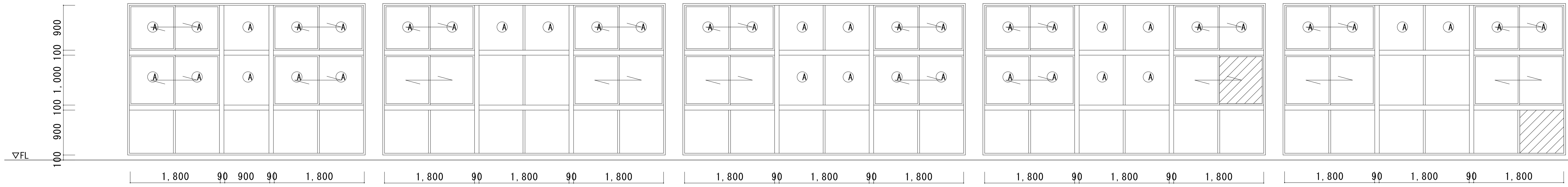
建具名	割れガラス新設面積　計3.33㎡
4/AW	1.0m×0.9m×1枚+0.9m×0.9m×3枚＝3.33㎡

※新設箇所について建具表参照

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修後］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	4 AW / 4 AW 東面	引き違い窓	1ヶ所

姿図

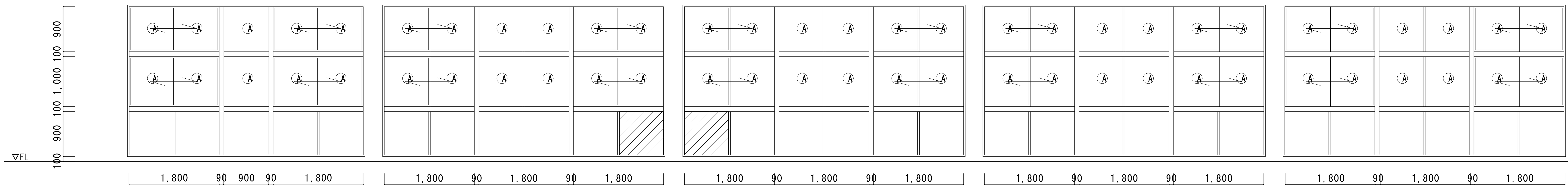


▨ 硝子の撤去・新設を示す

場所	競技場
硝子種類	網入り透明硝子 t =4.0（表記無し）、強化透明硝子 t =4.0（Ⓐ）
硝子サイズ	姿図参照
備　　考	フィルムタイプ・C、E 硝子撤去後、網入り透明硝子新設(フィルムタイプ・E)

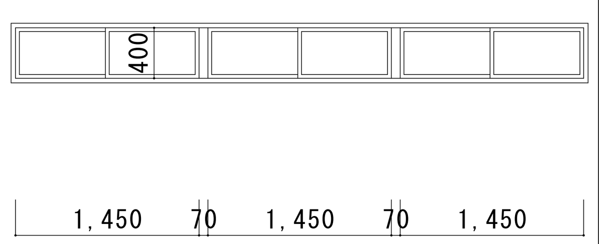
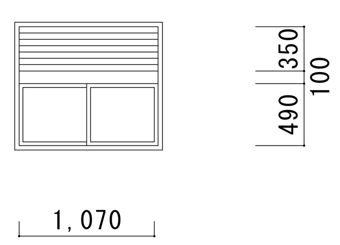
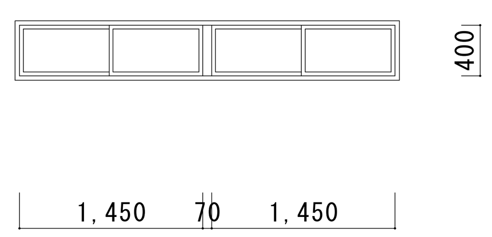
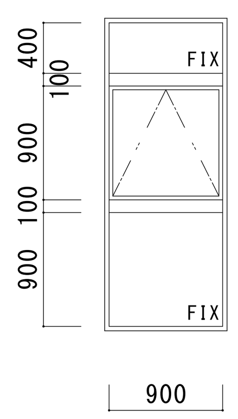
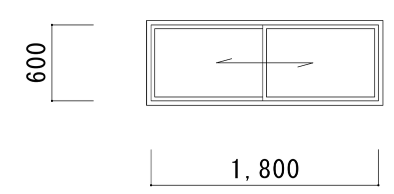
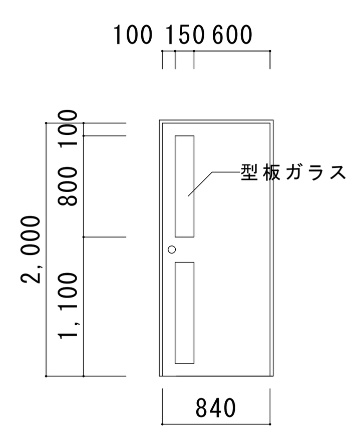
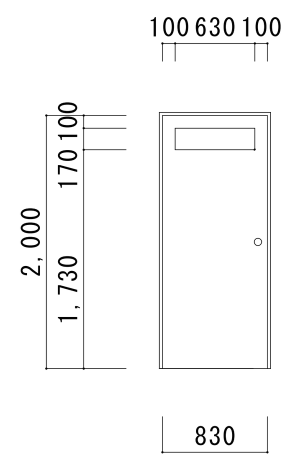
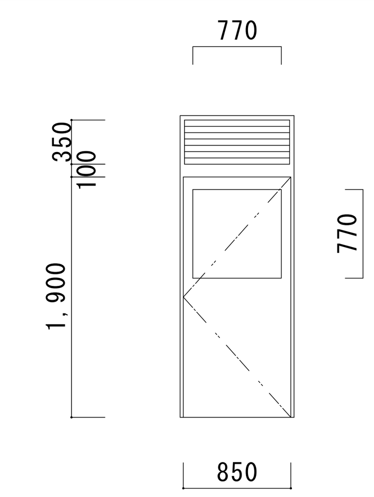
記号・名称・個数	4 AW / 4 AW 西面	引き違い窓	1ヶ所

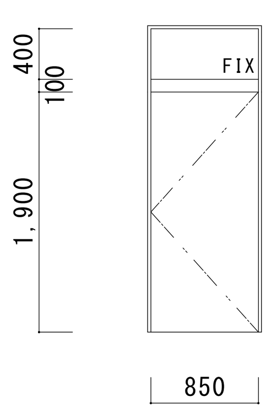
姿図



▨ 硝子の撤去・新設を示す

場所	競技場
硝子種類	網入り透明硝子 t =4.0（表記無し）、強化透明硝子 t =4.0（Ⓐ）
硝子サイズ	姿図参照
備　　考	フィルムタイプ・C、E 硝子撤去後、網入り透明硝子新設(フィルムタイプ・E)

記号・名称・個数	1 AW 引き違い窓連窓 1ヶ所	2 AW ガラリ付引き違い窓 2ヶ所	3 AW 引き違い窓連窓 1ヶ所	5 AW 突き出し窓 FIX連段窓 2ヶ所	1 WW / 1 WW 引き違い窓 4ヶ所	1 WD / 1 WD 片開きドア(フラッシュ) 1ヶ所	2 WD 片開きドア(フラッシュ) 2ヶ所	1 AD 片開きドア(フラッシュ) 2ヶ所
姿図	 ※防球ガード取外し再取付け		 ※防球ガード取外し再取付け					
場所		更衣室	控室	教官室、放送室	教官室、放送室	競技場	教官室、放送室	便所
硝子種類	透明硝子 t =4.0	型硝子 t =4.0	透明硝子 t =4.0	型硝子 t =4.0	透明硝子 t =3.0	型板硝子 t =4.0	透明硝子 t =3.0	型板硝子 t =4.0
硝子サイズ	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照
備　　考	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・H	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・H	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・H	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・H

記号・名称・個数	2 SD / 2 SD 片開きドア(フラッシュ) 1ヶ所
姿図	
場所	控室
硝子種類	透明硝子 t =3.0
硝子サイズ	姿図参照
備　　考	フィルムタイプ・G

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子 ＼ 方角			東・西・南	北	
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　　　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

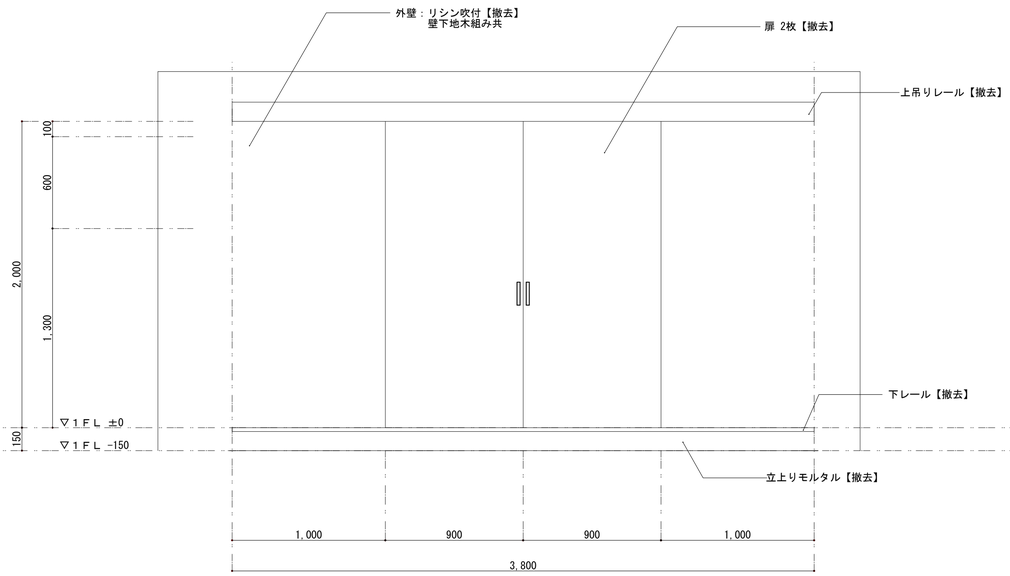
既存硝子 ＼ 方角			全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	ー	既存のまま
	強化型硝子	ー	既存のまま
	網入り透明硝子	ー	既存のまま
	網入り型硝子	ー	既存のまま

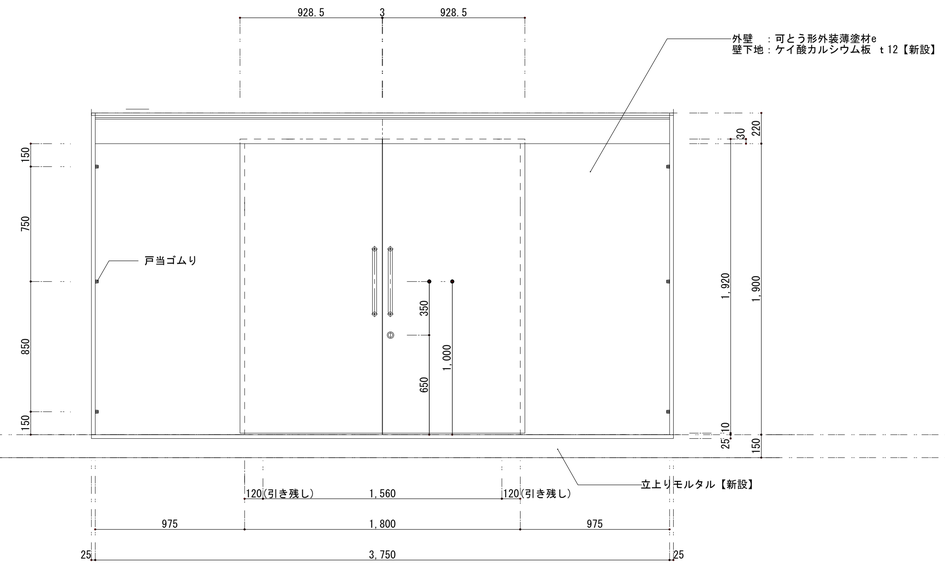
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　　　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1/SD × ４箇所【撤去】	1/SD × ４箇所【新設】

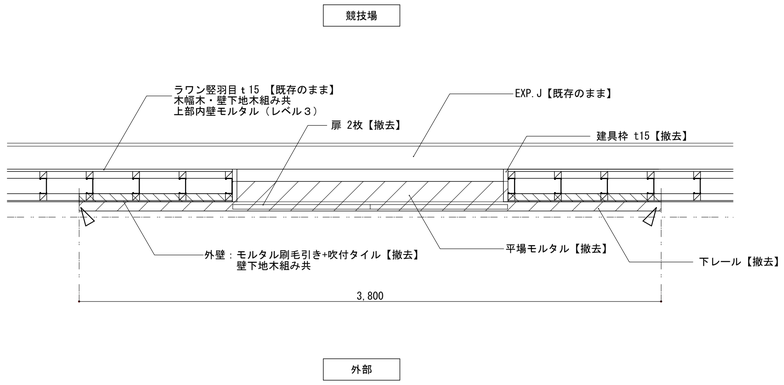
姿図・寸法



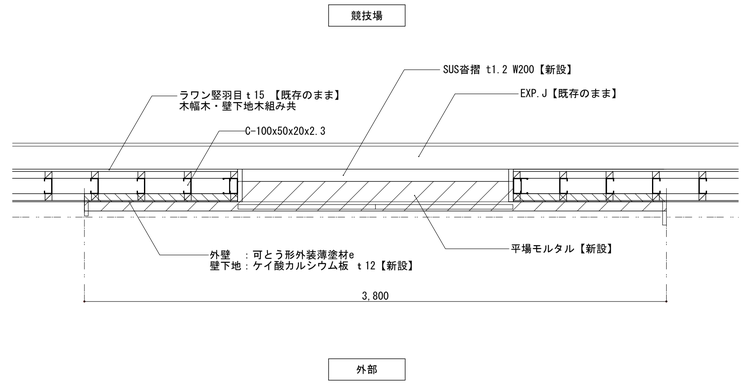


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き分け戸	2枚引き分けハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	－	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図　1/20



【改修後】平面図　1/20

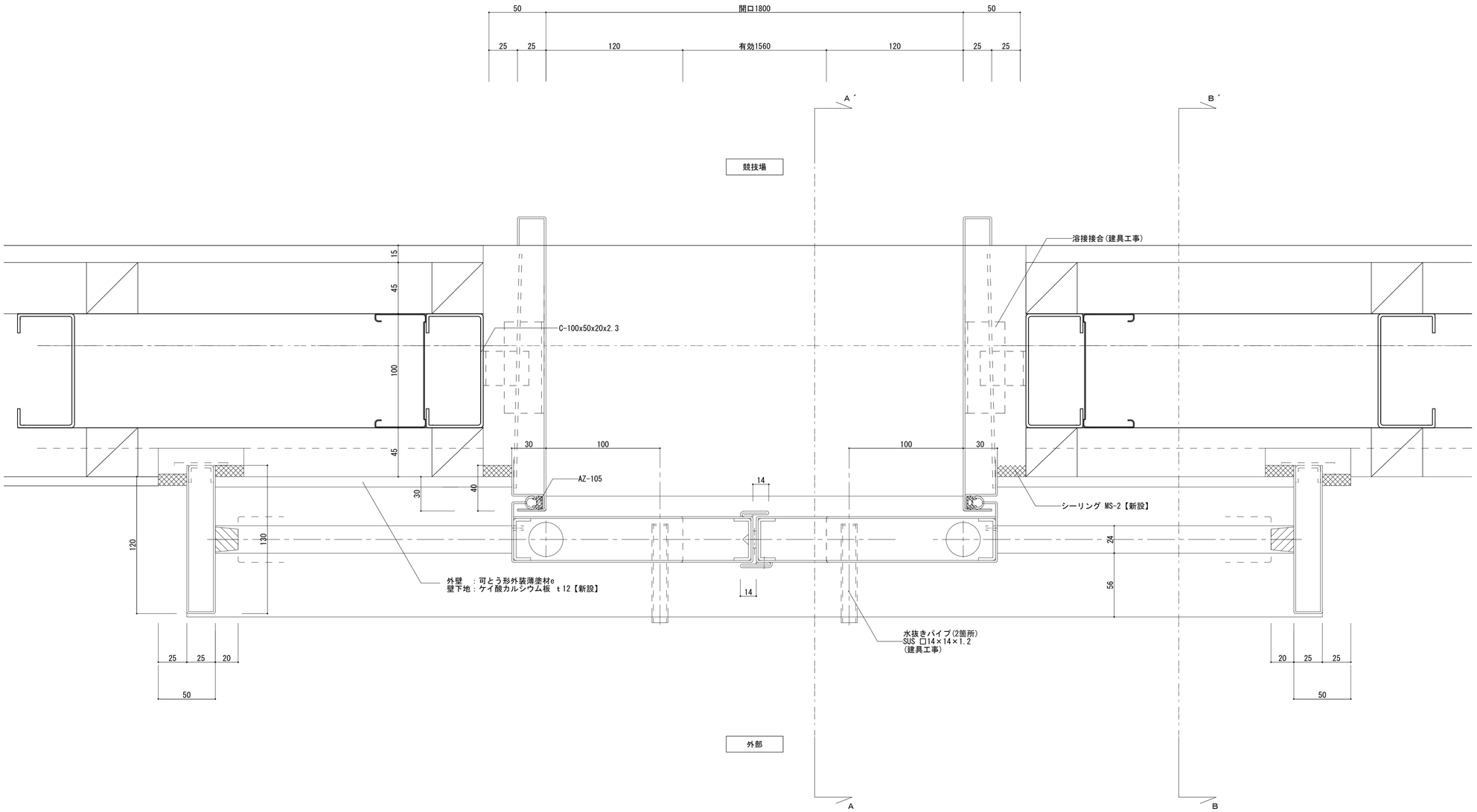
凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

壁撤去範囲を示す

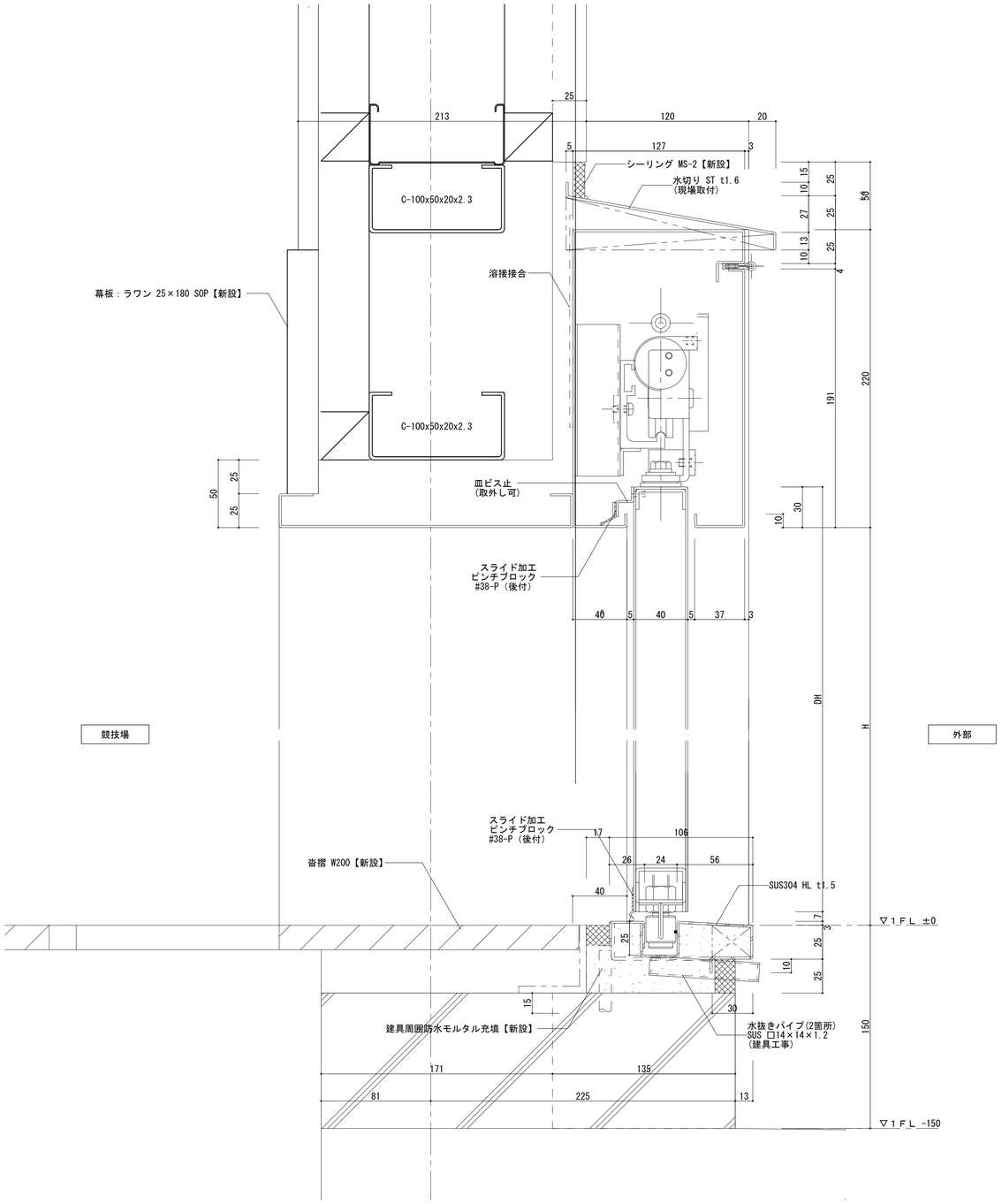
工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

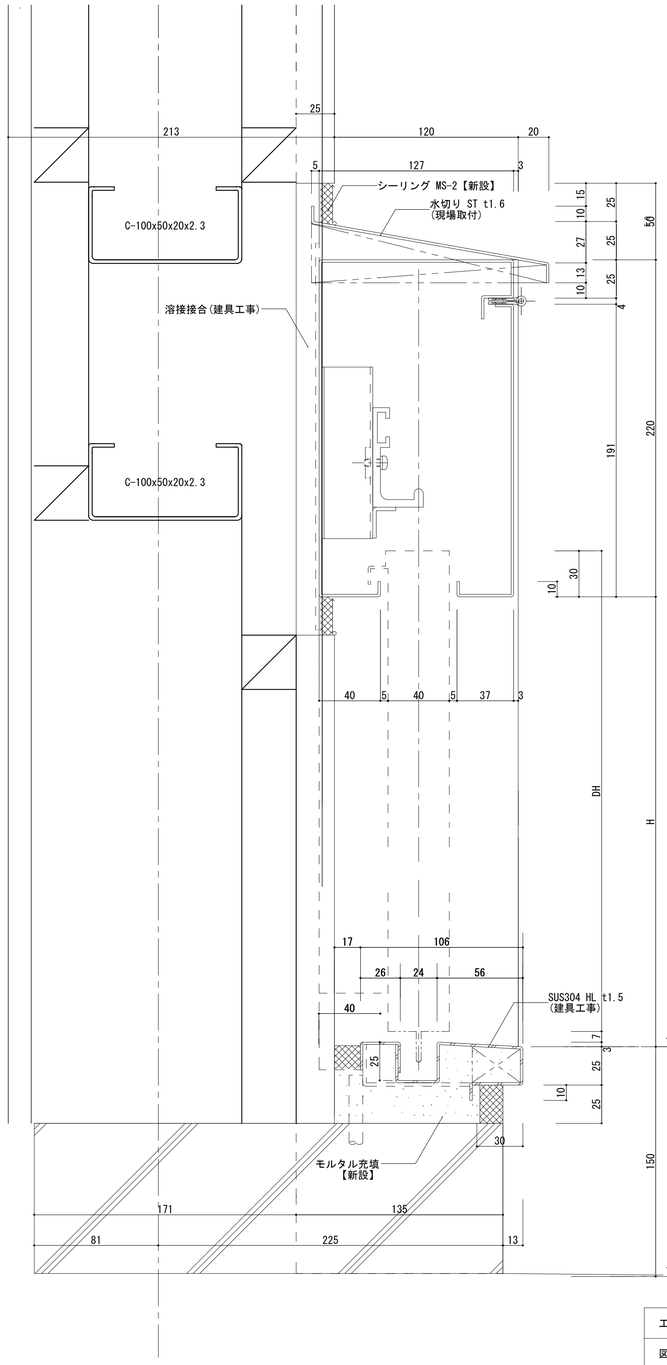
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



A－A´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事



B－B´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

仮設凡例

- ~~敷鉄板 t=22 1.5m×6.0~~
- 枠組足場：ネット養生シート(防炎2類)、金網敷養生枠 W=914・610
- ~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m
- ~~仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離~~
- ~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0 (2箇所)~~
- 交通誘導員を示す　工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す　(学) 生徒・学校関係者を示す
  (教) 教員車両を示す
  (般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

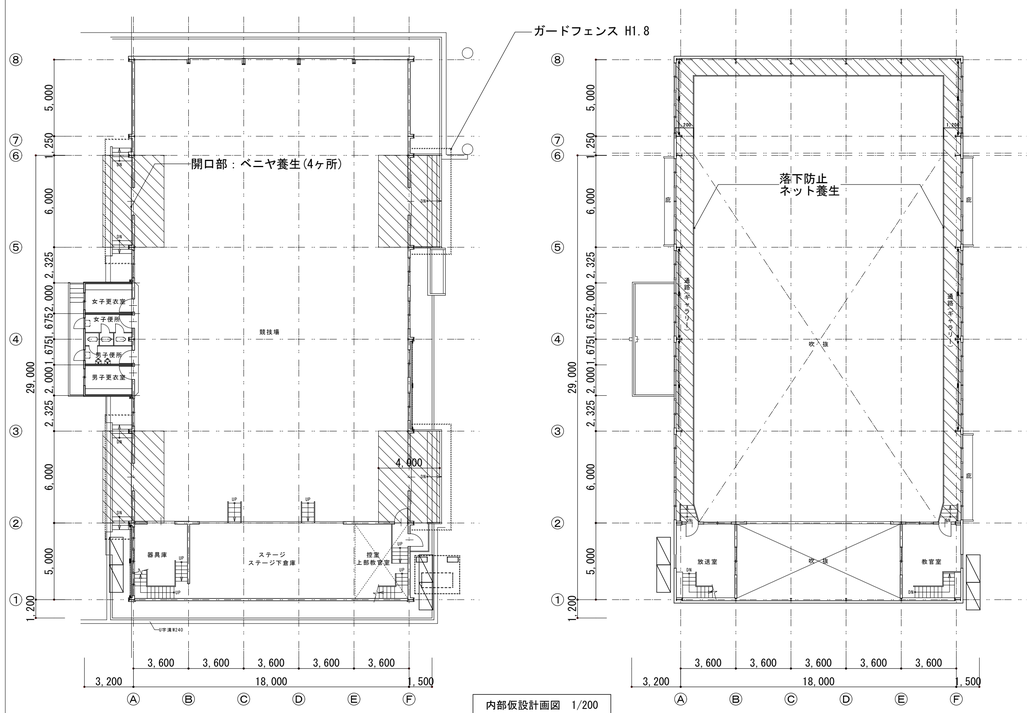
＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

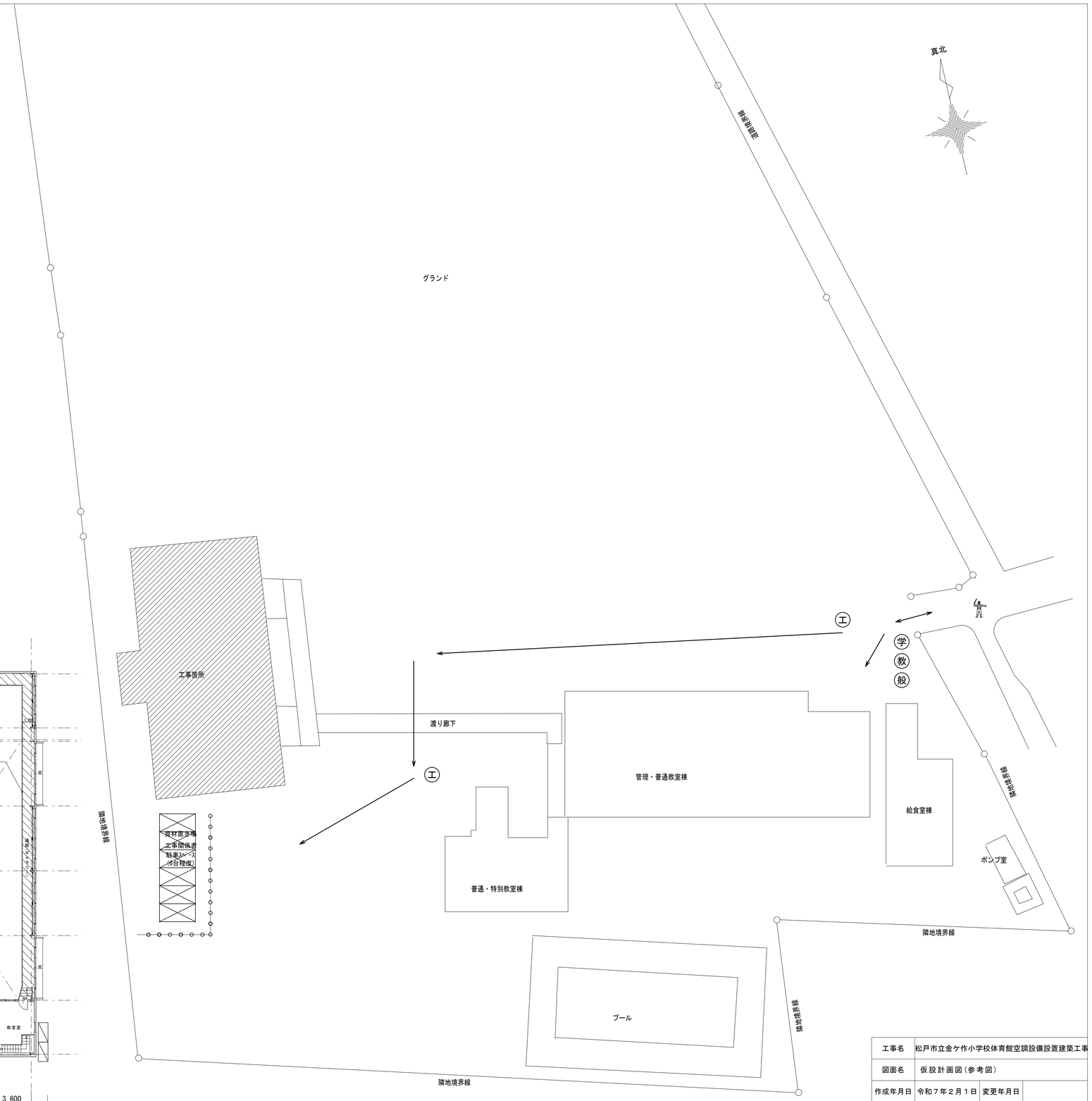
・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す

工事名	松戸市立金ケ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（参考図）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立八ケ崎第二小学校体育館空調設備設置建築工事

図　面　リ　ス　ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/25
A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立八ケ崎第二小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市八ケ崎三丁目３番地の１

2. 敷地面積　14,336　㎡

3. 改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：S造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：636㎡
- 最高高さ：10.00m（軒高：8.00m）

4. 工事内容

	工事種目	工事範囲
2	仮設工事	仮囲い・資材置場
3	防水改修工事	シーリング充填
4	外壁改修工事	-
5	建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)
6	内装改修工事	-
7	塗装改修工事	-
8	耐震改修工事	-
9	環境配慮改修工事	-
10	その他	

Ⅱ建築工事仕様

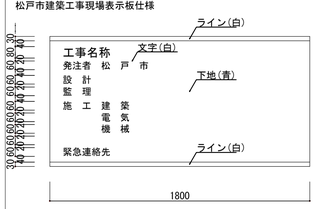
1. 共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①運用基準等	⊙ 松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙ 工事写真の撮り方 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ⊙ 松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関((社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所 着工後の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所
	⑫ 完成図等	※作成図　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　部
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャピ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャピ版)提出)	外部(　)　内部(　　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
	⑨仮囲い	⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
③ 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B		・B-1　※B-2
	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
	・P2AI		・AI-1　※AI-2
	※P2A		・A-1　※A-2
露出防水	・M4C		・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　)㎡当たり1箇所

	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ⊙シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃　除　口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3] ・図示
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

	⑨折板葺	(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタル充填
	ポリウレタン系シーリング材	※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う　・行わない　・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
		撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材G-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具　⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
		・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
		屋内建具
		表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
		・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
		網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
		形　式　・外部可動式　※固定式
	⑤ 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
		⊙建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	・建具表による	
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
		曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
		防火戸　・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

章	項目	特記事項
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
		・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。
		かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
		ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
		・鳥の子
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
		※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪ 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
		建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
		錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
		吊金物
		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
		・ピボットヒンジ
		⊙建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2]
		・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

章	項目	特記事項
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

章	項目	特記事項
	⑭ ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　⊙外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

章	項目	特記事項
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

章	項目	特記事項
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (2)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

①改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2]
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2][4.4.9]
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

木材の品質　図示　[6.5.2][表6.5.2～3]
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

行う箇所(　　)　[6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ (mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外 ・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0　・8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
	・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ (ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による (機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事
図面名	特記仕様書 (3)
作成年月日	令和7年2月1日　変更年月日
縮尺	No Scale　図面番号　A-03
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	2 下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種 / ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。
9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｻｲﾄﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｫﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室毎）	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合） 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
（集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること）
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
（大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署）
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ　建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・ 厚さは図示 ・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種　※B種　・C種　・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(　　)　・消石灰(　　) 添加量　kg/?(目標CBR ※5以上　・ 路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土) 路床締固め度の試験　※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部　※改質アスファルトⅠ型 歩道部　※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

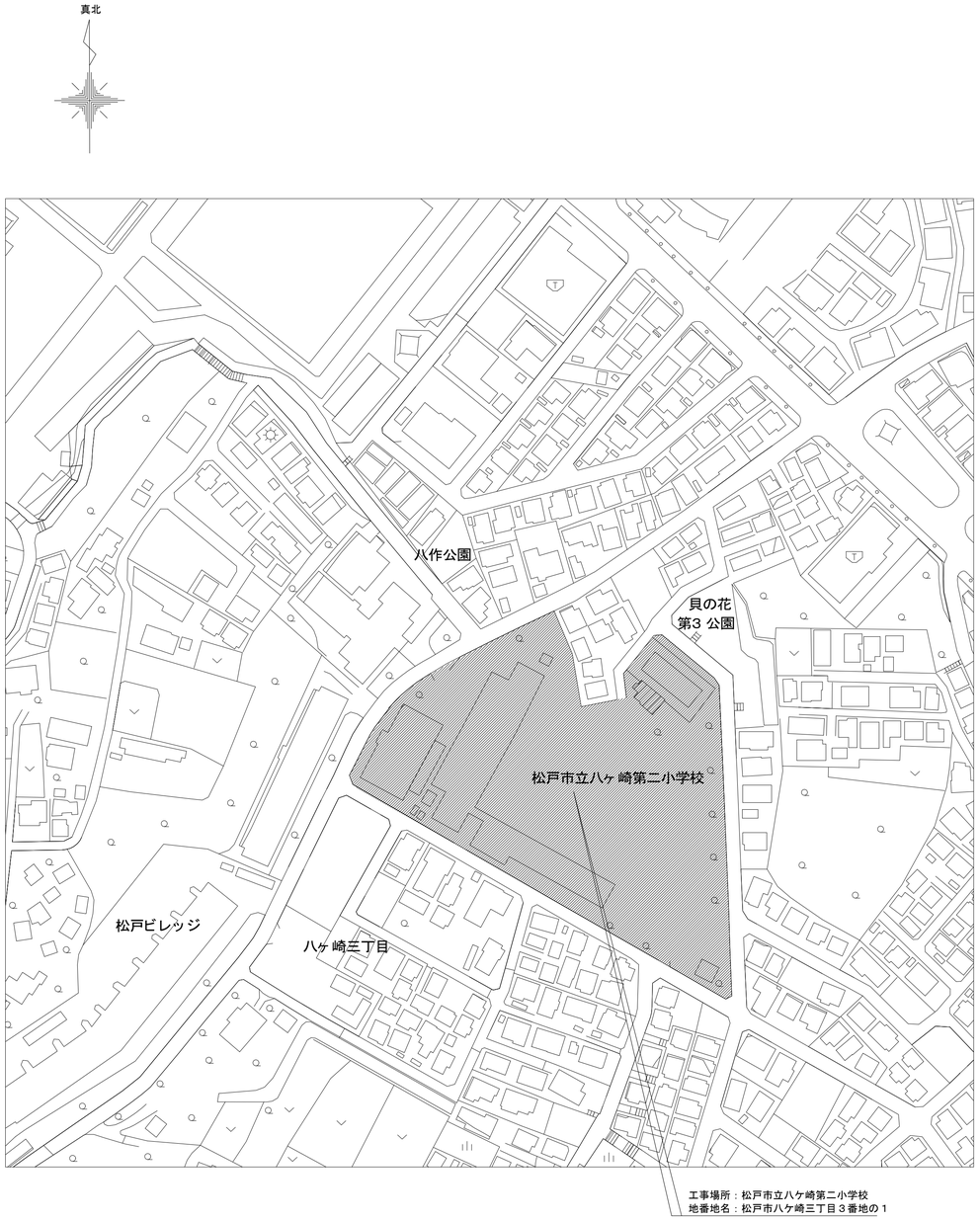
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事
植樹　・図示 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

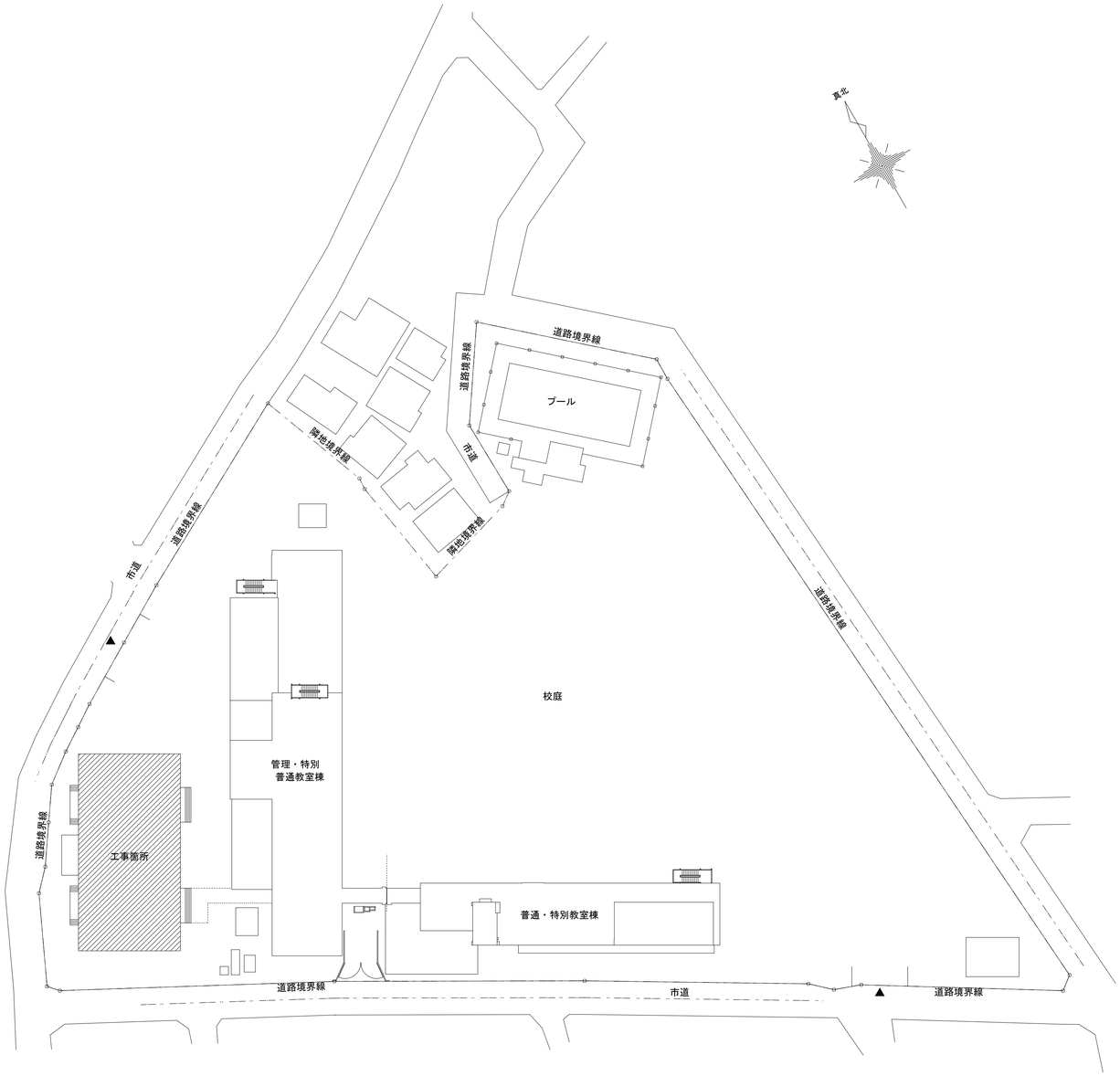
工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ（雑壁部分）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み　（開口補強有り）	○	○	○
		切込み　（開口補強無し）	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器（水栓含む）				
	掃除用流し（水栓含む）				
	廊下流し台（排水トラップ含む）				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



案内図　1/2500

工事場所を示す

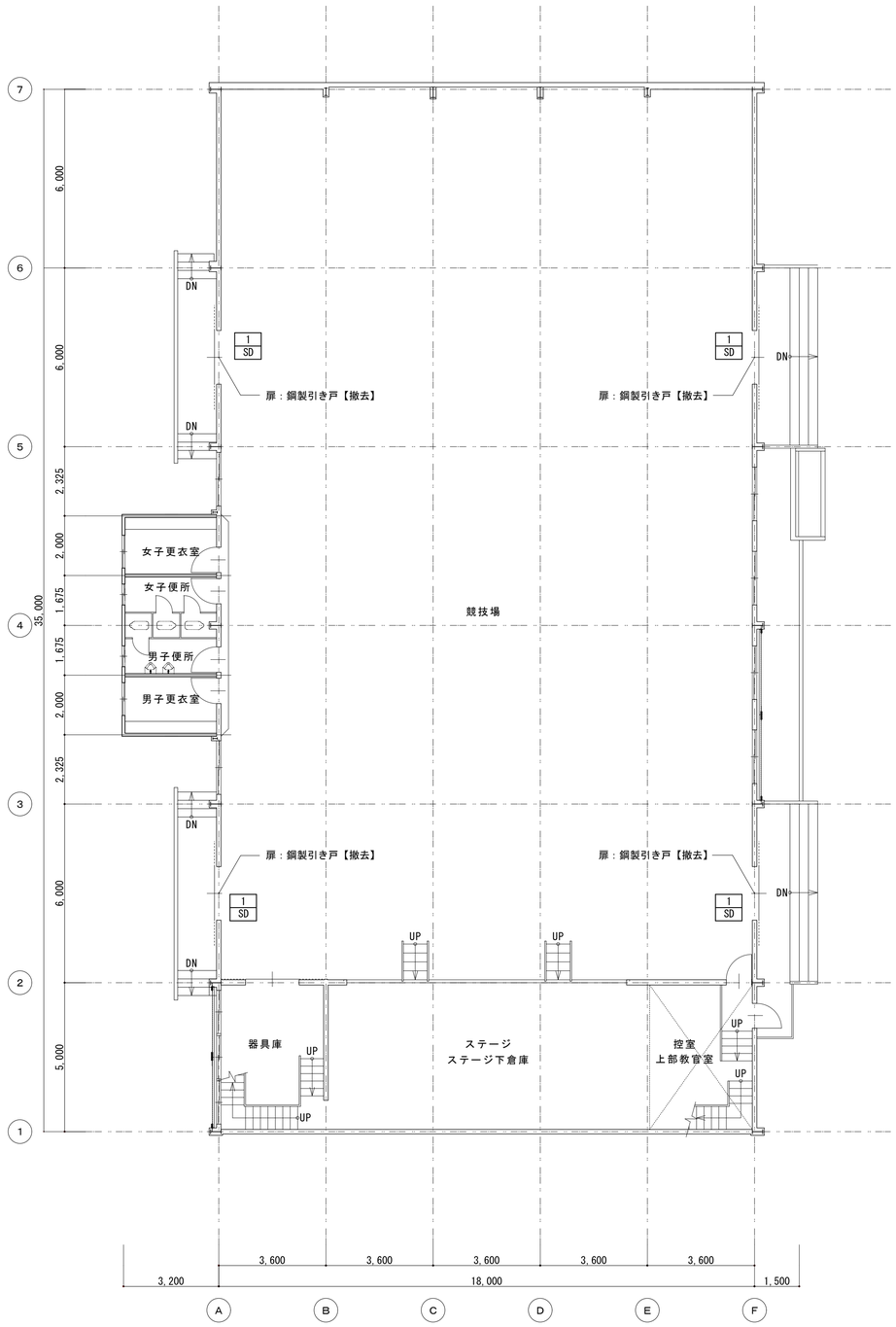


配置図　1/500

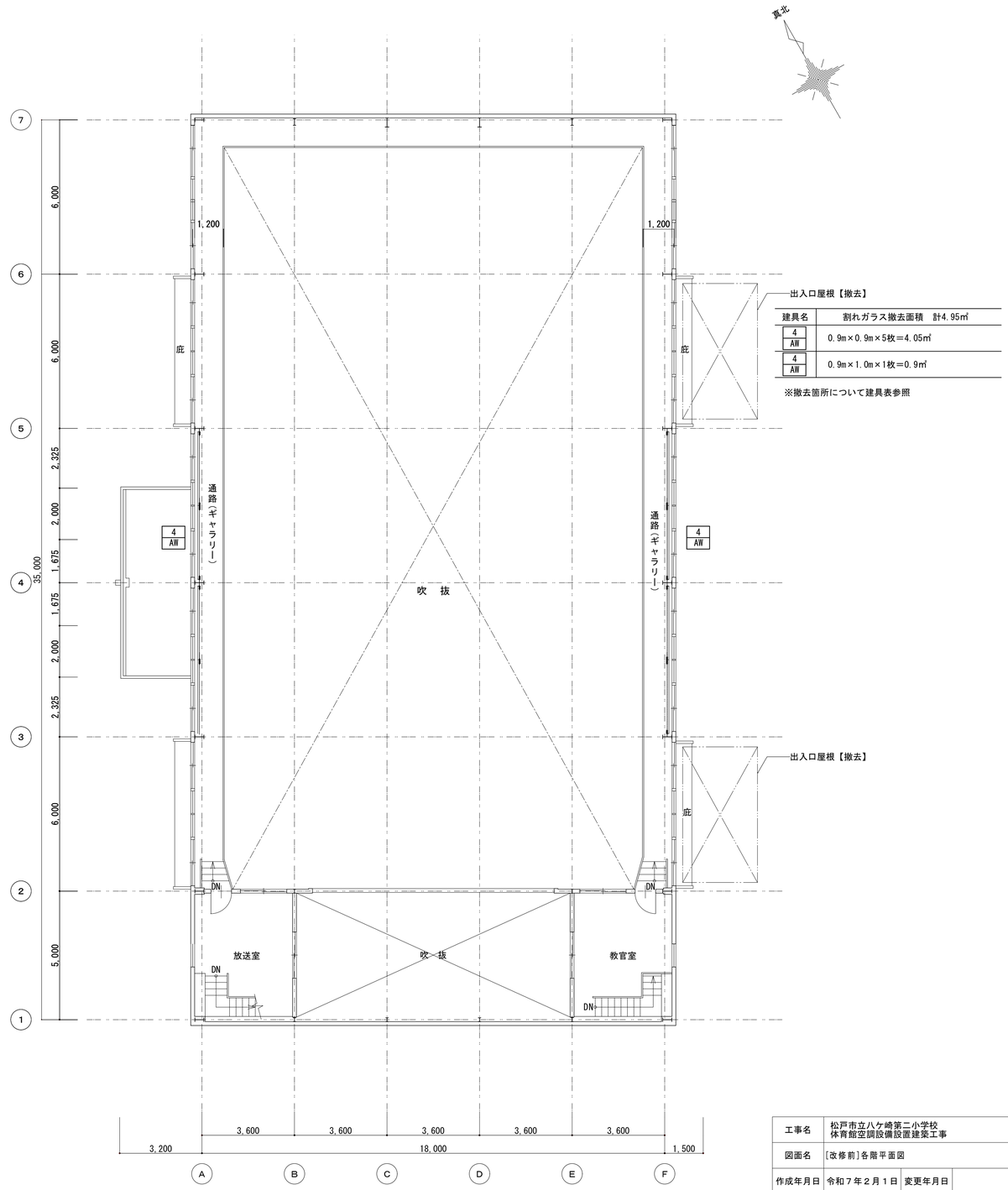
工事箇所を示す

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前	既存フィルム無し



1階平面図　1/100



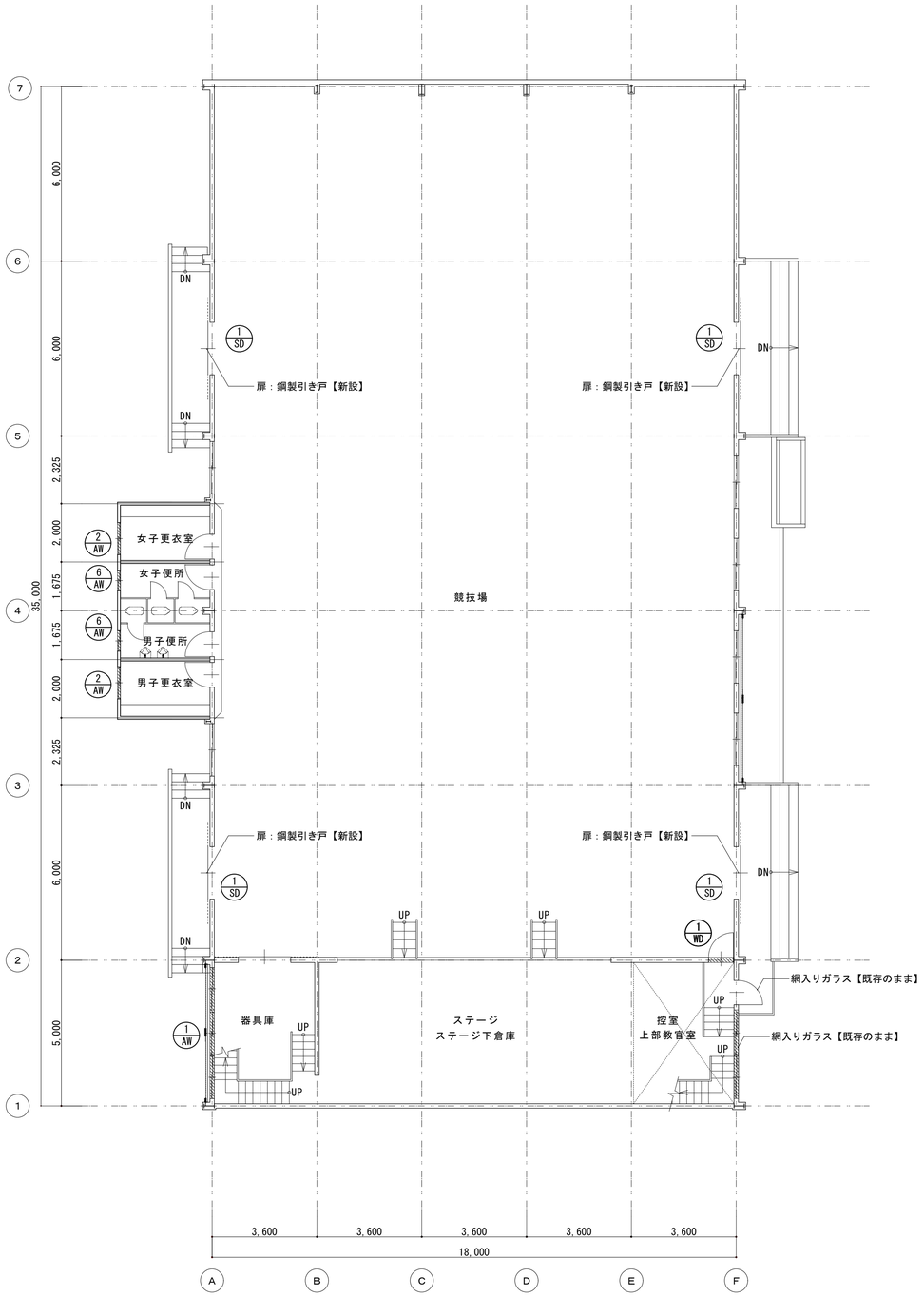
建具名	割れガラス撤去面積　計4.95㎡
4/AW	0.9m×0.9m×5枚＝4.05㎡
4/AW	0.9m×1.0m×1枚＝0.9㎡

※撤去箇所について建具表参照

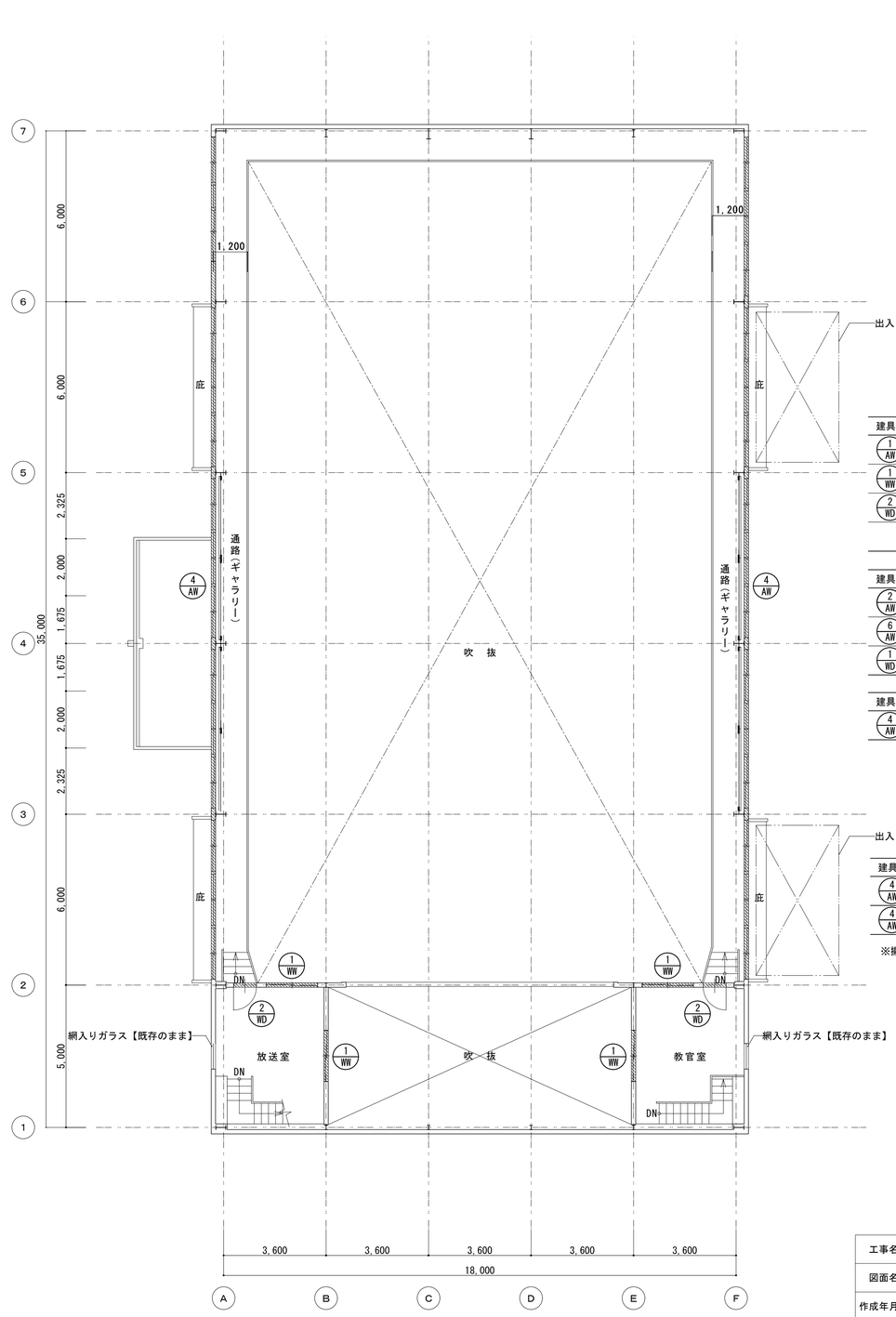
2階平面図　1/100

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計7.13㎡
1/AW	0.4m×1.45m×3枚＝1.74㎡
1/WW	0.6m×1.8m×4枚＝4.32㎡
2/WD	0.655m×0.63m×2枚＝0.8253㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　外貼　計2.79㎡
2/AW	0.49m×1.07m×2枚＝1.0486㎡
6/AW	0.90m×0.90m×2枚＝1.62㎡
1/WD	0.8m×0.15m×1枚＝0.12㎡

建具名	遮熱フィルム新設面積　外貼　計162㎡
4/AW	3.0m×1.8m×30枚＝162㎡

フィルム新設範囲を示す

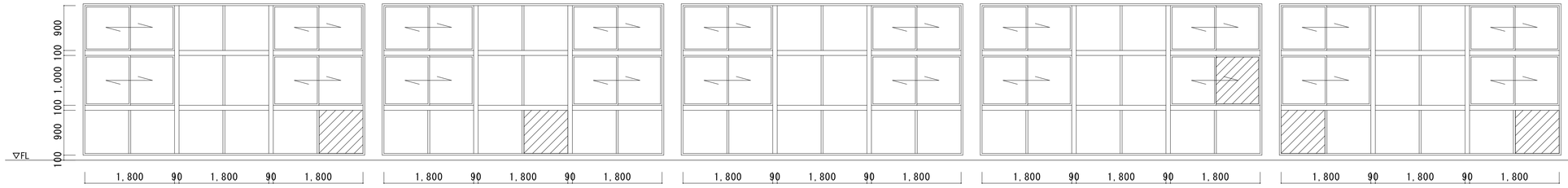
建具名	割れガラス新設面積　計4.95㎡
4/AW	0.9m×0.9m×5枚＝4.05㎡
4/AW	0.9m×1.0m×1枚＝0.9㎡

※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修後]各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	4/AW 4/AW 南東面　引き違い窓	1ヶ所

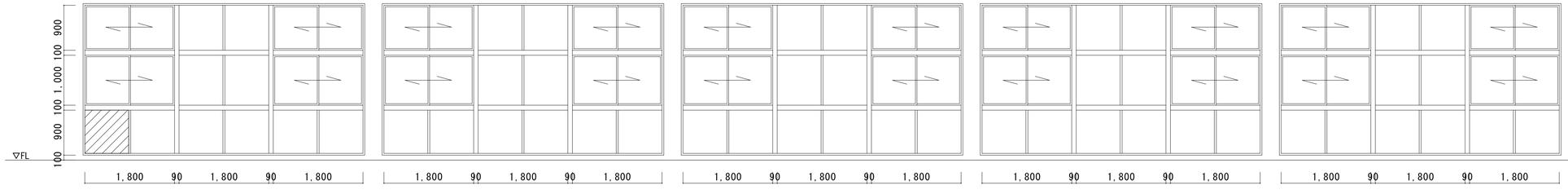
姿　図



場所	競技場
硝子種類	網入り型硝子ｔ＝６．８
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｆ 硝子撤去後、網入り型硝子新設（フィルムタイプ・Ｆ）

記号・名称・個数	4/AW 4/AW 北西面　引き違い窓	1ヶ所

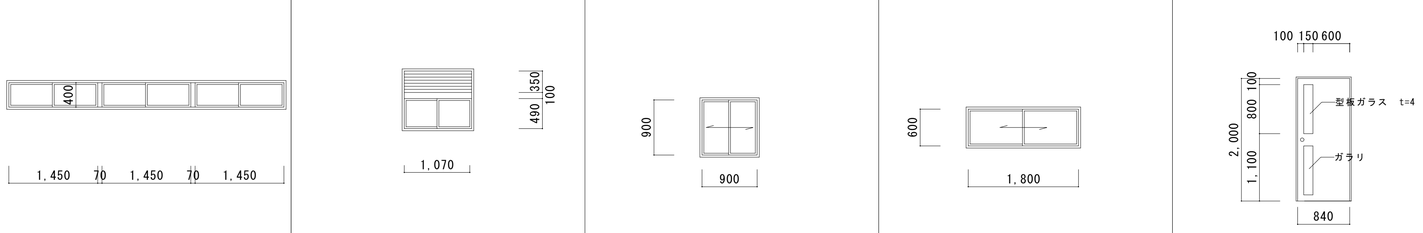
姿　図



場所	競技場
硝子種類	網入り型硝子ｔ＝６．８
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｆ 硝子撤去後、網入り型硝子新設（フィルムタイプ・Ｆ）

記号・名称・個数	1/AW 引き違い窓連窓	1ヶ所	2/AW ガラリ付引き違い窓	2ヶ所	6/AW 引き違い窓	2ヶ所	1/WW 引き違い窓	4ヶ所	1/WD 片開きドア（フラッシュ）	1ヶ所	2/WD 片開きドア（フラッシュ）	2ヶ所

姿　図



	器具室	更衣室	便所	教官室、放送室	競技場	教官室、放送室		
場所	器具室	更衣室	便所	教官室、放送室	競技場	教官室、放送室		
硝子種類	透明硝子ｔ＝4.0	型硝子ｔ＝4.0	型硝子ｔ＝3.0	透明硝子ｔ＝3.0	型硝子ｔ＝4.0	透明硝子ｔ＝3.0		
硝子サイズ	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照		
備　考	フィルムタイプ・Ｇ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｇ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｇ		

記号・名称・個数	

場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備　考	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子＼方角			東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

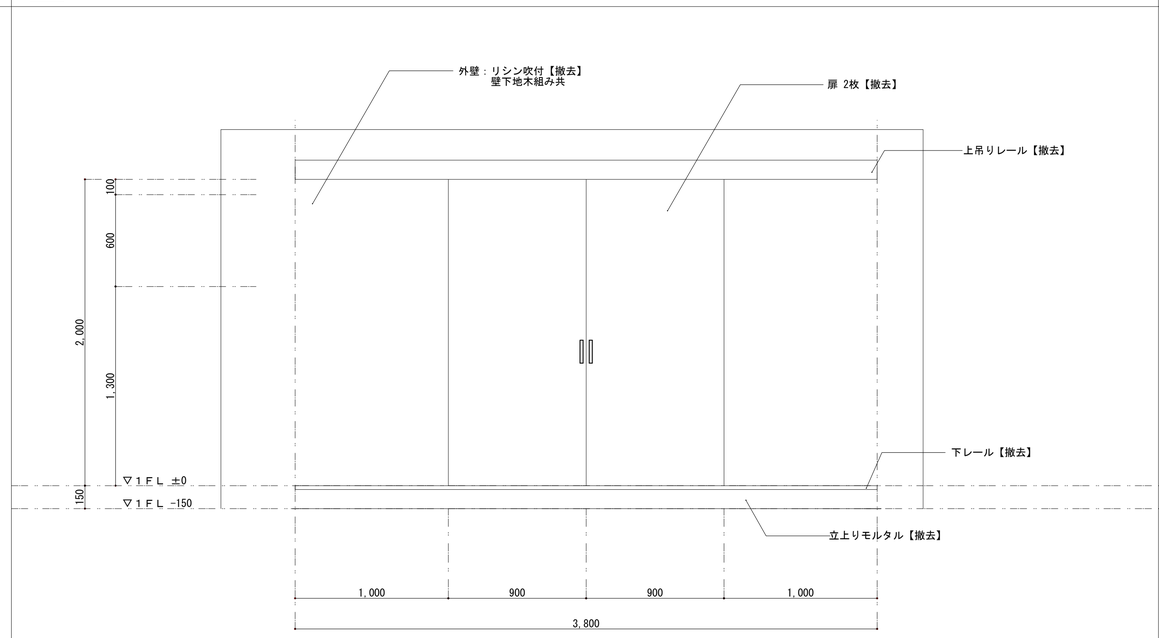
既存硝子＼方角			全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

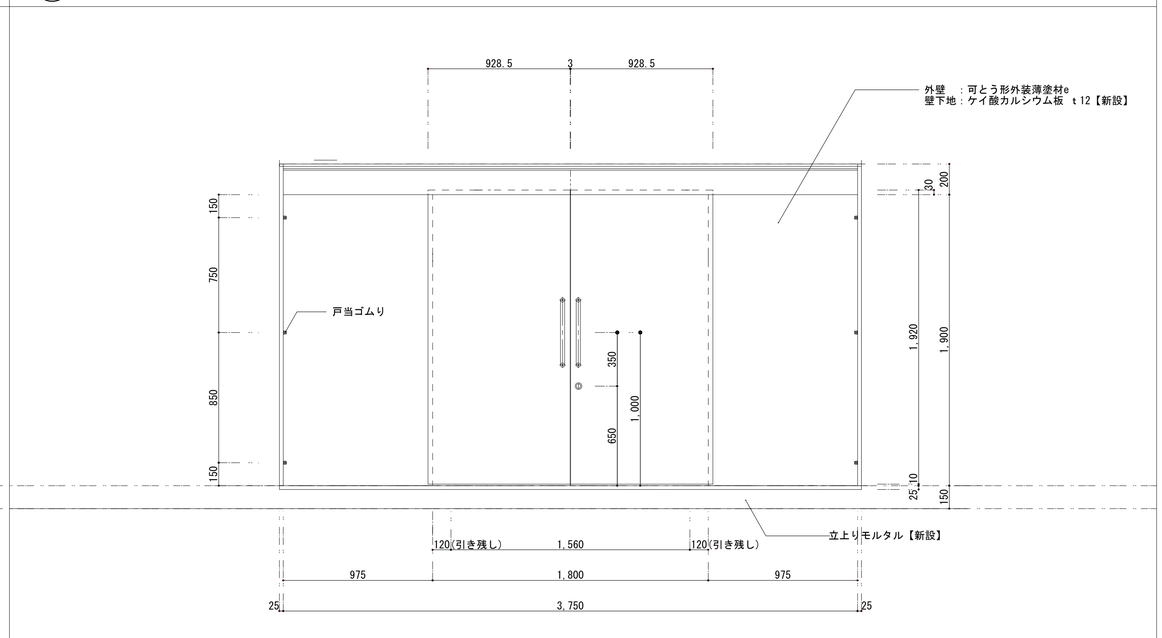
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・数量	1/SD × 4箇所【撤去】	1/SD × 4箇所【新設】

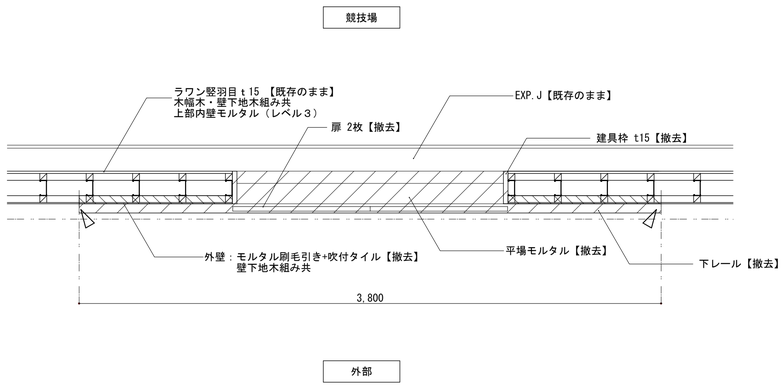
姿図・寸法



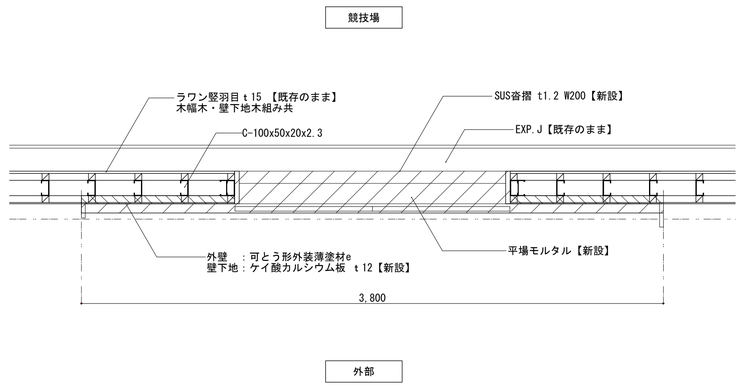


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き違い戸	2枚引き違いハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	－	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図　1/20



【改修後】平面図　1/20

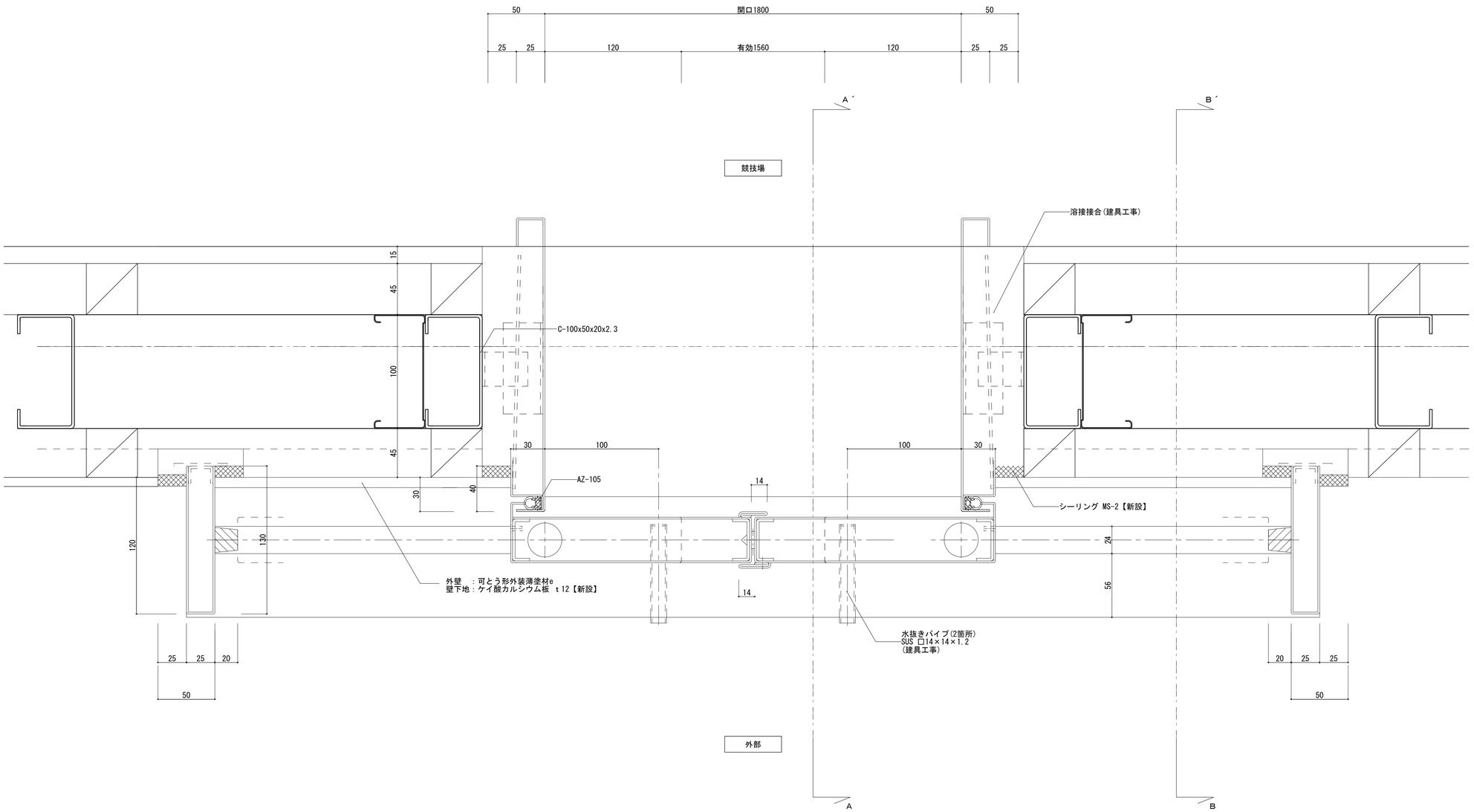
凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

壁撤去範囲を示す

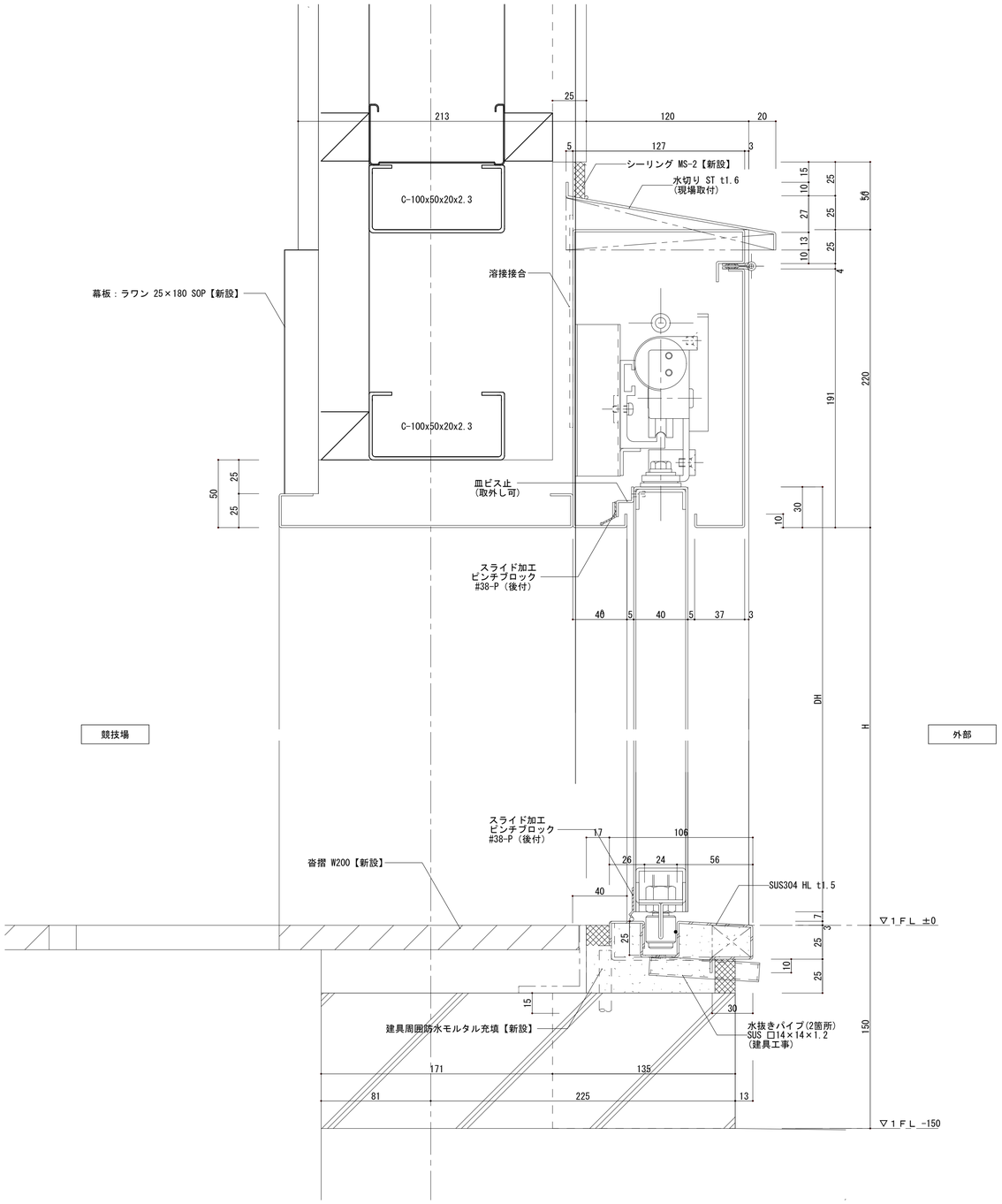
工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

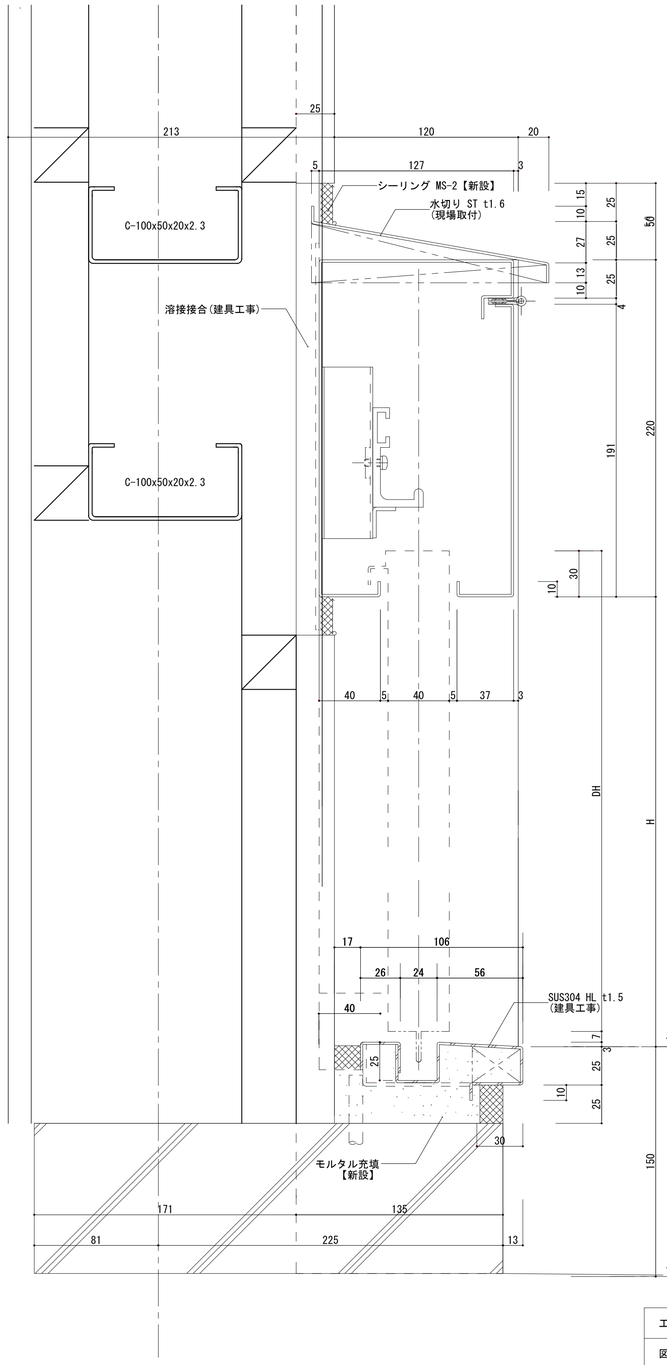
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



Ａ－Ａ´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事

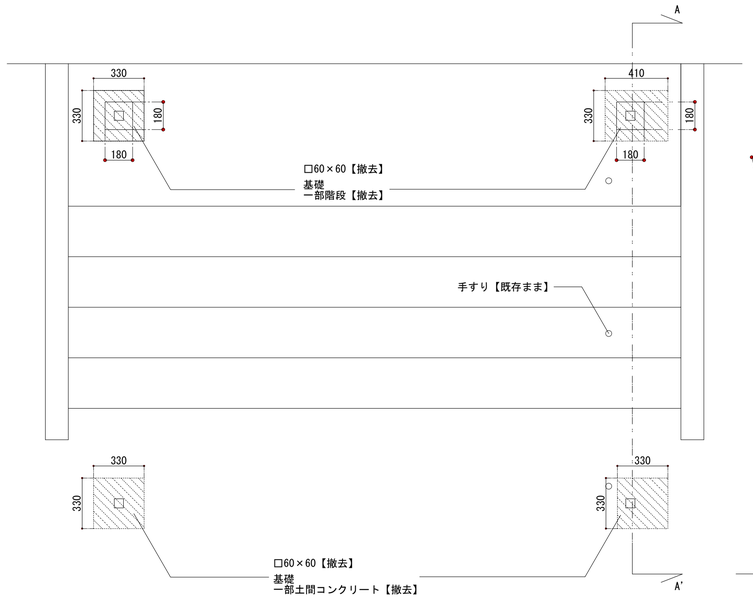


Ｂ－Ｂ´建具断面詳細図　1/2

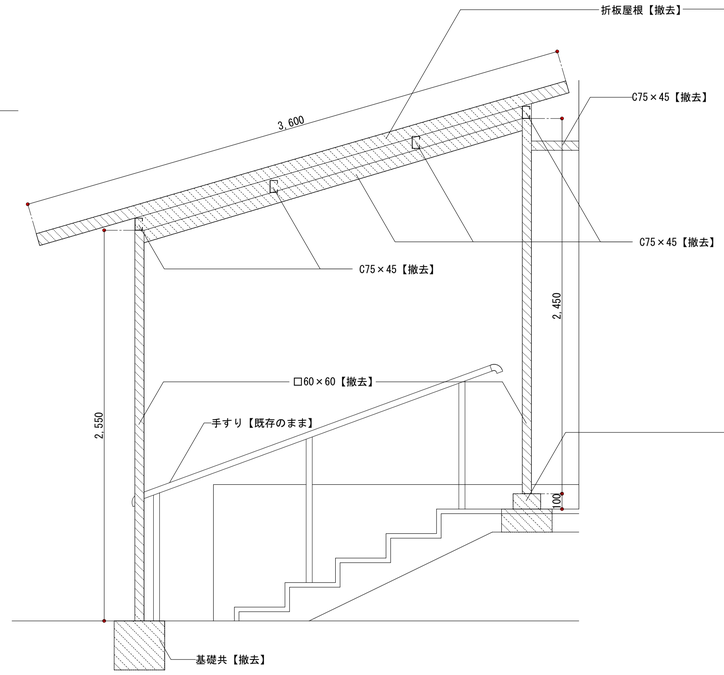
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

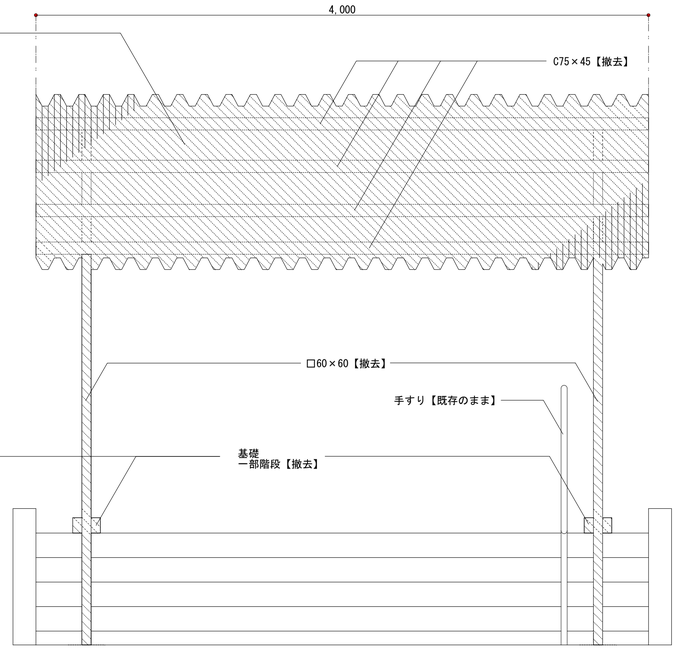
改修前



出入り口屋根平面図　1/20



出入り口屋根A-A' 断面図　1/20



出入り口屋根正面立面図　1/20

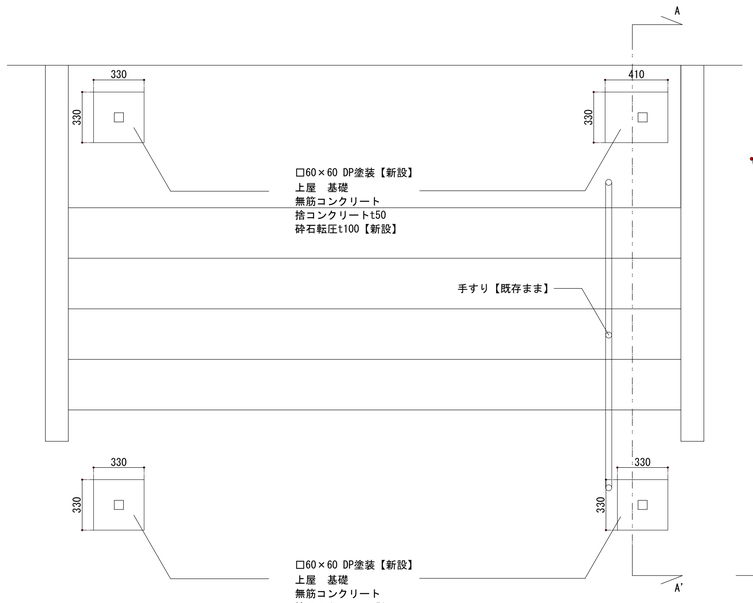
撤去リスト（1箇所あたり）　　撤去箇所2箇所

種類	サイズ	数量
C75×45	L=2450	4本
C75×45	L=4000	4本
□60×60	L=2450	4本
ブレース　10Φ	L=4200	2本
折板屋根	3600×4000	1枚
基礎	180×180×100	2箇所

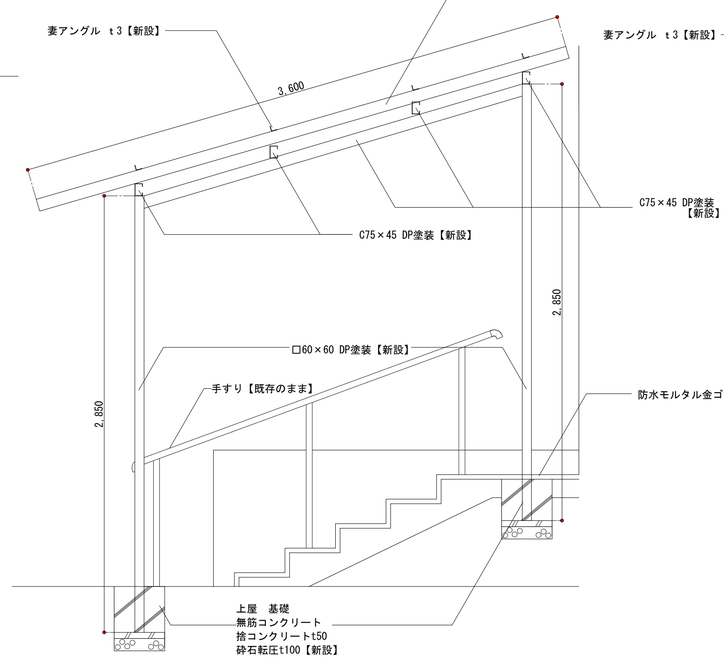
＜凡例＞

	撤去範囲

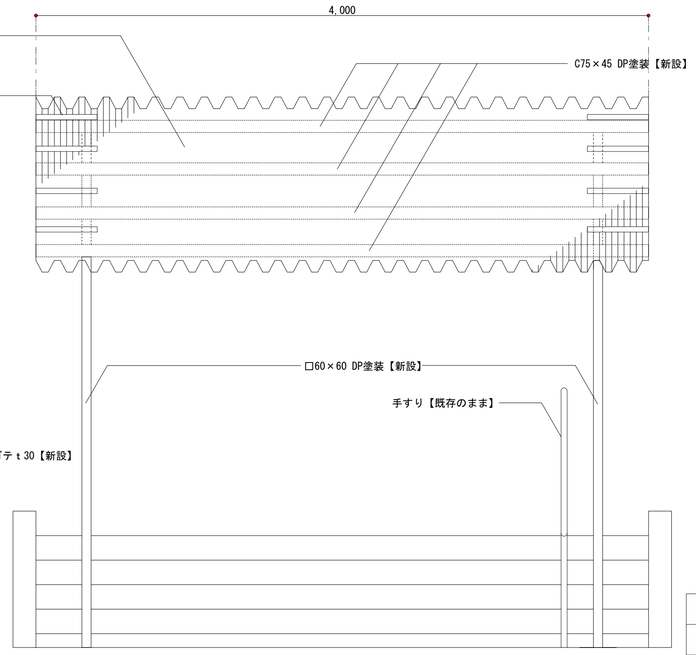
改修後



出入り口屋根平面図　1/20



出入り口屋根A-A' 断面図　1/20



出入り口屋根正面立面図　1/20

新設リスト（1箇所あたり）　　新設箇所2箇所

種類	サイズ	数量
C75×45	L=2450	4本
C75×45	L=4000	4本
□60×60	L=2850	4本
ブレース　10Φ	L=4200	2本
折板屋根	3600×4000	1枚
基礎	姿図参照	4箇所
妻アングル　t3	35×35×650	8箇所

※鋼製建具のメンテナンススペースを確保する事

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

仮設凡例

- 敷鉄板 t=22　1.5m×6.0　80枚　1.5m×3.0
- 枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914
- ガードフェンス　H1.8　総延長距離　48m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー　総延長距離　40m
- 工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0
- 交通誘導員を示す　　工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す　　(学) 生徒・学校関係者を示す
  (教) 教員車両を示す
  (般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

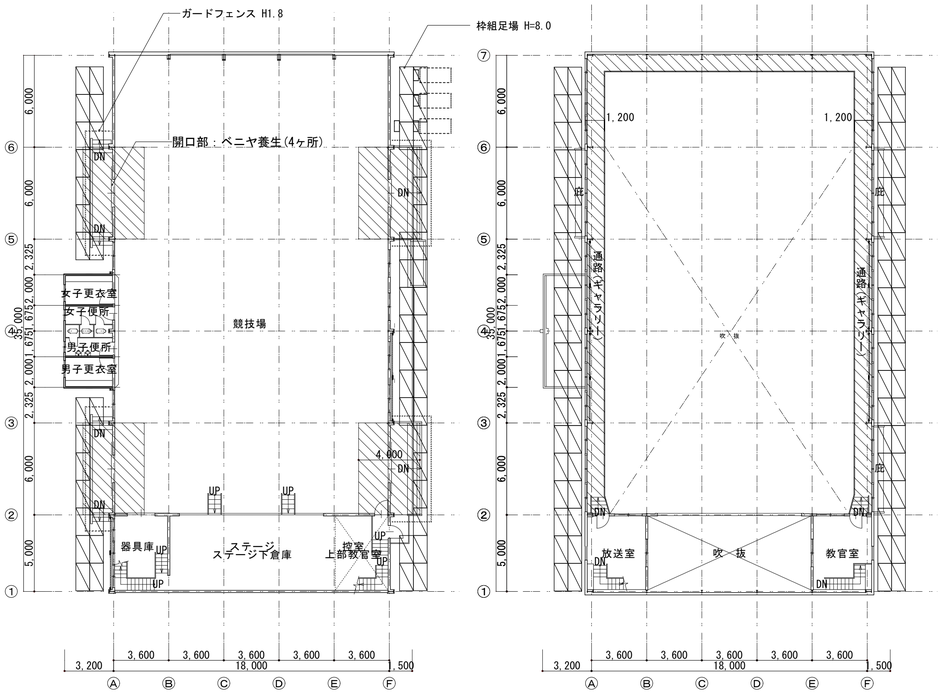
＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

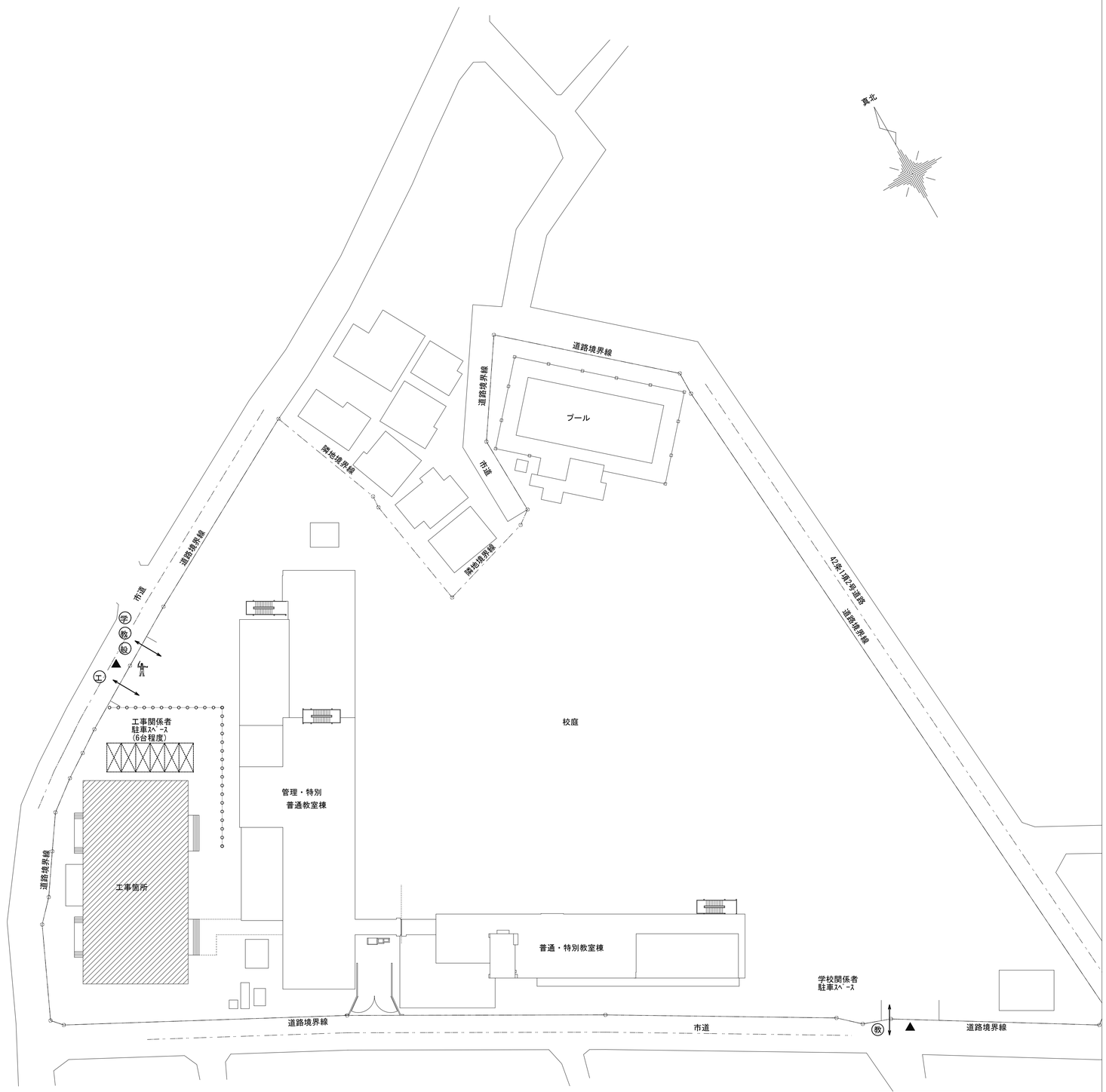
・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/400

工事箇所を示す

工事名	松戸市立八ケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・400 A3:1/400・800	図面番号	A-13
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立六実第二小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/40
A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立六実第二小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

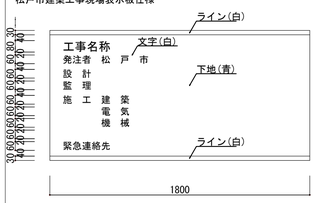
1. 工事場所　松戸市六実二丁目３４番地の１
2. 敷地面積　15,878　㎡
3. 改修建物概要
   - 用　　途：小学校(体育館)
   - 構　　造：S造
   - 階　　数：地上２階
   - 建築面積：
   - 延べ面積：636㎡
   - 最高高さ：9.30m（軒高さ：7.50m）
4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	仮囲い・資材置場
3　防水改修工事	シーリング充填
4　外壁改修工事	－
5　建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)、フィルム新設
6　内装改修工事	－
7　塗装改修工事	－
8　耐震改修工事	－
9　環境配慮改修工事	－
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
   (1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。
2. 特記仕様
   (1)項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
   (2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
   　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
   　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
   (3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
   (4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
   (5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項

①一般共通事項

①運用基準等
⊙ 松戸市建築工事に関する提出書類
⊙ 工事写真の撮り方　建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 松戸市建築工事現場表示板仕様

②工事実績情報サービス(CORINS)への登録
※ 適用する　[1.1.4]

③施工計画書
⊙ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2]
⊙ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。
⊙ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。
⊙ 施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。

4 電気保安技術者
・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]

⑤施工条件
※　現場説明書による　[1.3.5]

⑥発生材の処理等
※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]

⑦材料の品質等　[1.4.2]
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
(3)安定的な供給が可能であること。
(4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。
(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧化学物質を放散する建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b.接着剤等不使用
c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用
d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用
f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品
④旧JASのFco規格品

⑨特別な材料の工法
標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩技能士　[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

11 化学物質の濃度測定　[1.6.9]
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　　・行う
測定対象室　　・体育館
測定箇所数　　・1箇所

着工後の測定　　・行う
測定対象室　　・体育館
測定箇所数　　・1箇所

⑫ 完成図等　[1.8.1～3][表1.8.1]
※完成図　　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R))
　　・黒　金文字製本図　1部
・施工図　　提出部数　※　　部

13 完成写真
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャピ板 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャピ本版)提出)	外部(　)　内部(　　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

⑭ 設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑮ 設計GL
※図示　・設計GL＝現状GL

⑯ 工事写真
※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部

⑰ ワンデーレスポンスの実施
ワンデーレスポンスの取り組みについて
1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは
受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。
3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。
4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

⑱ 火災保険等
※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。

②仮設工事

①足場その他
内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1]
外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1]
屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。
材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1]
　・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種
・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。

②養生
既存部分の養生　　※ビニールシート　　・合板　厚12　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ビニールシート　　・
固定家具等の養生　※行う　　・行わない

3 仮設間仕切り
仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

4 監督職員事務所
規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]

⑤工事用水
構内既存の施設　　・利用できない　　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
※子メータを設置する。

⑥工事電力
構内既存の施設　　※利用できない　　⊙利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]

7 防音パネル
※アルミ製(解体作業期間)

8 仮門
・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所

⑨仮囲い
⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　　図示
※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　　m、　　箇所

10 仮設道路
・砕石敷(厚さ　　mm　幅　　mm)　L=　　m
　(砕石は、再生クラッシャランを使用)
・鋼板敷(厚さ　　mm　幅　　mm　L=　　m)　　枚

③防水改修工事

1 アスファルト防水　[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
　(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
　ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2 改質アスファルトシート防水　[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水　[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

4 塗膜防水　[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

5 脱気装置　[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　)㎡当たり1箇所

⑥シーリング
シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2]
⊙シーリング充填　　・シーリング再充填工法　　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1]
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

7 とい
といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1]
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G
鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3]
・次の箇所は行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃　除　口　　※有り　　・無し　　・
たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
・　図示

8 アルミニウム製笠木　[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

⑨折板葺　(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

4 外壁改修工事　共通事項

1 施工数量調査
調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　　※2部

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
		撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材G-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種別	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
		・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
		屋内建具
		表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
		・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
		網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
		形　式　・外部可動式　※固定式
	⑤ 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
		⊙建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	・建具表による	
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
		曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
		防火戸　・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

章	項目	特記事項
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
		・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。
		かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
		ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
		・鳥の子
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
		※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪ 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
		建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
		錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
		吊金物
		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
		・ピボットヒンジ
		⊙建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2]
		・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

章	項目	特記事項
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

章	項目	特記事項
	⑭ ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　⊙外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具参照

章	項目	特記事項
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

章	項目	特記事項
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (2)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

[6.5.2][表6.5.2～3]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

[6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ (mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外 ・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0　・8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(繊物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
	・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ (ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による (機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ比	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	2 下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種　※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種　※RB種	
セメント板面	・RA種　※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種 / ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。
9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｻｲﾄﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室毎）	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合） 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
（集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること）
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
（大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署）
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ　建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。
		遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・ 厚さは図示 ・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂 厚さは図示
		盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種　※B種　・C種　・D種
		路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(　　)　・消石灰(　　) 添加量　kg/?(目標CBR ※5以上　・ 路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土) 路床締固め度の試験　※行う
		アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部　※改質アスファルトⅠ型 歩道部　※ストレートアスファルト
		透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

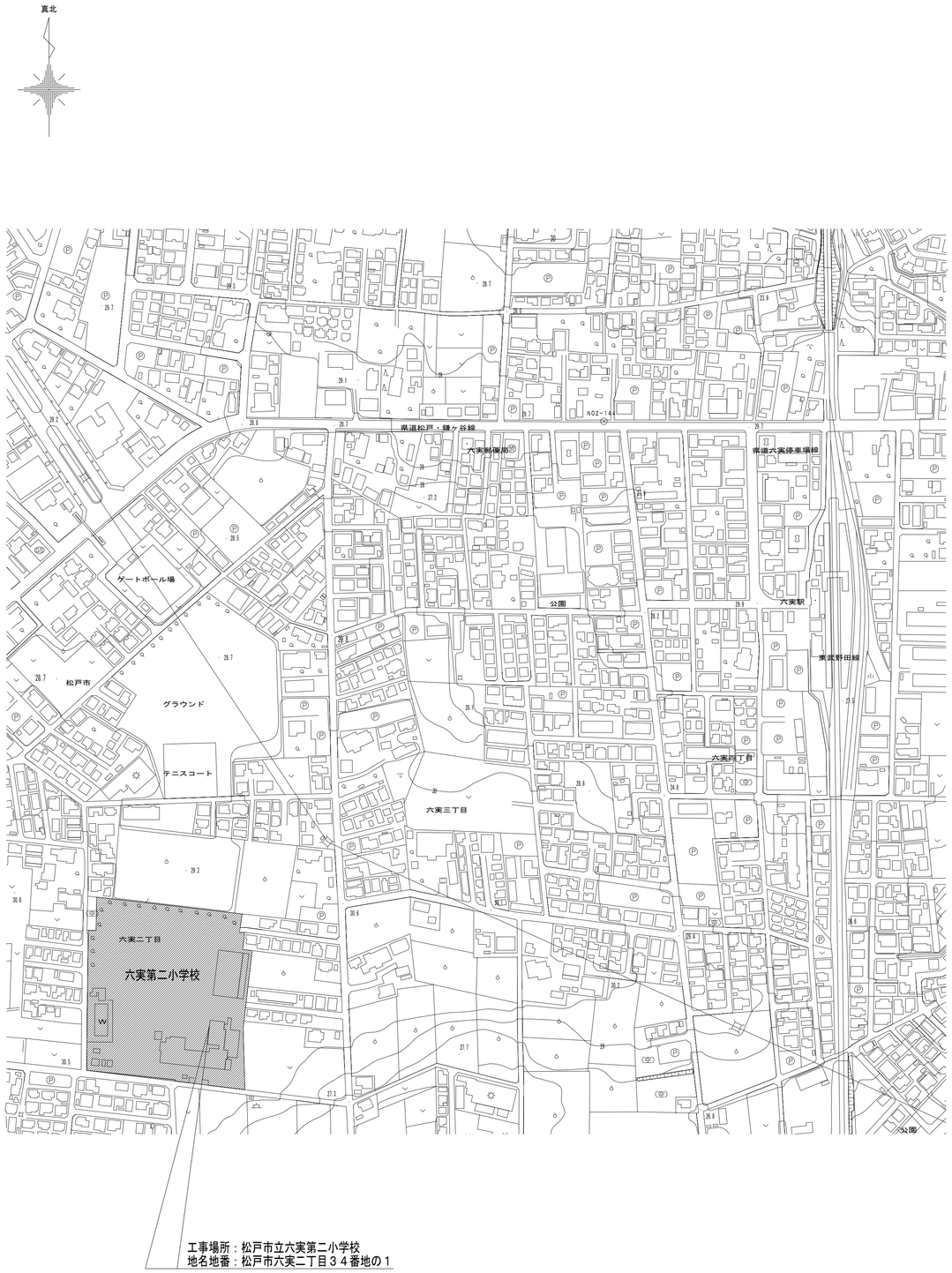
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事
植樹　・図示 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

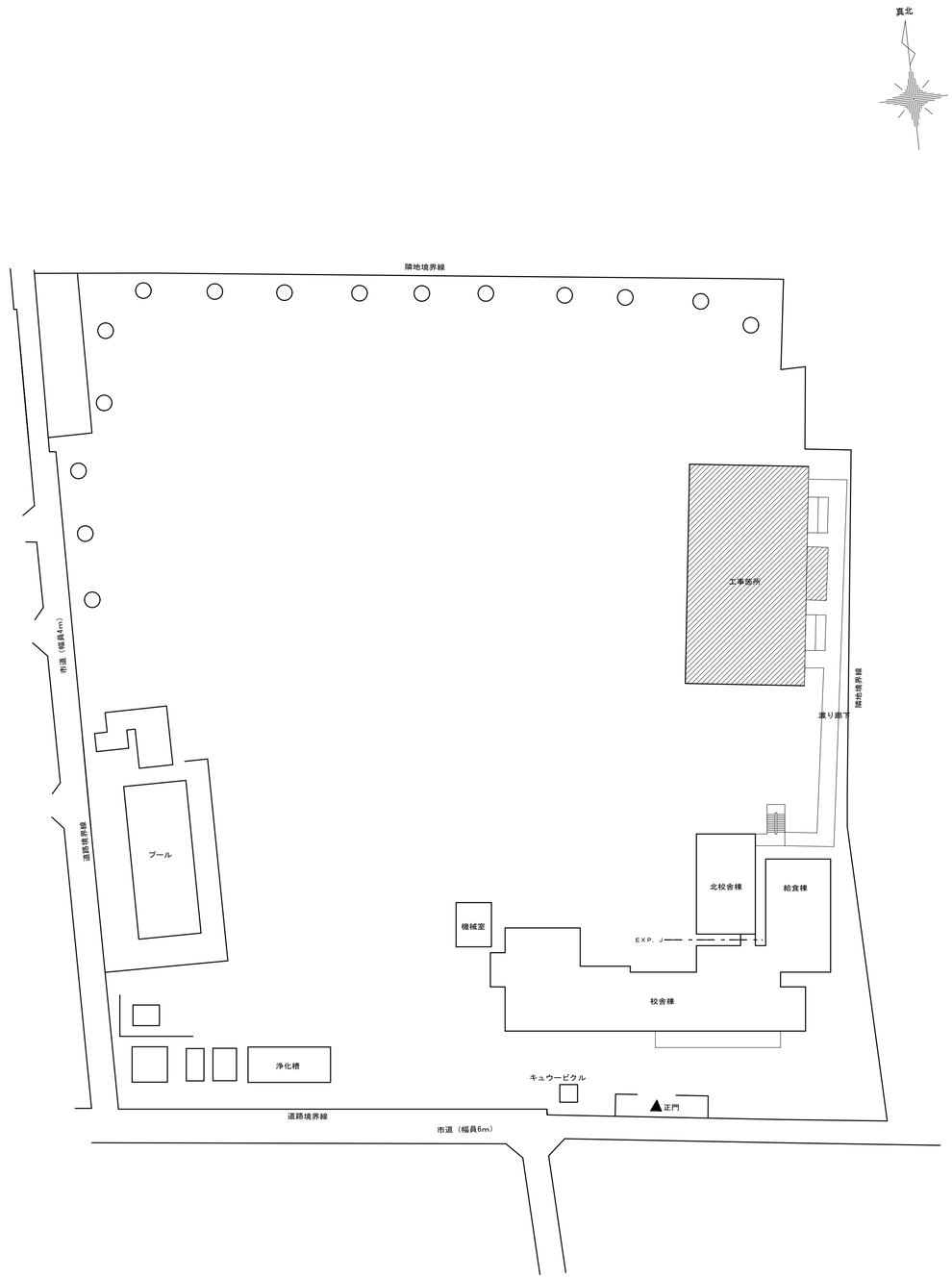
工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ（雑壁部分）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み　（開口補強有り）	○	○	○
		切込み　（開口補強無し）	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器（水栓含む）				
	掃除用流し（水栓含む）				
	廊下流し台（排水トラップ含む）				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



案内図　1/2500

工事場所を示す

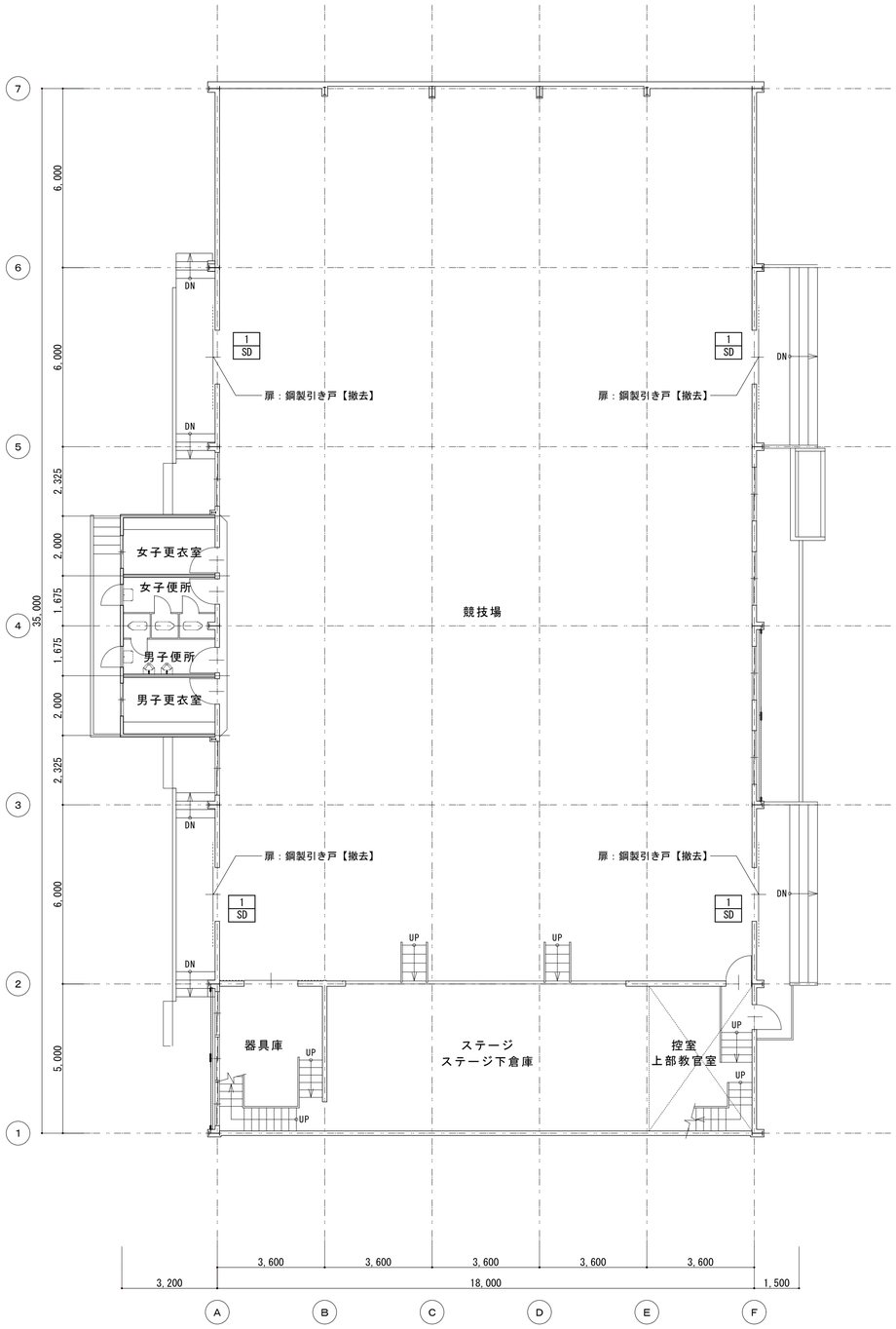


配置図　1/500

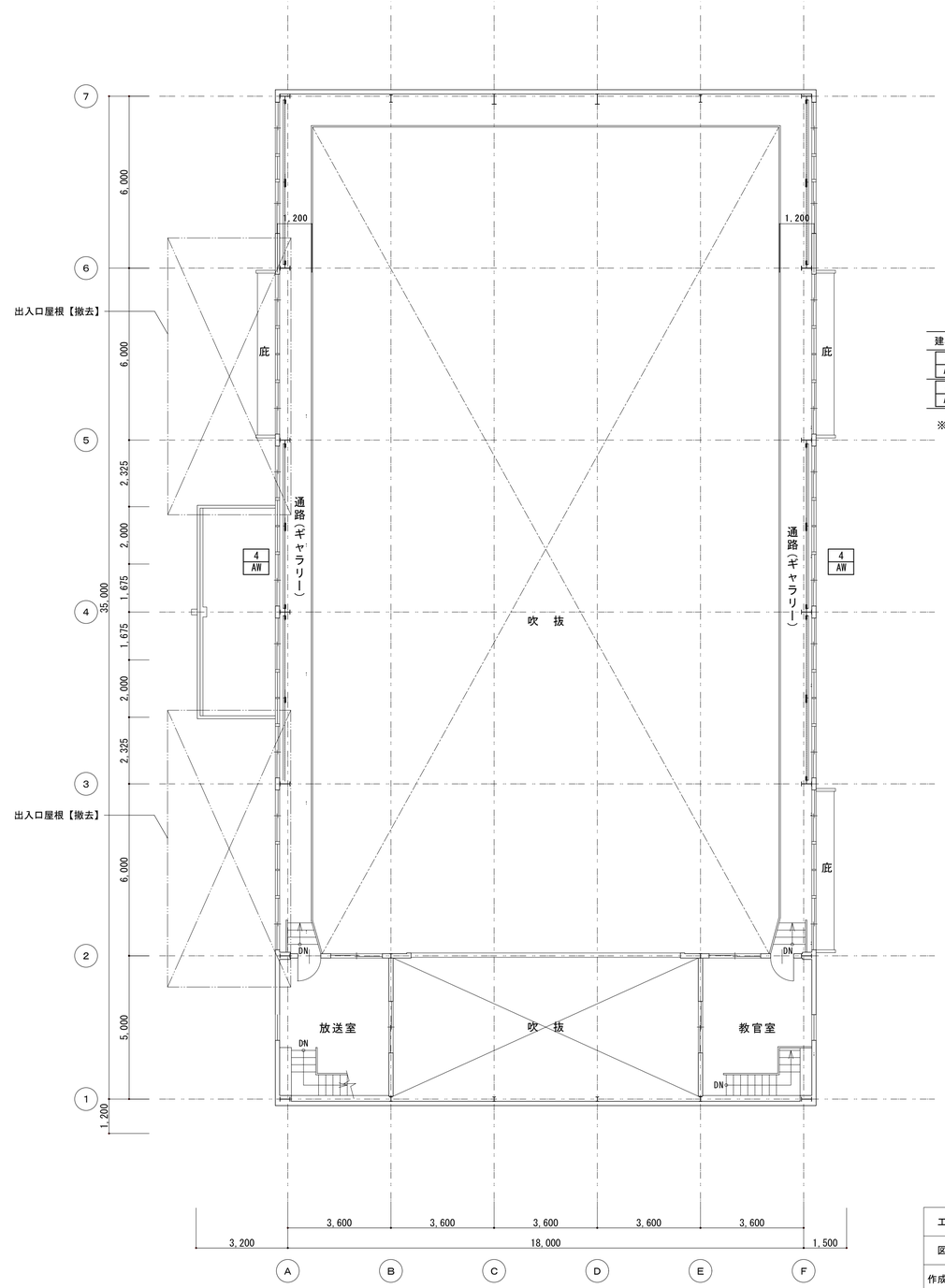
工事箇所を示す

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前	既存フィルム無し



1階平面図　1/100



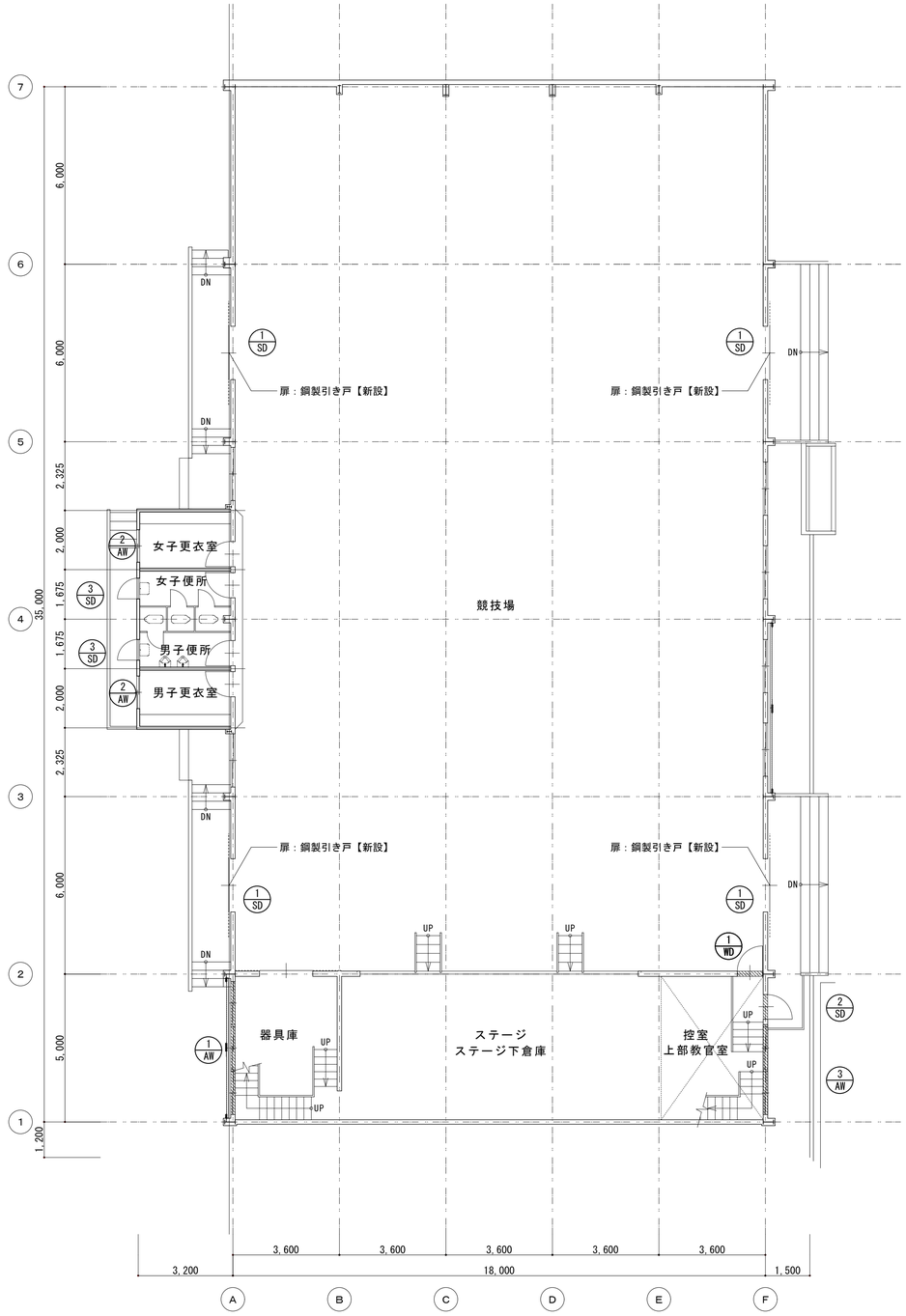
2階平面図　1/100

建具名	割れガラス撤去面積　計8.37㎡
4/AW	0.9m×0.9m×7枚＝5.67㎡
4/AW	0.9m×1.0m×3枚＝2.7㎡

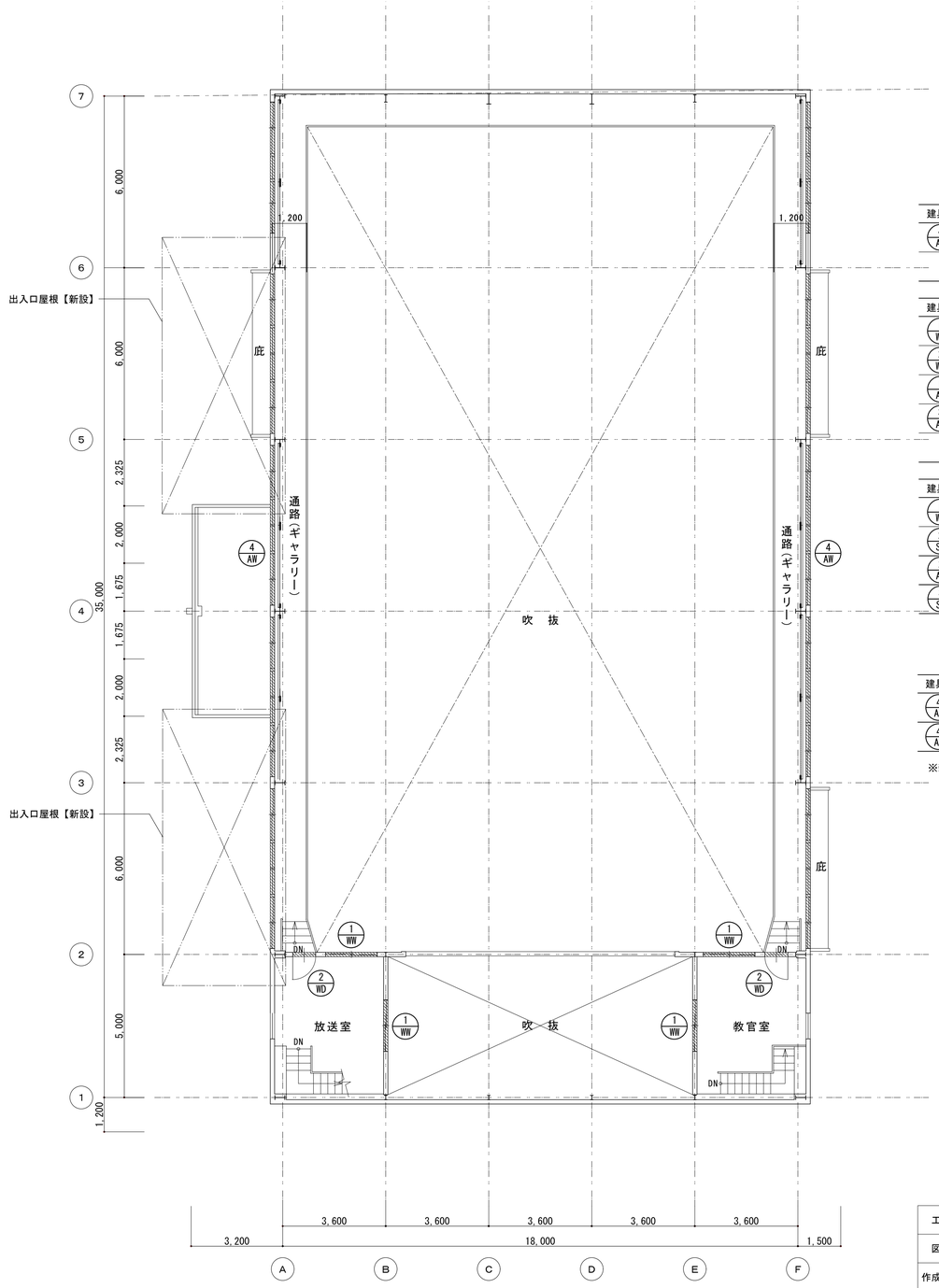
※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修前］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

北

建具名	遮熱フィルム新設面積　外貼　計151.2㎡
4/AW	2.8m×1.8m×3枚×10＝151.2㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計7.74㎡
1/WW	1.8m×0.6m×4枚＝4.32㎡
2/WD	0.63m×0.42m×2枚＝0.52㎡
1/AW	1.45m×0.4m×3枚＝1.74㎡
3/AW	1.45m×0.4m×2枚＝1.16㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　外貼　計2.77㎡
1/WD	0.8m×0.15m＝0.12㎡
2/SD	0.4m×0.83m×1枚＝0.332㎡
2/AW	1.07m×0.49m×2枚＝1.04㎡
3/SD	0.8m×0.8m×2枚＝1.28㎡

フィルム新設範囲を示す

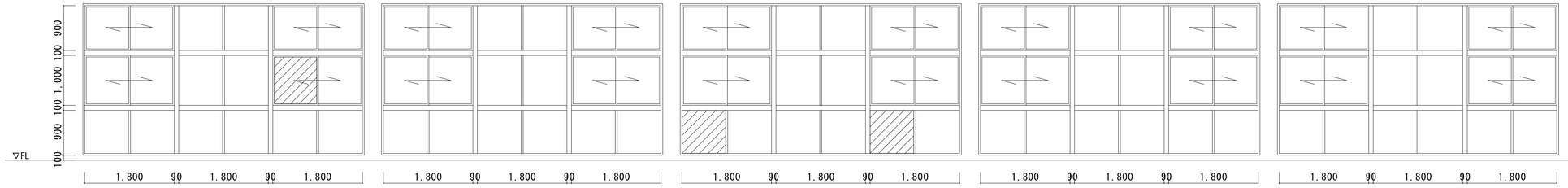
建具名	割れガラス新設面積　計8.37㎡
4/AW	0.9m×0.9m×7枚＝5.67㎡
4/AW	0.9m×1.0m×3枚＝2.7㎡

※新設箇所について建具表参照

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修後］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	4/AW 4/AW 東面 引き違い窓	1ヶ所

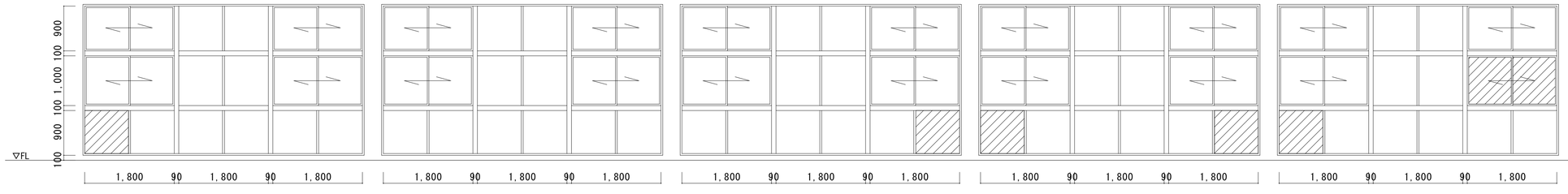
姿図



場所	競技場
硝子種類	網入り型硝子t6.8
硝子サイズ	姿図参照
備考	フィルムタイプ・F 硝子撤去後、網入り型硝子新設(フィルムタイプ・F)

記号・名称・個数	4/AW 4/AW 西面 引き違い窓	1ヶ所

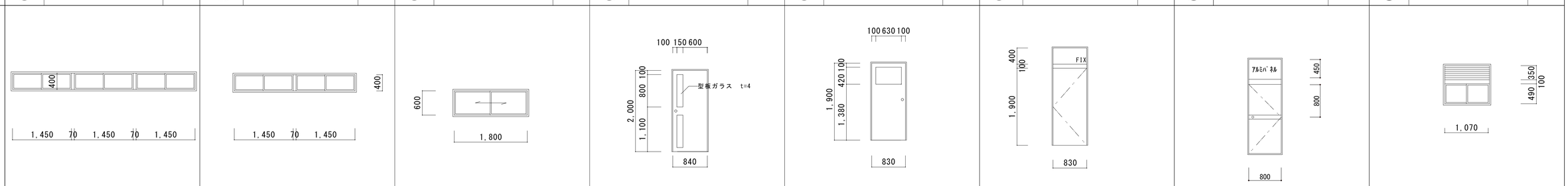
姿図



場所	競技場
硝子種類	網入り型硝子t6.8
硝子サイズ	姿図参照
備考	フィルムタイプ・F 硝子撤去後、網入り型硝子新設(フィルムタイプ・F)

記号・名称・個数	1/AW 引き違い窓連窓	1ヶ所	3/AW 引き違い窓連窓	1ヶ所	1/WW 引き違い窓	4ヶ所	1/WD 片開きドア(フラッシュ)	1ヶ所	2/WD 片開きドア(フラッシュ)	2ヶ所	2/SD 片開きドア(フラッシュ)	1ヶ所	3/SD ランマ付片開き窓	2ヶ所	2/AW ガラリ付引き違い窓	2ヶ所

姿図



	器具室	控室	教官室、放送室	競技場	教官室、放送室	控室	便所	更衣室
場所	器具室	控室	教官室、放送室	競技場	教官室、放送室	控室	便所	更衣室
硝子種類	透明硝子ｔ＝3.0	透明硝子ｔ＝3.0	透明硝子ｔ＝3.0	型板硝子ｔ＝4.0	透明硝子ｔ＝3.0	型硝子ｔ＝3.0	型硝子ｔ＝3.0	型硝子ｔ＝4.0
硝子サイズ	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照
備考	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・H	フィルムタイプ・G	フィルムタイプ・H	フィルムタイプ・H	フィルムタイプ・H

記号・名称・個数	
場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備考	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子＼方角			東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

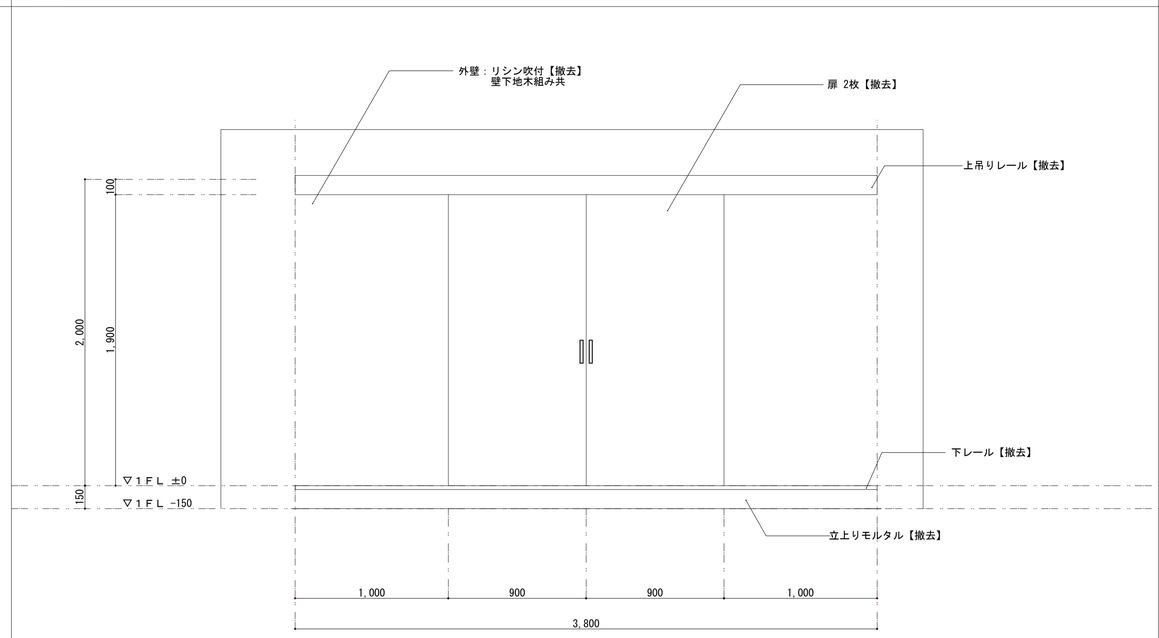
既存硝子＼方角			全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

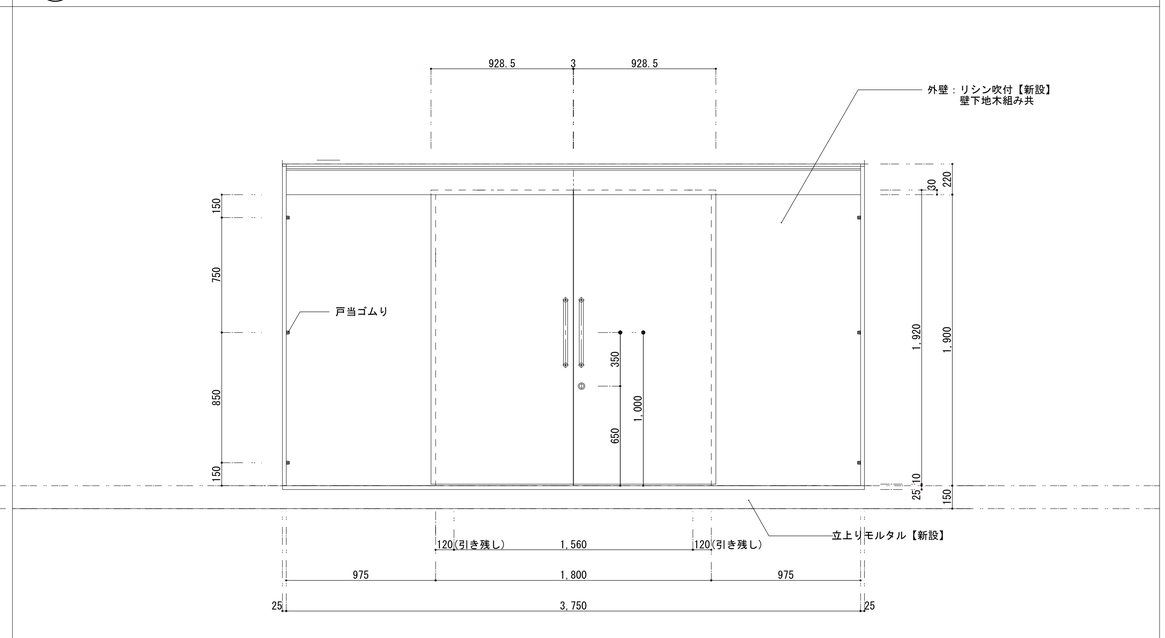
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・数量	1/SD × 4箇所【撤去】	1/SD × 4箇所【新設】

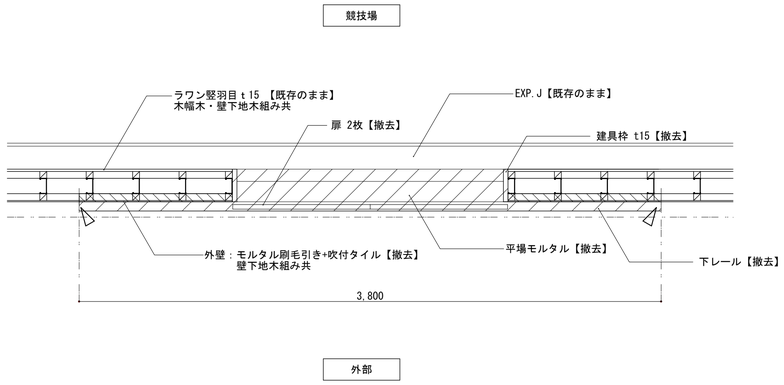
姿図・寸法



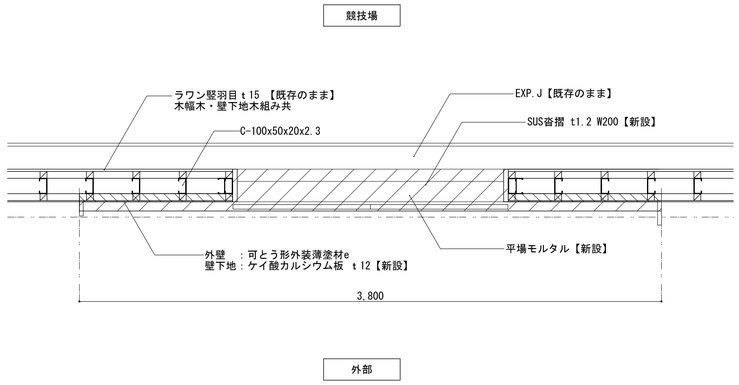


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き分け戸	2枚引き分けハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	－	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図 1/20



【改修後】平面図 1/20

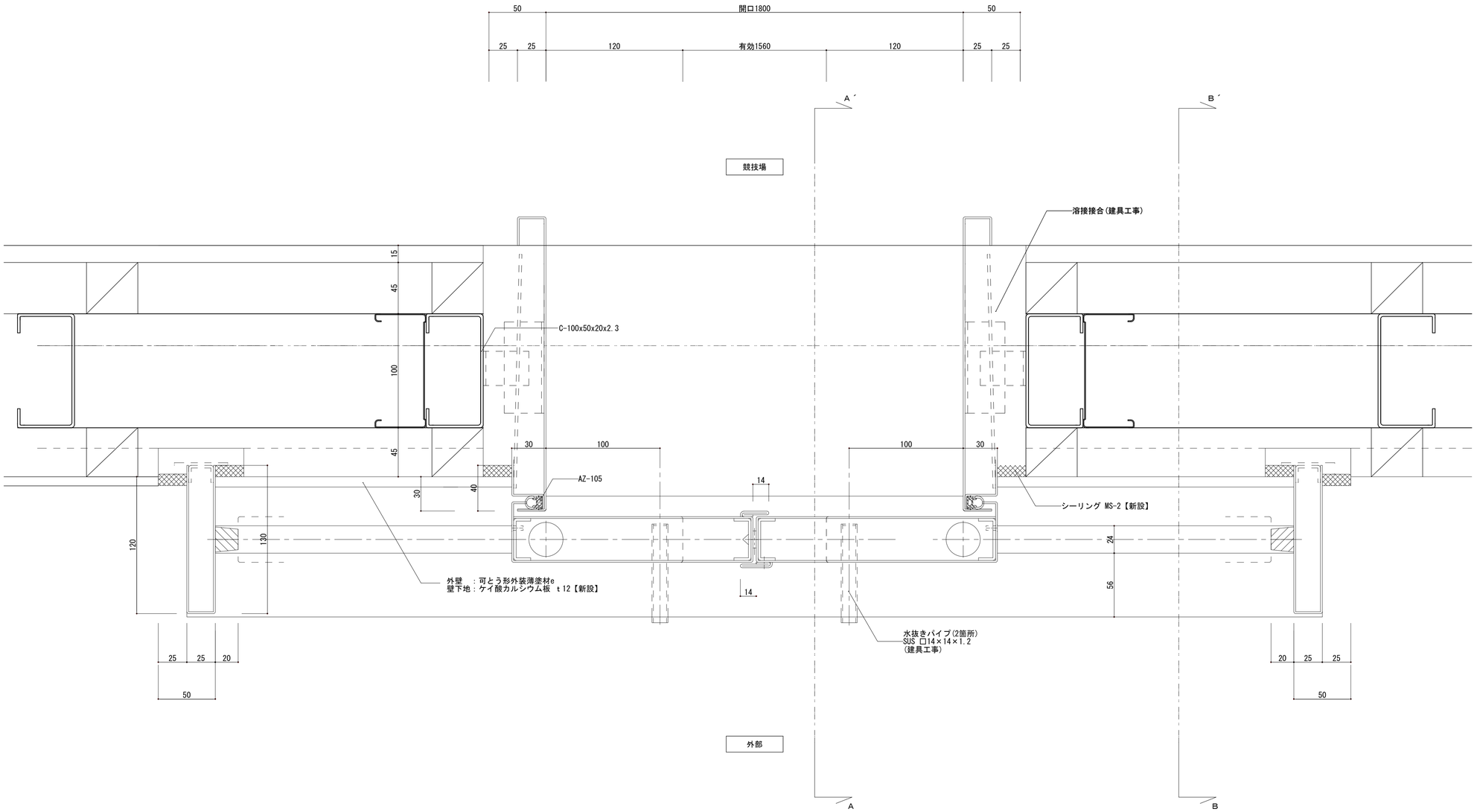
凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

壁撤去範囲を示す

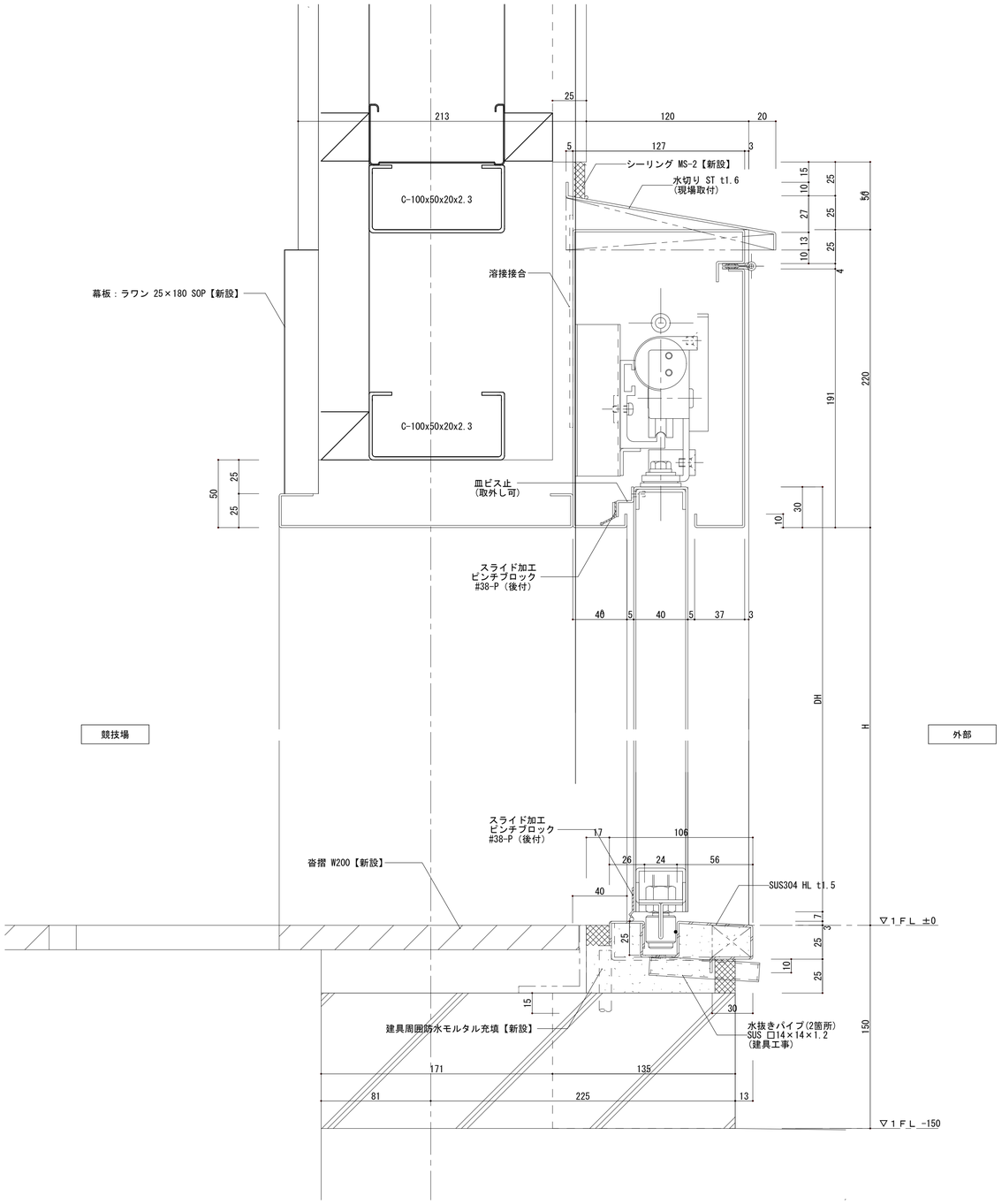
工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

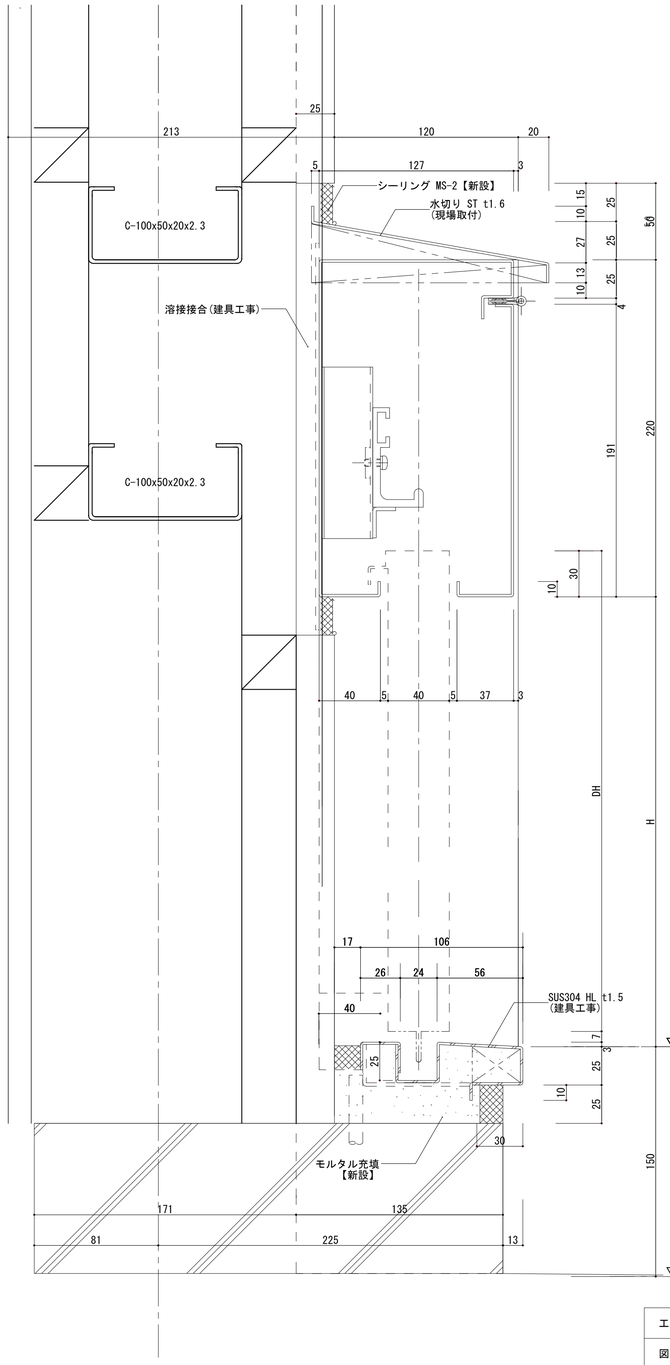
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



A－A´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事



B－B´建具断面詳細図　1/2

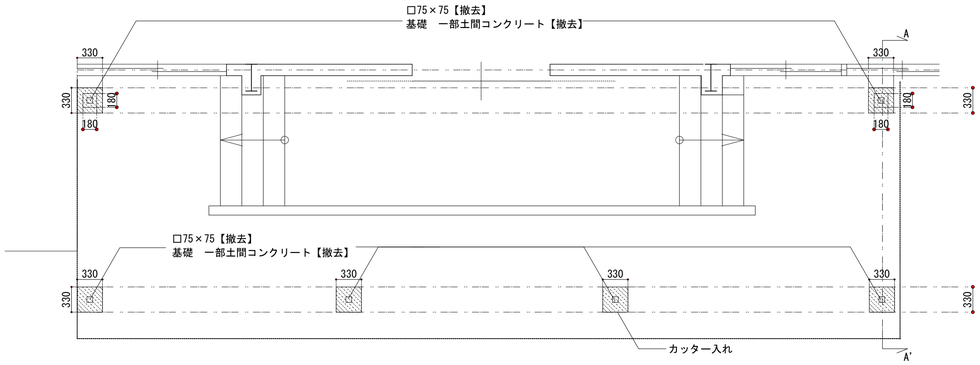
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

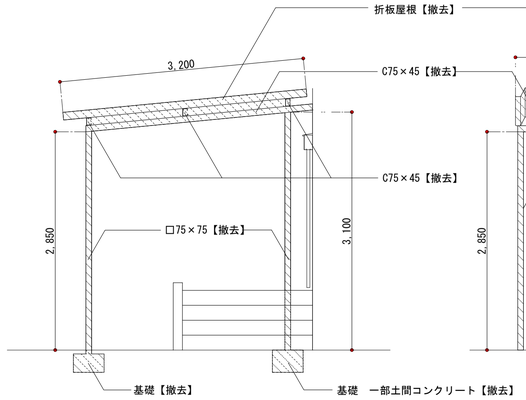
改修前

撤去リスト

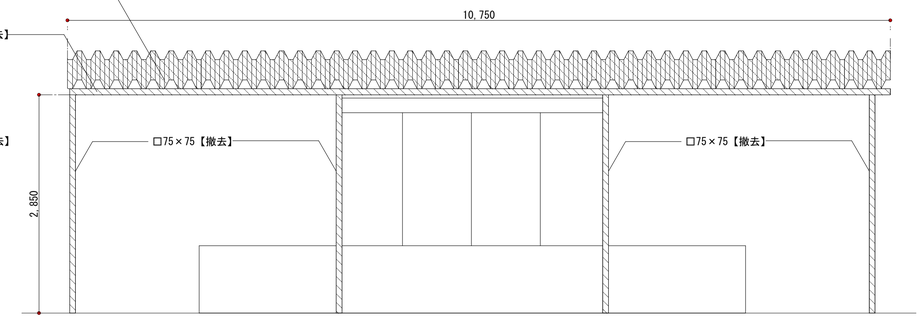
種類	サイズ	数量
C75×45	L=3000	8本
C75×45	L=10750	3本
□75×75	L=2850 L=3100	4本 2本
ブレース　10Φ	L=4300	6本
折板屋根	10750×3200	1枚
基礎	240×240×130	2箇所



出入り口屋根平面図　1/40



出入り口屋根A-A'断面図　1/40



出入り口屋根正面立面図　1/40

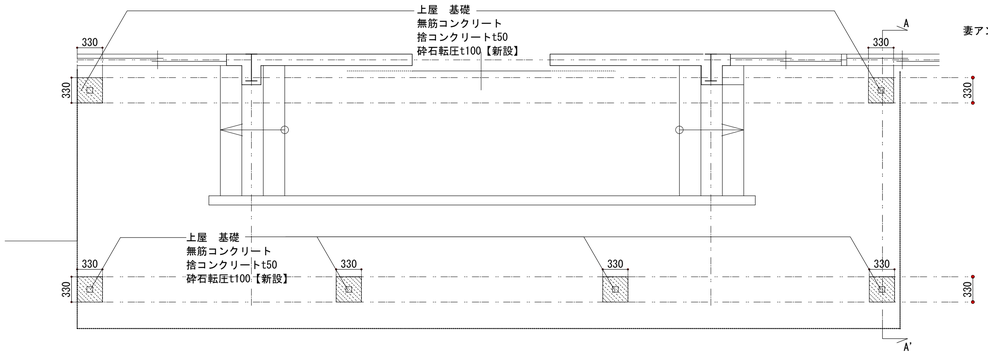
＜凡例＞

	撤去範囲

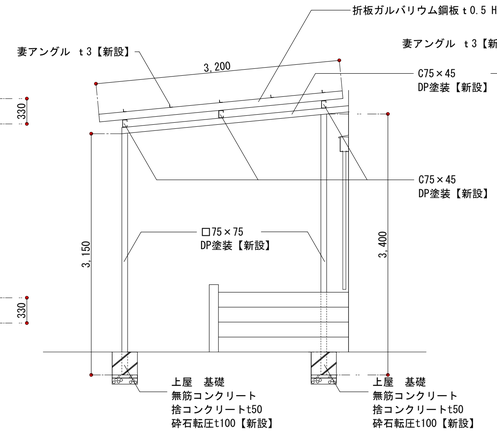
改修後

新設リスト

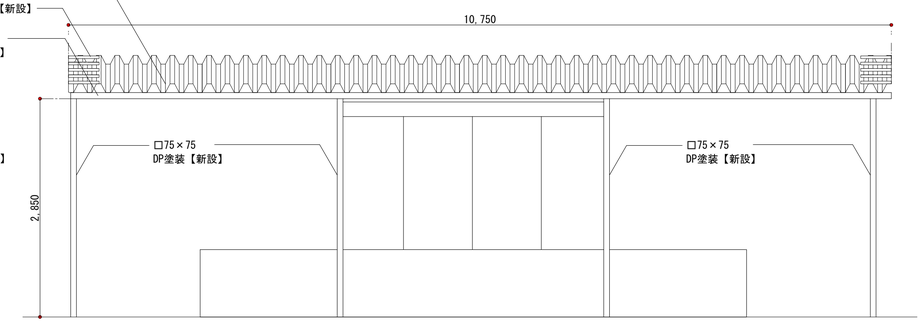
種類	サイズ	数量
C75×45	L=3000	8本
C75×45	L=10750	3本
□75×75	L=3150 L=3400	4本 2本
ブレース　10Φ	L=4300	6本
折板屋根	10750×3200	1枚
基礎	姿図参照	6箇所
妻アングル　t3	35×35×650	10箇所



出入り口屋根平面図　1/40



出入り口屋根A-A'断面図　1/40



出入り口屋根正面立面図　1/40

※鋼製建具のメンテナンススペースを確保する事

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

仮設凡例

- ~~敷鉄板 t=22 1.5m×6.0~~
- 枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610
- ~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 125m
- ~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0 (2箇所)~~
- 交通誘導員を示す　工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す　(学) 生徒・学校関係者を示す
  (教) 教員車両を示す
  (般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

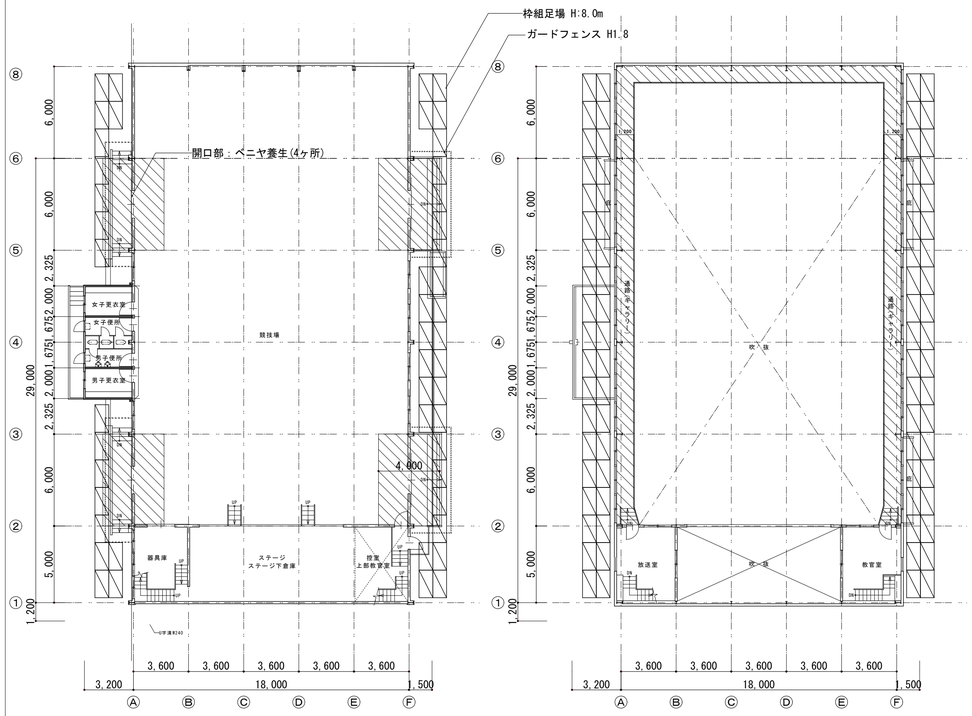
＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

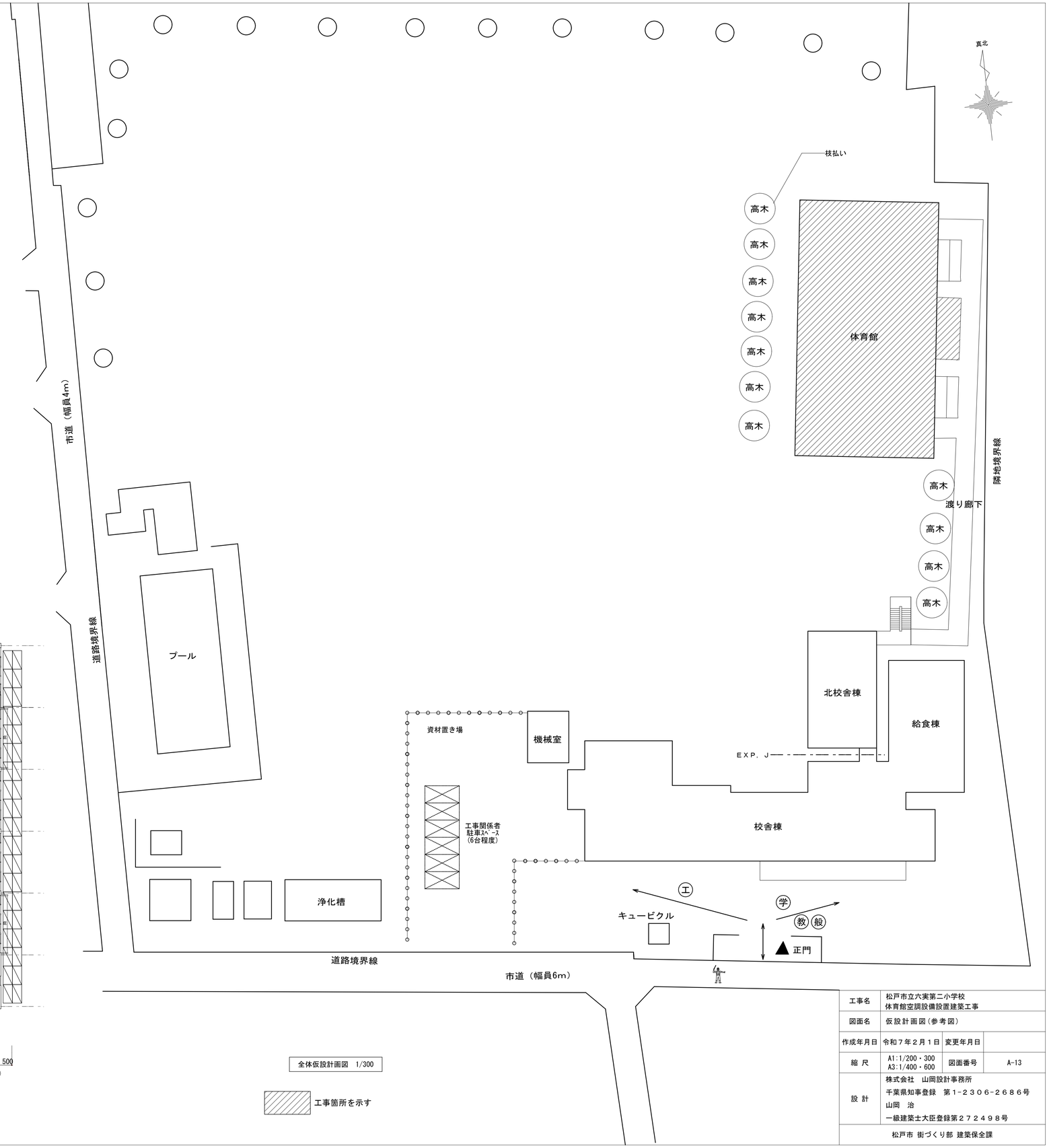
・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（参考図）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-13
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事

図　面　リ　ス　ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立幸谷小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市幸谷２１２番地の２

2. 敷地面積　14,449　㎡

3. 改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：S造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：637㎡
- 最高高さ：9.30m（軒高さ：7.50m）

4. 工事内容

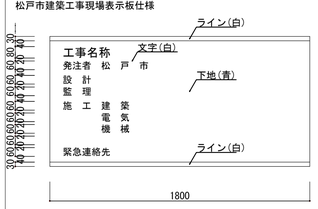
	工事種目	工事範囲
2	仮設工事	仮囲い・資材置場
3	防水改修工事	シーリング充填
4	外壁改修工事	-
5	建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)、フィルム新設
6	内装改修工事	-
7	塗装改修工事	-
8	耐震改修工事	-
9	環境配慮改修工事	-
10	その他	

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1) 材料
1) 耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2) 注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 運用基準等
⊙ 松戸市建築工事に関する提出書類
⊙ 工事写真の撮り方　建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 松戸市建築工事現場表示板仕様

② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録
※ 適用する　[1.1.4]

③ 施工計画書
⊙ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2]
⊙ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。
⊙ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。
⊙ 施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。

4 電気保安技術者
・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]

⑤ 施工条件
※　現場説明書による　[1.3.5]

⑥ 発生材の処理等
※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]

⑦ 材料の品質等　[1.4.2]
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
(3) 安定的な供給が可能であること。
(4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧ 化学物質を放散する建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品
④旧JASのFco規格品

⑨ 特別な材料の工法
標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩ 技能士　[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

11 化学物質の濃度測定　[1.6.9]
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　　・行う
測定対象室　　・体育館
測定箇所数　　・1箇所

着工後の測定　　・行う
測定対象室　　・体育館
測定箇所数　　・1箇所

⑫ 完成図等　[1.8.1～3][表1.8.1]
※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R))
・黒　金文字製本図　1部
・施工図　提出部数　※　　部

章	項　目	特　記　事　項

13 完成写真
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部(　)　内部(　　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

⑭ 設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑮ 設計GL
※図示　・設計GL＝現状GL

⑯ 工事写真
※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部

⑰ ワンデーレスポンスの実施
ワンデーレスポンスの取り組みについて
1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは
受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。
4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

⑱ 火災保険等
※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。

② 仮設工事

① 足場その他
内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1]
外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1]
屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。
材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1]
・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種
・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。

② 養生
既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ビニールシート　・
固定家具等の養生　※行う　・行わない

3 仮設間仕切り
仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

4 監督職員事務所
規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]

⑤ 工事用水
構内既存の施設　・利用できない　※利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]
※子メータを設置する。

⑥ 工事電力
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]

7 防音パネル
※アルミ製(解体作業期間)

8 仮門
・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所

⑨ 仮囲い
⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　　図示
※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　　m、　　箇所

10 仮設道路
・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m
(砕石は、再生クラッシャランを使用)
・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　　枚

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水　[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・POD		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2 改質アスファルトシート防水　[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項

3 合成高分子系ルーフィングシート防水　[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・POS工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・POSI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

4 塗膜防水　[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・POX工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

5 脱気装置　[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　)㎡当たり1箇所

⑥ シーリング
シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2]
⊙シーリング充填　　・シーリング再充填工法　　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1]
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

7 とい
といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1]
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G
鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3]
・次の箇所は行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃　除　口　　※有り　　・無し　　・
たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
・　図示

8 アルミニウム製笠木　[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

9 折板葺　(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

4 外壁改修工事　共通事項

1 施工数量調査
調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　　※2部

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 温冷
(N/?)	(N/?)			
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法 (鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル	
3 浮き部改修工法	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木・パラペット天端部分) [4.1.4][4.4.10]	
4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル　T3	

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法	・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9] 改修工法の種類 / 材料 / 品質・規格等 ・充填工法 / エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法 / 改修標仕4.2.2(7)による / 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示	
4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]	

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル　T3	

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2] 撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類 / 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・タイル部分張替え工法用接着剤 / 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。	
	・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示	

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16] シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1] 種類　※改修標仕表3.7.1による	
6 陶磁器タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]	

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材	※下地調整材C-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)	
3 仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]	

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ	・コンクリート打放し保護仕上塗材 ※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする ・トップコート 下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材) 使用箇所　：屋上笠木、庇上部等 JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材	

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]	
3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]	

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー) 屋内建具 表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製 形　式　・外部可動式　※固定式	
⑤ 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸　・適用する [5.4.4] ⊙建具表による	
6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2] ・建具表による	
7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸　・適用する [5.1.4]	
8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]	

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。	
10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤	
⑪ 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ ⊙建具表による	
12 ガラス	※建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]	

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]	

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]	

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]	

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

[6.5.2][表6.5.2～3]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

[6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ (mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外 ・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0　・8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(繊物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
	・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ (ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ピンルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による (機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ比	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質:ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質:ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼:※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台:※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材:※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	2 下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種　※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種　※RB種	
セメント板面	・RA種　※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種 / ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

章	項目	特記事項
9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｱﾃﾞｨﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｫﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室毎）	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合） 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
（集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること）
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
（大気汚染防止法→松戸市環境保全課　労働安全衛生法→柏労働基準監督署）
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ　建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・ 厚さは図示 ・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種　※B種　・C種　・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(　　)　・消石灰(　　) 添加量　kg/?(目標CBR ※5以上　・ 路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土) 路床締固め度の試験　※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部　※改質アスファルトⅠ型 歩道部　※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事
植樹　・図示 (22.3.2)

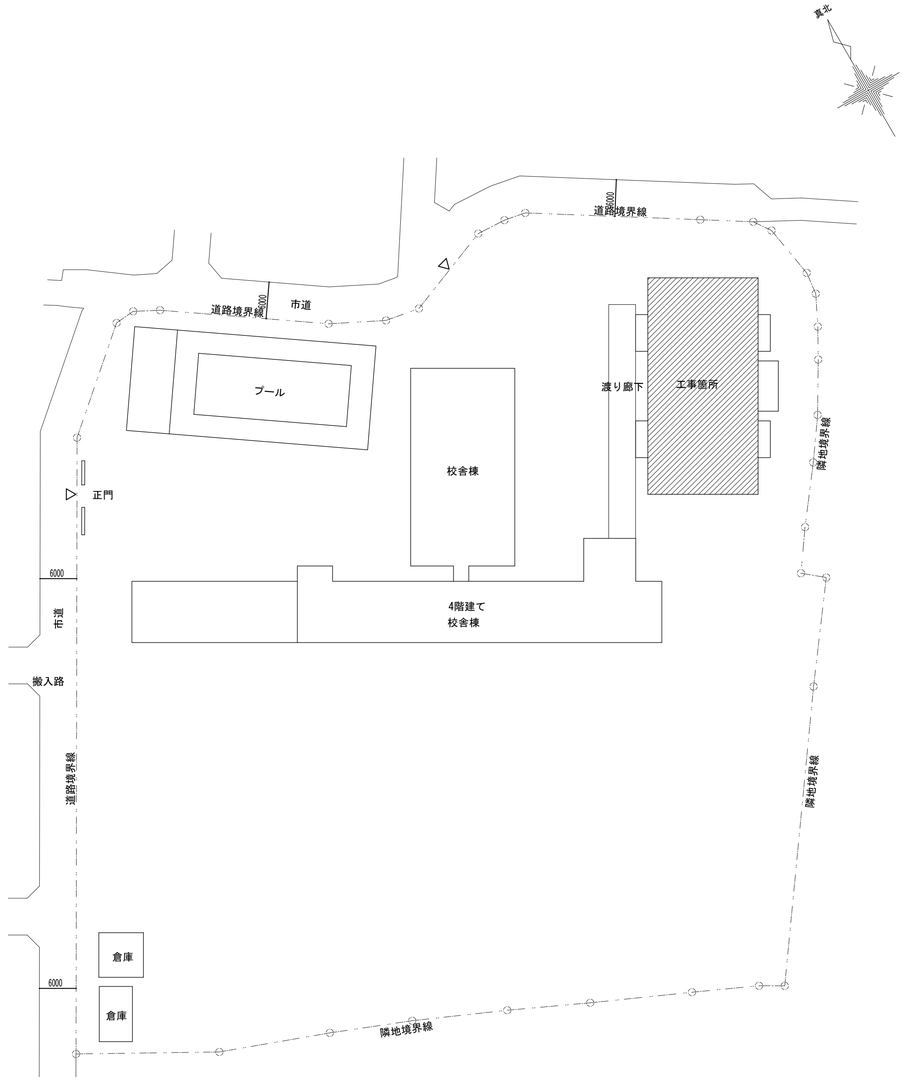
樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ（雑壁部分）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み　（開口補強有り）	○	○	○
		切込み　（開口補強無し）	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器（水栓含む）				
	掃除用流し（水栓含む）				
	廊下流し台（排水トラップ含む）				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

案内図　1/2500

工事場所を示す

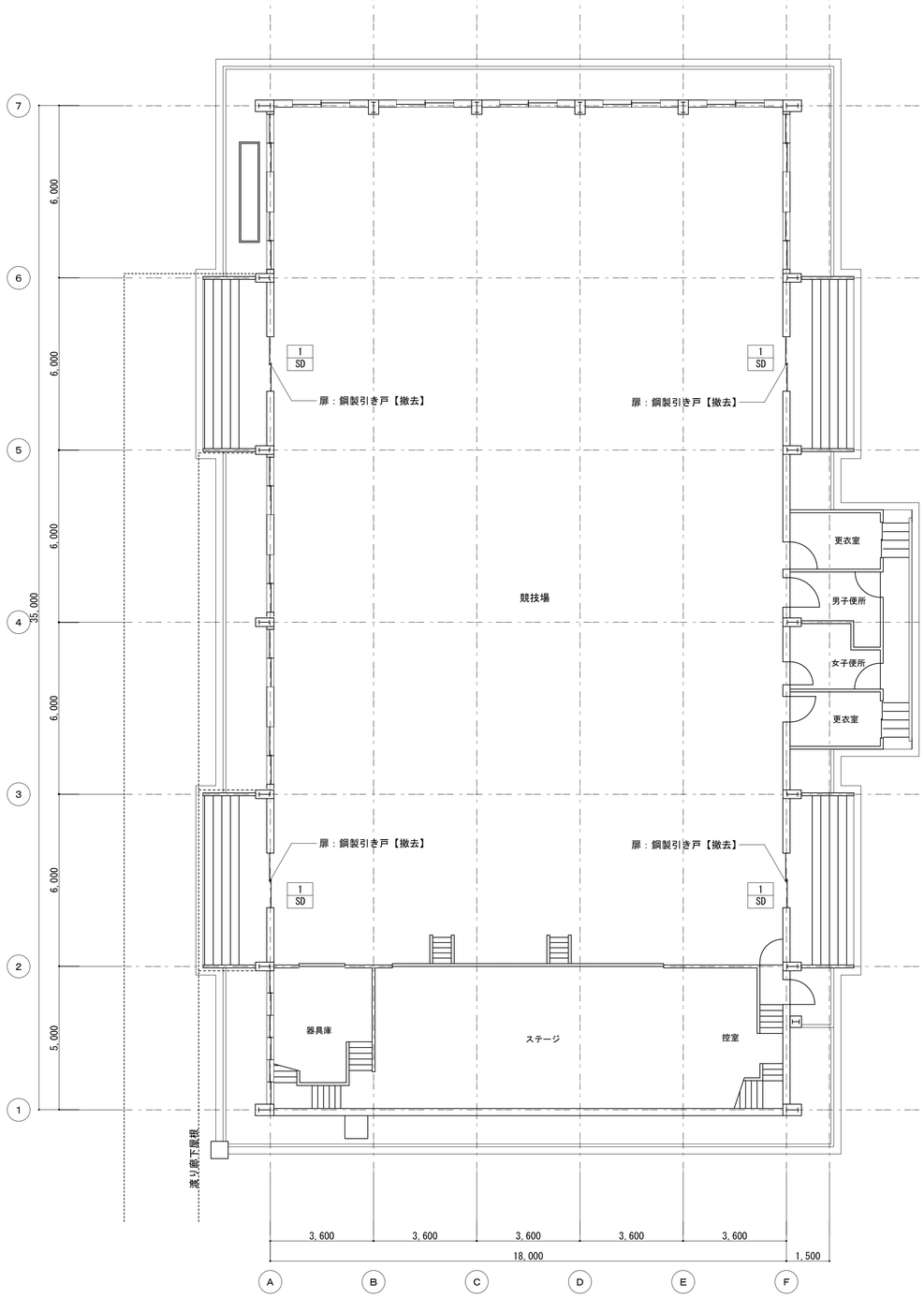


配置図　1/500

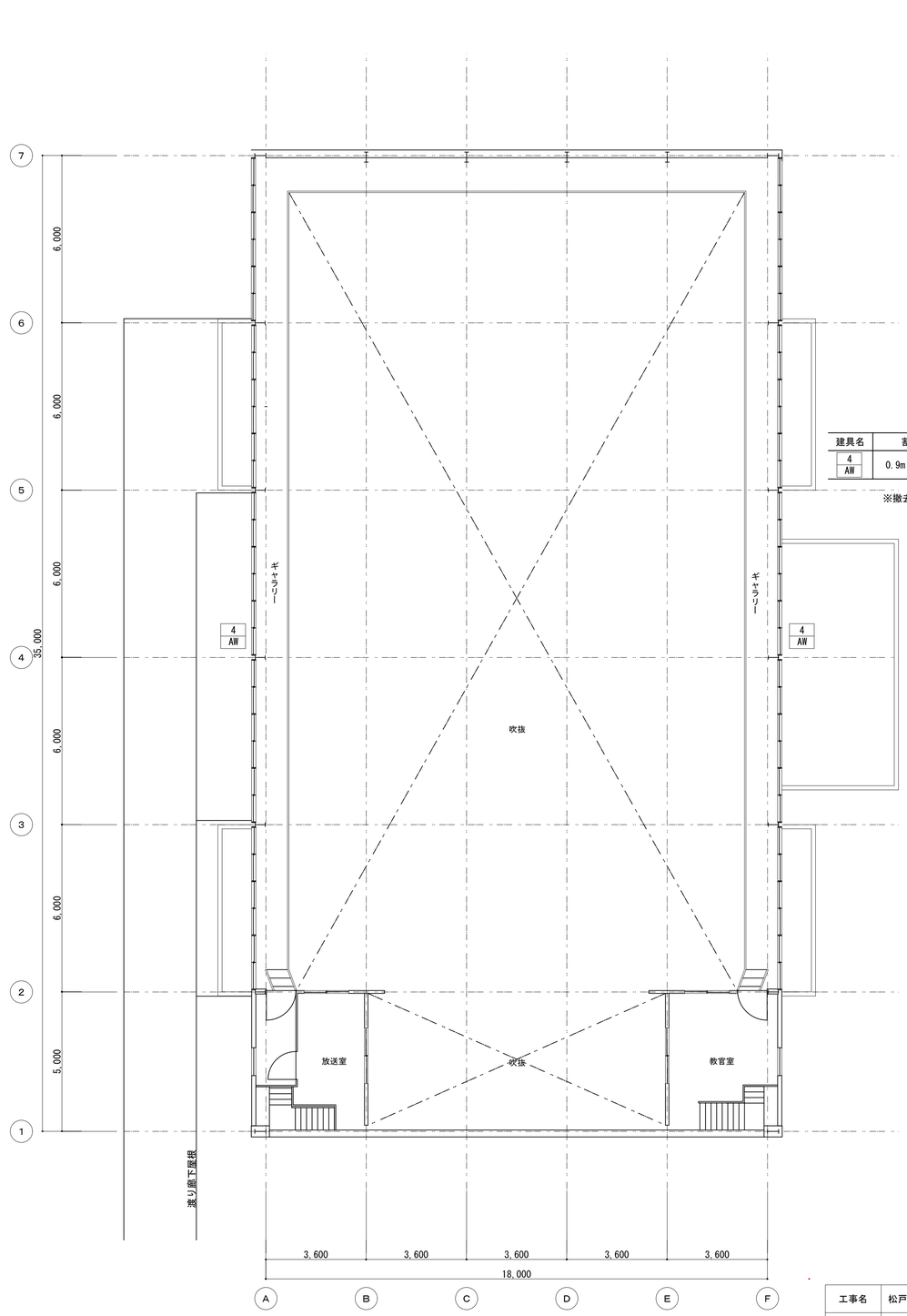
工事箇所を示す

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前　既存フィルム無し



１階平面図　1/100



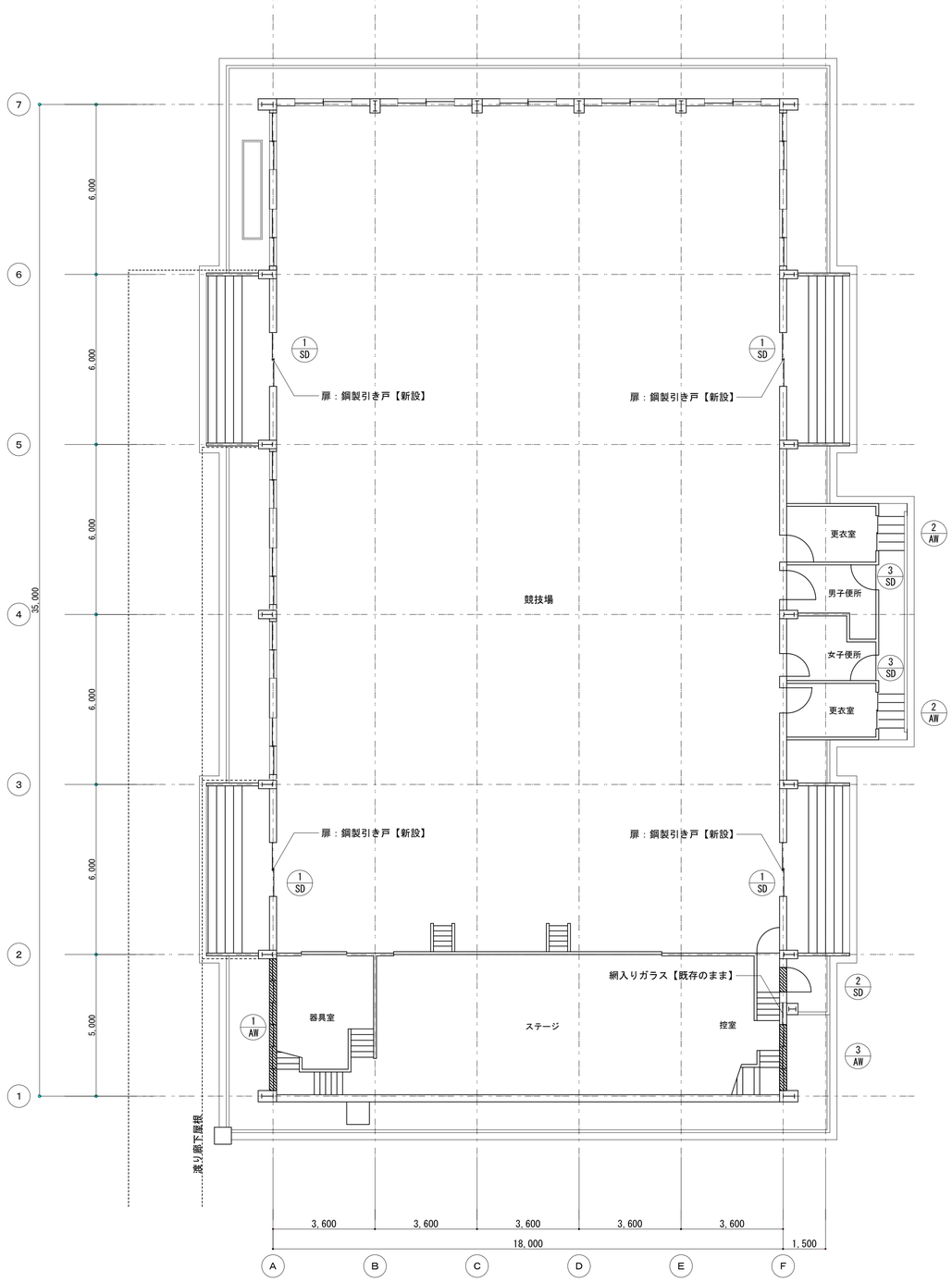
建具名	割れガラス撤去面積　計2.43㎡
4 AW	0.9m×0.9m×3枚＝2.43㎡

※撤去箇所について建具表参照

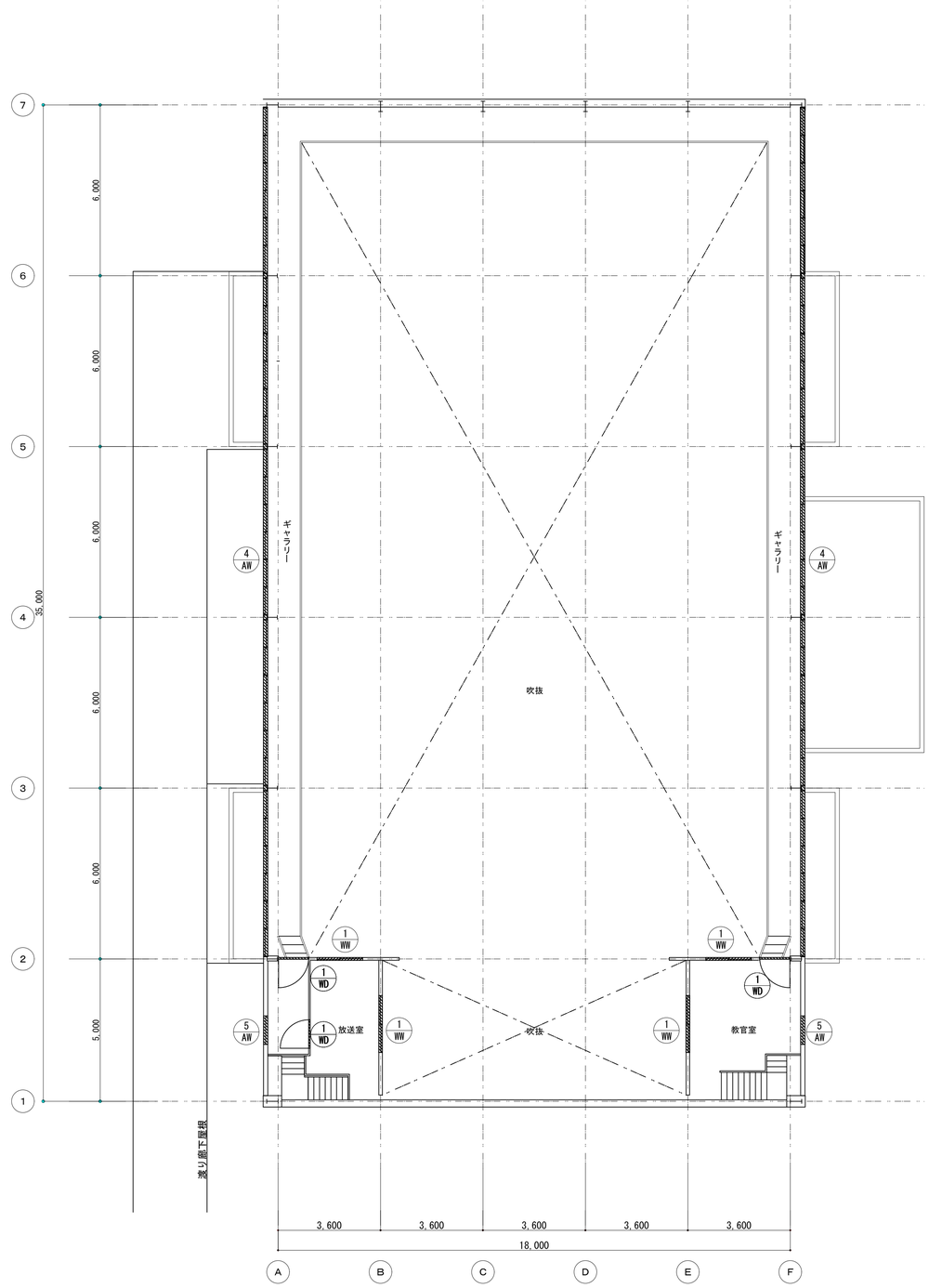
２階平面図　1/100

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修前】各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

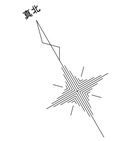
改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100



建具名	遮熱フィルム新設面積　外貼　計151.2㎡
4 AW	2.8m×1.8m×3枚×10＝151.2㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　内貼　計5.11㎡
1 WW	0.6m×1.8m×4枚＝4.32㎡
1 WD	0.63m×0.42m×3枚＝0.79㎡

建具名	飛散フィルム新設面積　外貼　計9.64㎡
1 AW	1.45m×0.4m×3枚＝1.74㎡
2 AW	1.20m×0.49m×2枚＝1.17㎡
3 AW	1.45m×0.4m×2枚＝1.16㎡
5 AW	2.2m×0.9m×2枚＝3.96㎡
2 SD	0.4m×0.83m×1枚＝0.332㎡
3 SD	0.8×0.8m×2枚＝1.28㎡

フィルム新設範囲を示す

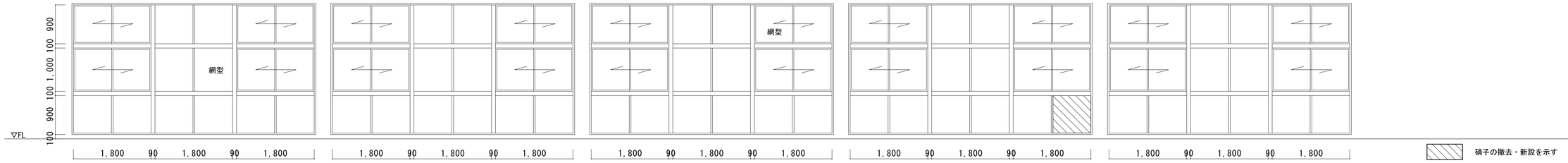
建具名	割れガラス新設面積　計2.43㎡
4 AW	0.9m×0.9m×3枚＝2.43㎡

※新設箇所について建具表参照

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修後】各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	4/AW 4/AW 東面	引き違い窓	1ヶ所

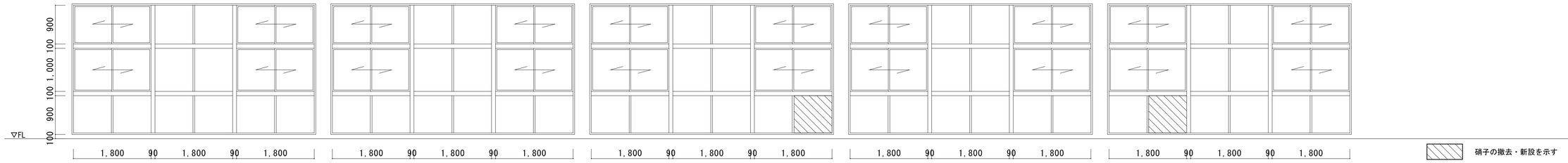
姿　図



場所	競技場
硝子種類	二箇所のみ網入り型硝子t6.8、その他型硝子t6.8
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｂ、Ｆ 硝子撤去後、強化型硝子新設（フィルムタイプ・Ｄ）

記号・名称・個数	4/AW 4/AW 西面	引き違い窓	1ヶ所

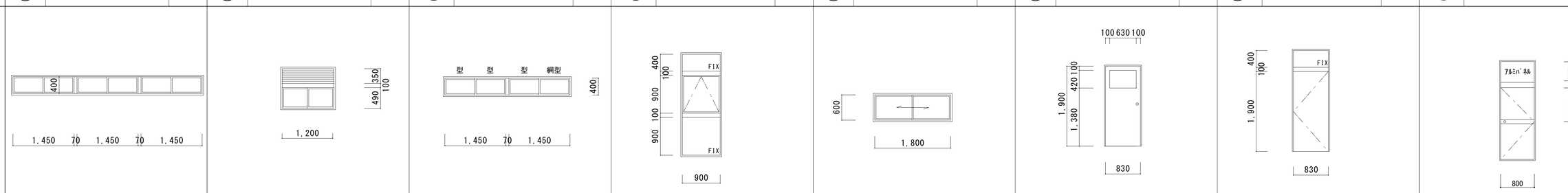
姿　図



場所	競技場
硝子種類	型硝子t6.8
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｂ 硝子撤去後、強化型硝子新設（フィルムタイプ・Ｄ）

記号・名称・個数	1/AW 引き違い窓連窓	1ヶ所	2/AW ガラリ付引き違い窓	2ヶ所	3/AW 引き違い窓連窓	1ヶ所	5/AW 突き出し窓 FIX連段窓	2ヶ所	1/WW 引き違い窓	4ヶ所	1/WD 片開きドア（フラッシュ）	3ヶ所	2/SD 片開きドア（フラッシュ）	1ヶ所	3/SD ランマ付片開き窓	2ヶ所

姿　図



	器具室	更衣室	控室	教官室、放送室	教官室、放送室	教官室、放送室	控室	便所
硝子種類	型硝子t6.8	型硝子t6.8	型硝子t6.8、網入り型硝子t6.8	型硝子t6.8	透明硝子ｔ＝3.0	透明硝子ｔ＝3.0	型硝子ｔ＝4.0	型硝子ｔ＝3.0
硝子サイズ	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｇ	フィルムタイプ・Ｇ	フィルムタイプ・Ｈ	フィルムタイプ・Ｈ

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子		方角	東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M　NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M　NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

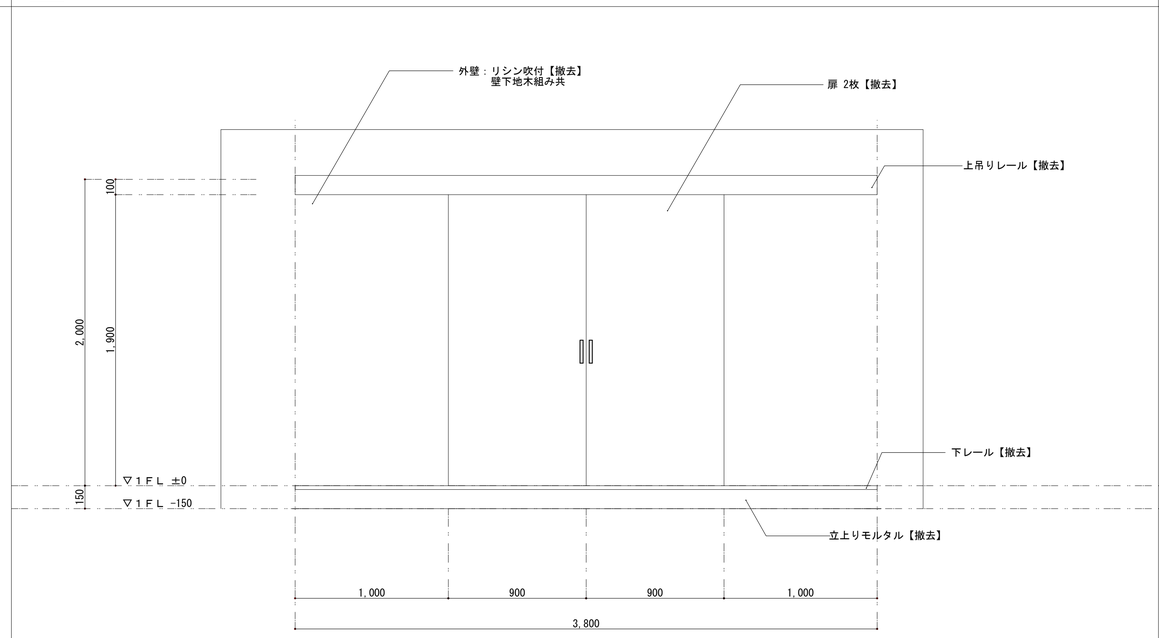
既存硝子		方角	全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M　SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

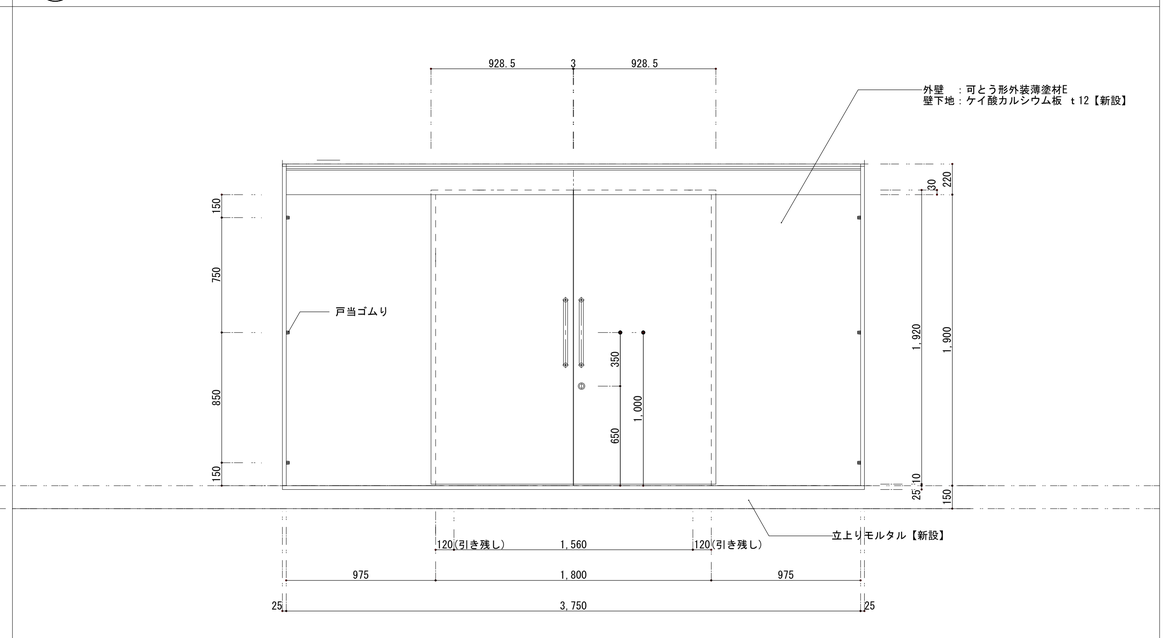
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1/SD × ４箇所【撤去】	1/SD × ４箇所【新設】

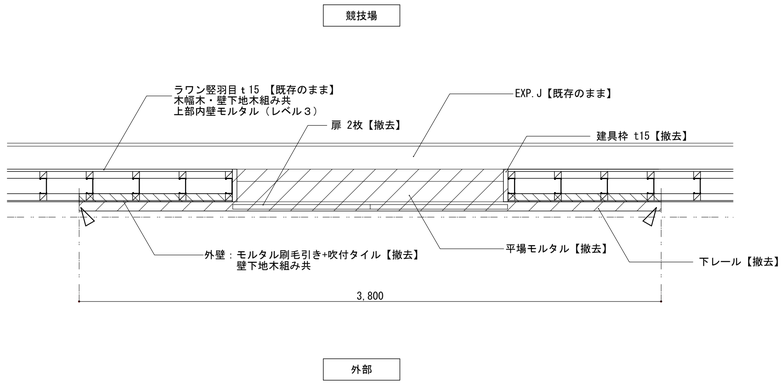
姿図・寸法



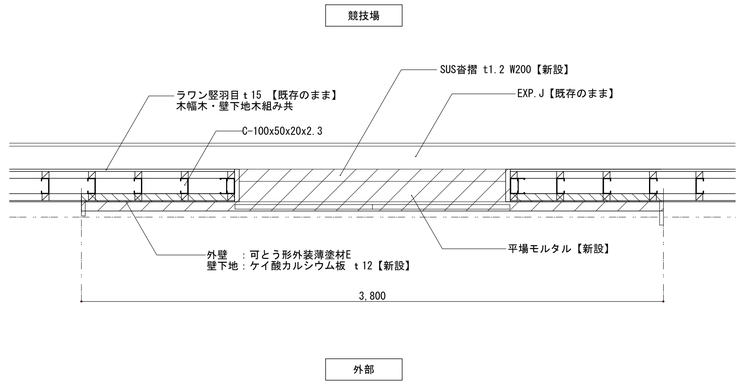


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き違い戸	2枚引き違いハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	－	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図　1/20



【改修後】平面図　1/20

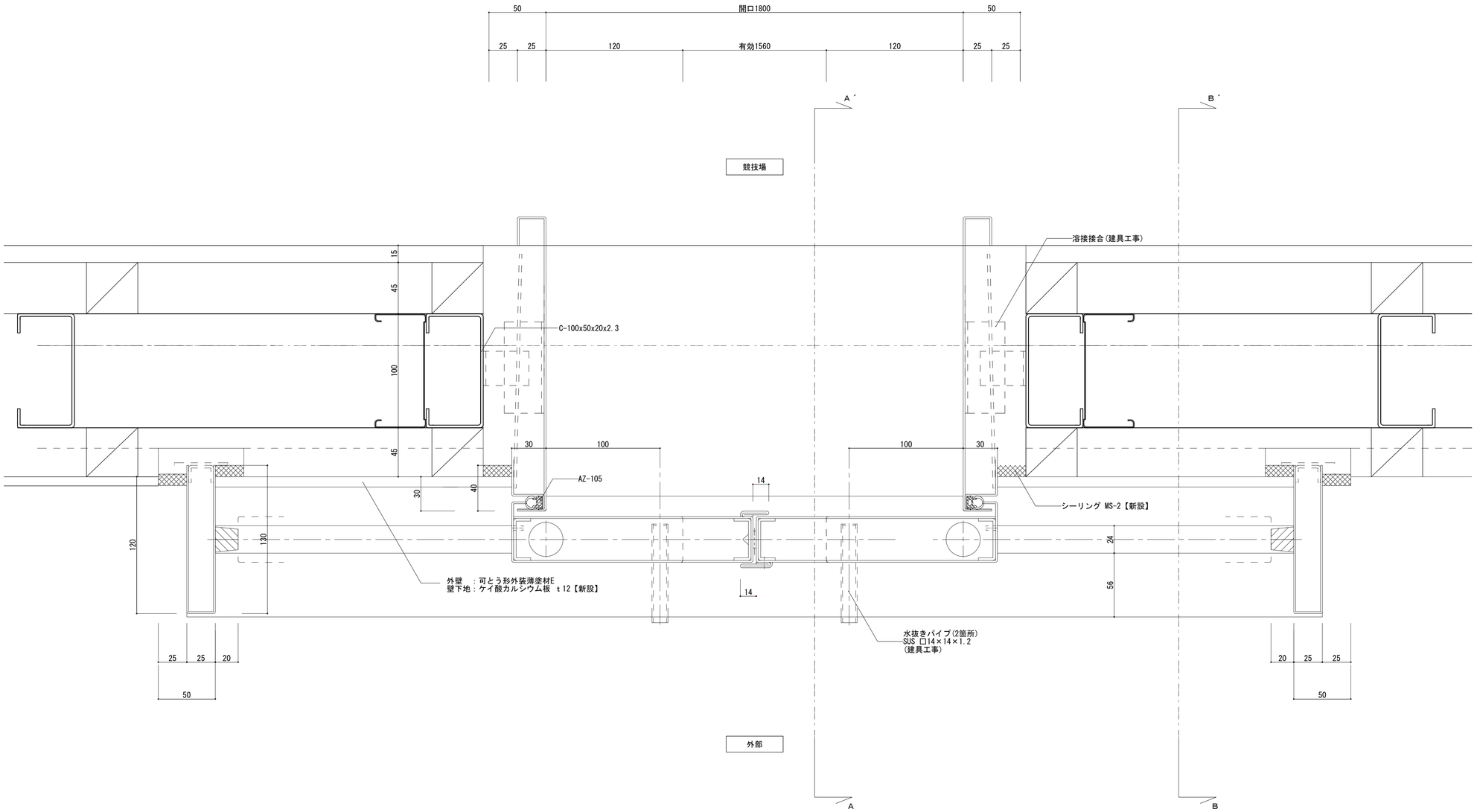
凡例

カッター入れ

建具撤去範囲を示す

壁撤去範囲を示す

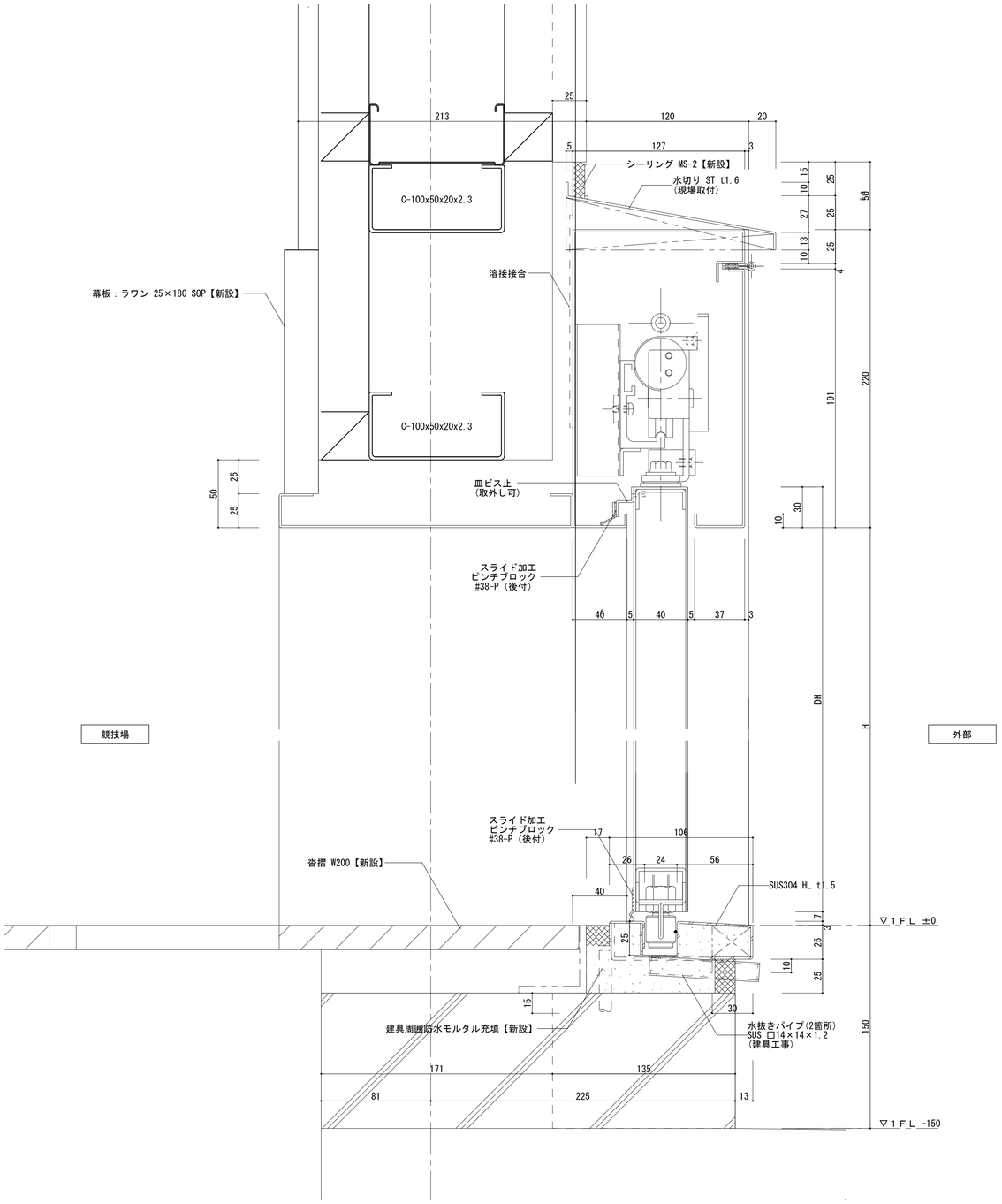
工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



建具平面詳細図　1/2

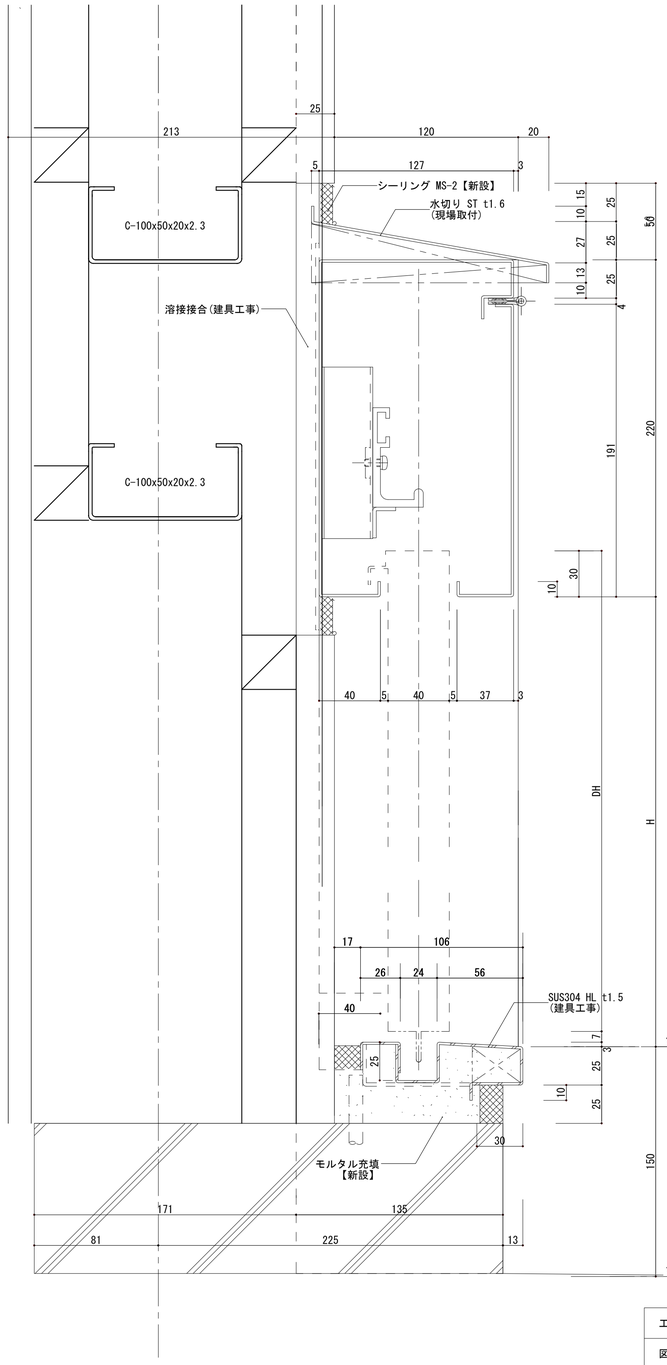
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



A－A´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事



B－B´建具断面詳細図　1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

仮設凡例

- ~~敷鉄板 t=22 1.5m×6.0~~
- 枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610
- ~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 25m
- ~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0 (2箇所)~~
- 交通誘導員を示す　工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す　(学) 生徒・学校関係者を示す
  (教) 教員車両を示す
  (般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

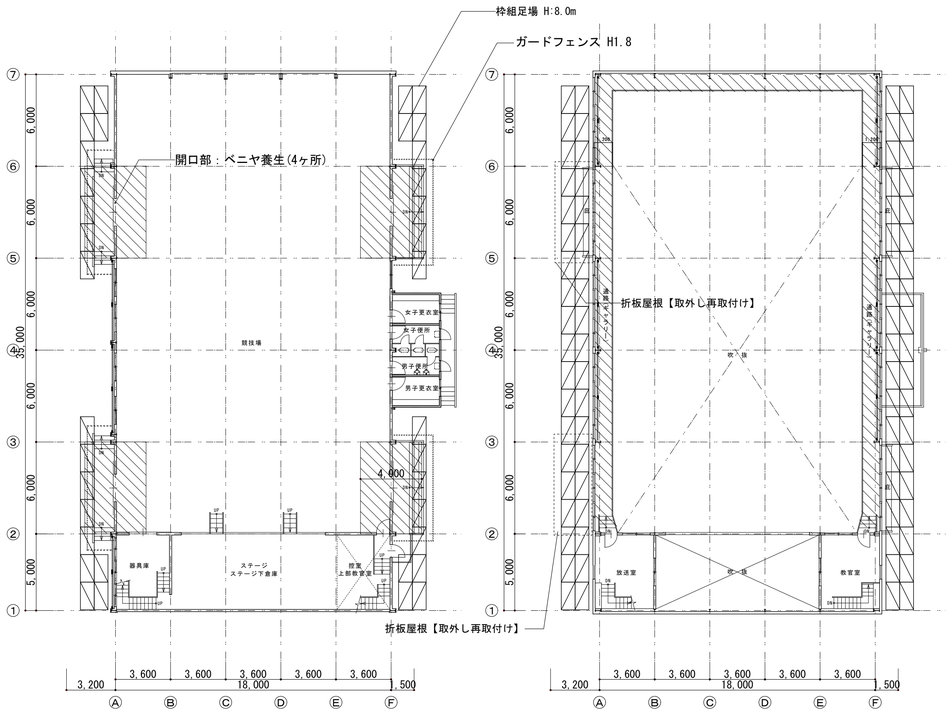
＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

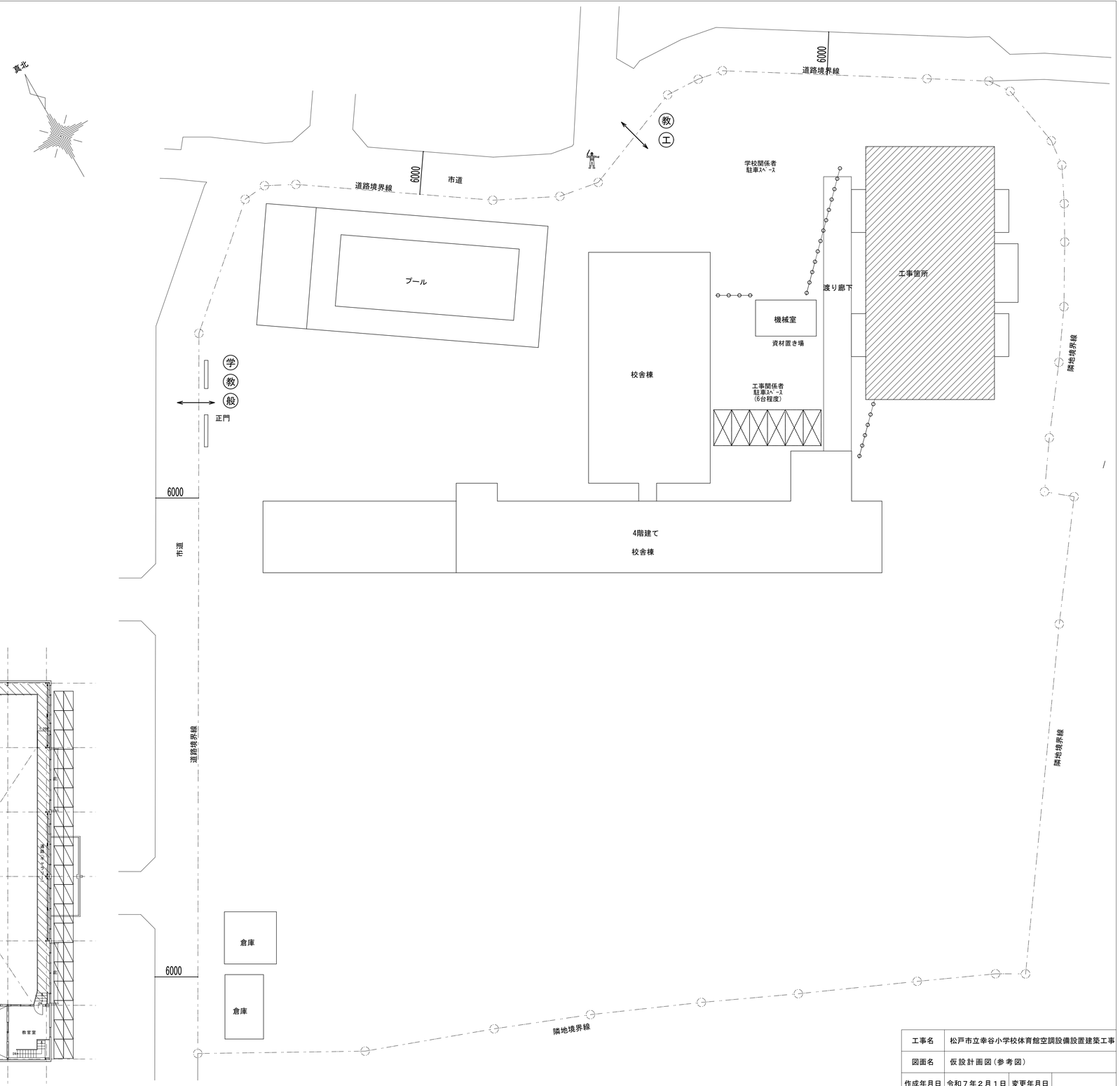
・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立新松戸西小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立新松戸西小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1.工事場所　松戸市小金１，１８０番地

2.敷地面積　17,289　㎡

3.改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：S造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：778㎡
- 最高高さ：12.00m（軒高さ：8.50m）

4.工事内容

	工事種目	工事範囲
2	仮設工事	仮囲い・資材置場
3	防水改修工事	シーリング充填
4	外壁改修工事	-
5	建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)
6	内装改修工事	一部壁張替え
7	塗装改修工事	-
8	耐震改修工事	-
9	環境配慮改修工事	-
10	その他	

Ⅱ建築工事仕様

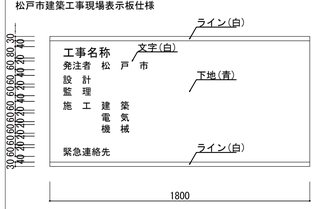
1.共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2.特記仕様

(1)項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 運用基準等

⊙ 松戸市建築工事に関する提出書類
⊙ 工事写真の撮り方　建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 松戸市建築工事現場表示板仕様

② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録

※ 適用する　[1.1.4]

③ 施工計画書

⊙ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2]
⊙ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。
⊙ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。
⊙ 施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。

4 電気保安技術者

・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3]
電気工作物の保安の業務を行うものとする。

⑤ 施工条件

※　現場説明書による　[1.3.5]

⑥ 発生材の処理等

※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]

⑦ 材料の品質等　[1.4.2]

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
(3)安定的な供給が可能であること。
(4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。
(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(㈳公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b.接着剤等不使用
c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用
d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用
f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品
④旧JASのFco規格品

⑨ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩ 技能士　[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

11 化学物質の濃度測定　[1.6.9]

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　　・行う
測定対象室　　・体育館
測定箇所数　　・1箇所

着工後の測定　　・行う
測定対象室　　・体育館
測定箇所数　　・1箇所

⑫ 完成図等

※作成する　　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1]
※完成図　　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R))
　　・黒　金文字製本図　1部
・施工図　　提出部数　※　　部

13 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャピ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャピ版)提出)	外部(　)　内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

⑭ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑮ 設計GL

※図示　・設計GL＝現状GL

⑯ 工事写真

※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部

⑰ ワンデーレスポンスの実施

ワンデーレスポンスの取り組みについて
1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは
受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。
3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。
4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

⑱ 火災保険等

※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。

② 仮設工事

① 足場その他

内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1]
外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1]
屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。
材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1]
・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種
・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。

② 養生

既存部分の養生　　※ビニールシート　　・合板　厚12　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ビニールシート　　・
固定家具等の養生　※行う　　・行わない

3 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炭シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

4 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]

⑤ 工事用水

構内既存の施設　　・利用できない　　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
※子メータを設置する。

⑥ 工事電力

構内既存の施設　　※利用できない　　⊙利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]

7 防音パネル

※アルミ製(解体作業期間)

8 仮門

・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所

⑨ 仮囲い

⊙ガードフェンス　H= 1.8 m　　図示
※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　　m、　　箇所

10 仮設道路

・砕石敷(厚さ　　mm　幅　　mm)　L=　　m
　(砕石は、再生クラッシャランを使用)
・鋼板敷(厚さ　　mm　幅　　mm　L=　　m)　　枚

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水　[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保	※P1B		・B-1　※B-2
護	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
防	・P2AI		・AI-1　※AI-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出	・M4C		・C-1　※C-2
防水	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
　(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
POD工法の二重ドレン　　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、POD工法の脱気装置　　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
　ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

2 改質アスファルトシート防水　[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水　[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

4 塗膜防水　[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

5 脱気装置　[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・鋼	・(　)㎡当たり1箇所

⑥ シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2]
⊙シーリング充填　　・シーリング再充填工法　　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1]
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
⊙建具廻り、金属取合い	⊙変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

7 とい

といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1]
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G
鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3]
・次の箇所は行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

掃　除　口　　※有り　　・無し　　・
たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
・　図示

8 アルミニウム製笠木　[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

9 折板葺　(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

4 外壁改修工事　共通事項

1 施工数量調査

調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　　※2部

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書　(　1　)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
		撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・火損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材G-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
		・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
		屋内建具
		表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
		・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
		網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
		形　式　・外部可動式　※固定式
	⑤ 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
		⊙建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	・建具表による	
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
		曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
		防火戸　・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

章	項目	特記事項
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
		・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。
		かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
		ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
		・鳥の子
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
		※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪ 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
		建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
		錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
		吊金物
		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
		・ピボットヒンジ
		⊙建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2]
		・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

章	項目	特記事項
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

章	項目	特記事項
	⑭ ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

章	項目	特記事項
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

章	項目	特記事項
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事
図面名	特記仕様書 (2)
作成年月日	令和7年2月1日　変更年月日
縮尺	No Scale　図面番号　A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊙図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

[6.5.2][表6.5.2～3]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

[6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

9 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ (mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80

19 ポリスチレンフォーム床下地材

フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12 ・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0　・8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	・準不燃品	※200 ・100	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ (ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による (機械設備)

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法：　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						片ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)

材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾞﾙﾍﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

53 シャワー

・図示

54 キッチン

・図示

55 乾式二重床

・図示

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	2 下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種　※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種　※RB種	
セメント板面	・RA種　※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種 / ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。
9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｻｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室毎）	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合） 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
（集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること）
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
（大気汚染防止法→松戸市環境保全課　労働安全衛生法→柏労働基準監督署）
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ　建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]
・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1]
・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2]
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰(　　)　・消石灰(　　)
添加量　kg/?(目標CBR ※5以上　・
路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)
路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5]
車道部　※改質アスファルトⅠ型
歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.7.9]
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

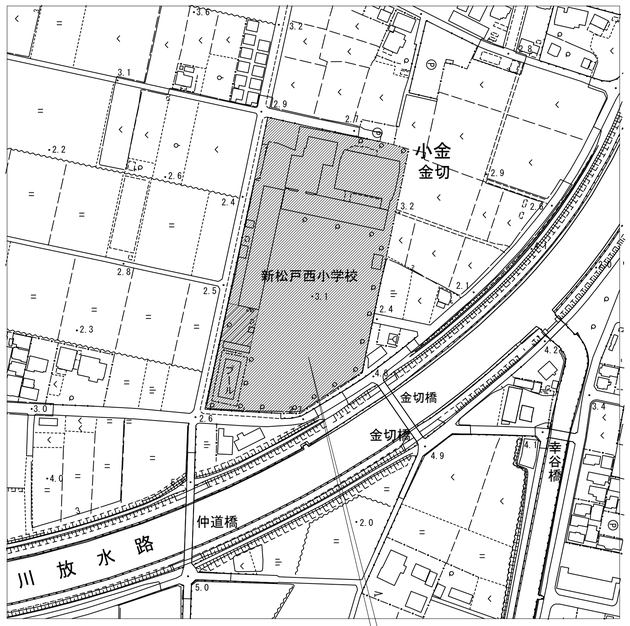
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事
植樹　・図示 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ（雑壁部分）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み　（開口補強有り）	○	○	○
		切込み　（開口補強無し）	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器（水栓含む）				
	掃除用流し（水栓含む）				
	廊下流し台（排水トラップ含む）				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

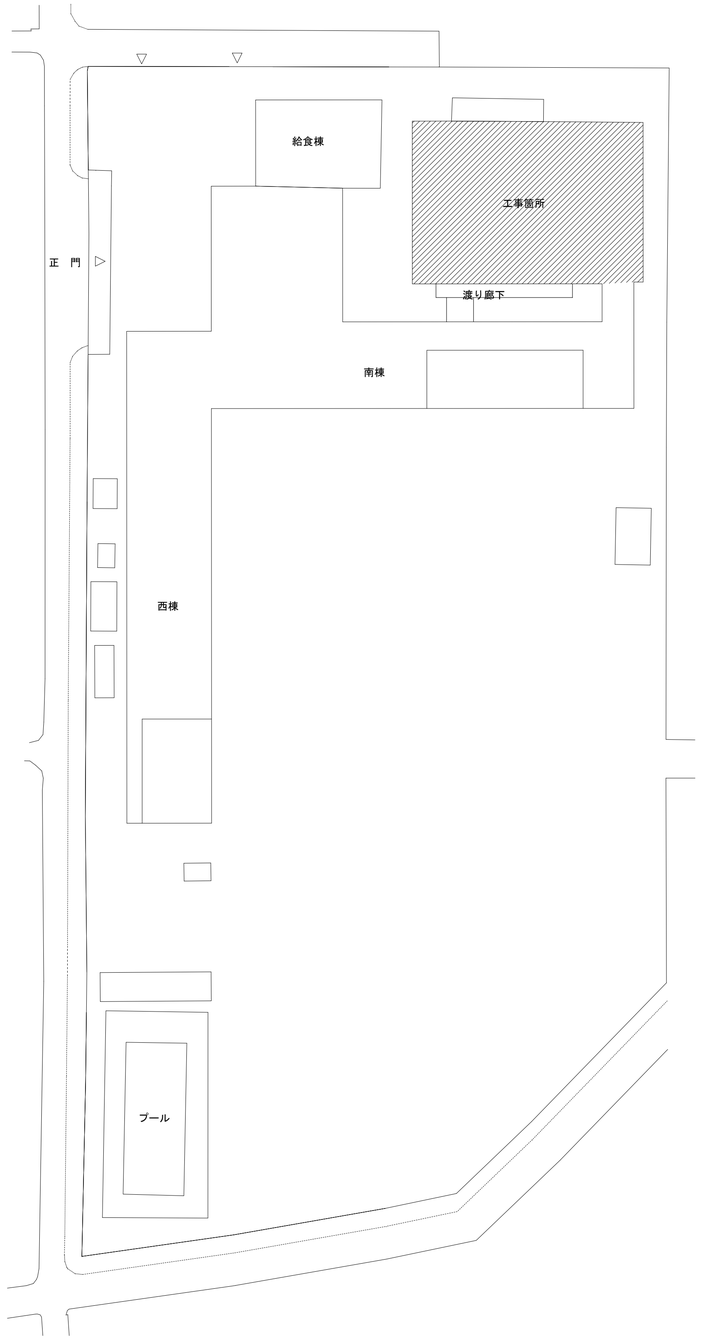
工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工事場所：松戸市立新松戸西小学校
地名地番：松戸市小金１，１８０番地

案内図　1/2500

工事場所を示す

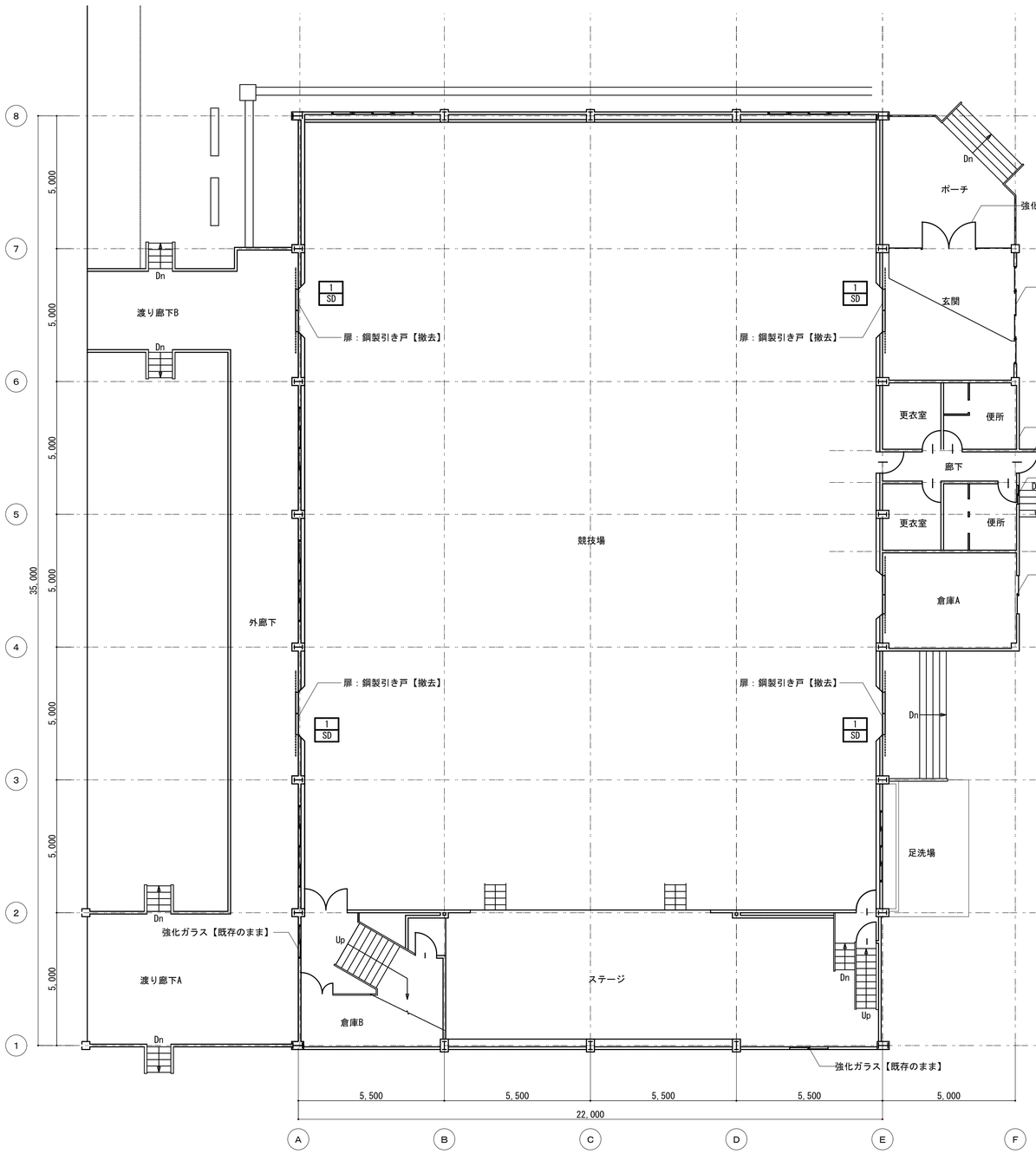


配置図　1/500

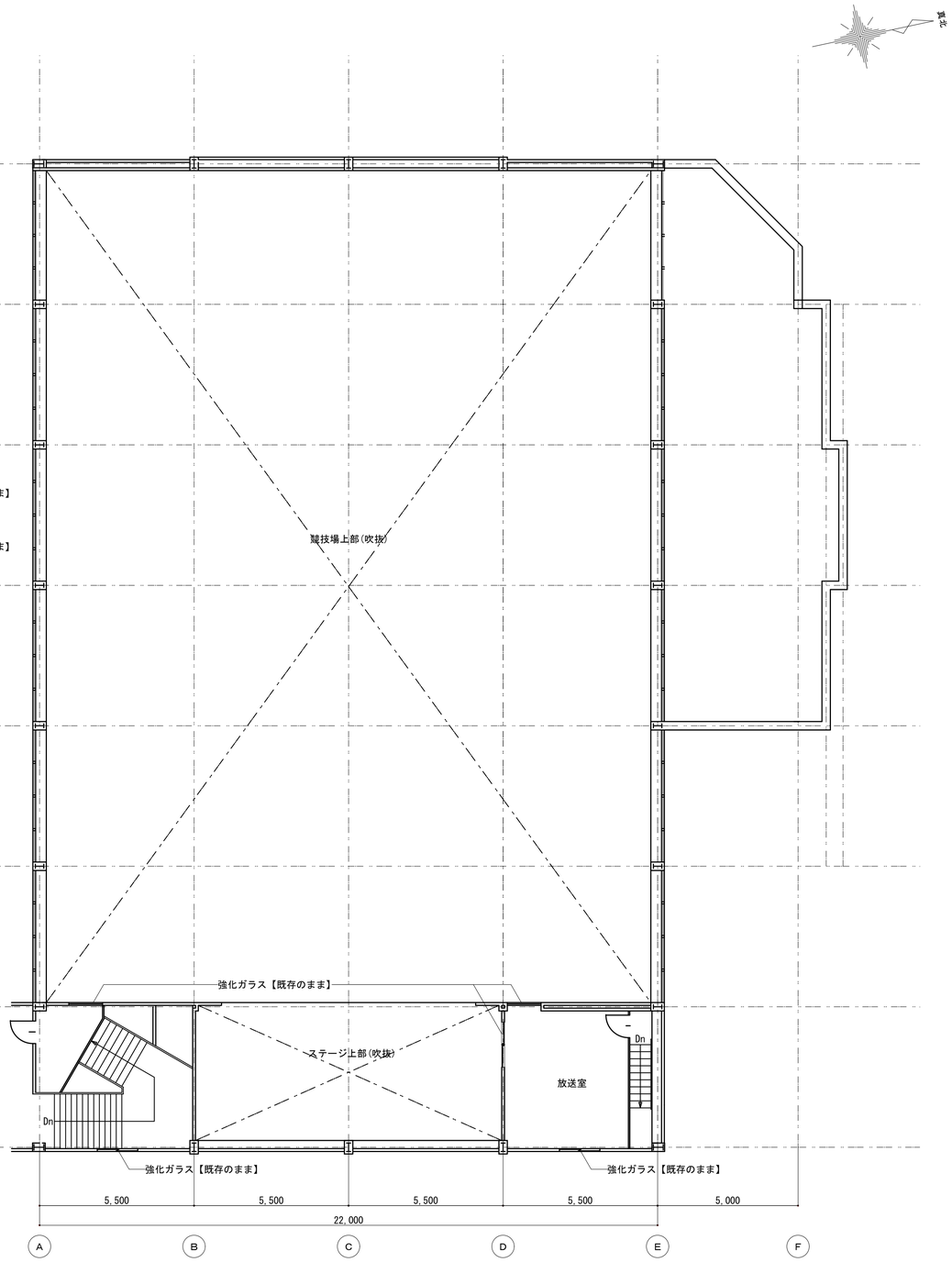
工事箇所を示す

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前	既存フィルム無し



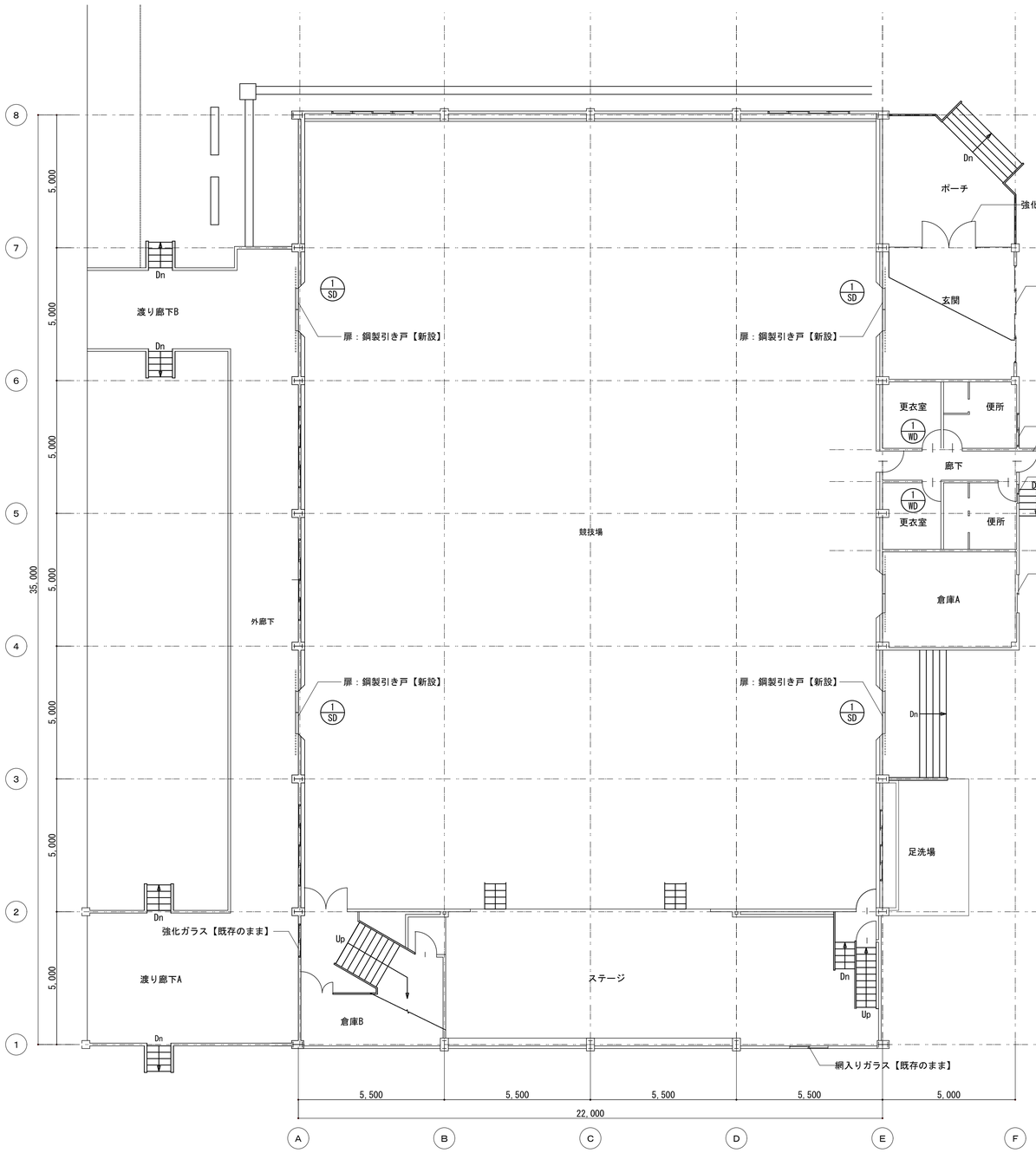
1階平面図　1/100



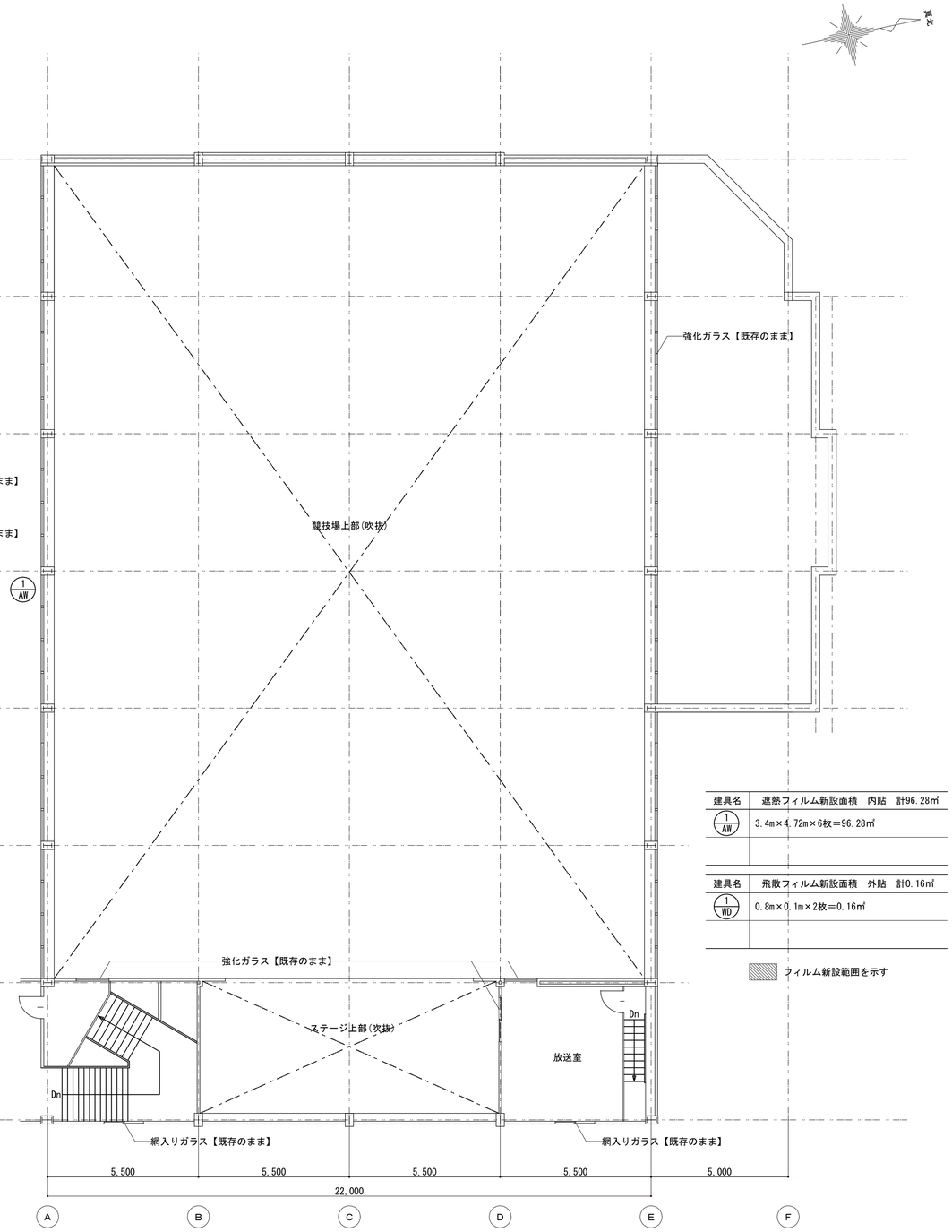
2階平面図　1/100

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修前］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

建具名	遮熱フィルム新設面積　内貼　計96.28㎡
1 AW	3.4m×4.72m×6枚＝96.28㎡

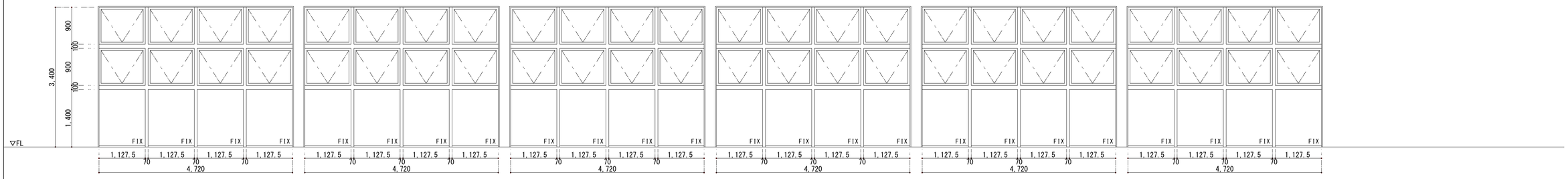
建具名	飛散フィルム新設面積　外貼　計0.16㎡
1 WD	0.8m×0.1m×2枚＝0.16㎡

フィルム新設範囲を示す

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	［改修後］各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	1/AW 南面	引き違い窓	1ヶ所

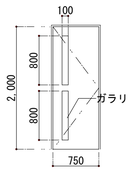
姿　図



場所	競技場
硝子種類	強化透明硝子t4.0
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・C

記号・名称・個数	1/WD	片開きドア(フラッシュ)	２ヶ所

姿　図



場所	更衣室
硝子種類	型硝子t4.0
硝子サイズ	姿図参照
備　考	フィルムタイプ・H

記号・名称・個数	

姿　図

場所	
硝子種類	
硝子サイズ	
備　考	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子		方角	東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX		既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

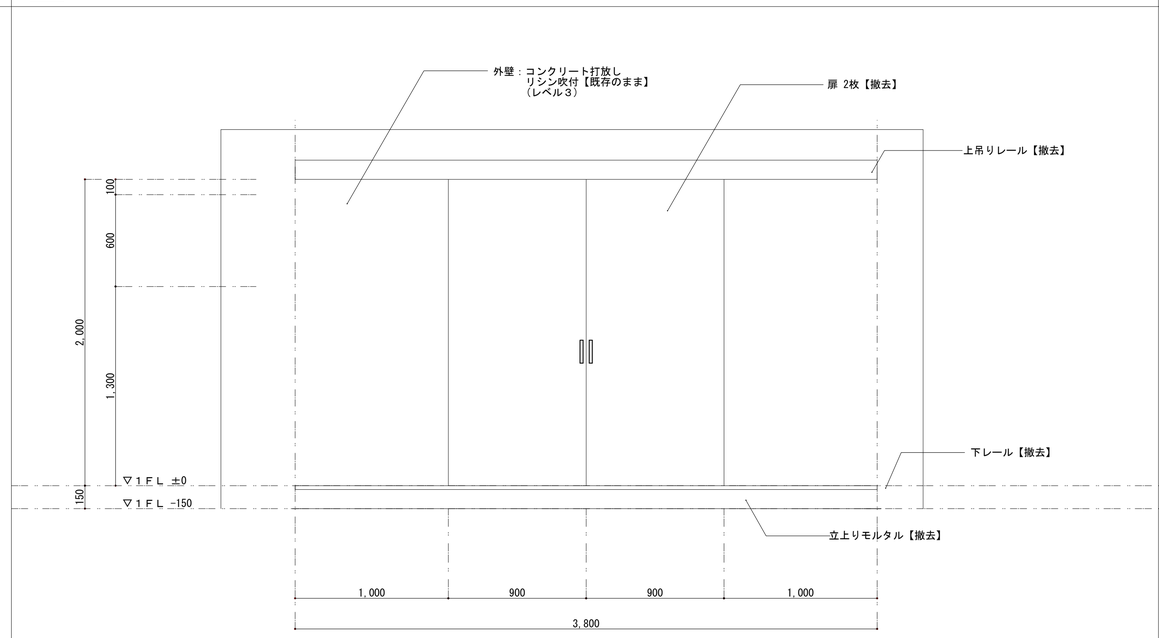
既存硝子		方角	全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

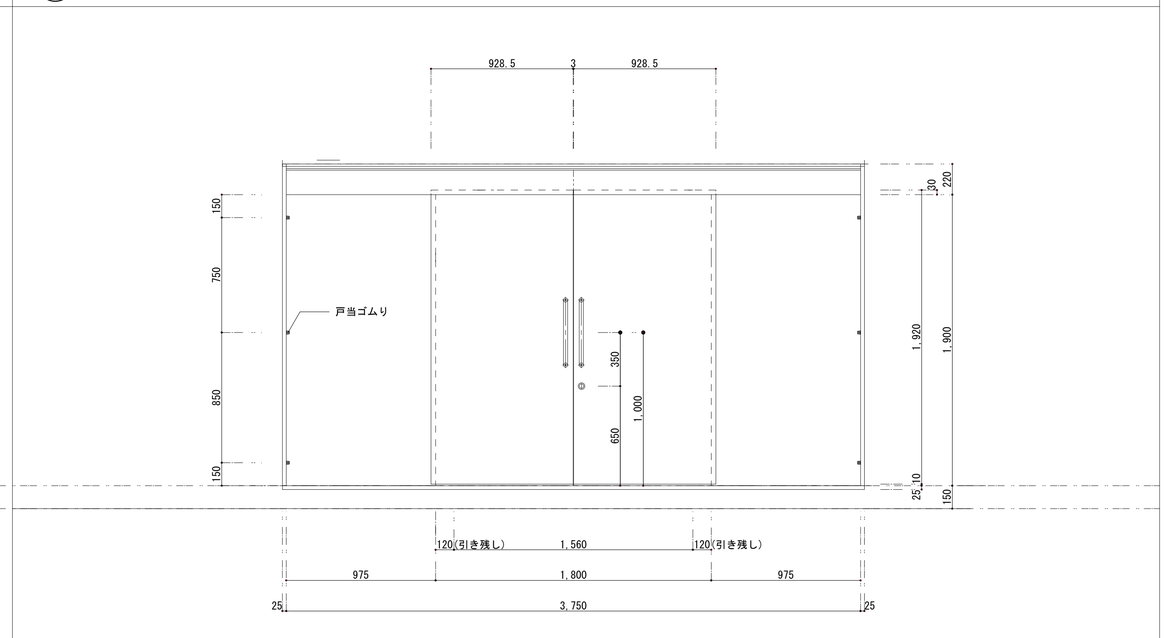
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1/SD × 4箇所【撤去】	1/SD × 4箇所【新設】

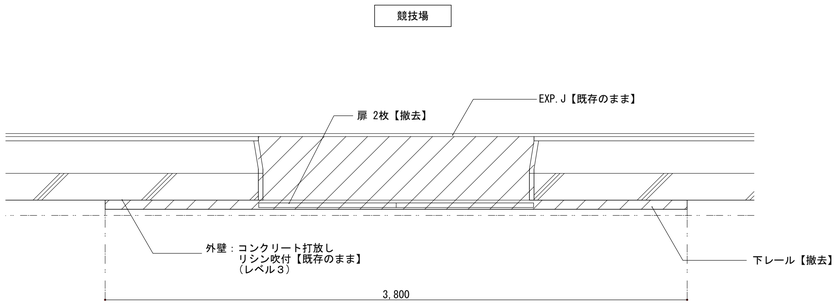
姿図・寸法



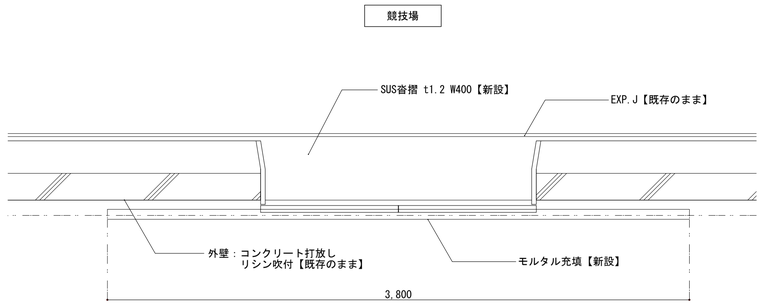


使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き分け戸	2枚引き分けハンガー戸
材質・仕上	特殊亜鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊亜鉛メッキ鋼板
ガラス	－	－
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		

平面図



【改修前】平面図 1/20

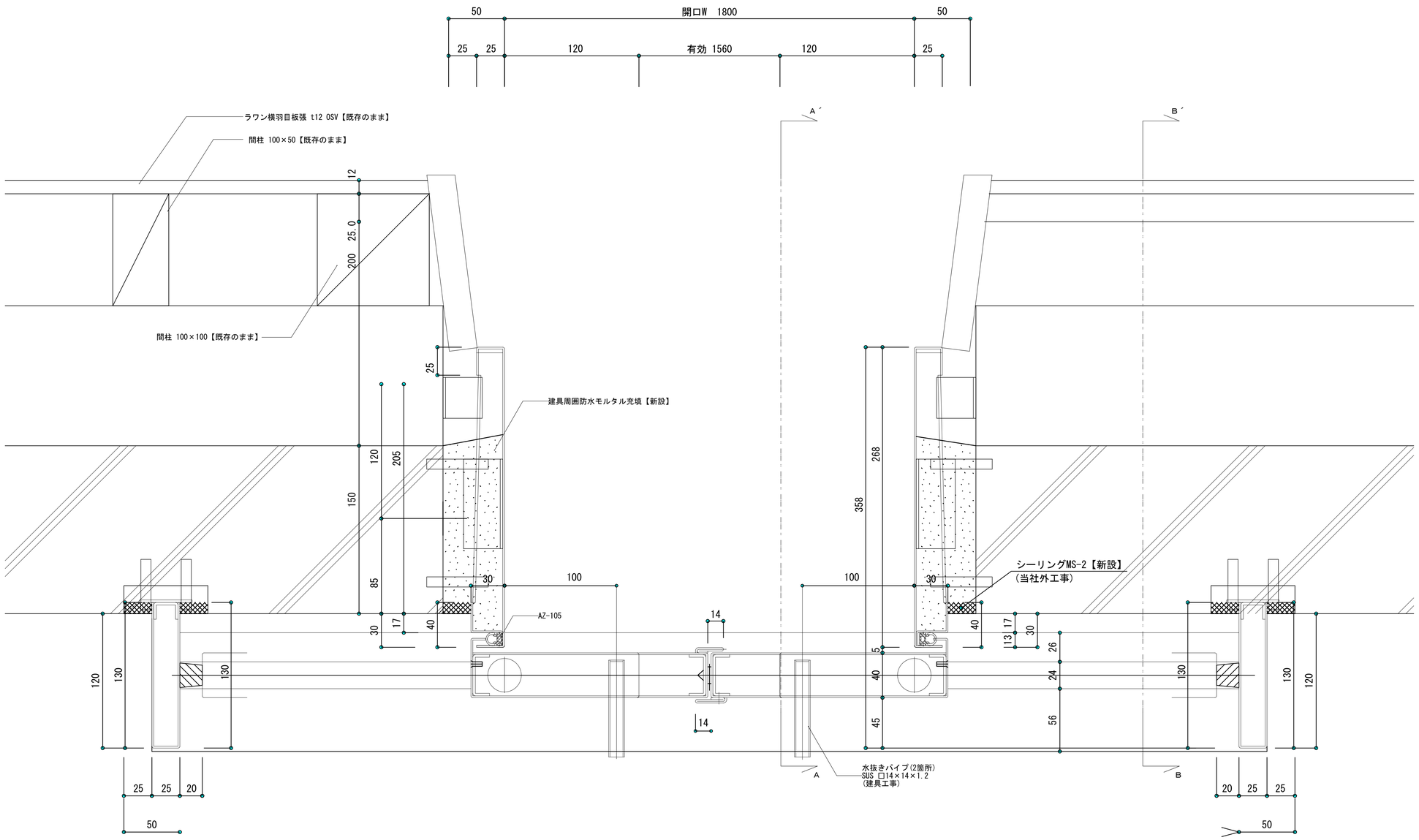


【改修後】平面図 1/20

建具撤去範囲を示す

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

競技場

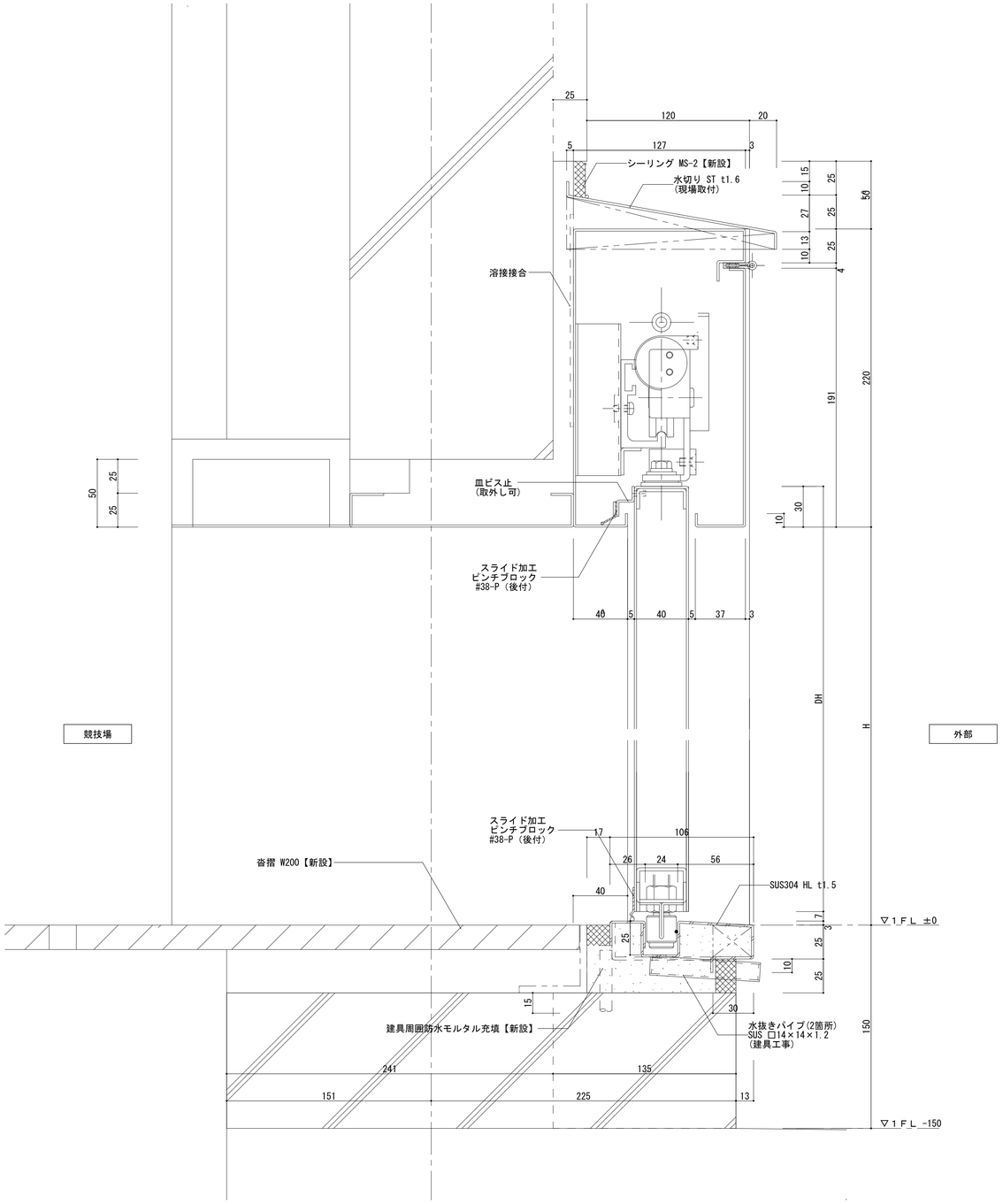


外部

建具平面詳細図 1/2

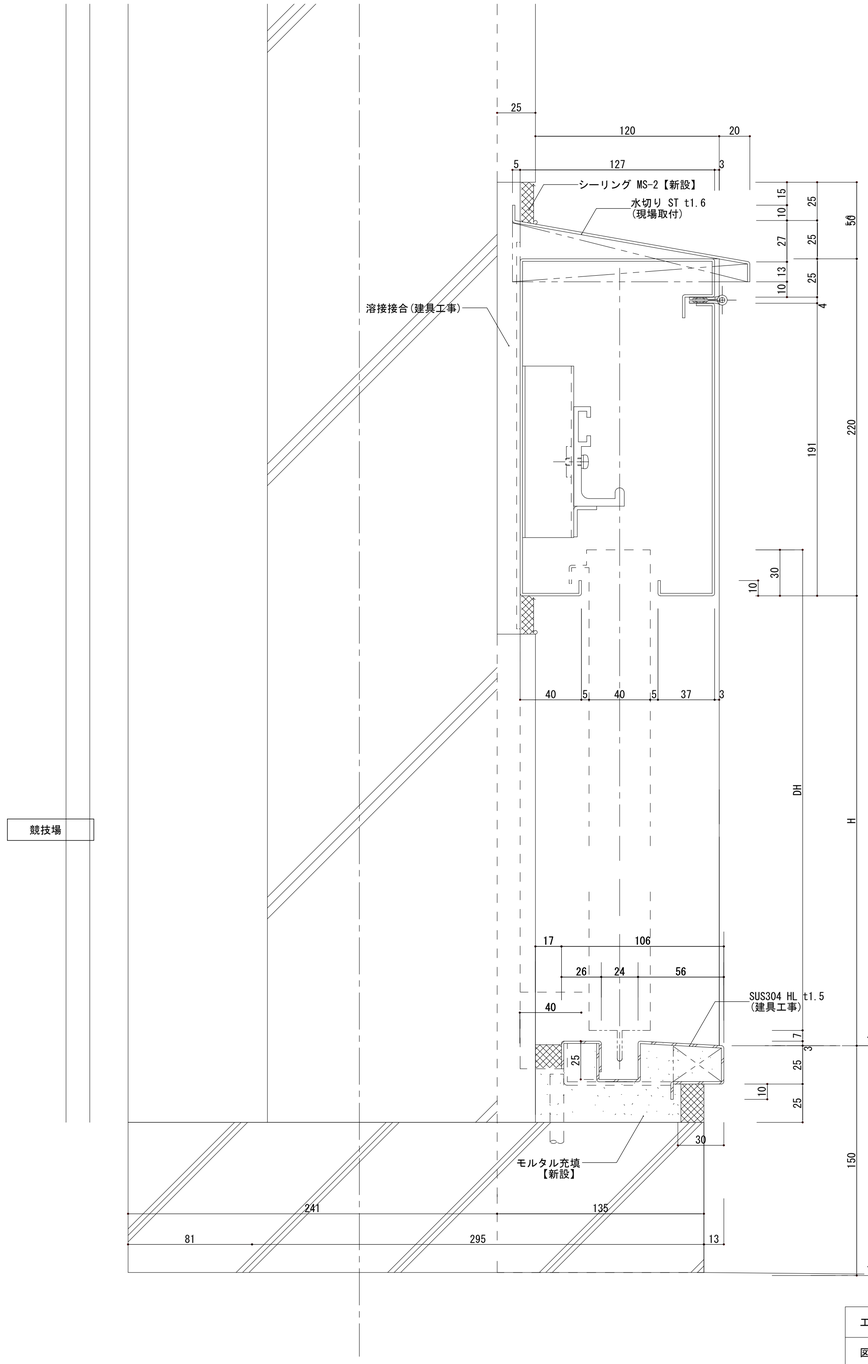
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図１(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第１-２３０６-２６８６号 山岡 治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



A－A´建具断面詳細図 1/2

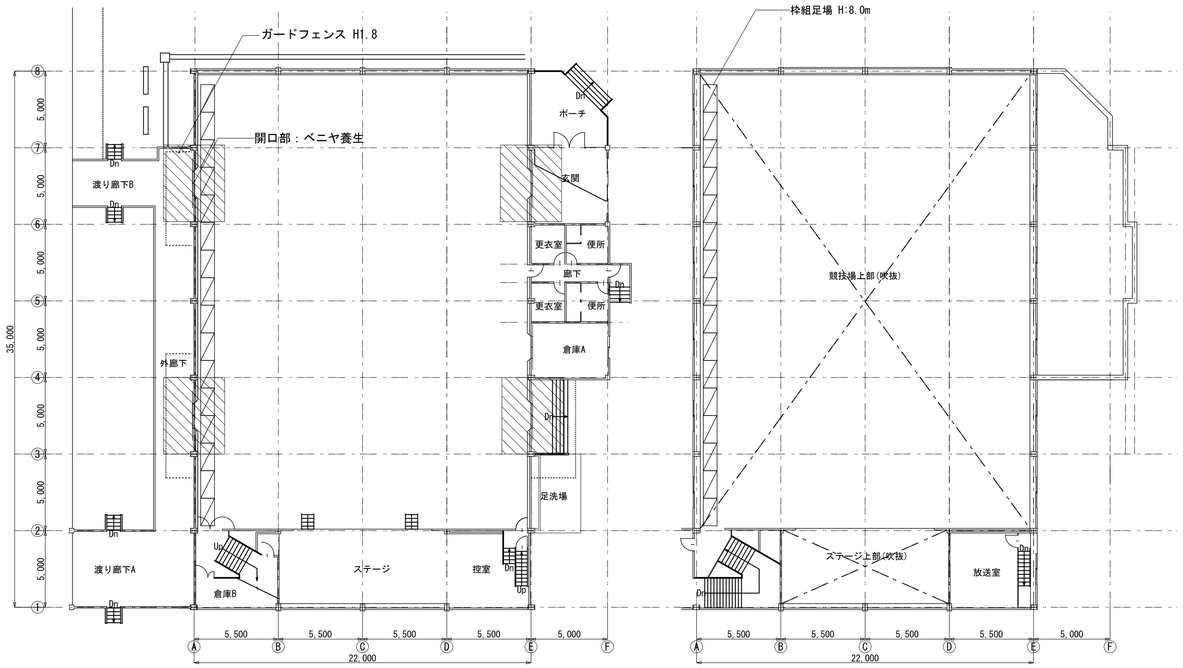
※現場測定確認する事



B－B´建具断面詳細図 1/2

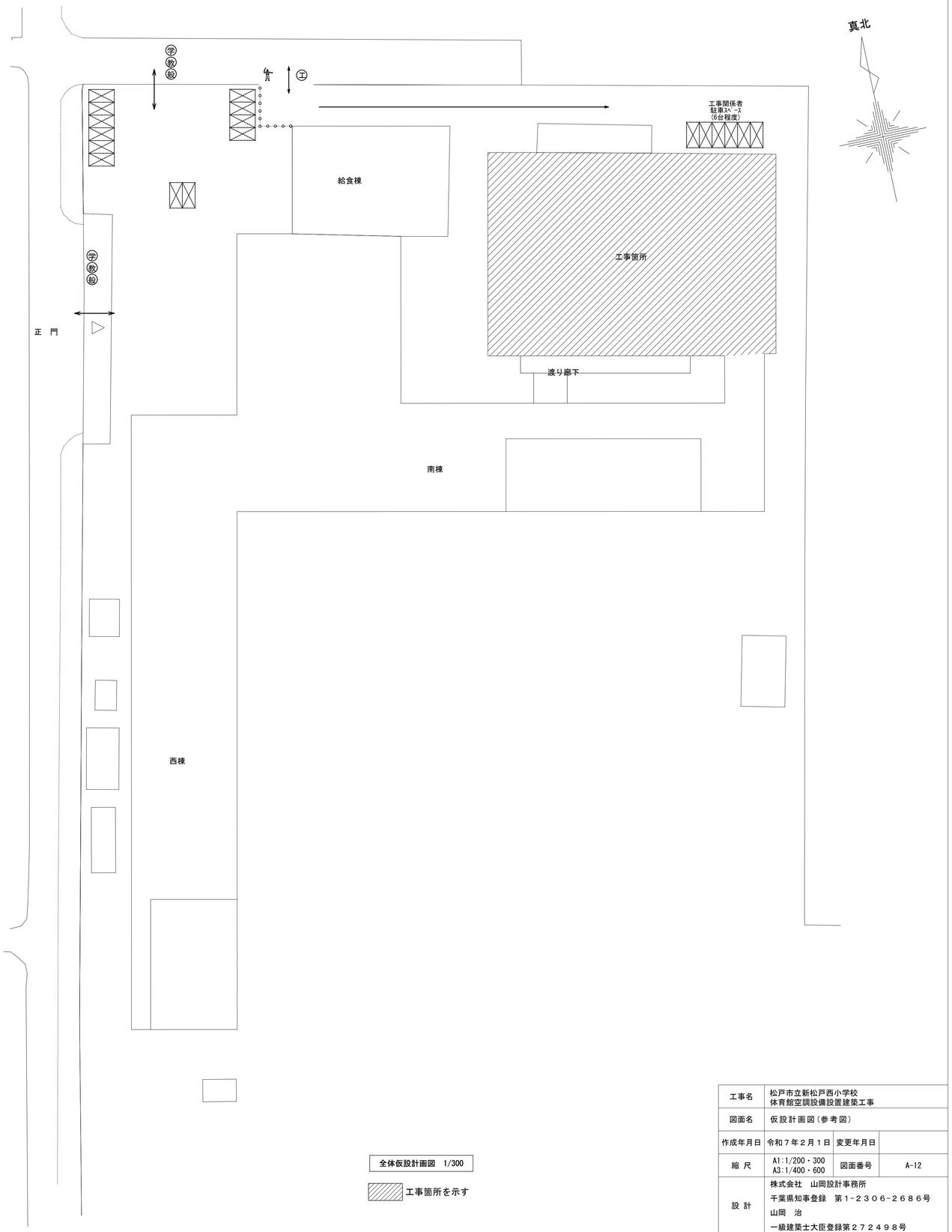
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図２(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

~~敷鉄板 t=22　1.5m×6.0~~

枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610

~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~

ガードフェンス　H1.8　総延長距離　31m

仮囲い：カラーコーン、コーンバー　総延長距離　10m

~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0　(2箇所)~~

交通誘導員を示す　　工事車両搬出入時に適宜配置とする

動線を示す　　(学) 生徒・学校関係者を示す

(教) 教員車両を示す

(般) 一般車両を示す　(工) 工事車両を示す

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図(参考図)		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500･2000
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表	1/50
A-09	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立東松戸小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市紙敷一丁目１９番地の１

2. 敷地面積　10,577　㎡

3. 改修建物概要
- 用　　途：小学校(体育館)
- 構　　造：RC造
- 階　　数：地上２階
- 建築面積：
- 延べ面積：797㎡
- 最高高さ：12.31m（軒高：8.47m）

4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	仮囲い・資材置場
3　防水改修工事	－
4　外壁改修工事	－
5　建具改修工事	フィルム新設
6　内装改修工事	－
7　塗装改修工事	－
8　耐震改修工事	－
9　環境配慮改修工事	－
10　その他	

Ⅱ建築工事仕様

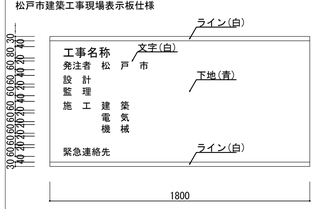
1. 共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3)特記事項に記載の[　　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)特記事項に記載の(　　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ)
2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①運用基準等	⊙ 松戸市建築工事に関する提出書類 ⊙ 工事写真の撮り方 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ⊙ 松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	⊙ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ⊙ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ⊙施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　⊙場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(㈳公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗装防水工事作業　・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項目	特記事項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所 着工後の測定　・行う 測定対象室　・体育館 測定箇所数　・1箇所
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　提出部数　※現場製本図　3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒　金文字製本図　1部 ・施工図　提出部数　※　　部
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数		撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー ※キャピ石版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャピ石版)提出)	外部(　)　内部(　)		※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部(　)　内部(　)		※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)		※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

章	項目	特記事項
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4.効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。
② 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事に伴える墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　⊙D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　mm)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0　・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5　・　)	厚さ　mm	・片面
・C種	・単管下地	防炭シート		
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・有り

章	項目	特記事項
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる ※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 4.0 m、H= 1.8 m、　1箇所
	9 仮囲い	・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　図示 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
③ 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B		・B-1　※B-2
	・P1BI　・T1BI		・BI-1　※BI-2
	・P2AI		・AI-1　※AI-2
	※P2A		・A-1　※A-2
露出防水	・M4C		・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/? S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定クロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm

章	項目	特記事項
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項目	特記事項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・S3SI工法		・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・M4SI工法				

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

章	項目	特記事項
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・P0X工法	屋根	・X-1(絶縁工法)
・L4X工法	屋根	・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

章	項目	特記事項
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・鋼	・(　)㎡当たり1箇所

章	項目	特記事項
	6 シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
・建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

章	項目	特記事項
	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃　除　口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3] ・図示
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備　考
・250形	※1.6以上	・240　・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

章	項目	特記事項
	9 折板葺	板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3] (13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(mm)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	・有り(種別：　　厚さ：　　mm)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力	1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないごと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ(N/?) 標準時	接着強さ(N/?) 湿潤時	接着強さ(N/?) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/? 以上	5.0N/? 以上	15%以下	6.0N/? 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)
・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法
・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。
注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗
・樹脂モルタル　T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲　・4-1による [4.5.2]
		撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り)　※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法:　　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類(タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。
注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]
・伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

6 陶磁器タイル張り
タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 ⓪	備考
外壁	小口二丁掛け											

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力　※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法 ・火損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材
※下地調整材C-1　(既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面)

3 仕上げ塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状・さざ波状 ・ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理・凸凹模様 耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系・ウレタン系 外観　※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱　セラミクリートTR-Si同等とする
・トップコート
下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所　：屋上笠木、庇上部等
JIS表示　：JIS A6906 建築用仕上塗材

章	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙・外部	・有り	・有り	建具表参照
・内部			
・鋼製軽量建具			建具表参照
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等
・特殊な建具の仮組(建具符号　:　　) [5.1.5]

3 アルミ製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
		・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
		屋内建具
		表面処理　※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2]
		・AC-2種又はBC-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
		網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
		形　式　・外部可動式　※固定式
	5 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		特定防火設備戸　・適用する [5.4.4]
		・建具表による
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
		・建具表による
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
		耐風圧性能の適用は建具表による
		表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
		曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
		防火戸　・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

章	項目	特記事項
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格　※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
		・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。
		かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　) (16.7.2)(表16.7.2)
		ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
		・鳥の子
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
		※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤
	11 建具用金物	マスターキー　・製作する　※製作しない [5.7.4]
		建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
		錠類はシリンダー箱錠(ドアハンドル)とする。
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
		吊金物
		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
		・ピボットヒンジ
		・建具表による
	12 ガラス	※建具表による [5.13.2]
		・ガラスブロック　改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　　)		・有り

章	項目	特記事項
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
・耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材)

章	項目	特記事項
	⑭ ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
仕様一覧　建具表参照

章	項目	特記事項
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.10.2]

章	項目	特記事項
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　　)N/㎡

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.12.2～5][表5.12.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

1 改修範囲 [6.1.3]
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]
ビニル床シート等の除去　・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

3 既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2][4.4.9]
間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2) [6.5.2][表6.5.2～3]
木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤 [6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]
行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り フローリング及び縁甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

9 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 [6.6.2] [表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない
・図示

10 軽量鉄骨壁下地 スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3] [表6.7.1]

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10¹⁰Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]
ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 [6.8.2]
高さ　(mm)　・60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床 [6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材
畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き [6.9.2～3][表6.9.1～2]

・織じゅうたん

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛系	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛系	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	・4　・5　・6　・8　・9　・10　・12
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板　G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティ・ファイバーボード　G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード　G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地)　G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード　G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0　・8.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0　・9.0
・構造用合板(機器取付下地)	厚さ　・24　・12

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(繊物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り
吸水調整材 [6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り
タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	石器	陶器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有り	無し	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

・　汚垂タイル　t6　TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り
セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	終結(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	――	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材
市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縫付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース
表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め
材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ピエルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	図示による(機械設備)

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示
衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド
・既存再使用する(養生方法：　　) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン
防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)
・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	引分	装　置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
						ひだ	遮光	防炎仕様

40 カーテンレール
・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス [5.1.6]
※既存再使用する。
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口
材　質　・アルミニウム製(・額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口
材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)			適用内容	規格・品質等
・流し台	・900	・1200	・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600	・700		・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200	・900	・600		
・水切り棚	・1200	・900		・トラップ付き	
・作業台	・900	・1200	・1500		

45 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板
材　種　・メラミンポストフォームt19　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 家具 (流し台・棚)
材質　・メラミン樹脂系化粧板　・SUS製 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等
・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(5 箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄﾊﾝﾏｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　　箇所)
※ピクトサイン　消防に確認取れ次第反映
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)
部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段
・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋
・垂直式　○階用

53 シャワー
・図示

54 キッチン
・図示

55 乾式二重床
・図示

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書 (3)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。
	2 下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種　※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種　※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種　※RB種	
セメント板面	・RA種　※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種　※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種 / ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1]
・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.14.2][表7.14.1]
・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

章	項目	特記事項
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。
9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示 分析によるアスベスト(ｱｸｻｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事
吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室毎）	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合） 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事
軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事
処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
（集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること）
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
（大気汚染防止法→松戸市環境保全課　労働安全衛生法→柏労働基準監督署）
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事
断熱材の種類 [9.3.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能	

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ　建具表による [9.4.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.6.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.7.3][表9.7.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・ 厚さは図示 ・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種　※B種　・C種　・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.2] 種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(　　)　・消石灰(　　) 添加量　kg/?(目標CBR ※5以上　・ 路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土) 路床締固め度の試験　※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部　※改質アスファルトⅠ型 歩道部　※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う
10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・図示 (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

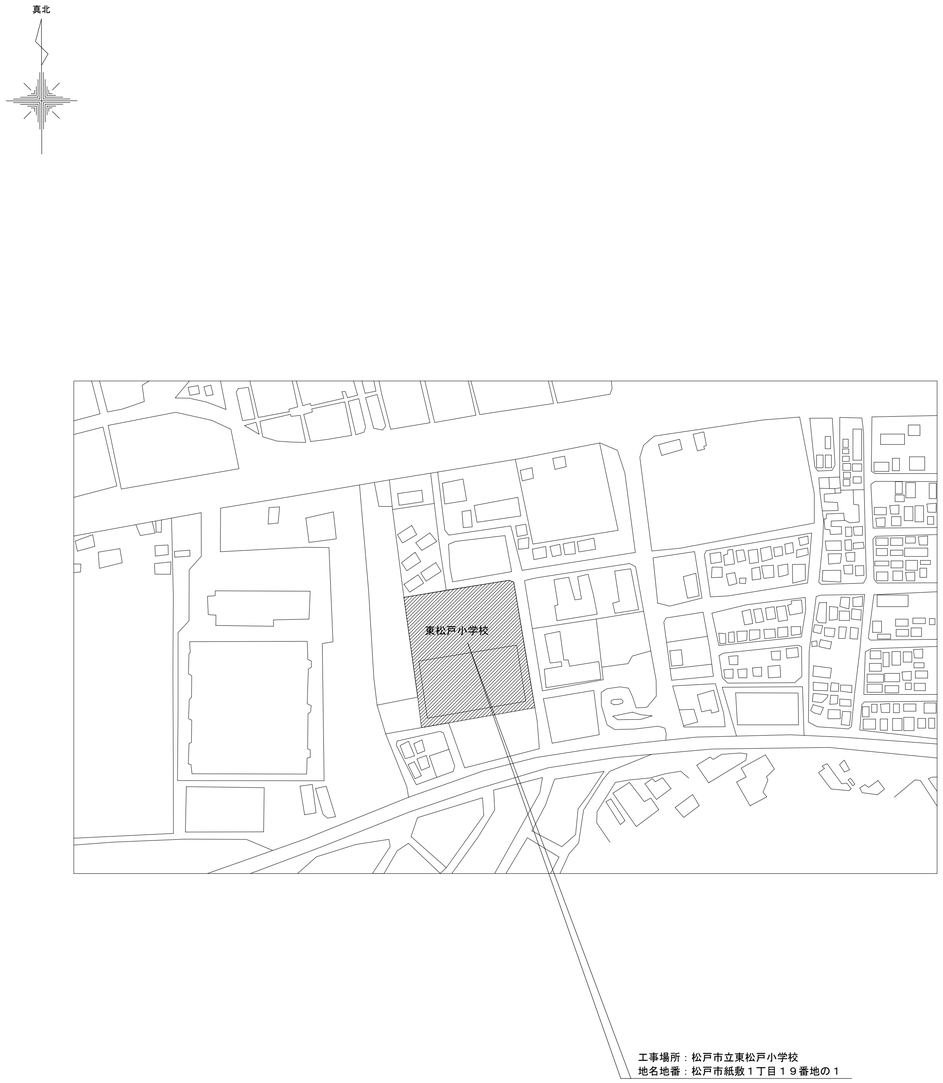
・図示
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事
植樹　・図示 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

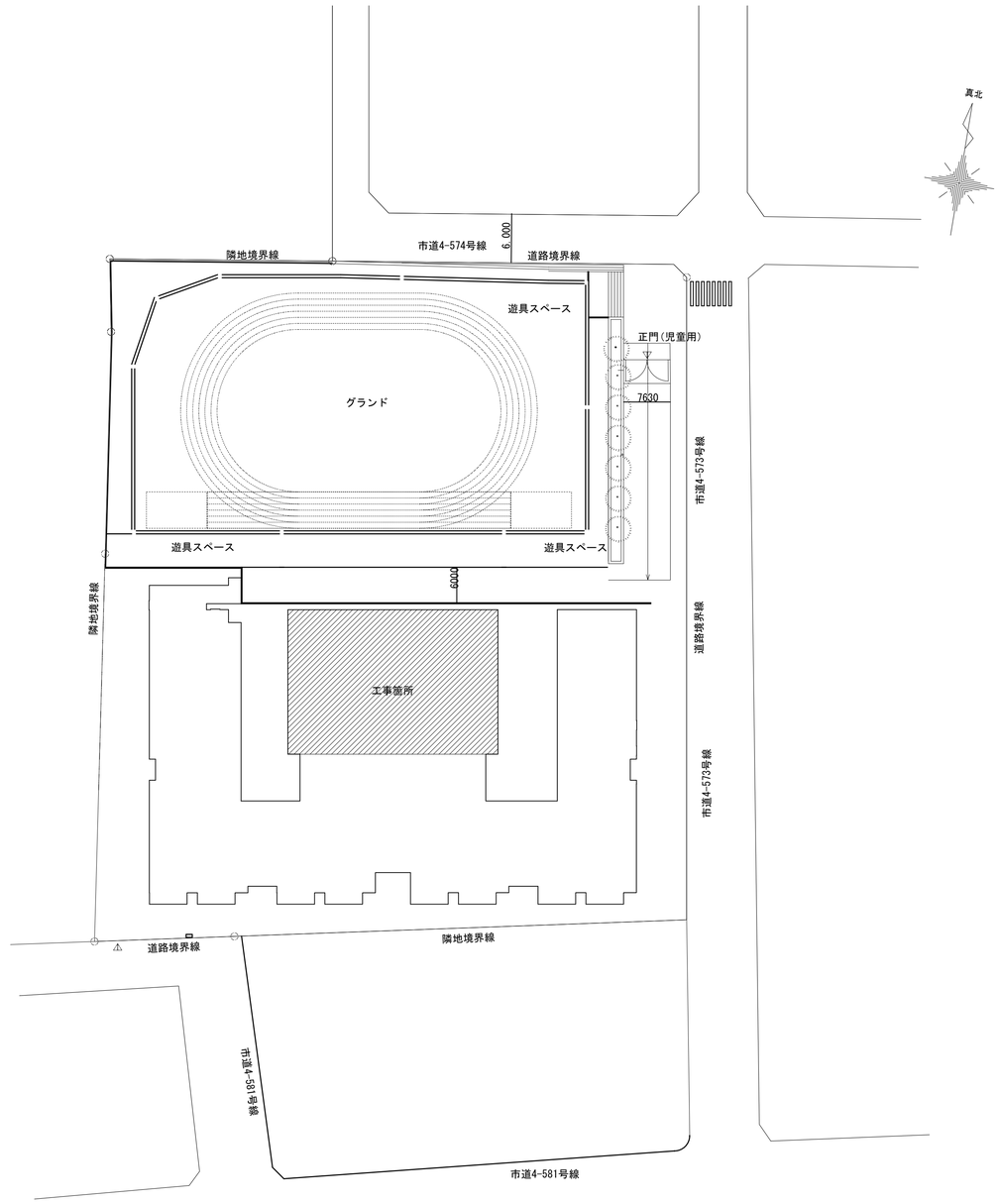
工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け			
		鉄筋補強			
		後施工ｽﾘｰﾌﾞ（雑壁部分）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）			
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	○		○
		切込み　（開口補強有り）	○	○	○
		切込み　（開口補強無し）	○	○	○
点検口	床、壁、天井		○		
	配管ピット、トレンチピット				
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業				
トイレ	大便器・小便器				
	紙巻器				
	トイレ用手摺				
	洗面器（水栓含む）				
	掃除用流し（水栓含む）				
	廊下流し台（排水トラップ含む）				
	廊下流し台用横水栓				
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）				
	設備機器用下地補強				
	化粧鏡				
	換気扇				
	換気扇取付用アルミパネル				
	換気扇取付用壁枠				

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第1-2306-2686号 山岡　治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



案内図　1/2000

工事場所を示す

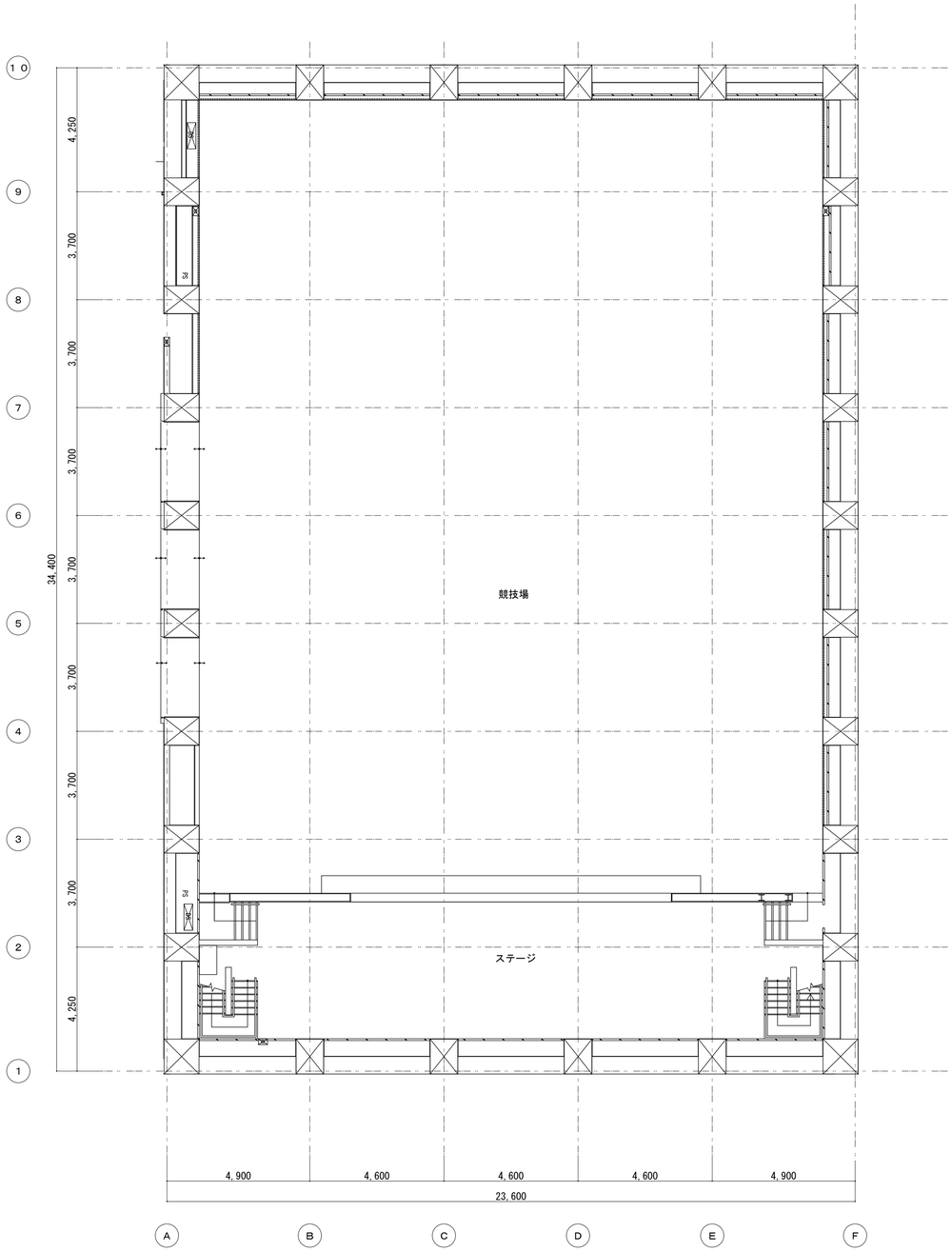


配置図　1/500

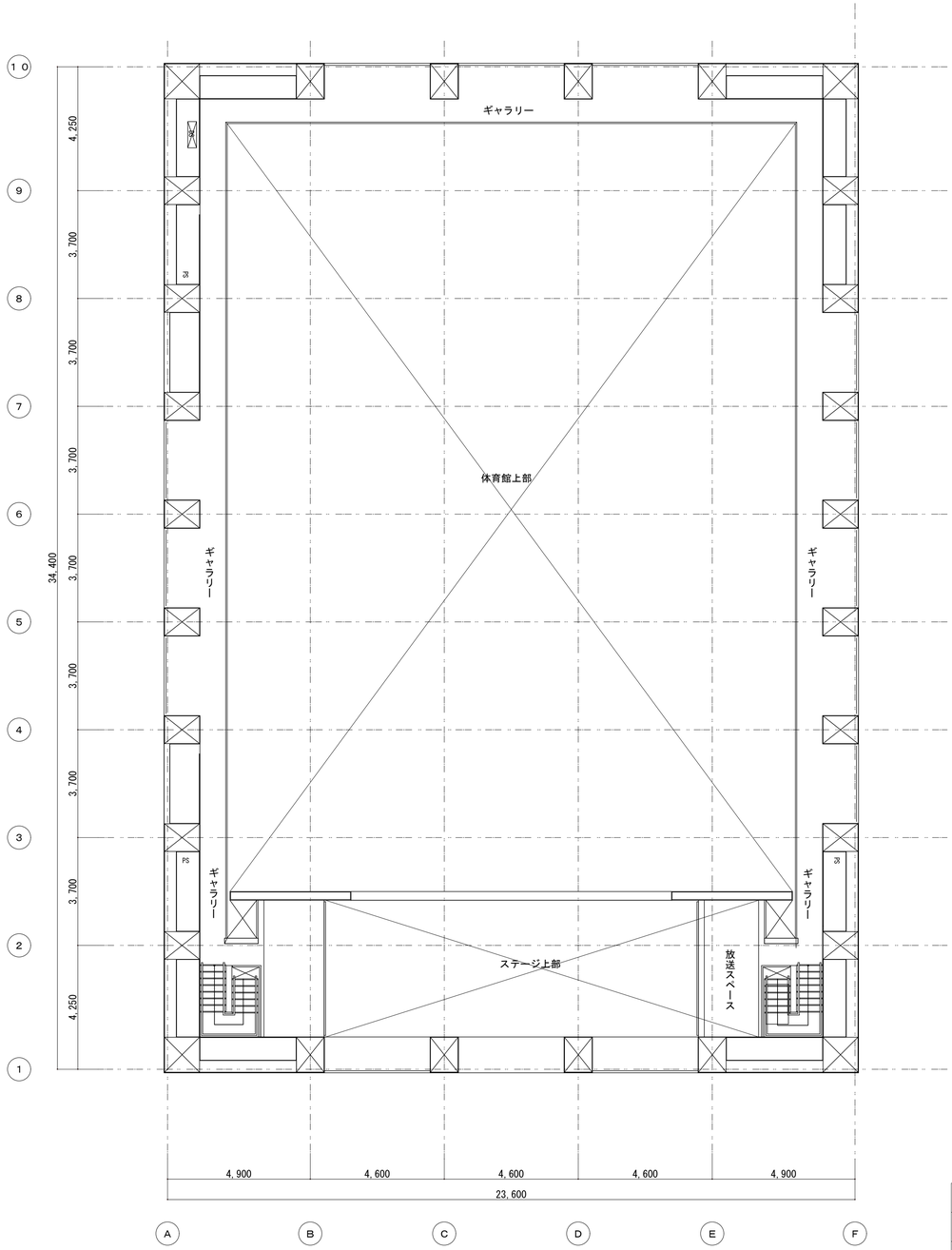
工事箇所を示す

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500、2000 A3:1/1000、4000	図面番号	A-05
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前　北面既存フィルムあり(2016年施工の為、既存のまま)・建具改修無し



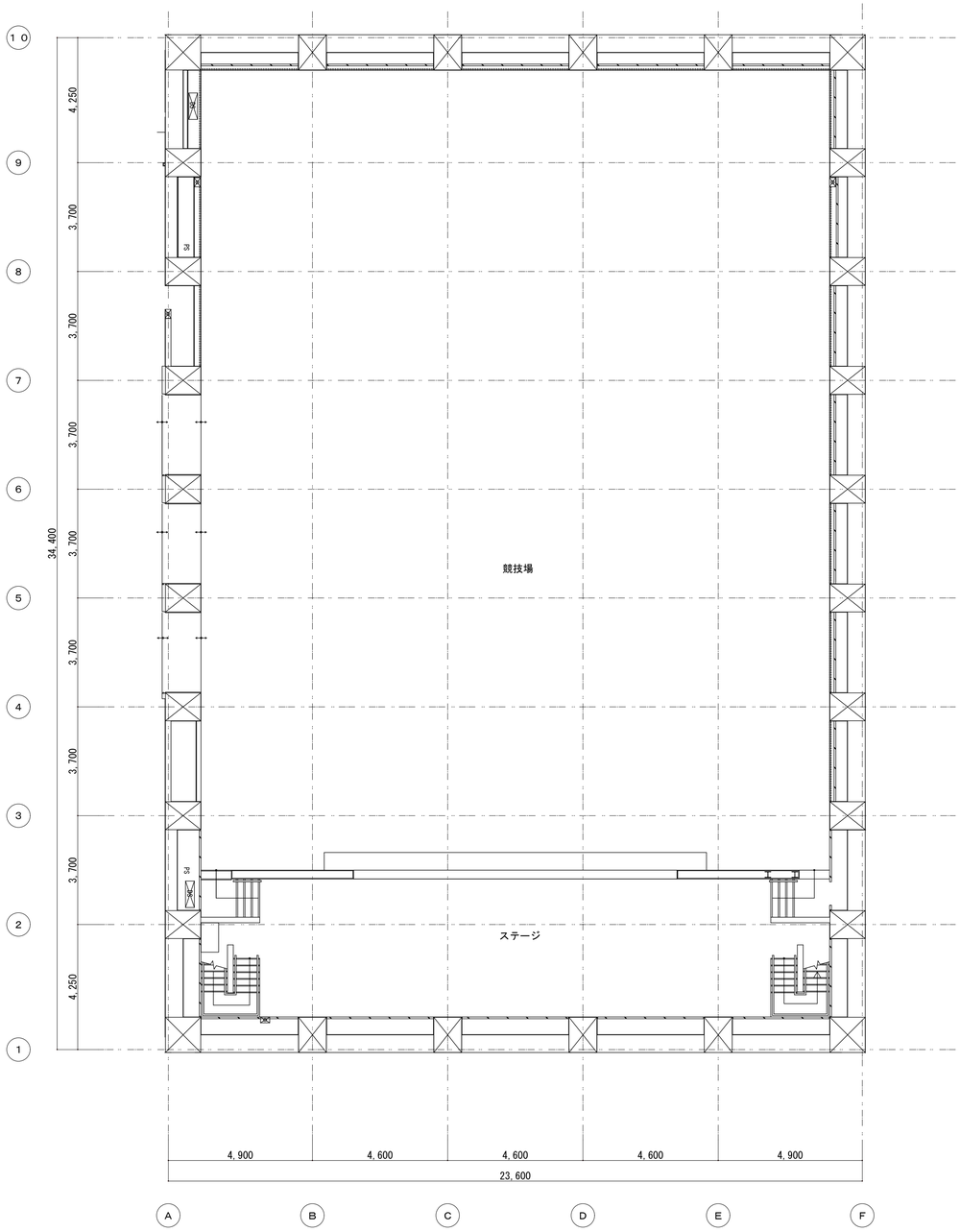
1階平面図　1/100



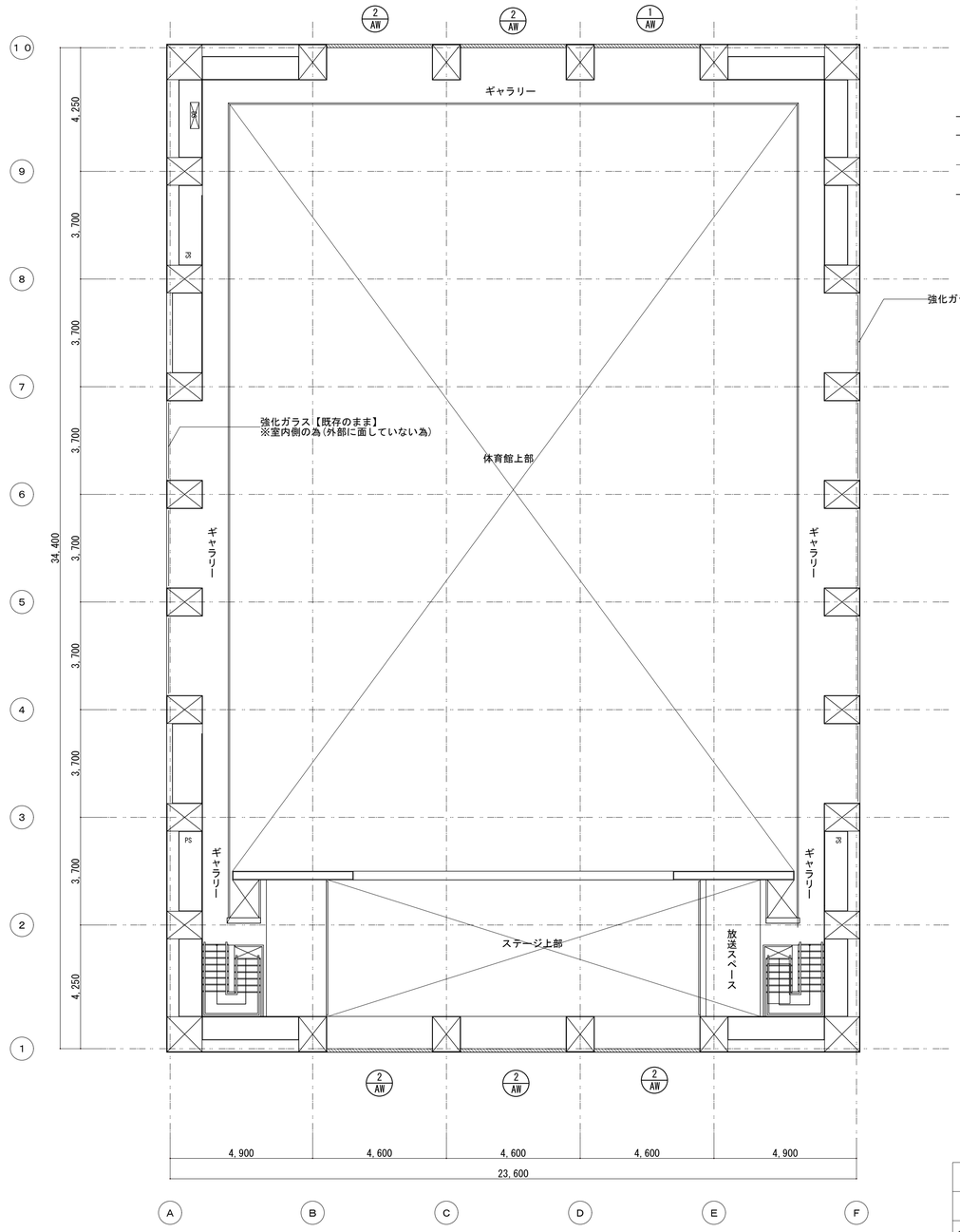
2階平面図　1/100

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後



1階平面図　1/100



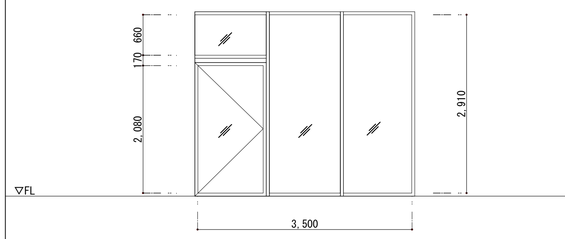
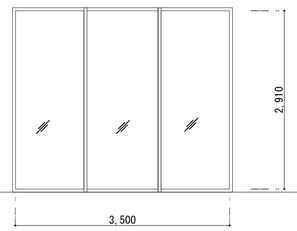
2階平面図　1/100

建具名	遮熱フィルム新設面積　内貼　計61.2㎡
1/AW	3.5m×2.91m×1枚＝10.185㎡
2/AW	3.5m×2.91m×5枚＝50.925㎡

フィルム新設範囲を示す

強化ガラス・フィルム【既存のまま】

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修後]各階平面図		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	1 AW 片引きドア FIX 1ヶ所	2 AW FIX 5ヶ所		
姿　図				
場所	ギャラリー	ステージ・ギャラリー		
硝子種類	強化透明硝子t=6.0	強化透明硝子t=6.0		
硝子サイズ	姿図参照	姿図参照		
備　考	フィルムタイプ・C	フィルムタイプ・C		
記号・名称・個数				
姿　図				
場所				
硝子種類				
硝子サイズ				
備　考				
記号・名称・個数				
姿　図				
場所				
硝子種類				
硝子サイズ				
備　考				

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子 ＼ 方角			東・西・南		北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S		既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX		既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S		既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX		既存のまま

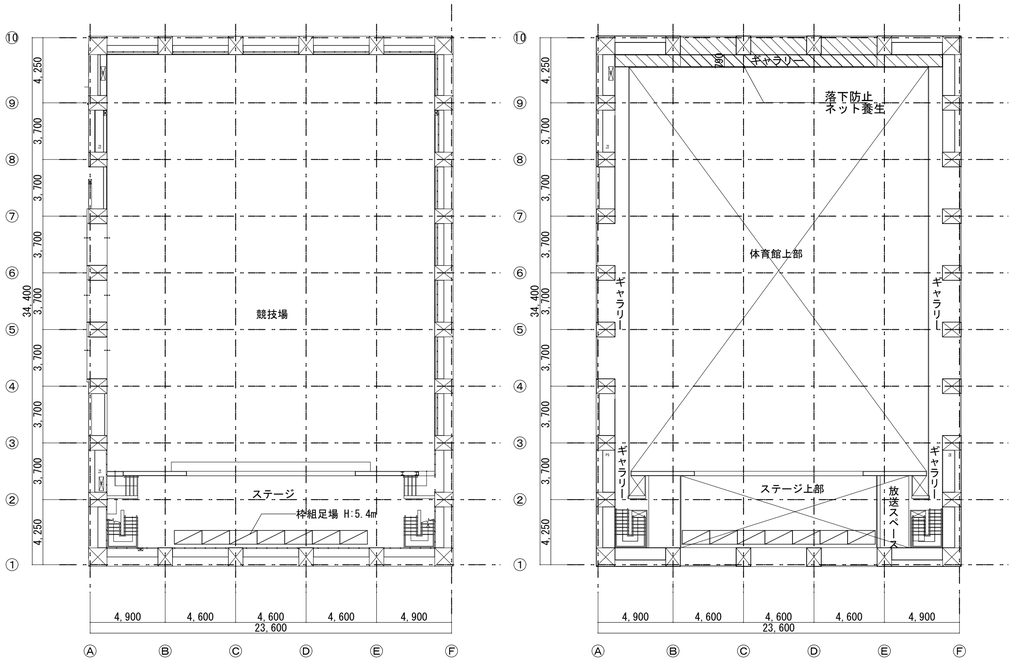
・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子 ＼ 方角			全方角・内部
G	透明硝子	内貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	―	既存のまま
	強化型硝子	―	既存のまま
	網入り透明硝子	―	既存のまま
	網入り型硝子	―	既存のまま

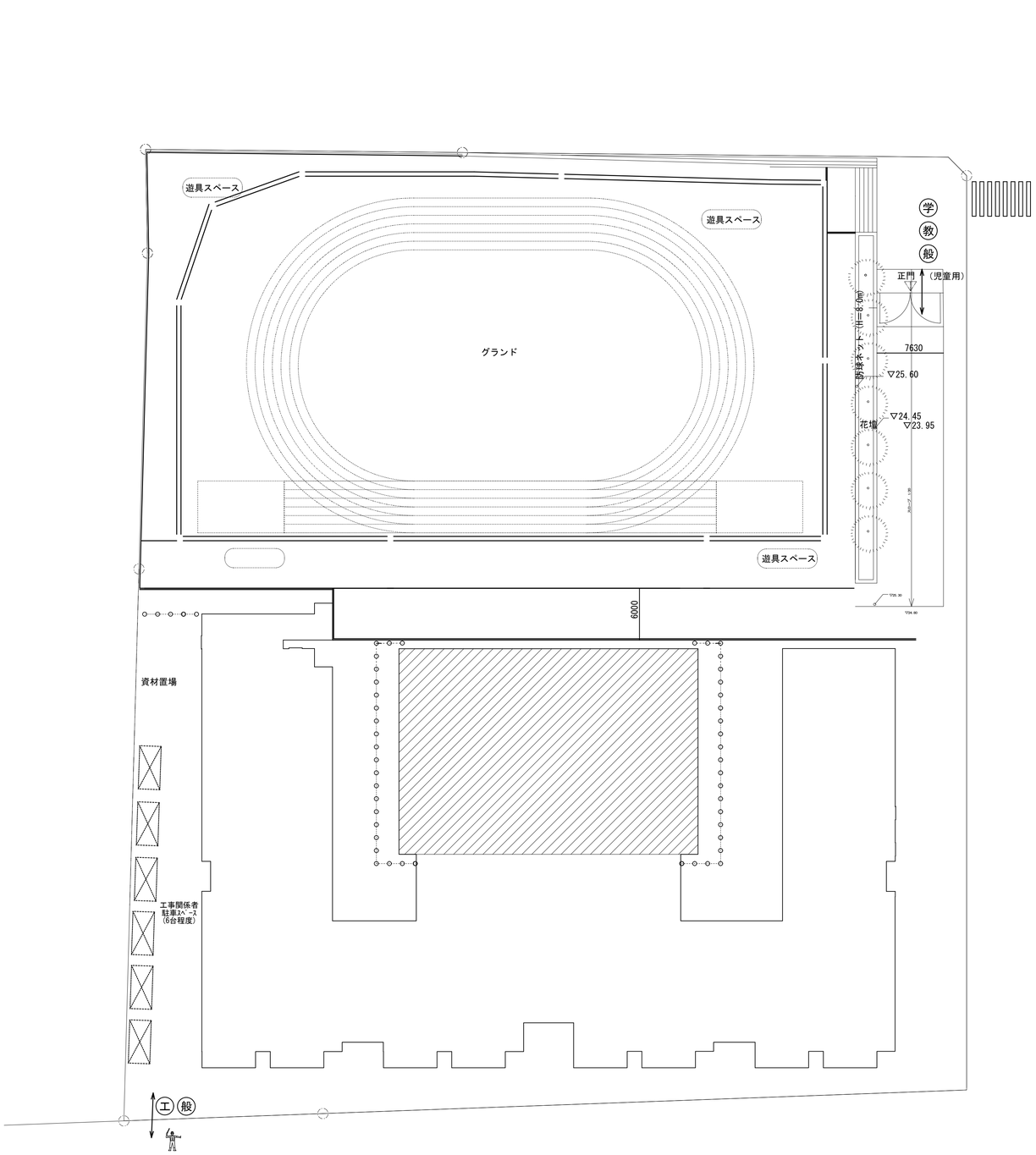
・飛散防止フィルムは３Ｍジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設　計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



内部仮設計画図　1/200

ビニルシート養生を示す



全体仮設計画図　1/300

工事箇所を示す

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、
　請負者負担で設置すること。

・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

~~敷鉄板 t=22　1.5m×6.0~~

枠組足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914・610

~~円形足場：ネット養生シート(防炎1類) W=914~~

~~仮囲い：成型鋼板　H2.0~~

仮囲い：カラーコーン、コーンバー　総延長距離　39m

~~工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0~~

交通誘導員を示す　　工事車両搬出入時に適宜配置とする

動線を示す　　学 生徒・学校関係者を示す

教 教員車両を示す

般 一般車両を示す　工 工事車両を示す

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（参考図）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-09
設 計	株式会社　山岡設計事務所 千葉県知事登録　第１-２３０６-２６８６号 山岡　治 一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立寒風台小学校ほか８校体育館空調設備設置建築工事

２．工事場所　　松戸市松戸新田３１６番地の２５ほか８か所

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　８年　３月１９日　まで

４．CADデータの貸与　　■有　　□無

※1.基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
※2.基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
※3.基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
※4.基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事着工前に提出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事適正化指導要綱	
	■電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳･下請業者選定通知書･施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事適正化指導要綱	代表者
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 １．組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 ２．工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事中に提出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	□試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者ﾏﾆﾌｪｽﾄの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 １出来高検査願 ２出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完成後に提出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	代表者
	■１工事記録写真	写真帳	1		
	■２完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 ＰＤＦ，ＣＡＤデータ	ＣＤもしくはＤＶＤ	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	ＣＤもしくはＤＶＤ	2 1	※松戸市建築事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■１予備品等引渡通知書（リスト共） □２キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □１建築物等の利用に関する説明書 ■２保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） ■３機器性能試験成績書 ■４官公署届出書類	原則、ＣＤもしくはＤＶＤ	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□５総合試運転報告書 □６総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》建築工事編（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立寒風台小学校ほか８校体育館空調設備設置建築工事

２．工事場所　　松戸市松戸新田３１６番地の２５ほか８か所

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　８年　３月　１９日　まで

標　仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備　考
1	検査		
	■１　品質管理検査(必要に応じて)	標　仕　1. 3.6 改標仕　1 .3.6	
	■２　材料の検査(承諾済は除く)	標　仕　1. 4.4 改標仕　1. 4.4	
	■３　施工の検査等	標　仕　1. 5.5 改標仕　1. 7.5	
	□４　敷地の状況確認及び縄張り	標　仕　2. 2.1	
	□５　ベンチマーク	標　仕　2. 2.2	
	□６　遣方	標　仕　2. 2.3	
	□７　根切り	標　仕　3. 2.1 改標仕　8.28.3	
	□８　地業工事　掘削深さ及び支持層 （ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法、ﾘﾊﾞｰｽ工法、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法）	標　仕　4. 5.5	
	□９　配筋検査	標　仕　5. 1.3 改標仕　8. 3.1	
	□10　コンクリート打ち込み後補修	標　仕　6. 9.6 改標仕　8. 8.6	
	□11　高力ボルト締付確認の記録	標　仕　7. 4.8 改標仕　8.14.8 改標仕　8.20.7	
	□12　鉄骨建方	標　仕　7.10.5	
	□13　鉄骨現場組立て	改標仕　8.19.3	
	□14　鋼板巻組立て	改標仕　8.23.6	
	□15　防水層の施工	標　仕　9. 1.3 改標仕　3. 1.3	
	□16　タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標　仕 11. 1.7 改標仕　4. 4.8 改標仕　6.16.2	
	■17　部分使用		
	□18　出来高		
2	立会い		
	■１　材料の検査に伴う試験	標　仕　1. 4.5 改標仕　1. 4.5	
	■２　監督職員の指示による立会い	標　仕　1. 5.8 改標仕　1. 7.8	
	□３　地業工事の試験による立会い （杭又は支持地盤の位置及び土質の試験）	標　仕　4. 2.1 改標仕　8.28.4	